

平成24年度

# 学生による授業評価実施報告書

平成26年3月

鳴門教育大学 学校教育学部

## はしがき

平成 24 年 8 月に中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申した。その要点は、次の通りである。

まず、現状の課題として、21 世紀を生き抜くための力を育成するため、思考力・判断力・表現力等の指導力を身に付けること、学校現場における諸課題の高度化・複雑化により、養成段階における実践的指導力の育成を強化することが挙げられている。

そして、改革の方向性として、新たな学びを支える教員を養成するとともに学び続ける教員の仕組みを構築すること、教員養成を修士レベル化し、高度専門職業人として位置付けること、教員免許制度の改革の方向性として、「一般免許状（仮称）」、「基礎免許状（仮称）」、「専門免許状（仮称）」を創設すること、修士課程における専修免許状の取得においては、実践的科目の必修化を促進することなどが挙げられている。

さらに、文部科学省は、平成 25 年 6 月に「今後の国立大学機能強化に向けての考え方」を発表し、この中で教員養成大学・学部については、学校現場での指導経験のある教員の採用増を図ること、実践型のカリキュラムへの転換を推進するとしている。

以上から、これからの教員養成に求められる課題は、実践型のカリキュラムによって、思考力・判断力・表現力などの新たな学びに対応した指導力を育成すること、学校現場の諸課題に対応できる実践的指導力を育成することなどによって、学び続ける教員としての資質能力を育成することとなる。

本学は、平成 17 年度から学部のカリキュラムとして「教育実践学を中核とする教員養成コア・カリキュラム—鳴門プラン—」を導入し、実践型のカリキュラムによって、実践的指導力の育成に取り組んでいる。コア授業による実践的指導力育成については、学生の授業評価によっても成果が確認されている。思考力・判断力・表現力等の新たな学びに対応した指導力については、授業の在り方として、次のような取り組みが求められる。コア授業で展開している模擬授業において、計画した内容を実践的に展開しそれを省察することや、学生が主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学習（アクティブラーニング）や双方向の授業を展開することが考えられる。また、新たな学びに対応した指導力を育成するために授業改善が求められる。

教育の質の向上のためには、「学生による授業評価」は不可欠である。現在、教員の共通理解のもとに、原則全科目に授業評価を行っている。今後は、学生の授業評価を教授—学習過程の修正と改善につなげ、授業評価を教育の質の向上に結びつくようにしていくことが課題となる。

そこで、平成 24 年度の教育実践コア科目学生授業評価について取り上げてみる。そして、これまでと比較するために括弧内に平成 23 年度の授業評価を示している。授業評価は 5 段階である。「初等中等教育実践基礎演習」（12 科目）の評価は、平均 4.1 点(4.3)、「初等中

等教科教育実践Ⅰ」(10科目)の評価は、平均4.3点(4.5)、「初等中等教科教育実践Ⅱ」(11科目)の評価は、平均4.6点(4.5)、「初等中等教科教育実践Ⅲ」(8科目)の評価は、平均4.4点(4.5)であり、いずれも昨年と同じか、又はよりよい結果となっている。授業担当教員のご努力の賜と言えよう。

次に、他の分野の授業評価について、同様に取り上げてみる。教養基礎科目(計40科目)の平均は、4.3点(4.2)、教職共通科目(計82科目)の平均は、4.3点(4.2)、専修専門科目(計253科目)の平均は、4.3点(4.3)である。いずれも、4点以上であり、授業評価としては、高い評価であり合格点といえよう。

以上によると、本学の教育課程の全分野の授業(卒業研究と実地教育科目を除く)、すなわち、教育実践コア科目、教養基礎科目、教職共通科目、専修専門科目の授業評価が5段階評価の平均で4点以上である。これは授業担当教員の授業改善の結果の表れであり、喜ばしい限りである。

ただし、これまでと同様、「授業への取組について」、「学生の主体的な学習が不足している。」ことが指摘されている。これまでこの課題については、適切な内容と量の宿題を学生に課し、添削、コメントなどの適切なフィードバックを行うことなどが提案されている。平成24年度は、学生による授業評価専門部会主査から本学の学生は教職を目指す学生であることから、「学ぶ立場」としてだけでなく「指導する立場」も意識させることで、授業に主体的に取り組む態度を指導することが提案されている。これらの提案によって、課題の改善に結びつけたい。

最後になったが、本報告書の作成に当たっては、学部教務委員会ならびに学生による授業評価専門部会委員各位、FD推進事業専門部会各位、学部授業担当教員および学生諸君、関係の事務職員にご尽力・ご協力いただいたことを記すとともに、改めてこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

平成25年9月 学校教育学部教務委員会 委員長 西園芳信

# 目 次

## はしがき

I 学生による授業評価の意義 .....	1
II 学生による授業評価の結果と考察 .....	3
1. 調査の方法と種類・形態別回答数 .....	3
2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴 .....	4
3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴 .....	6
4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴 .....	8
5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴 .....	10
6. アンケート様式 .....	15
III 学部授業評価の結果報告書 .....	17

## あとがき



I

学 生 に よ る  
授 業 評 価 の 意 義



## I 学生による授業評価の意義

鳴門教育大学は、大学の機能別分化の方向性をふまえ、高度専門職業人としての教員の養成を大学の目的としている。教員養成目的大学としての本学の教育の質を確保し、その成果を学生や学校、そして地域社会に還元していくためには、大学として常に学生の学修成果の評価と、それをふまえた教育評価（カリキュラム・授業評価）に取り組んでいかねばならない。特に今日、大学教育の質保障に関しては、「教員の視点に立った教育（教員が何を教えるか、教えたか）」から「学生の視点に立った教育（学生がどのような知識・能力・態度を身に付けたか）」への視点の転換が強く求められている。

こうした現状認識と問題意識のもとで、本学の教員養成教育の質の評価・改善のために重要な役割を担っているのが、学生による授業評価である。本学では、平成8年よりFD（Faculty Development）に取り組んでおり、その一環として学生による授業評価が位置づけられている。平成17年度からのコア・カリキュラムの実施以後は、教育実践コア科目の評価項目を加え、より一層学生の教育実践力の向上に資する教育・授業の展開のために、学生による授業評価を活かそうと努めてきた。平成19年度からはレーダーグラフを用い、教員の授業の進め方等と学生の授業への取り組みを区別して把握できるようにした。さらに平成21年度から本学の全科目を対象として授業評価を行うこととし、様式を統一するとともに、評価結果をWebで公表している。

学生による授業評価は教授-学習過程の修正と改善のために行われる。このことを明確にするために、図1にはTOTE（テスト-操作-テスト-出口）単位からみた授業評価を示した。右には左のTOTE単位に対応した授業評価の流れを示した。最初のテストとして、学生による授業評価が行われ、操作として、授業目標と授業評価の結果が比較され、不適合な教授-学習過程が修正される。教授過程の修正はカリキュラムと教授活動の修正であり、学習過程の修正は学生の学習活動の修正である。修正された教授-学習過程は再度テストされ、授業目標と適合していれば、出口から出て次の段階へと進むことになる。

このように教授-学習過程の修正過程を説明すると、単年度で完結するように思えるが、実際には何年度にもまたがって修正していくことになる。

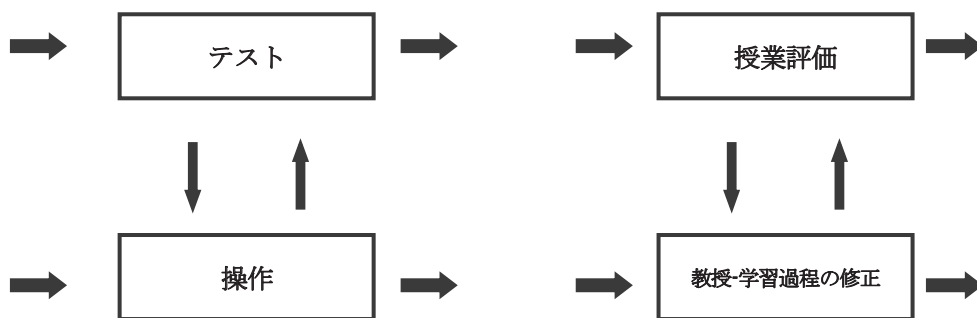


図1 TOTE（Test-Operation-Test-Exit）単位からみた授業評価





## II

# 学生による授業評価の 結果と考察



## Ⅱ 学生による授業評価の結果と考察

### 1. 調査の方法と種類・形態別回答数

調査は教養基礎科目・教育実践コア科目・教職共通科目・専修専門科目の授業科目について、各教員が原則として前期、後期の全てで実施することとした。アンケート用紙は、従来の質問項目を精選し、全ての授業科目に共通する11項目と、教育実践コア科目にのみ関連する3項目を設定した。従来どおり、教員が授業に合わせて、質問項目を加筆・削除できる。実地教育関連科目（「ふれあい実習」を含む）に対するアンケート調査は、別途実地教育専門部会で行われるため、本報告書には含まれていない。

質問紙の大枠は次のとおりである。以下の大項目の下に質問項目が設けられた。

1. 授業の計画と内容について（質問項目：4）
2. 授業の進め方について（質問項目：3）
3. あなたの授業への取り組みについて（質問項目：3）
4. 教育実践コア科目について（コア科目のみ回答）（質問項目：3）
5. 授業に対する総合的評価（質問項目：1）

質問紙は、各質問項目に「5. そう思う」「4. ややそう思う」「3. どちらとも言えない」「2. あまりそう思わない」「1. そう思わない」の5件法で答える形式になっている。有効回答数は次のとおりである。大項目1、2、4、5の平均点を総合評価としている。

表1 学生による授業評価の種類別有効回答数

	有効回答人数
教養基礎科目	1,136
教育実践コア科目	454
教職共通科目	3,828
専修専門科目	4,236
合計	9,654

表2 学生による授業評価の種類別実施授業科目数

	授業科目数
教養基礎科目	40
教育実践コア科目	41
教職共通科目	82
専修専門科目	253
合計	416

## 2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

平成24年度に実施された教養基礎科目に対する授業評価の実施授業科目は40(昨年度39)科目、有効回答数は1,136(同998)名であった。平成21年度から、質問項目の「3 あなたの授業へのとりくみについて」は、受講者の取り組みに対する評価であるため、総合評価から外して集計することになった。

評価結果については、11頁の図1に示している。この図では、全11の質問項目を「1 授業の計画と内容について」、「2 授業の進め方について」、「3 あなたの授業への取り組みについて」、「4 授業に対する総合的評価」の4つの大項目に区分した。各質問項目は5段階評価に分類して回答を求め、その実数と帯グラフで表示している。これらの図と大項目ごとの平均値や質問項目ごとの平均値をもとに以下に調査結果の概要を述べる。

教養基礎科目の授業に対する「3 あなたの授業への取り組みについて」の3項目を除く8項目の評価の総合平均値は「4.3(昨年度4.2)」であった。各大項目では、「1 授業の計画と内容について」の4つの質問項目の平均値は「4.3(同4.2)」、「2 授業の進め方について」の3つの質問項目の平均値は「4.3(同4.2)」であった。「3 あなたの授業への取り組みについて」の3つの質問項目の平均値は「4.1(同4.0)」であった。そして、この大項目の中でも「授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした」の項目については「3.8(同3.6)」と評価が特に低かった。最後に、「4 授業に対する総合的評価」の項目の平均値は「4.3(同4.3)」であった。

### 2) 評価結果の特徴

質問項目ごとの特徴をみると次のようになるだろう。

「1 授業の計画と内容について」の「シラバス等には到達目標と授業計画、課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した」では、「どちらとも言えない」を含めると13%の学生が否定的な回答をよせている。また、「授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた」では15%、「授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった」では16%、「シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された」では18%の学生が否定的な回答をよせている。調査項目(質問事項)が昨年度からは大幅に変更になったので直接的な比較は不可能であるが、昨年度の「目標の提示」と「成績評価の方法の提示」に対する否定的な回答がそれぞれ14%と17%であったことを考慮すると、本年度の13%という数字には改善のきざしが見えると言えるであろう。ただし、実際の授業内容や評価方法については否定的な回答が15-18%であり、昨年度からの改善は特に見られなかった。今後、実際の授業内容や評価方法については、さらなる改善が必要である。

「2 授業の進め方について」では、「教員の授業に取り組む姿勢は適切なものだった」については、87%の学生が教員の姿勢は適切であったと回答している(「あまりそう思わない」と「そう思わない」は合計2%)。質問項目が昨年度とは違うので直接の比較とはならないが、これは

昨年度の調査において教員の「熱心な指導」を実感した学生が86%であったのを考えると、似たような結果だと言えるであろう。しかし、「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」、そして「授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた」の両項目においては19%の学生が「どちらとも言えない」を含む否定的な回答をしており、今後、教員のさらなる努力が必要である。

「3 あなたの授業への取り組みについて」では、「よく出席し、積極的に取り組んだ」学生は84%となり、昨年度の二項目（昨年度は「出席」と「積極的」は別項目であった）の平均値（81%）とほぼ同様であった。一方で「予習・復習を行った」学生や「教員に質問したり、他の学生と話し合った」学生は依然として7割以下（それぞれ65%と69%）であり、「受動的な学生像」は昨年度（約6割前後）と比べ、多少の改善はみられたものの、まだまだ改善が必要である。特に、「予習・復習」を行わなかった（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）学生は11%もおり、深刻な状況となっている。教養科目の性質上、それぞれの学術分野の知見を深めるとともに、広い教養基礎を築くことはとても重要であり、今後、いかにこの「受動的な学生像」を改善するかが重要となるであろう。そのため、講義の内容と方法という点から、こうした「課題待ち」状態という現状をどのように捉えるのか、改めて問われるところである。

### 3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴

#### 1) 評価結果の概要

平成 24 年度の教育実践コア科目における学生による授業評価の実施授業科目数は 41 科目であり、有効回答人数は 454 人であった。評価結果については、12 頁の図 2 に示されているとおりである。

本科目に関する 14 の評価項目のうち、4.0 以上の評価を得たものが 13 項目であった。評価平均値の最高値は 4.4、最低値は 3.9 と拡がり幅は狭く、総合評価は 4.3 であった。5 つの大項目のうち、「3 あなたの授業への取組について」のみ、3 つの項目の平均値内に 4.1 と 3.9 があり、大項目間ではやや低い傾向を示している。その他、「5 授業に対する総合的評価」を除く、授業をする教員側に関する 3 つの大項目の評価平均値は、いずれも 4.2 以上であった。また、「5 授業に対する総合的評価」では、授業に対する学生の満足度を訊くものであり、平均値は 4.4 で充分高いと言えよう。

これらの結果から、昨年度に引き続き、教育実践コア科目の授業全体に対して学生からは概ね良好な評価を得ることができたと言える。第 11 項目から第 13 項目の教育実践コア科目について特設の質問をした「学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった」「授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった」「目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった」共に 4.3 の平均値が得られ、この部分においても高い評価が示されている。

例年同様に、4.0 を割っているのは「あなたの授業への取組について」における「授業内容をよく理解するために予習や復習（課題への対応や参考文献の読書を含む）をした」であり、平均値は 3.9 となっている。評価項目は少なくなったが、評価の傾向に変化はない。

#### 2) 評価結果の特徴

本科目は、教科の成立と人間理解を通して、教師という職業について様々な側面から理解し、あるべき教師像を考える「教育実践基礎演習」と、学習指導要領を基盤とする教科内容の柱立ての理解、授業構成や指導方法、子ども理解など、教師として必要な実践的指導力を育成する「教科教育実践」及び「特別支援教育実践」で構成したもので、「教育実習」と並ぶ教育実践のためのコアとなる科目として開設している。上記 1) の評価結果は、平成 17 年度より開設している本科目の目的・内容・方法が担当する教員に浸透し、教員養成コア科目としての意義について、受講する学生たちから高く評価されてきていると言えよう。

学生の本科目への取り組みに関する自己評価では、4.1 の平均値が出ているが、学生は科目の趣旨のもと、学校現場での豊かな授業実践に触れ、それらの分析・検討を経てグループで授業を構想し、実践し、評価・改善していく活動に取り組んでいる。それらのことから、学生の取り組みは自己評価以上のものであったと推察される。今後、教員も、科目の目的をふまえて学生に取り組みさせる作業課題を明示し、実践の中での準備・構想、実践後の分析やまとめなど学生自身が自発的に取り組めるよう、予習・復習として取り組みやすくするなど、工夫することによって、学生を主体的な学びに導けるのではなかろうか。

教育実践コア科目については、担当教員がその開設の理念・内容・方法を共通に理解して授業を実践するとともに、学生による授業評価の分析・評価を重ねていく中で、その傾向を真摯に受け止め、その意義と課題を明確にするなかで、常に改善を図って行く姿勢を学生に示すことが肝要であろう。



## 4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

教職共通科目の評価結果は、13頁の図3に示されている。これは、延べ3,828名の学生が11項目について回答した結果(42,108件)である。回答の無かった項目の総数は314件(0.7%)と異様な低さであり、学生が真面目に回答していないことを物語っている。これは、試験1週前の本アンケートで、1-4項目は「シラバスに示された評価方法が実施された」と過去形で問われているにもかかわらず、回答に窮することなく、99.1%の学生が回答していることから裏付けられる。各項目の結果も例年大差なく、これも学生が本アンケートに真面目に取り組んでいないことの証左であろう。もし、この学生アンケートが真意を反映しているとするならば、FD活動は今年度で終了させるのが良い。また、3.「あなたの取り組み」は、本アンケートの主旨とは異なるので、削除。どうしても問いたいなら、継続して問うても良いが、その際は主旨が違うので総合評価の計算から外すべきであろう。

学生はこの授業アンケートが何の為に使われるのか知らないし、アンケートの項目を見ても何を調べたいのか分からないので、教員の顔色を窺いながらナアナアの評価(総合評価4.3)をしているようだ。「勉強したか」と問われれば、あまりしていないと約37%の学生が答えている。但し、この項目の中には課題提出も含まれているので、3.8という自己評価は相当水増しされていると見るべきである。学生生活実態調査アンケートで勉強時間を調査し、本アンケートと比較することも必要であろう。

### 2) 評価結果の特徴

2-2項目に「私語への指導が行われたか」について、79.4%の学生が行われたと答えている。驚くべき高率である。当然私語があっても指導しない教員はいるだろうから、本学の教職共通科目の講義の大多数は私語で満ちあふれている。教員を目指す学生として嘆かわしいと見るべきか、彼等の求める講義が準備されていない(能力以上の講義がなされているので、ついていけなくておしゃべりする?)と見るべきかは分からないが、3-1項目に「講義に良く出席し、積極的に取り組んだ」学生が84.8%もいれば、私語で満ちあふれる講義はありえないのではないだろうか?それとも、出席を教員がチェックするので、聞きたくもない講義に出ているので、私語で満ちあふれているのかもしれない。来年度以降は、この項目は「よく出席した」と「積極的に取り組んだ」とに分ける必要があるであろう。

3-1項目に「良く出席し、積極的に取り組んだ」学生が84.8%いる。一方、3-2項目で「理解するために予習・復習をした」学生は、62.9%であった。講義に積極的に取り組めば、その講義の予習・復習に繋がると思うが、「積極的に取り組む」とは積極的に出席確認に応じたと言うことであろうか?3-3項目も「教員に質問したり、学生と話し合った」学生は66.4%である。とても66.4%もの学生が教員に質問したとは思えないので、学生同士で「今日の話し何やったん?」「分からん。」と1回でも言っていれば、肯定評価したのであるだろうか?

### 3) 今後の課題

3-1 項の「出席した」と「積極的に取り組んだ」を分ける。「積極的に取り組んだ」とはどういうことなのか？3-2 項目の自学や3-3 項目の教員への質問のこととは違う何かなのだろうか？ちょっと思い浮かばないので、具体的に書いて貰いたい。

3-2 項の課題への対応を削除する。これは自主的な勉強ではないので、このようなアンケート項目に相応しくない。必修科目の単位に直結する課題を提出しない学生がいるかどうかを考えれば分かるであろう。

3-3 項目の「教員に質問」と「学生と話し合った」を分ける。このような設問をする際は、何を質問したのか？何をお互いに話し合ったのかを具体的に書かす必要がある。教員への質問には、試験に関することやパワーポイントの図表を貰えないか等が多いが、本アンケートではそのような問い合わせを「質問」としないこと明記するのが良い。「よく理解するために」と書いてあるから、単なる問い合わせを学生は「質問」としないだろうと考えるのは、本学学生の国語力を知らなさすぎである。

本当に講義を良くしたいと考えるなら、「講義の評価（良かった点・悪かった点・改善すべき点）を書きなさい」と自由記述させるべきだろう。あるいは、アンケートをそのまま踏襲するなら、記名アンケートにし、成績とリンクした学生による講義評価を行うべきであろう。

学生に講義の評価をさせる本来の目的は何だったのかを思い出すべきであろう。文科省が求めているから仕方なしにやっているのではないと信じたい。本アンケートの結果が、不良教員の選別に繋がり、その教員にFDを受けさせることが出来、本学としてより良い教育に努めていると言える日が来るのを期待したい。

## 5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

平成 24 年度に実施された専修専門科目に対する授業評価科目数は 253 科目、有効回答人数は 4,236 名であった。14頁の図 4 は専修専門科目の評価結果である。総合評価の平均は 4.3 で、「授業に対する総合的評価」の評価平均も 4.4 であり、前年度と同様に概ね良好な評価を得ていると思われる。個別の評価項目で 4.4 の高い評価を得ている項目は、「シラバスに対応した授業内容」「授業内容は、教養や専門性を高めるものだった」、「教員の授業に取り組む姿勢」「授業によく出席した」であった。一方、評価が 4.0 のやや低い評価項目は「授業内容をよく理解するために予習や復習をした」、「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った」であった。高い評価項目も、やや低い評価項目とも、平成 21 年度から類似した結果が得られている。

### 2) 評価結果の特徴

評価結果を大項目別に検討すると、教員の授業への取り組みに関わる大項目「授業概要について」、「授業内容等について」、「教員の授業の進め方について」のすべての下位項目の評価は 4.3 以上であった。それに対して、学生の授業への取り組みに関わる大項目「あなたの授業への取り組みについて」では、高い評価を得たのが「授業によく出席した」(4.4) であり、低い評価項目は「授業内容をよく理解するために予習や復習をした」(4.0)、「授業に関連した内容について友人や教員と話し合った」(4.0) であった。この結果は、平成 21 年度から同様な傾向が続いている。

このことから、平成 21 年度から指摘されているように、学生は授業によく出席し、教員の説明をよく聞き、授業に積極的に取り組むが、授業外での予習や復習などを行わない、授業で分からなかったことを調べるなどの活動が少ないなど、学生の主体的な学習に関する課題が改善されていなかった。この課題に対して様々な原因が考えられるが、例えば、本学の特徴として、2 種類以上の教員免許状取得のため受講科目数が多いこと、実践教育を重視するため教育実習の時間数が多いこと、さらに、ボランティア活動・クラブ活動・アルバイト等で忙しいなどが考えられる。これらの原因に対して、平成 21 年度の報告では、教員が適切な内容と量の宿題を定期的に学生に課し、提出された宿題に対して採点、添削、コメントなどの適切なフィードバックを行うといった現実的な解決策が提案された。また、平成 22 年度の報告では、授業外において学生が主体的な学習を行わない原因と理由を明確にするため、学生の実態に応じた調査項目の再検討が提案された。これらの改善提案を継続的に行うことに加え、学生の学習に対する意識改革が必要であると考えられる。教職を目指す学生たちは、数年後には、予習・復習の大切さ、分からないことを調べることの大切さ、自分の意見を述べたり他人の意見を参考にしたりして共同で学習することの大切さなど、児童・生徒が主体的に学習に取り組む態度を指導する立場になる。このことを自覚するためには、学生たちは「学ぶ立場」として学んでいるのではなく、「指導する立場」として学んでいることを意識し、日々の授業において主体的に学習に取り組むべきである。我々教員は、学生たちの学習に対する意識改革を行うために努力する必要があるのではないだろうか。

□ そう思う      ■ ややそう思う      □ どちらとも言えない      □ あまりそう思わない      □ そう思わない

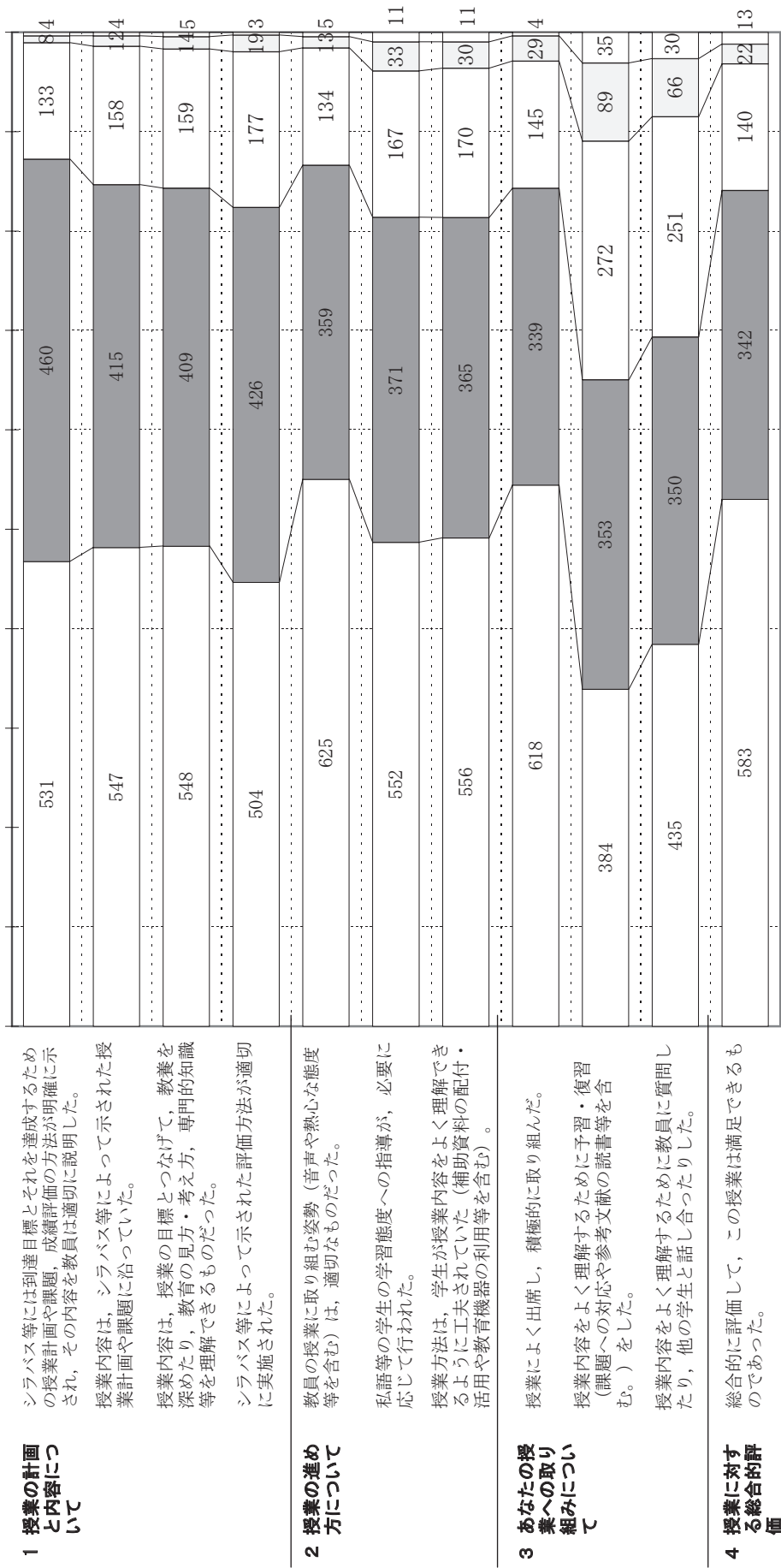


図1 教養基礎科目に対する評価結果

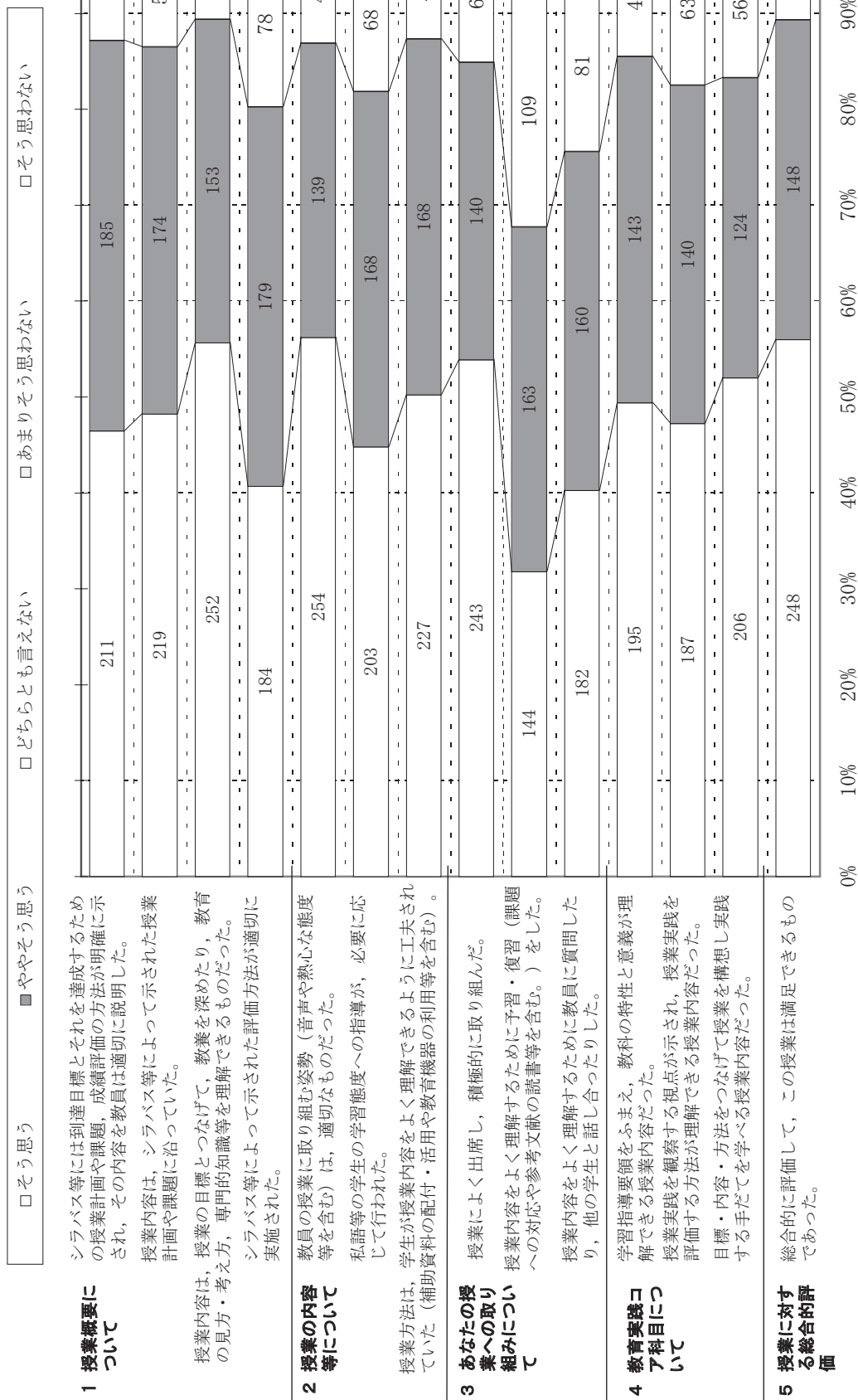


図2 教育実践コア科目に対する評価結果

□ そう思う      ■ ややそう思う      □ どちらとも言えない      □ あまりそう思わない      □ そう思わない

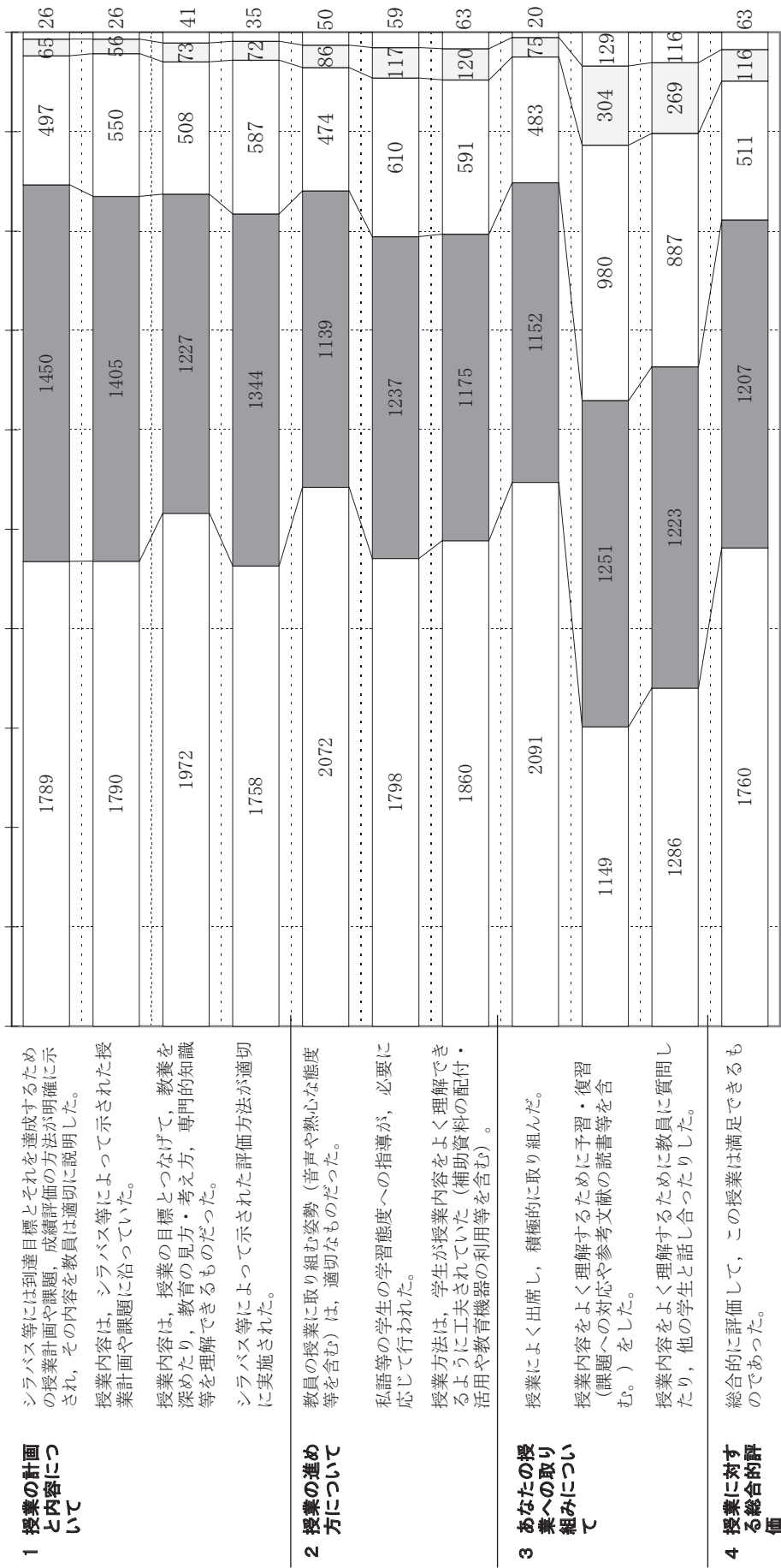


図3 教職共通科目に対する評価結果

そう思う       ややそう思う       どちらとも言えない       あまりそう思わない       そう思わない

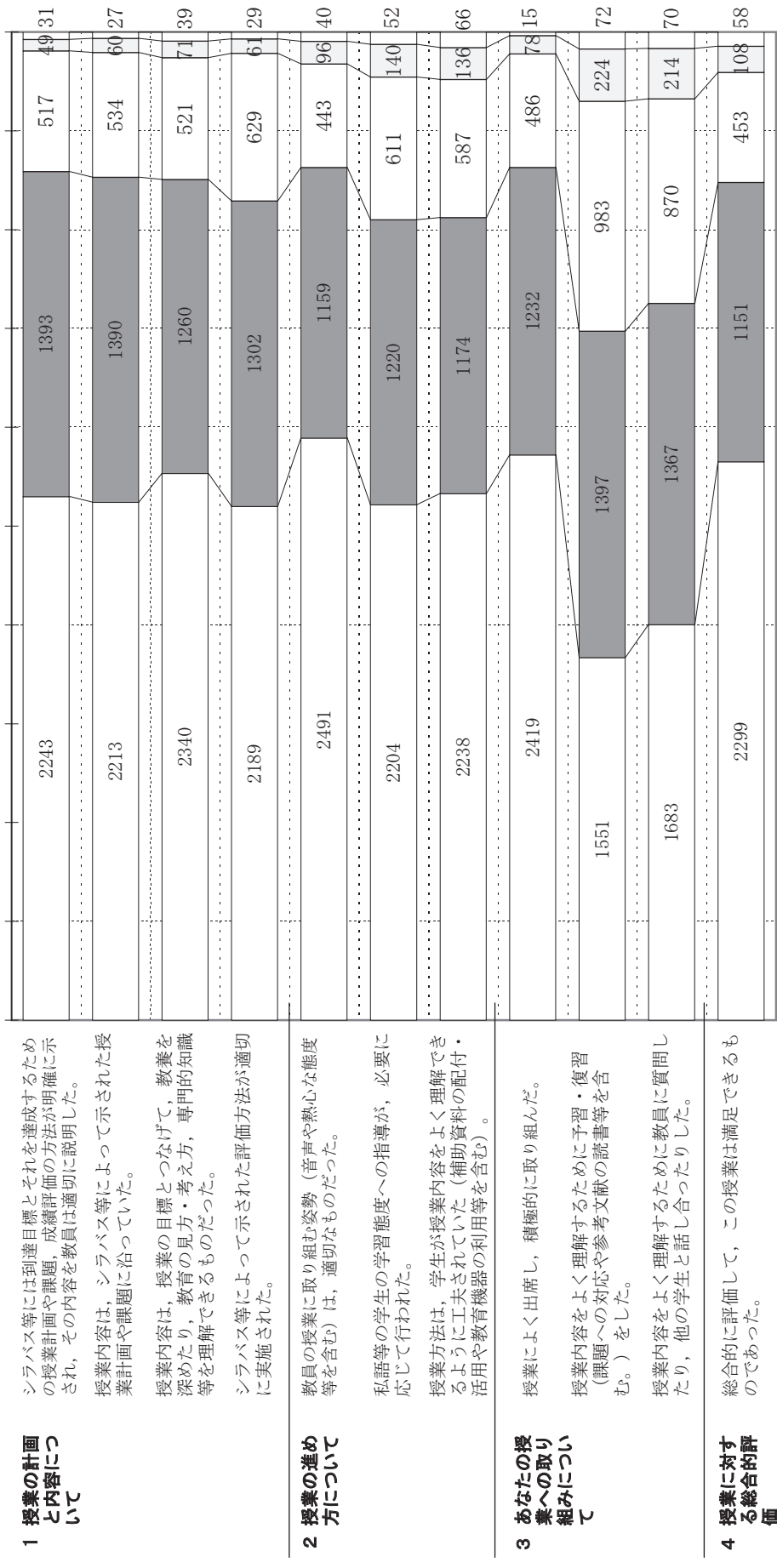


図4 専修専門科目に対する評価結果

様式（共通）

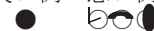
## 平成 24 年度 授業 評価 アンケート

評価実施日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
授業科目名 \_\_\_\_\_ 前期 ・ 後期 \_\_\_\_\_ 曜日 \_\_\_\_\_ 時限  
授業区分 1. 教養基礎科目 2. 教育実践コア科目 3. 教職共通科目 4. 専修専門科目  
担当教員名 \_\_\_\_\_ 受講者数 \_\_\_\_\_ 名

このアンケート調査は、今後の授業の改善に役立てることを目的として行うものです。  
以下の各項目について、次の5段階で回答し、その該当する番号をマークしてください。なお、アンケート回収後にコンピュータ処理を行いますので、下記の「マークのしかた（良い例）」のとおりマークしてください。  
このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回答してください。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

マークのしかた  
良い例 悪い例



### 1 授業の計画と内容について

- (1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (2) 授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (3) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。 ⑤ ④ ③ ② ①

### 2 授業の進め方について

- (5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (6) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (7) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。 ⑤ ④ ③ ② ①

### 3 あなたの授業への取り組みについて

- (8) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。 ⑤ ④ ③ ② ①

### 4 教育実践コア科目について（コア科目以外の場合は(14)へ）

- (11) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (12) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。 ⑤ ④ ③ ② ①

### 5 授業に対する総合的評価

- (14) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。 ⑤ ④ ③ ② ①

### 6 先の1から5の項目以外で、本授業で設定する項目（※独自の設問を設定できます。）

- (1) ⑤ ④ ③ ② ①
- (2) ⑤ ④ ③ ② ①

あなたの満足度に対する理由と授業改善にむけての提言

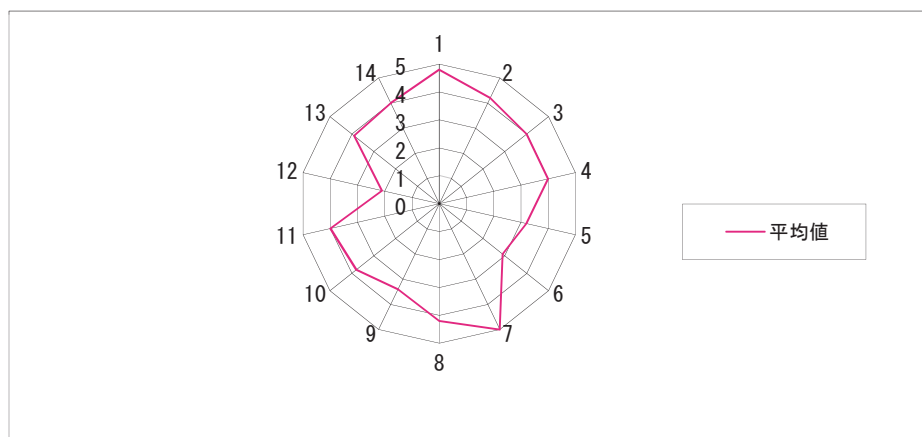
【ご協力ありがとうございました。】



授業科目名 ○○○○教育論  
 評価実施日 平成 年 月 日  
 担当教員名 ○○ ○○

回答者数 ○○名

質問項目	評価選択人数					平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。					4.8
	(2)授業内容は、シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。					4.2
	(3)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。					4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。					4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は、適切なものだった。					3.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。					2.9
	(7)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配布・活用や教育機器の利用等を含む)。					5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。					4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。					3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。					3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)～)	(11)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。					4.0
	(12)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。					2.1
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。					3.9
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。					4.0



**総合評価**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

# III

## 学部授業評価の 結果報告書

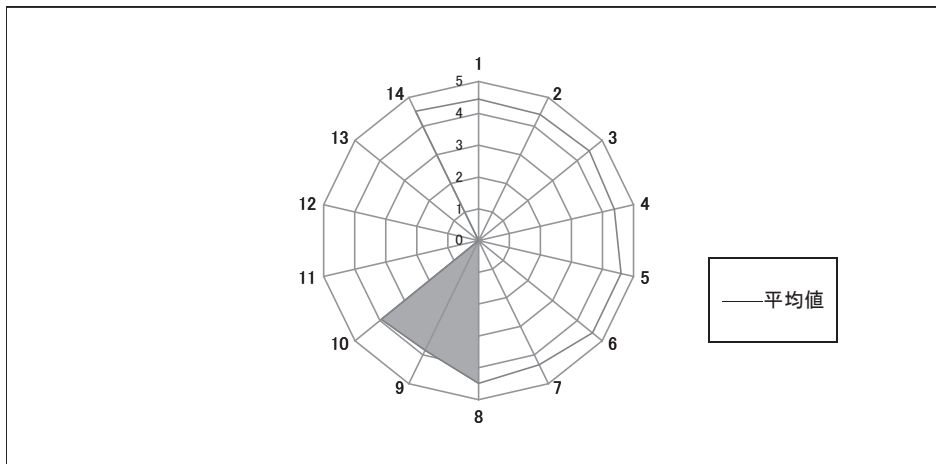


# 教 養 基 礎 科 目

授業科目名 日本国憲法  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 141名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	78	51	9	3	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	78	44	18	1	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	83	43	14	1	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	78	40	18	4	0	1	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	98	32	8	3	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	100	31	7	1	2	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	81	36	18	4	2	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	88	37	14	1	1	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	45	50	31	9	6	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	51	48	27	8	6	1	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	98	24	12	4	2	1	4.5



総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

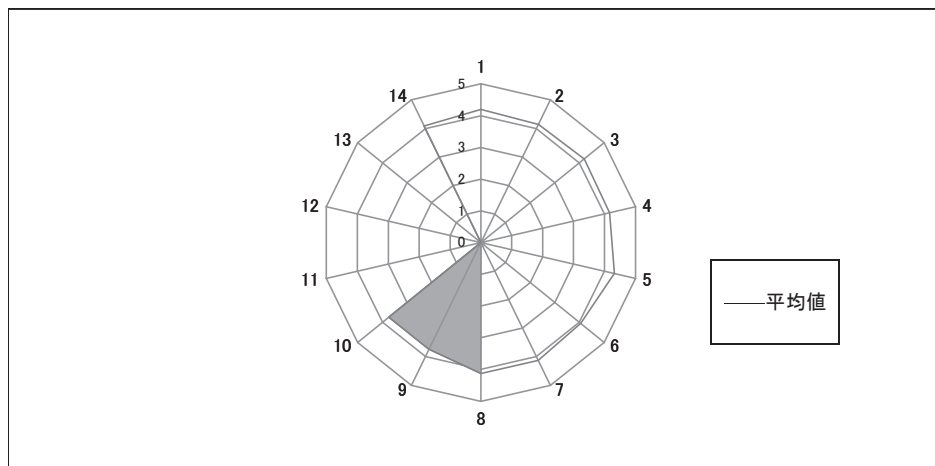
授業科目名 開発と環境

評価実施日 平成24年7月23日

担当教員名 青葉 暢子, 近森 憲助, 田村 和之

回答者数 93名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	33	45	15	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	31	44	17	1	0	0	4.1
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	34	42	17	0	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	35	40	16	2	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	43	36	14	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	31	38	20	2	1	1	4.0
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	35	37	17	2	1	1	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	35	39	14	5	0	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	25	30	29	7	2	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	25	28	33	5	2	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	33	38	18	2	1	1	4.1



総合評価 4.2

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

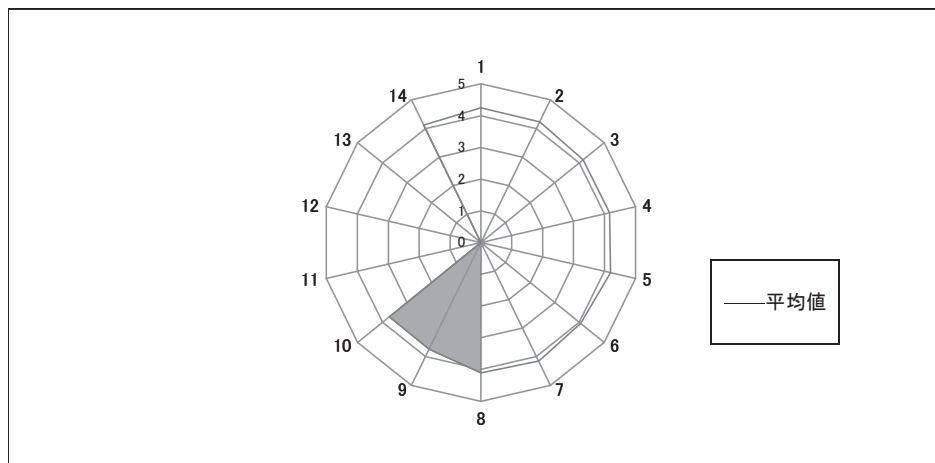
授業科目名 人口と食糧問題

評価実施日 平成25年2月18日

担当教員名 前田 英雄, 西川 和孝, 宮口 智成

回答者数 86名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	35	37	14	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	35	36	15	0	0	0	4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	30	39	16	1	0	0	4.1
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	32	38	14	2	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	33	38	14	1	0	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	29	35	19	3	0	0	4.0
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	36	31	16	2	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	31	36	17	1	1	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	24	31	19	8	4	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	22	34	17	9	4	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	30	38	16	2	0	0	4.1



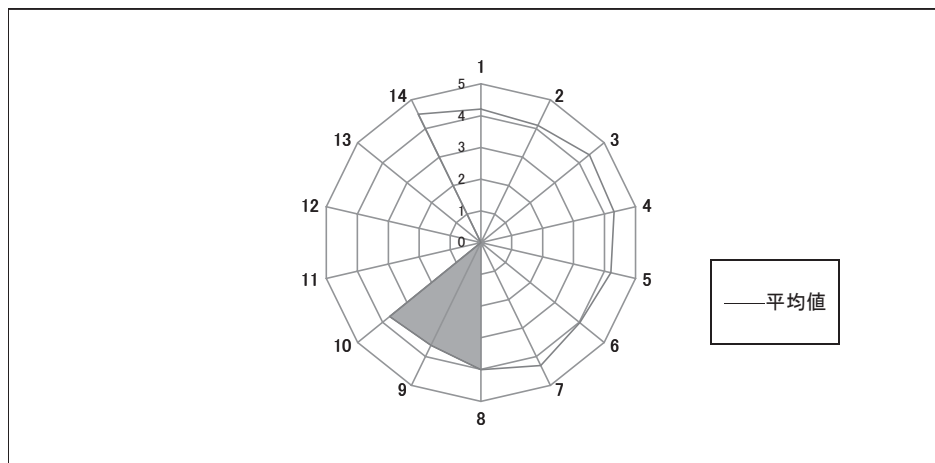
総合評価 4.2

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 科学技術と社会  
 評価実施日 平成25年2月4日  
 担当教員名 伊藤 陽介, 宮下 晃一, 栗田 高明, 村田 守, 工藤 慎一, 胸組 虎胤

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 **4.3**

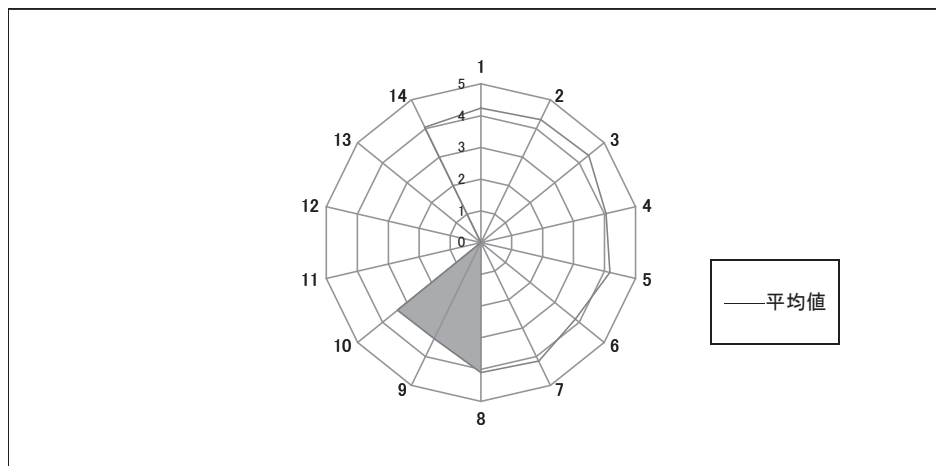
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 人権確立の歴史  
 評価実施日 平成24年8月6日  
 担当教員名 梶井 一暁, 八幡 ゆかり, 大谷 博俊, 大石 雅章, 井上 とも子, 芝山 明義

回答者数 52名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.0



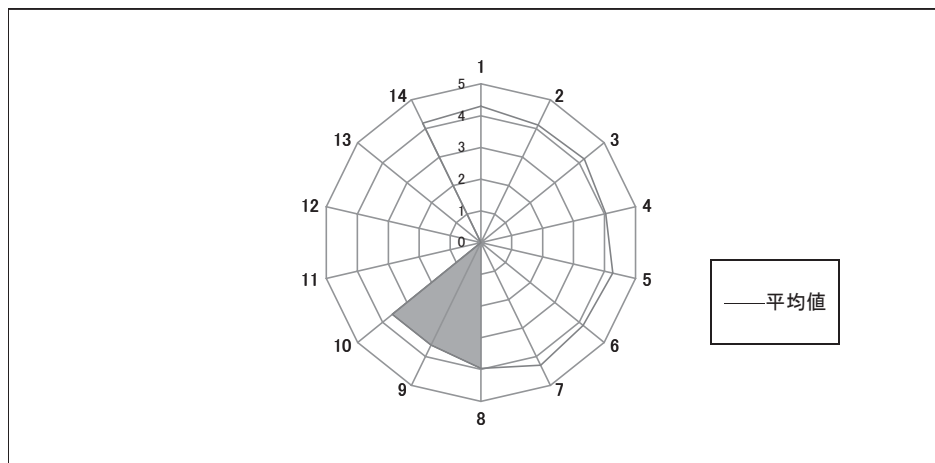
総合評価 4.1

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 東洋の文化研究  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 小川 勝, 小島 明子, 山根 秀憲

回答者数 27名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	13	9	5	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	10	7	0	0	0	4.1
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	11	10	6	0	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	8	9	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	11	12	4	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	11	6	0	0	0	4.1
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	14	8	4	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	11	4	3	0	0	4.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	7	7	8	5	0	0	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	7	8	5	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	14	4	0	0	0	4.2



総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

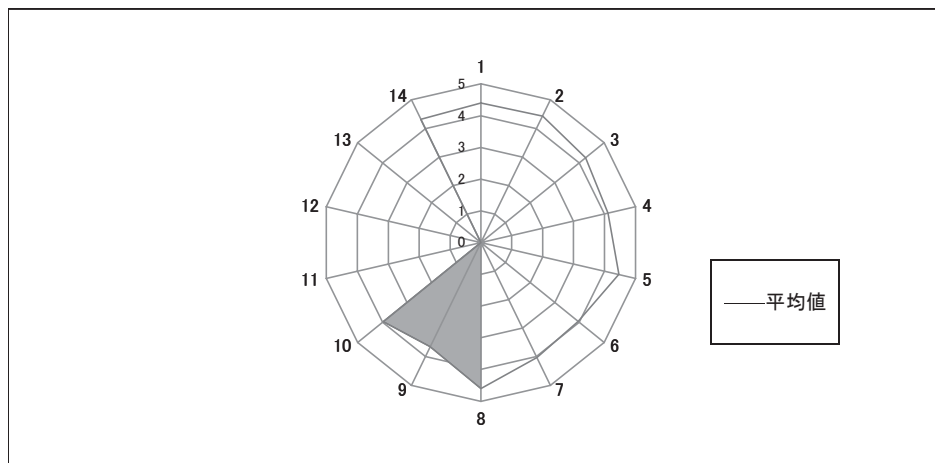
授業科目名 阿波学(地域文化研究)

評価実施日 平成24年10月3日

担当教員名 梶井 一暁, 伴 恒信, 皆川 直凡, 田村 隆宏, 中津 郁子, 久米 禎子, 小倉 正義, 大石 雅章, 山本 準, 立岡 裕士, 町田 哲, 山森 直人, 山根 秀憲, 内藤 隆, 木原 資裕, 南 隆尚, 宮下 晃一, 藤原 伸彦, 新見 員子

回答者数 50名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3



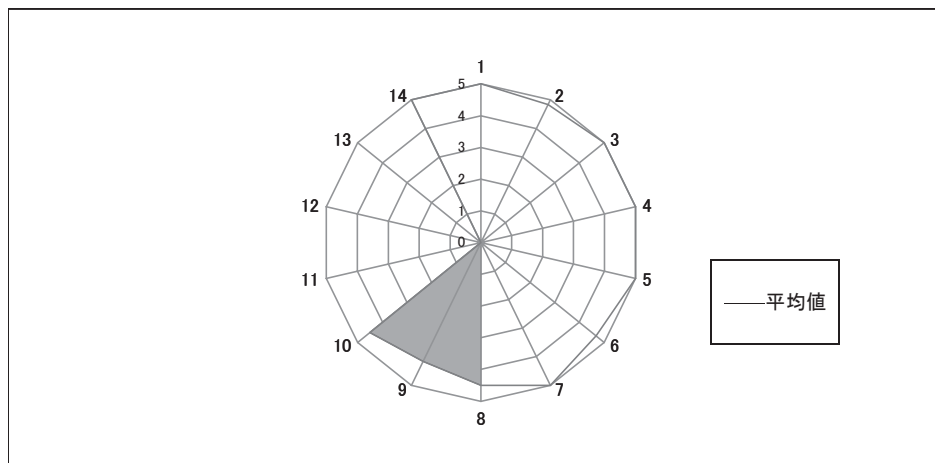
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 日本事情・日本文化  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 田中 大輝

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

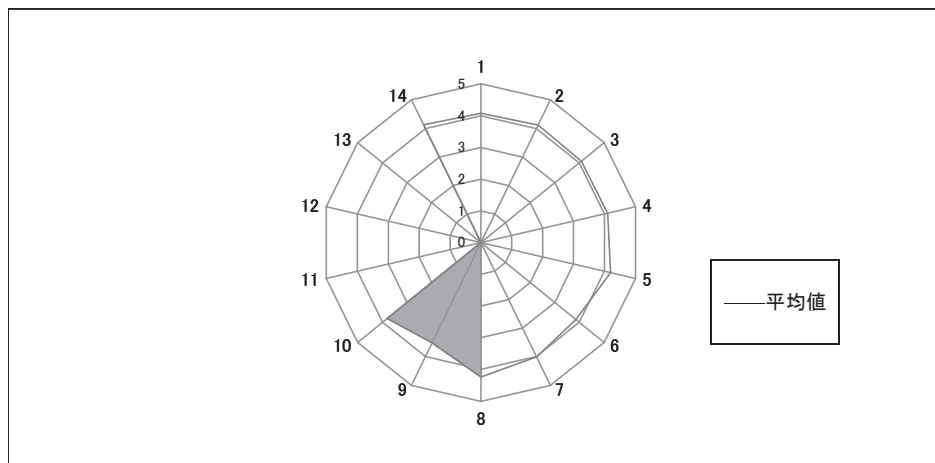
授業科目名 基礎情報教育A・B

評価実施日 平成24年7月26日

担当教員名 藤村 裕一, 林 秀彦, 曾根 直人

回答者数 78名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.1



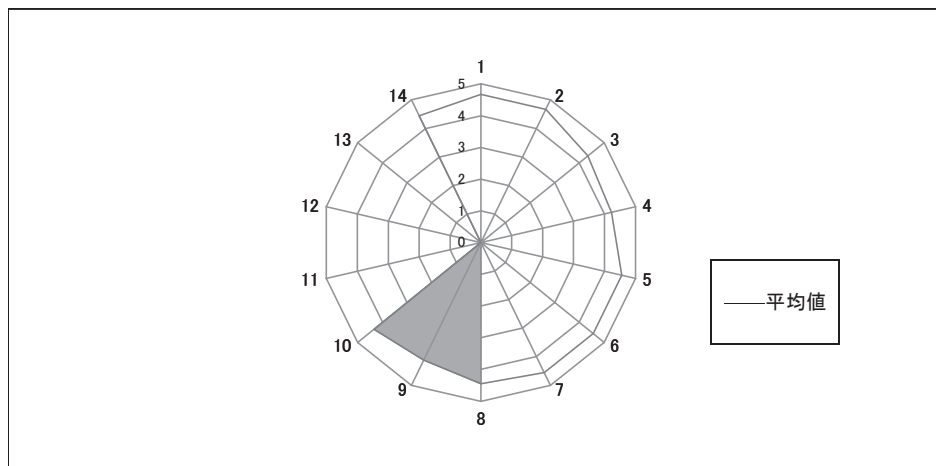
総合評価 4.1

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 実践情報教育 I A  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 林 秀彦

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	1	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	2	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	1	1	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	3	1	1	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	5	0	0	0	0	4.4



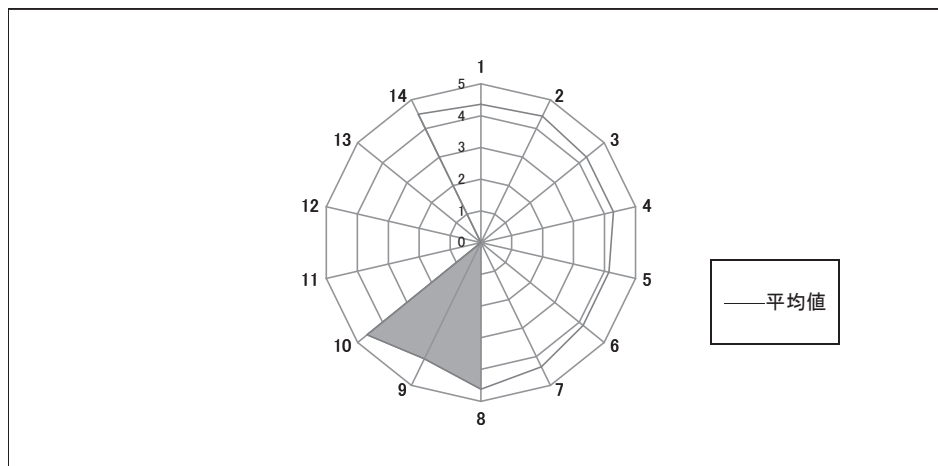
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育 I B  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 林 秀彦

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



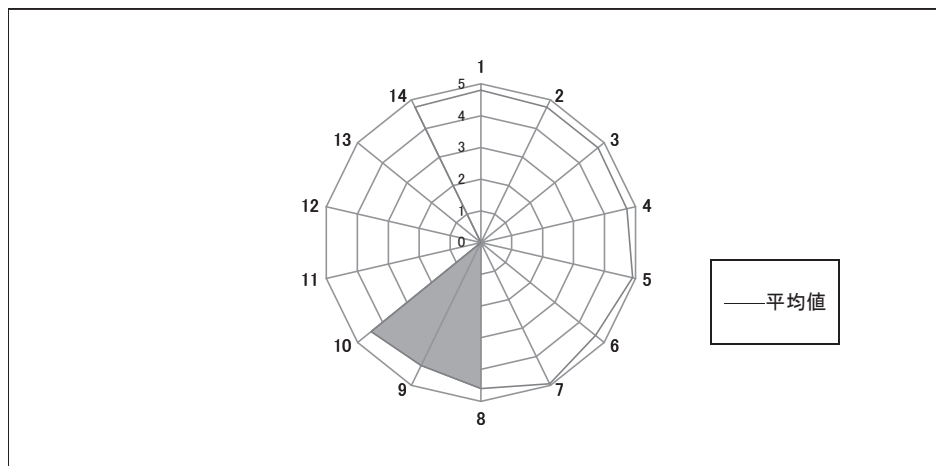
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育ⅡA  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.8**

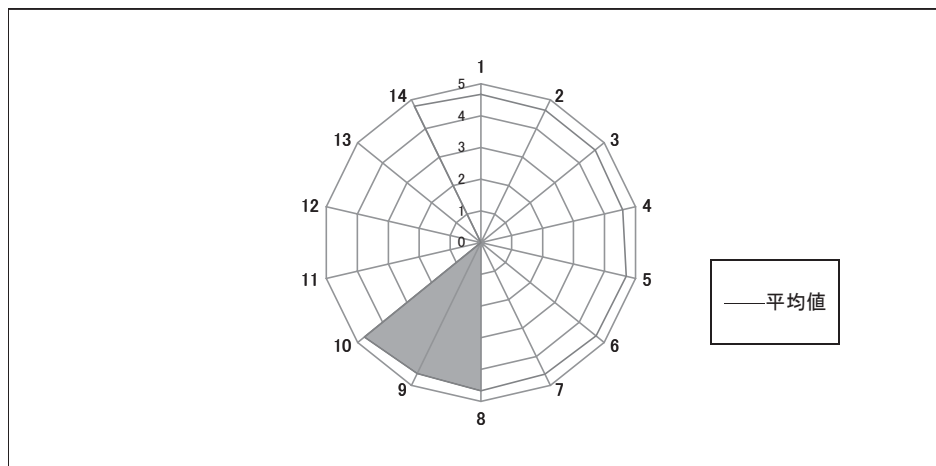
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 実践情報教育ⅡB  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 36名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	24	12	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	11	1	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	9	2	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	23	11	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	26	9	1	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	25	10	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	10	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	24	12	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	23	11	2	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	27	8	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	29	6	1	0	0	0	4.8



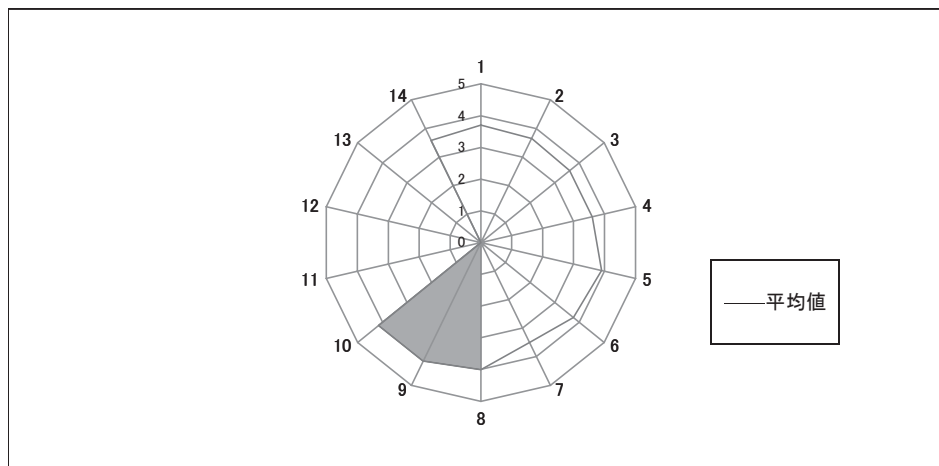
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育Ⅲ  
 評価実施日 平成24年8月1日  
 担当教員名 長濱 太造

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	6	5	2	1	0	3.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	5	3	4	1	0	3.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	7	1	2	0	3.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	8	5	2	1	0	3.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	3	4	1	2	0	3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	6	2	1	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	5	2	3	3	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	6	4	2	0	0	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	8	3	1	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	6	5	0	0	1	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	4	3	3	2	1	3.6



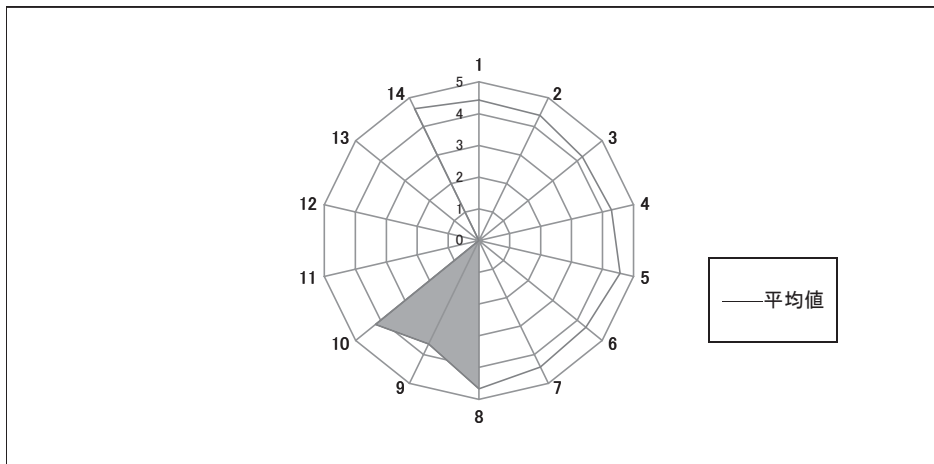
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I C  
 評価実施日 平成24年7月17日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	6	3	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	9	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	9	4	0	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	9	3	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	5	2	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	8	0	2	0	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	4	4	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	7	0	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	6	5	3	1	0	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	9	4	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	8	0	0	0	0	4.6



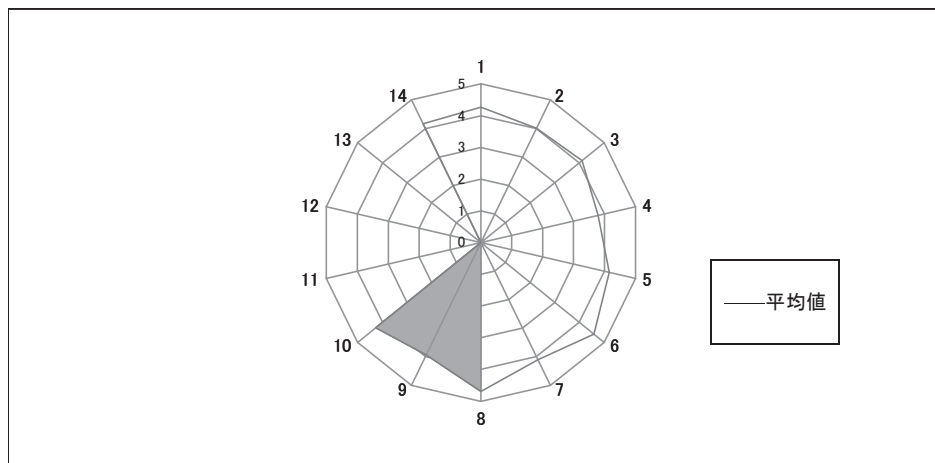
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I D  
 評価実施日 平成24年7月17日  
 担当教員名 ブレント ロジャース

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	4	3	0	1	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	1	4	2	1	0	4.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	3	2	2	1	0	4.1
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	6	1	1	0	3.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	1	4	1	1	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	2	3	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	7	3	0	1	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	2	2	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	6	3	1	1	1	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	4	3	0	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	3	2	0	2	1	4.2



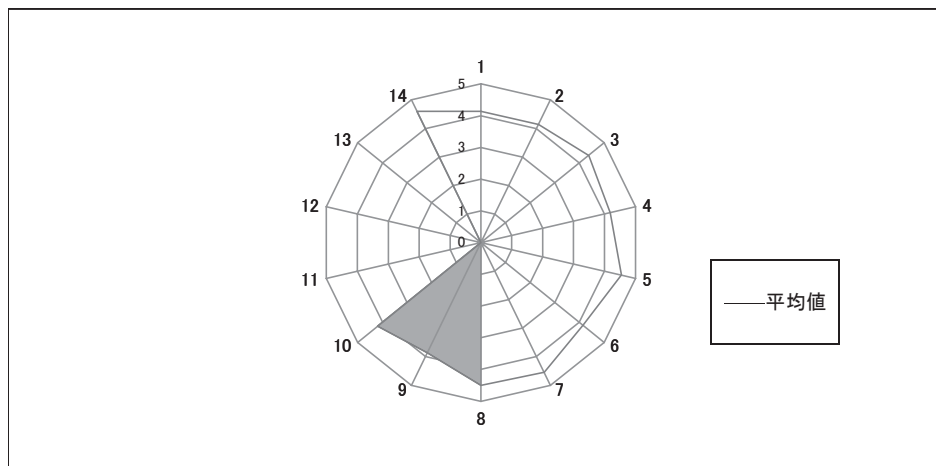
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I E  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 鎌田 スザン

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



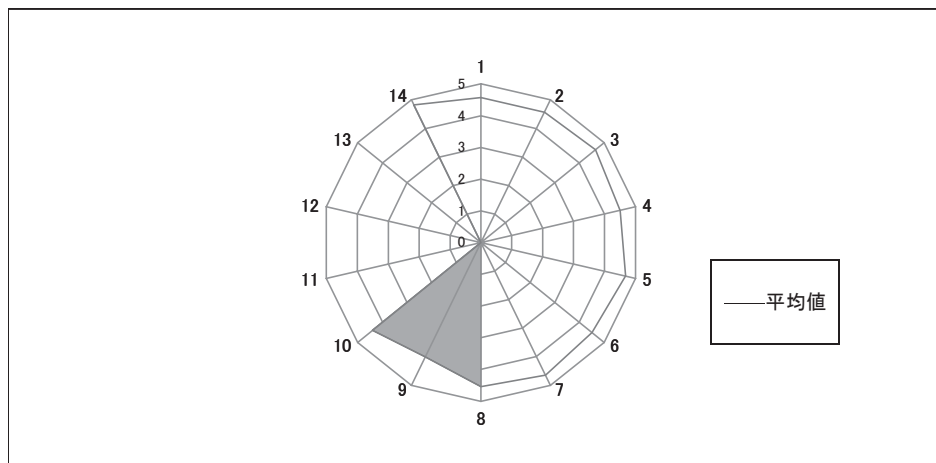
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡA  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 鎌田-スザン

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	12	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	12	0	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	6	2	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	12	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	20	7	1	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	12	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	6	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	7	3	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	10	7	0	1	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	9	4	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	5	0	0	0	0	4.8



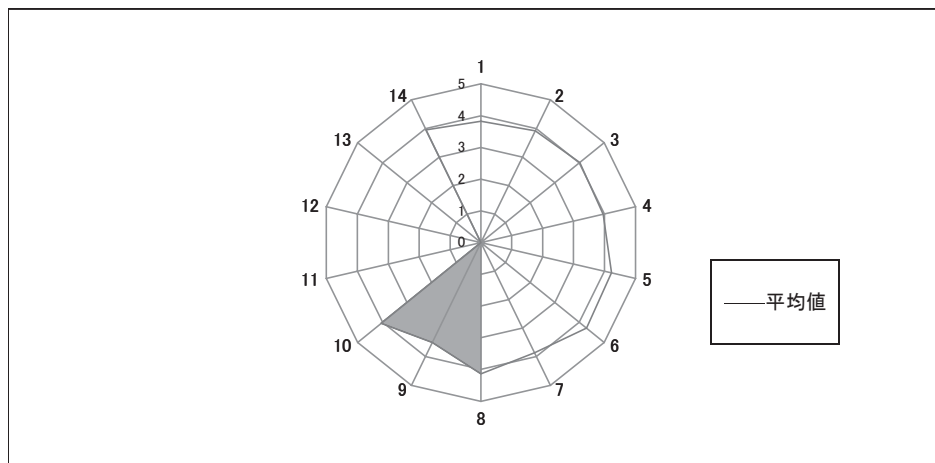
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡB  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 22名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	13	5	1	0	0	3.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	12	6	0	0	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	9	5	1	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	11	6	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	7	5	0	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	10	3	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	11	5	0	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	11	4	0	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	8	9	1	1	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	10	4	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	9	7	0	0	0	4.0



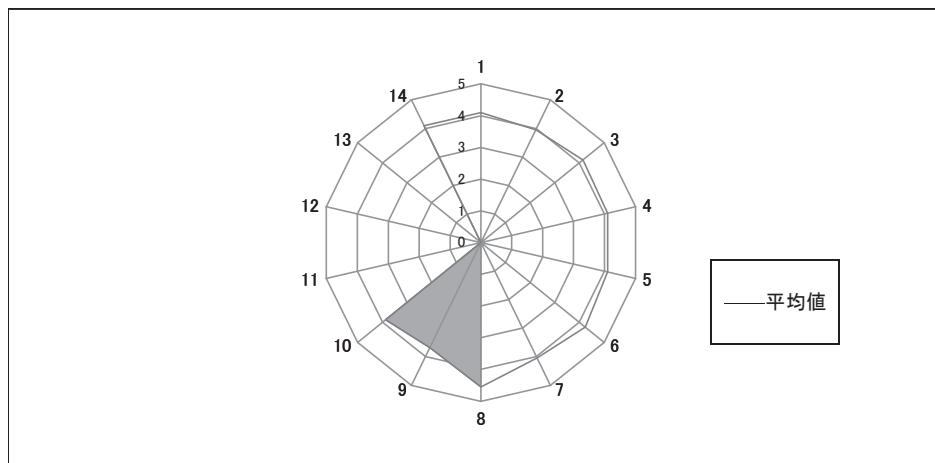
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡC  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 ブレント ロジャース

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



総合評価 4.1

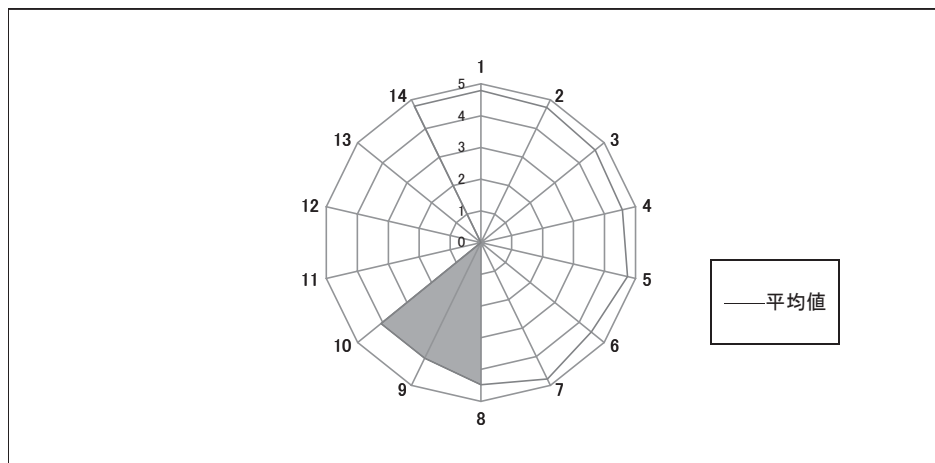
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語コミュニケーションⅢA  
 評価実施日 平成24年7月17日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



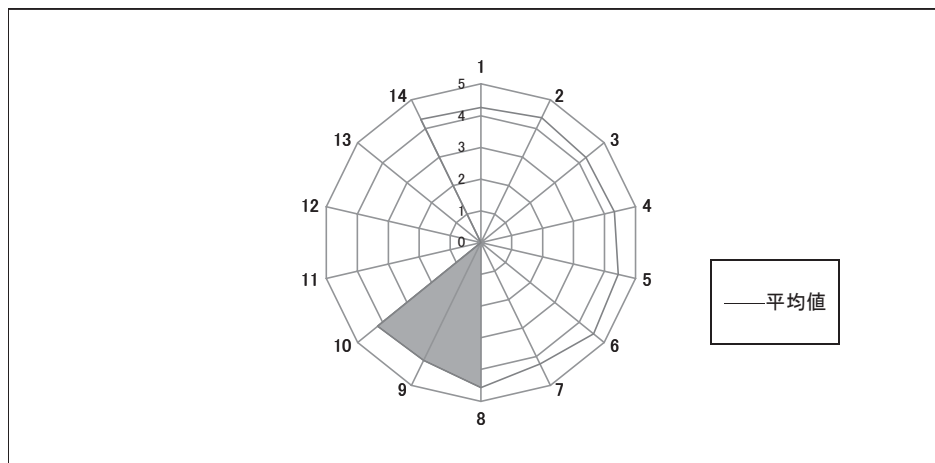
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢB  
 評価実施日 平成24年7月17日  
 担当教員名 ブレント ロジャース

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



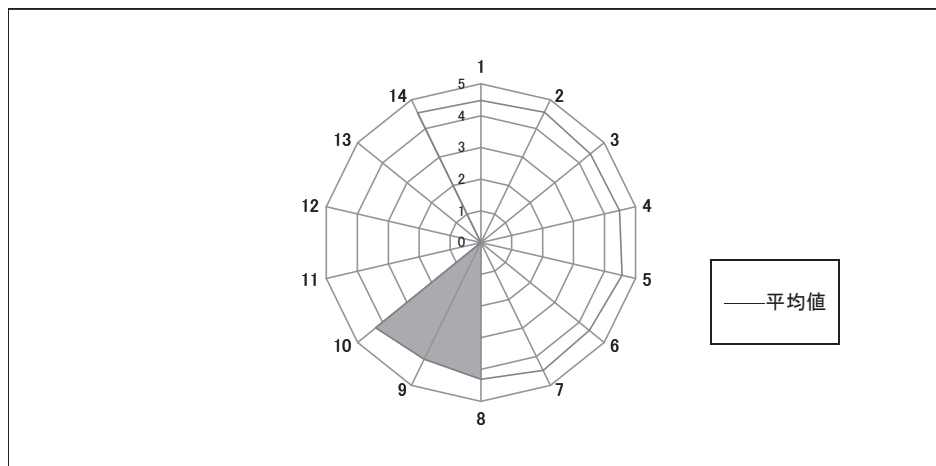
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢD  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 鎌田 スザーン

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



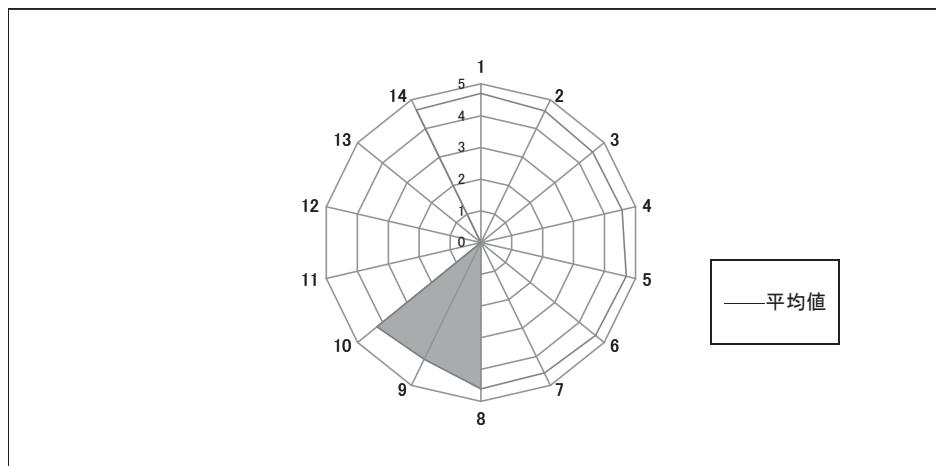
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVC  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 鎌田-スザン

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



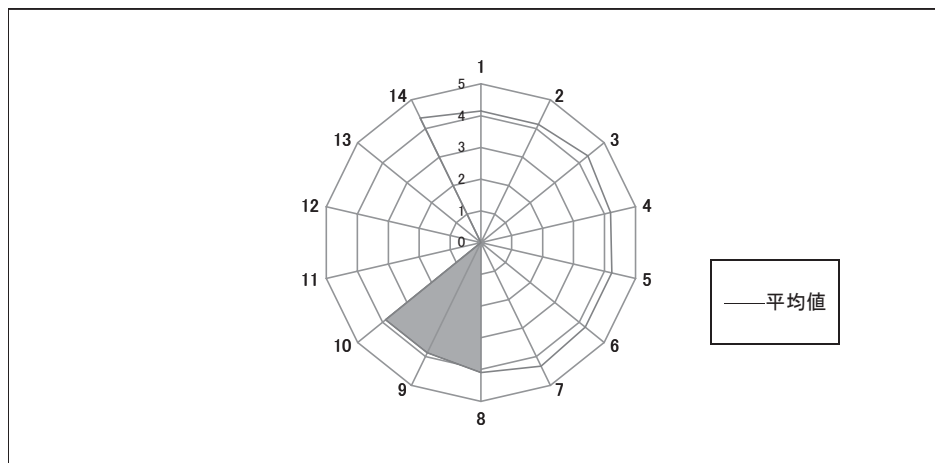
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVD  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	10	4	0	0	0	4.1
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	8	5	0	0	0	4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	10	2	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	9	4	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	8	4	0	0	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	8	4	0	0	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	10	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	8	4	1	0	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	9	6	1	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	11	5	1	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	6	3	0	0	2	4.4



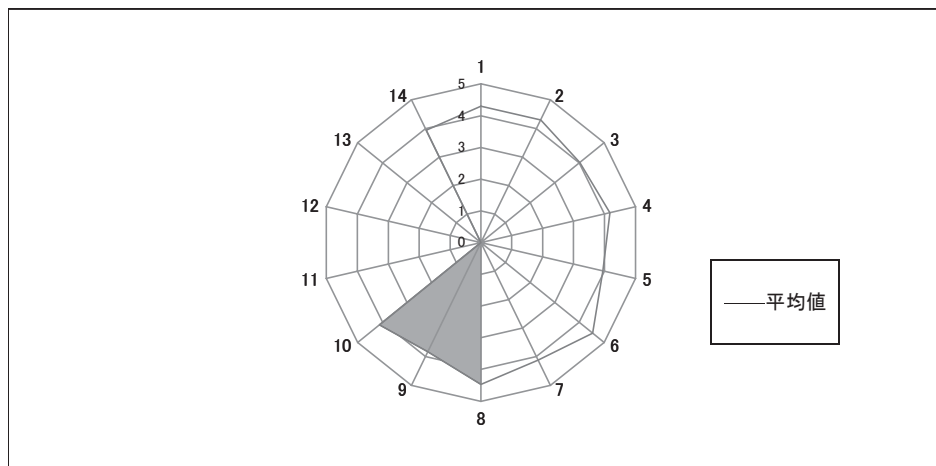
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅣE  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 ブレント ロジャース

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.9



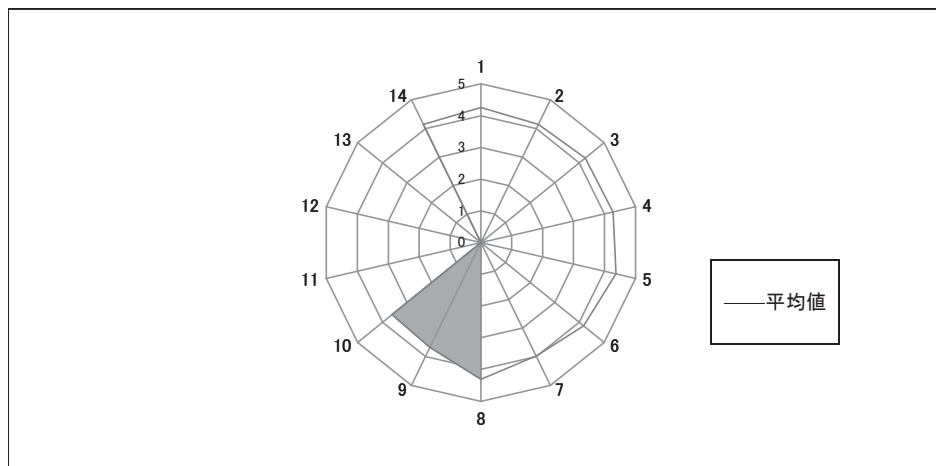
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I A  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 36名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	17	13	5	0	1	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	9	9	0	1	0	4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	17	12	5	2	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	18	11	6	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	8	6	1	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	16	13	4	3	0	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	9	9	2	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	21	8	5	1	1	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	13	10	1	3	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	11	12	1	3	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	9	4	0	3	2	4.1



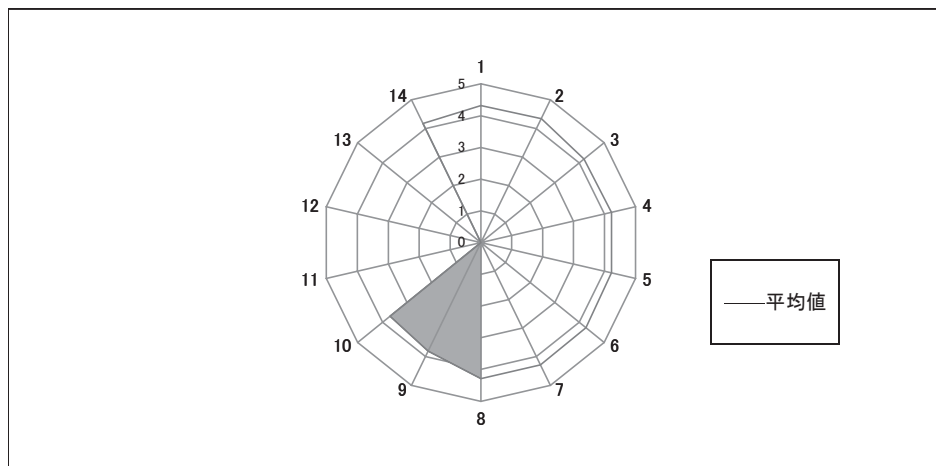
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I B  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 35名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	18	3	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	20	8	6	1	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	11	7	1	0	1	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	14	5	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	8	8	1	0	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	9	7	1	0	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	12	5	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	17	11	7	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	10	8	4	1	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	9	10	3	2	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	11	5	1	1	1	4.2



総合評価 4.3

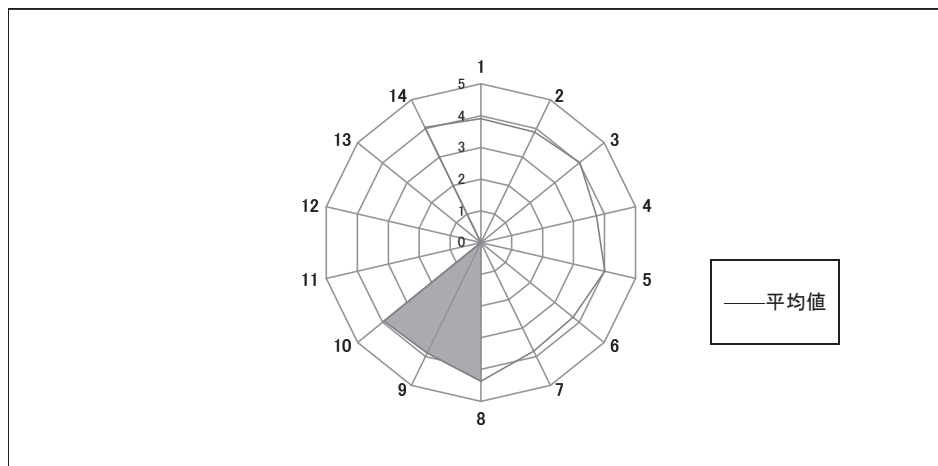
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語リーディング I C  
 評価実施日 平成24年8月3日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 30名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	14	8	1	0	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	12	11	0	0	0	3.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	13	7	1	0	0	4.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	10	11	2	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	7	10	1	0	0	4.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	7	6	5	1	0	3.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	9	9	3	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	17	8	4	1	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	8	8	2	1	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	10	6	2	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	8	8	1	0	2	4.0



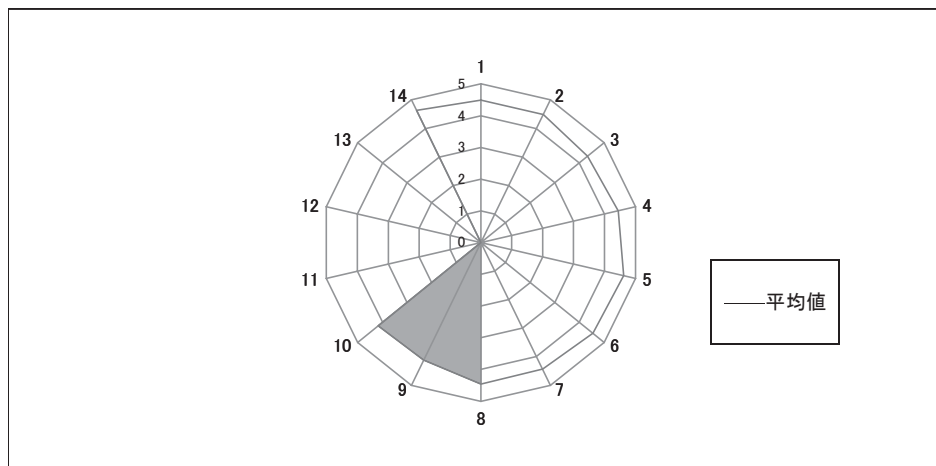
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡA  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 37名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	20	15	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	13	3	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	17	4	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	19	15	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	24	12	1	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	13	2	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	14	2	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	21	12	4	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	17	11	6	2	1	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	11	5	2	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	13	0	0	0	2	4.6



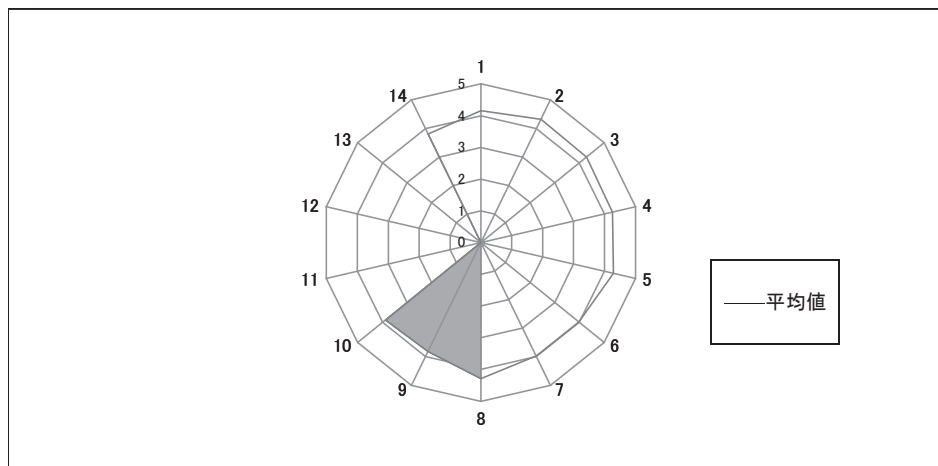
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡB  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 32名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	17	5	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	12	5	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	11	6	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	16	4	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	15	4	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	15	7	0	1	0	4.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	13	10	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	14	3	1	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	15	7	3	0	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	13	7	3	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	13	8	1	1	2	3.8



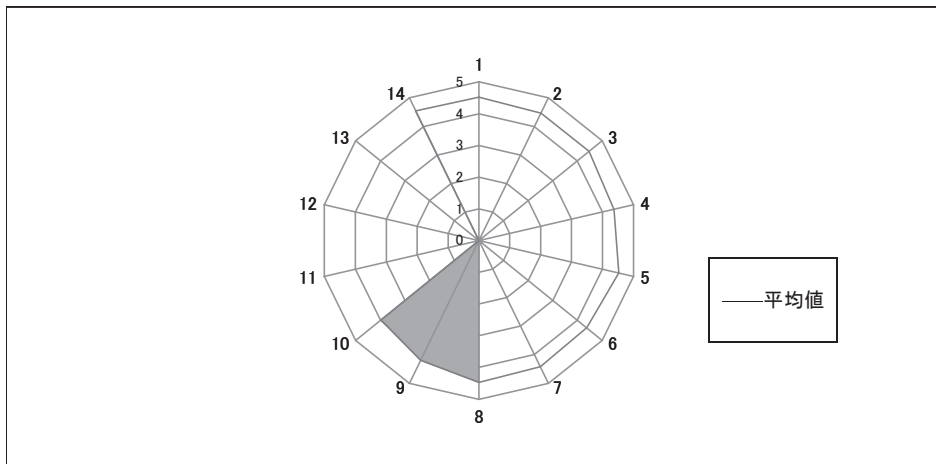
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡC  
 評価実施日 平成25年3月1日  
 担当教員名 伊東 治己

回答者数 41名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



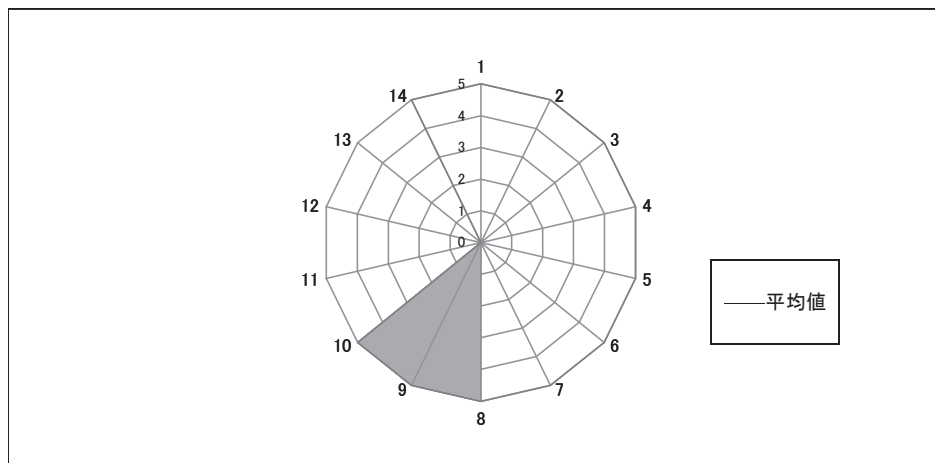
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅣ  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



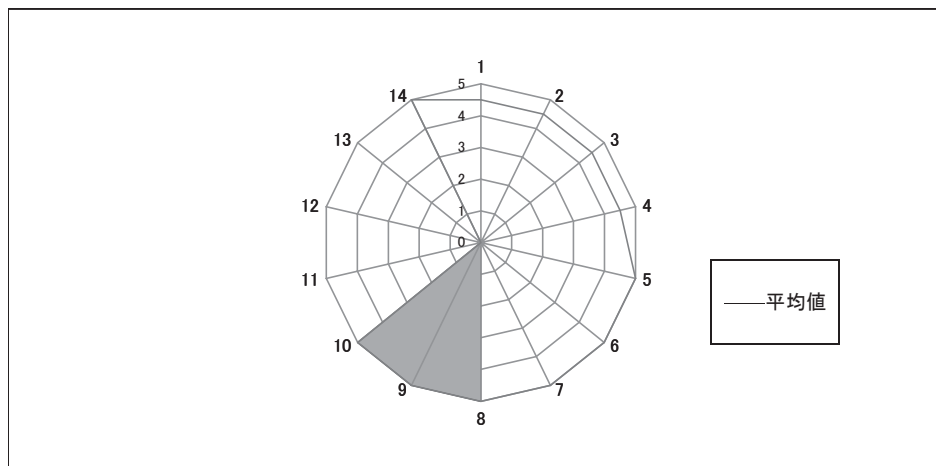
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語 I  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 桂 修治

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



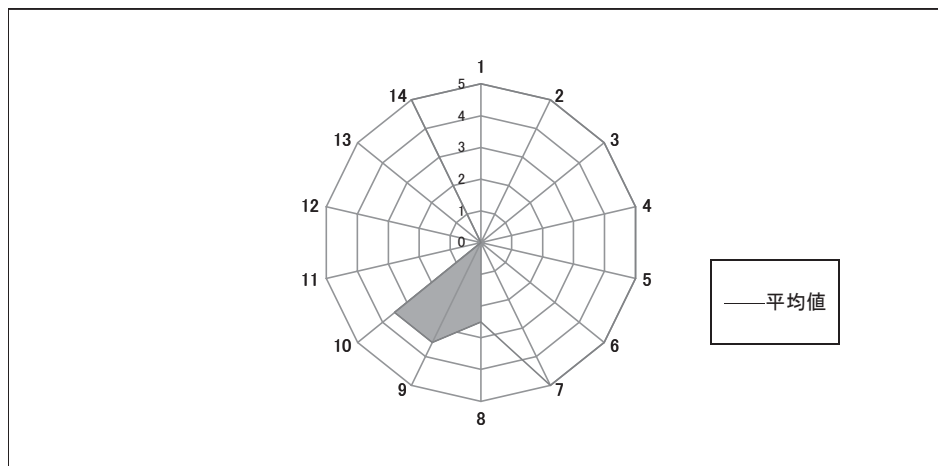
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 桂 修治

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						2.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



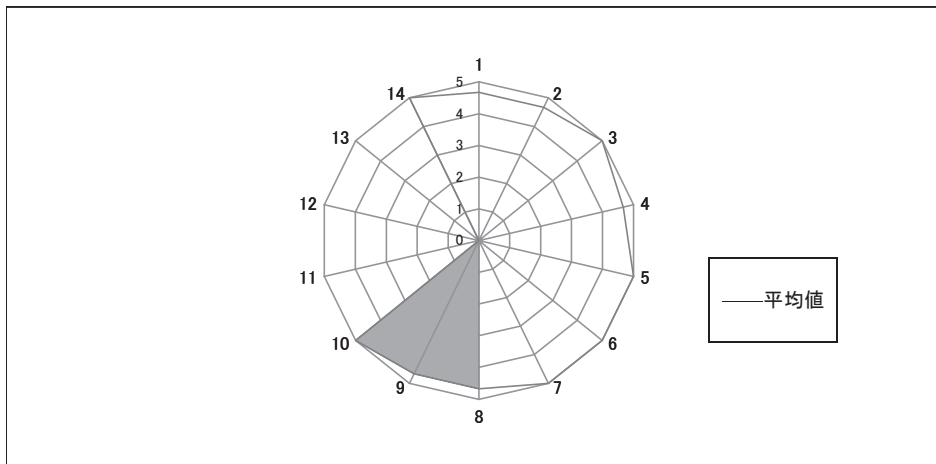
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 フランス語 I  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 木村 敦子

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

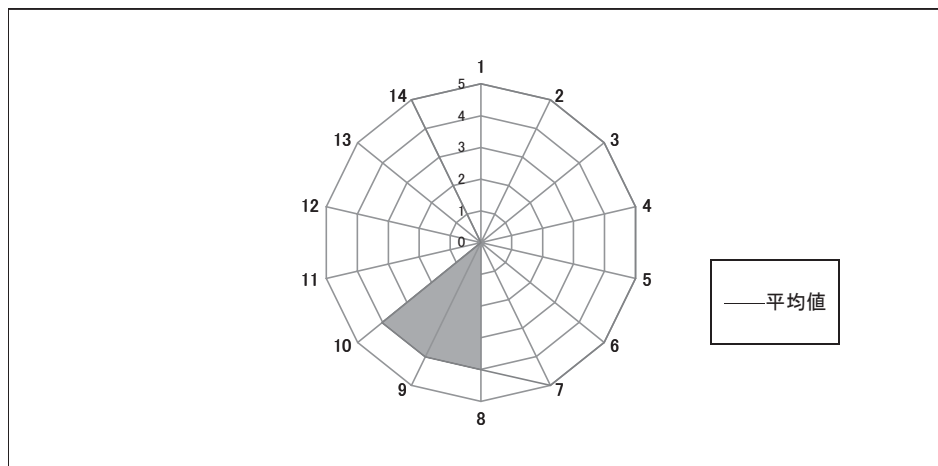
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 フランス語Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 木村 敦子

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



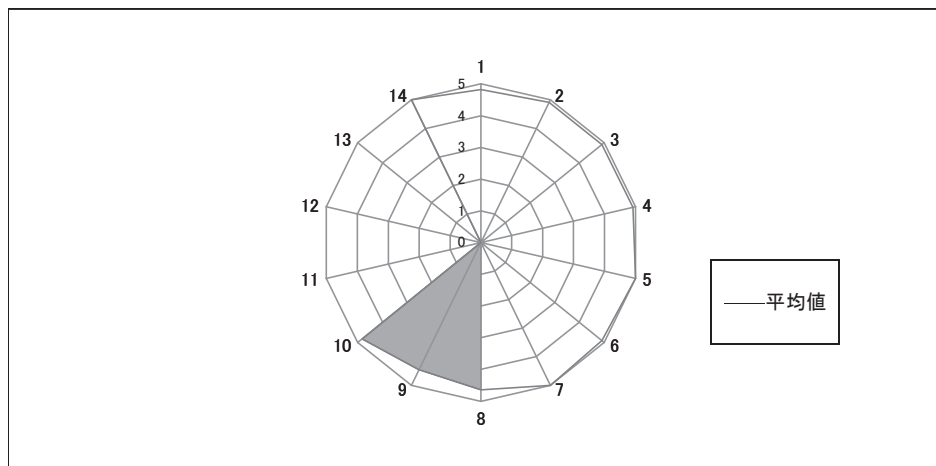
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中国語 I  
 評価実施日 平成25年1月30日  
 担当教員名 金 英傑

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



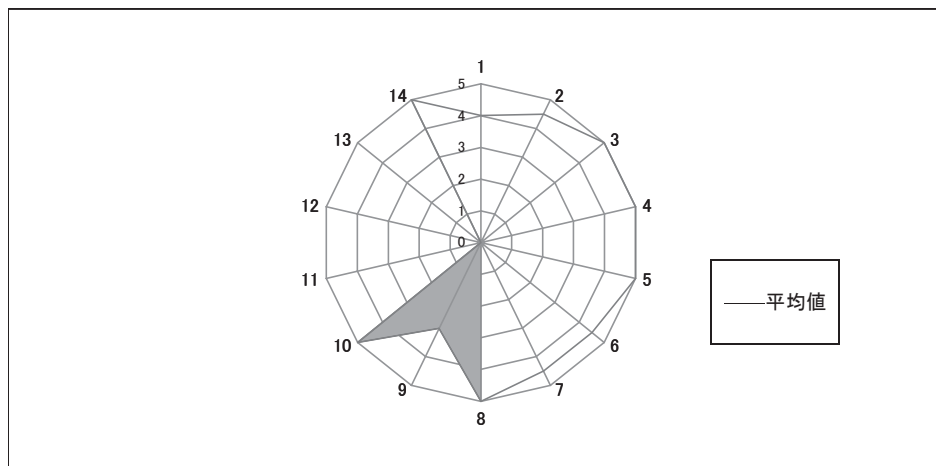
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中国語Ⅱ  
 評価実施日 平成25年1月30日  
 担当教員名 金 英傑

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.7**

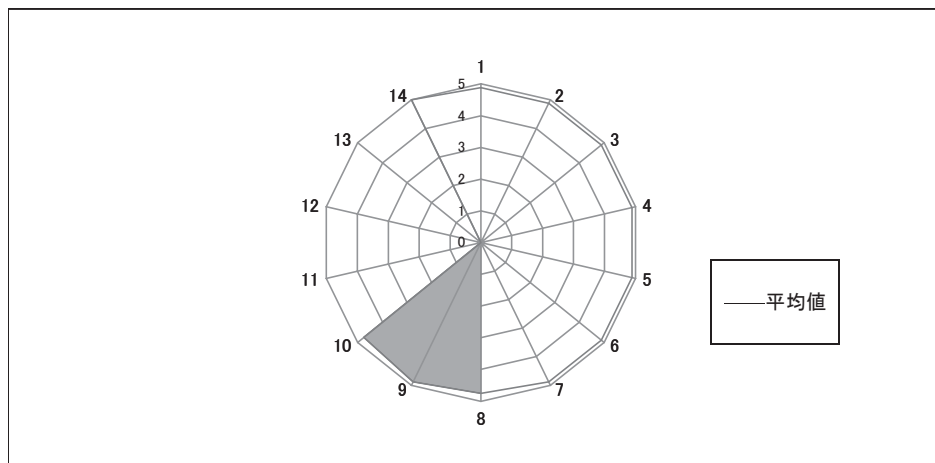
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 表現コミュニケーション基礎演習

評価実施日 平成25年2月15日

担当教員名 吉井 健治, 今田 雄三, 葛西 真紀子, 粟飯原 良造, 小倉 正義 回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 4.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

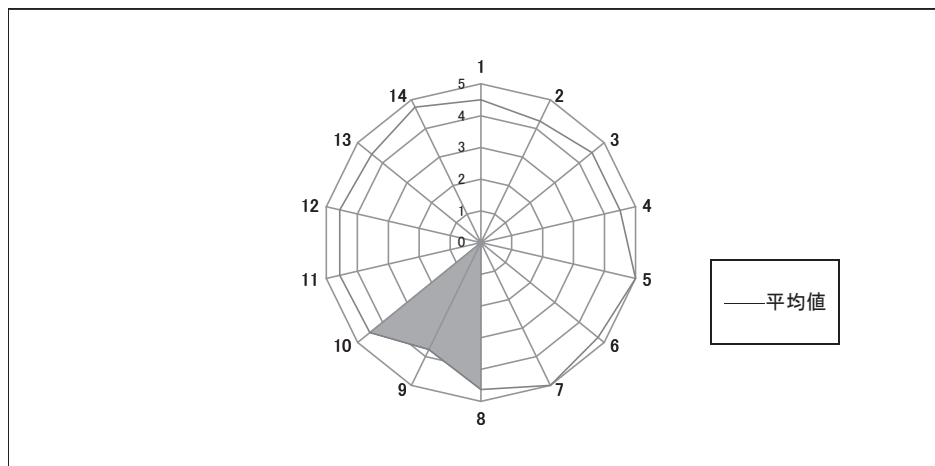


# 教育実践コア科目

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(学校教育実践)  
 評価実施日 平成24年7月18日  
 担当教員名 葛上 秀文、阪根 健二、小倉 正義、木下 光二、藤原 伸彦、前田 洋一、阿形 恒秀、江川 克弘、佐藤 公子

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.6**

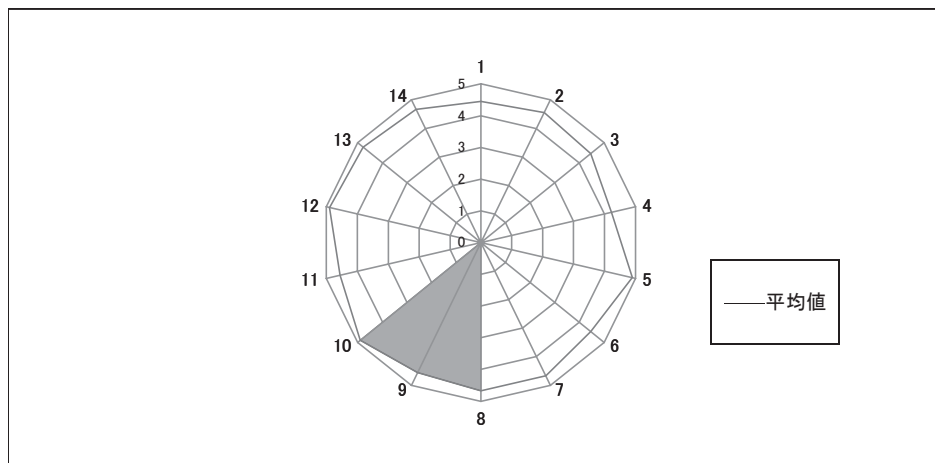
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(国語)

評価実施日 平成24年7月18日

担当教員名 小島 明子, 原 卓志, 茂木 俊伸, 小野 由美子, 永田 良太, 佐藤 公子 回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.6

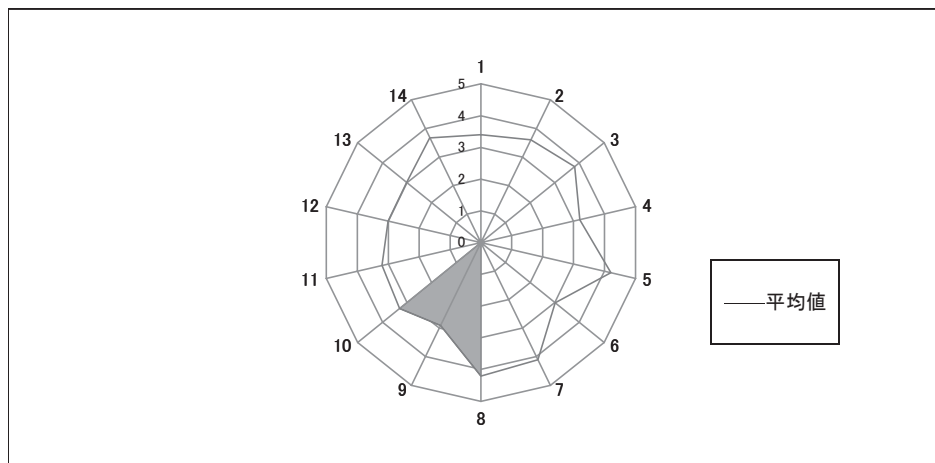
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(英語)  
 評価実施日 平成24年7月18日  
 担当教員名 前田 一平, 山森 直人, 眞野 美穂, 佐藤 公子

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						2.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						3.2
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.0
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.7

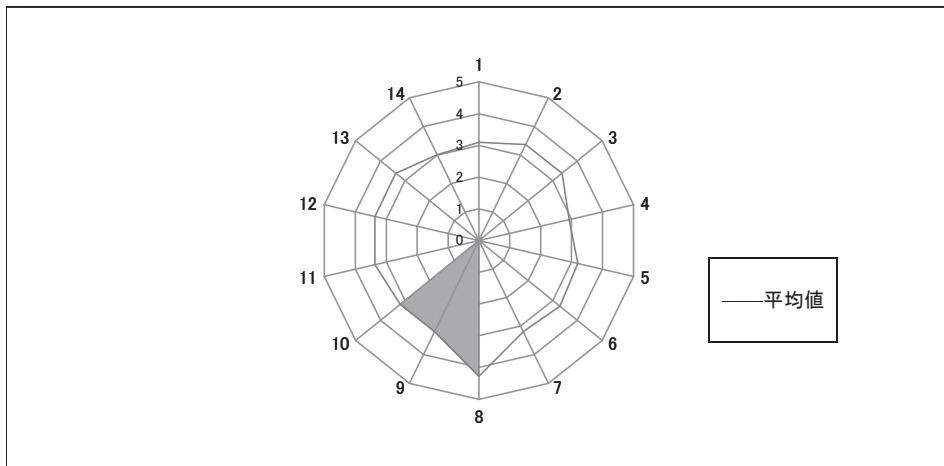


総合評価 3.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(社会)  
 評価実施日 平成24年7月18日  
 担当教員名 青葉 暢子, 立岡 裕士, 梅津 正美, 佐藤 公子, 井上 隆 回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						2.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						3.4
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.0



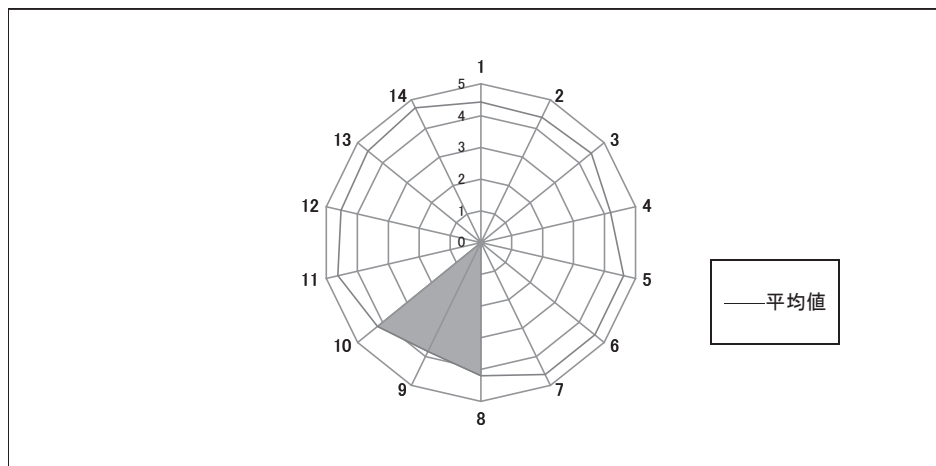
総合評価 **3.2**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(算数・数学)  
 評価実施日 平成24年7月18日  
 担当教員名 坂井 武司, 佐藤 公子

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	10	1	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	11	1	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	5	3	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	10	2	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	4	2	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	8	0	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	4	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	9	1	2	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	8	5	1	1	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	9	1	2	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	13	5	1	0	0	2	4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	11	7	1	0	0	2	4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	12	6	1	0	0	2	4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	4	1	0	0	0	4.7



総合評価 **4.5**

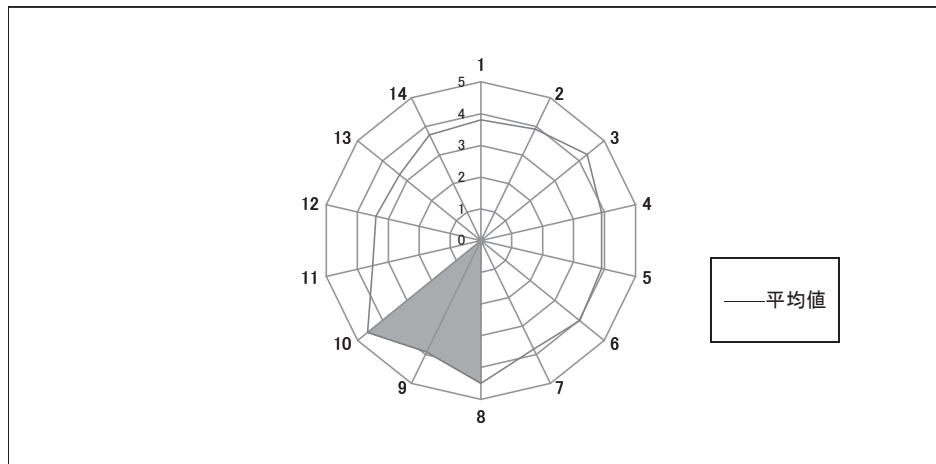
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(理科)

評価実施日 平成24年7月18日

担当教員名 米澤 義彦, 村田 守, 早藤 幸隆, 寺島 幸生, 佐藤 公子 回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	6	1	0	1	0	3.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	1	0	1	0	3.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	1	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	1	0	1	0	3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	5	1	0	1	0	3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	5	2	0	0	1	4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	8	0	0	1	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	5	3	0	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	6	1	1	1	0	3.5
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	5	2	1	1	0	3.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	5	4	0	1	0	3.3
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	7	1	0	1	0	3.7

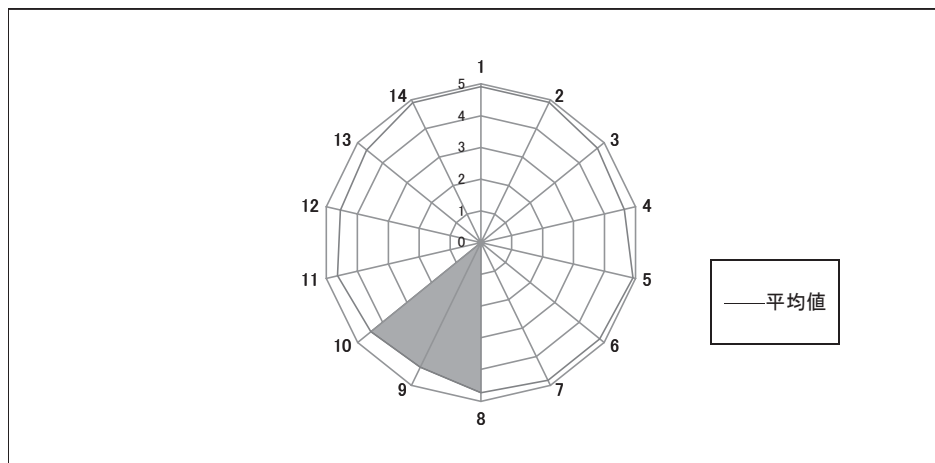


総合評価 3.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(音楽)  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 長島 真人, 山田 啓明, 佐藤 公子, 島田 郁子, 米田 幸子 回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

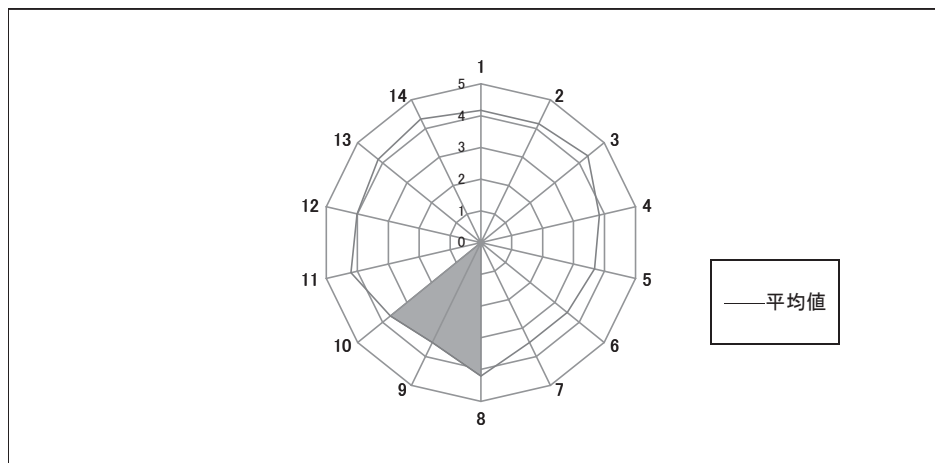
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(図工・美術)

評価実施日 平成24年7月18日

担当教員名 武市 勝, 小川 勝, 山田 芳明, 栗原 慶, 佐藤 公子 回答者数 6名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	3	2	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	4	2	0	0	0	3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	2	2	1	0	0	3.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	2	2	1	0	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	2	1	0	0	1	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	1	2	0	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	2	1	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	2	1	0	0	1	4.2
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	3	1	0	0	0	4.2
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	4	0	0	0	0	4.3



総合評価 4.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

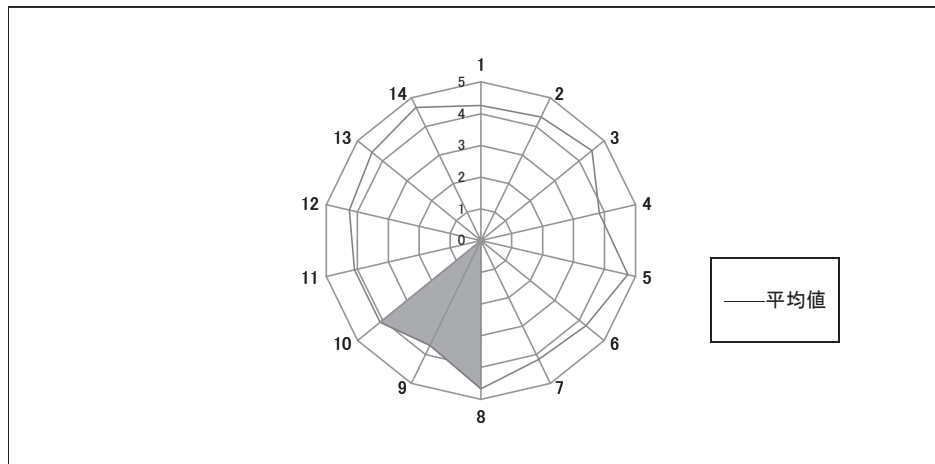
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(体育・保体)

評価実施日 平成24年7月4日

担当教員名 梅野 圭史, 藤田 雅文, 佐藤 公子

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.1
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.3
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

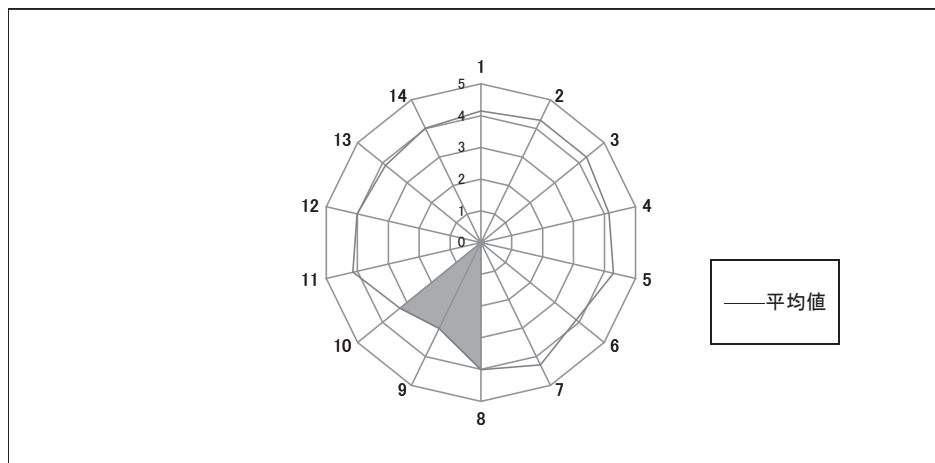
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(技術)

評価実施日 平成24年7月18日

担当教員名 尾崎 士郎, 伊藤 陽介, 菊地 章, 宮下 晃一, 米延 仁志, 宮本 賢治, 畑中 伸夫, 佐藤 公子

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.1
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.9
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.0



総合評価 4.1

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(家庭)

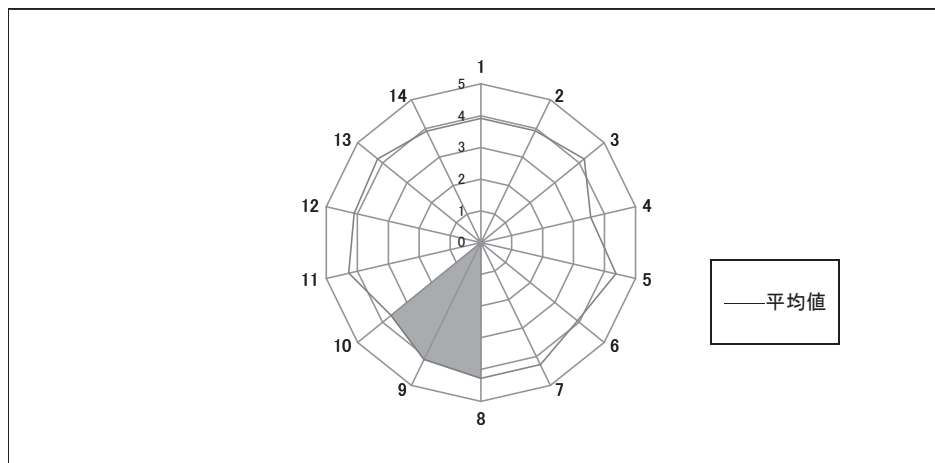
評価実施日 平成24年7月18日

担当教員名 西川 和孝, 黒川 衣代, 金 貞均, 佐藤 公子, 阿望 聡子, 元木 康代

回答者数

11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	4	4	0	0	0	3.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	2	1	0	0	3.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	5	2	0	0	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	5	1	0	0	3.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	3	2	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	4	2	0	1	0	3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	4	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	2	3	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	3	2	1	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	2	5	1	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	4	2	0	0	0	4.3
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	4	3	0	0	0	4.1
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	5	2	0	0	0	4.2
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	3	2	0	1	1	3.9



総合評価 4.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

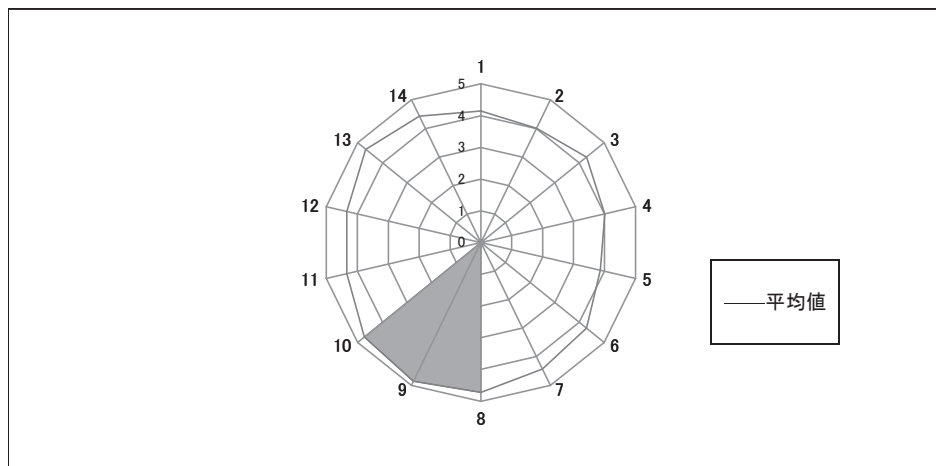
授業科目名 学校教育実践 I

評価実施日 平成24年7月26日

担当教員名 木下 光二, 藤原 伸彦, 阪根 健二

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	6	0	0	0	0	4.1
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	7	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	5	0	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	5	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	5	0	0	0	0	4.3
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	4	0	0	0	1	4.3
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	4	0	0	0	1	4.3
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	2	0	0	0	1	4.7
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	4	0	0	0	0	4.4



総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

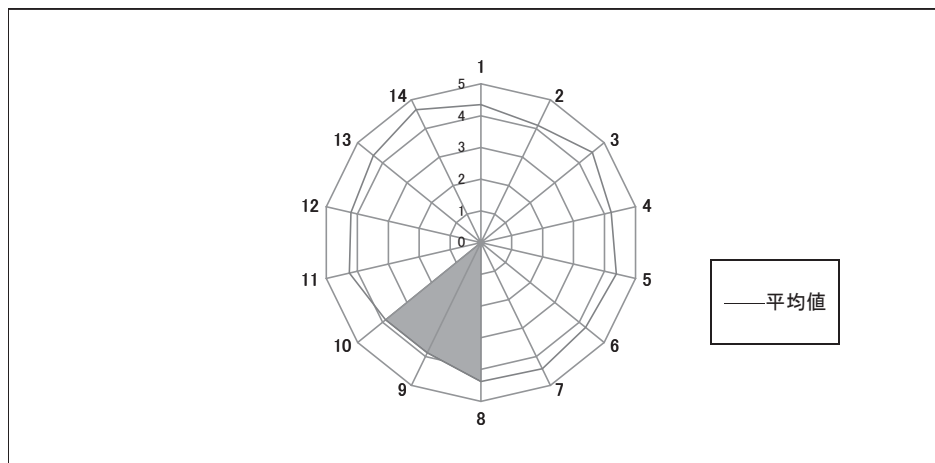
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (国語)

評価実施日 平成25年2月6日

担当教員名 余郷 裕次, 原 卓志, 田村 隆宏, 横山 武文

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	12	15	2	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	13	5	1	0	0	4.1
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	16	12	1	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	12	5	0	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	17	8	2	2	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	14	10	3	2	0	0	4.2
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	15	11	3	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	15	10	4	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	7	14	5	3	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	13	7	2	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	9	3	0	0	9	4.3
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	8	8	4	0	0	9	4.2
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	9	9	2	0	0	9	4.4
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	21	6	2	0	0	0	4.7



総合評価 4.3

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

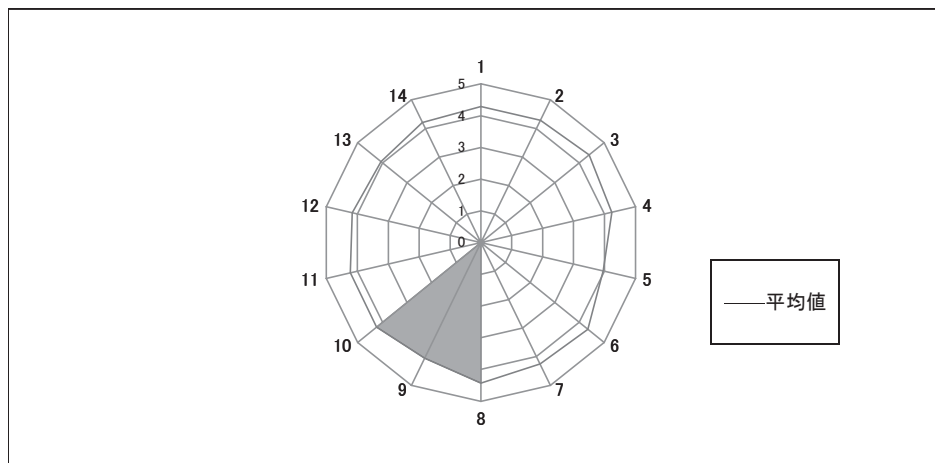
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (英語)

評価実施日 平成25年2月6日

担当教員名 伊東 治己, 藪下 克彦, 田村 隆宏, 長野 仁志

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	11	6	3	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	5	3	0	1	0	4.3
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	13	4	3	1	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	7	3	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	7	4	1	1	0	4.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	8	3	0	0	0	4.3
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	8	2	1	0	1	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	12	6	3	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	7	8	6	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	8	10	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	9	5	3	1	0	3	4.2
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	9	4	4	1	0	3	4.2
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	9	4	3	1	1	3	4.1
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	7	3	1	0	1	4.2



総合評価 4.2

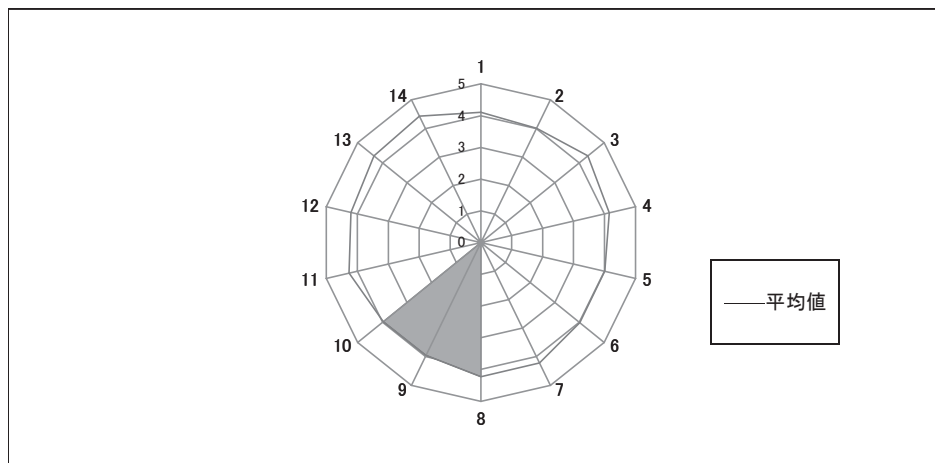
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (算数・数学)

評価実施日 平成25年2月6日

担当教員名 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 田村 隆宏, 石川 和幸 回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.2
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.3
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4

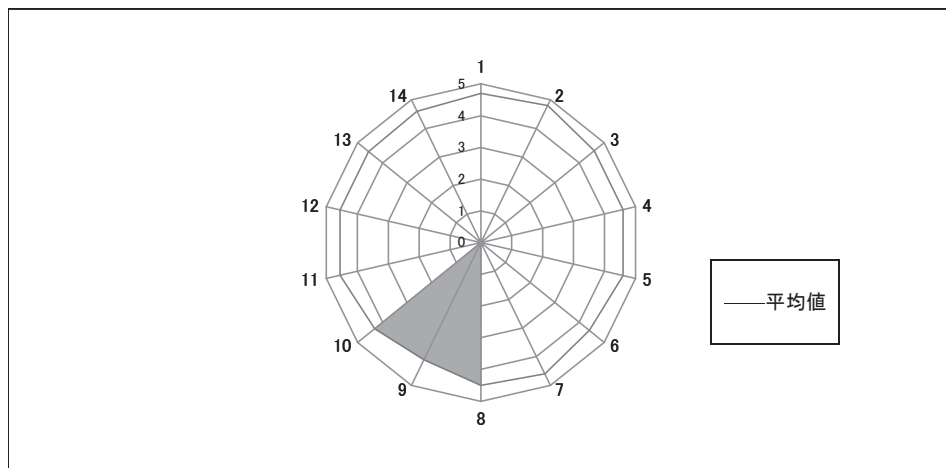


総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (音楽)  
 評価実施日 平成25年2月20日  
 担当教員名 長島 真人, 頃安 利秀, 田村 隆宏, 清水 美穂, 佐伯 順一 回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	0	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	2	2	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	2	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	1	2	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	5	1	4	0	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	1	3	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	1	0	0	1	4.6
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	2	1	0	0	1	4.6
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	1	0	0	1	4.6
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	2	1	0	0	0	4.6



総合評価 4.6

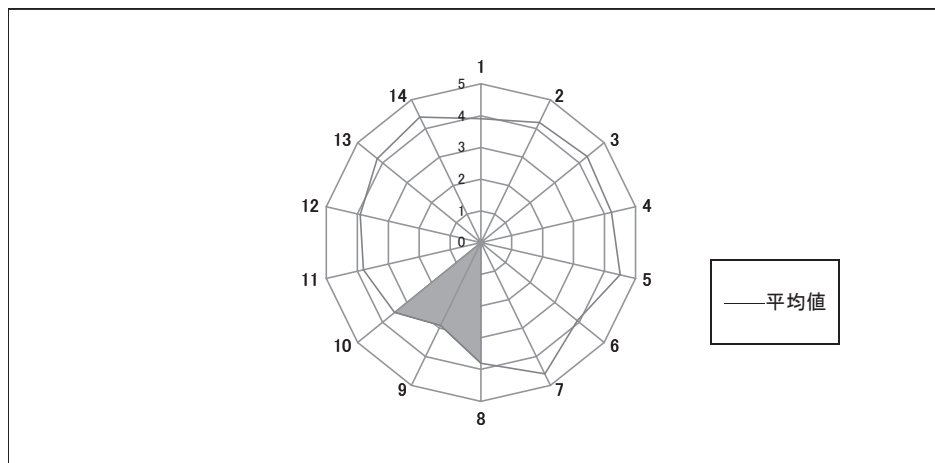
※上記項目の平均値 (大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (図工・美術)

評価実施日 平成25年1月30日

担当教員名 山木 朝彦, 武市 勝, 野崎 窮, 栗原 慶, 田村 隆宏, 佐々木 奏美 回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	5	3	0	0	0	3.9
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	6	1	0	0	0	4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	5	1	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	1	0	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	6	1	1	0	0	3.9
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	4	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	4	4	0	0	0	3.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	0	2	6	1	1	0	2.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	5	2	2	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	6	3	0	0	0	3.8
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	3	4	0	0	0	3.9
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	4	2	0	0	0	4.2
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	6	0	0	0	0	4.4

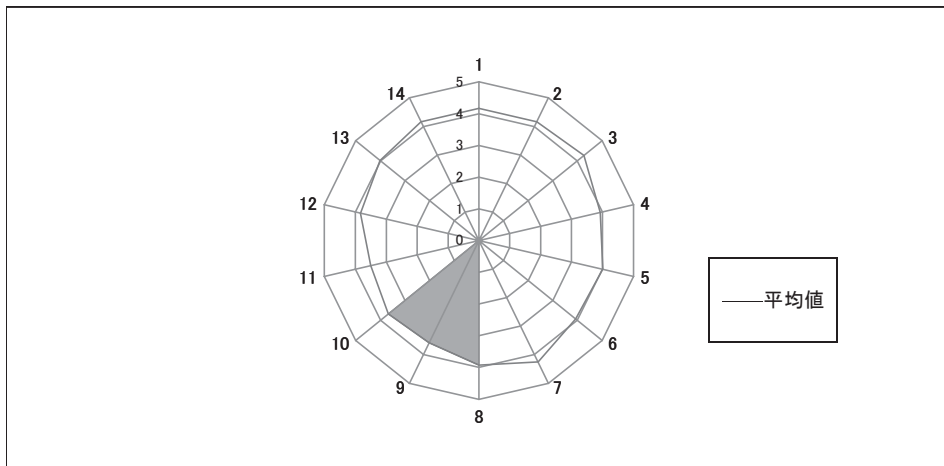


総合評価 4.2

※上記項目の平均値 (大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (体育・保体)  
 評価実施日 平成25年2月27日  
 担当教員名 木原 資裕, 綿引 勝美, 田村 隆宏, 富田 知之      回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						3.9
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						3.5
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.8
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.0
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



総合評価 4.0

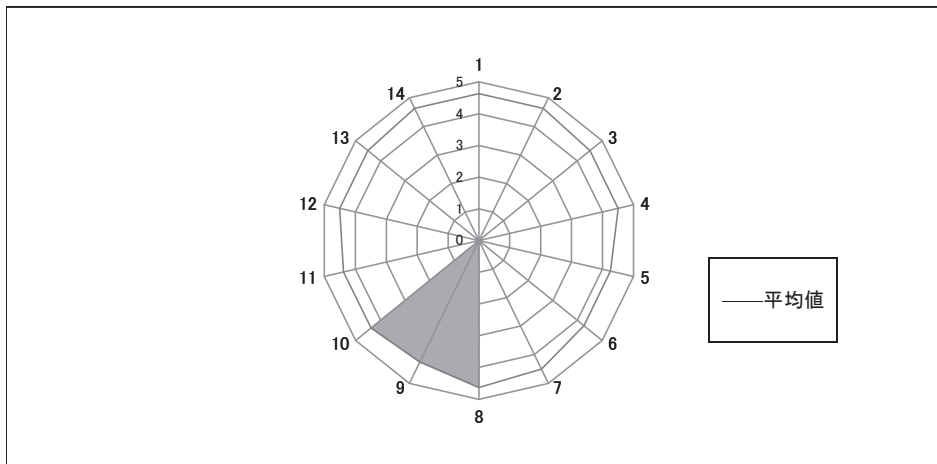
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 初等中等教科教育実践 I (技術)  
 評価実施日 平成25年2月27日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 米延 仁志, 田村 隆宏

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.4
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6



総合評価 4.5

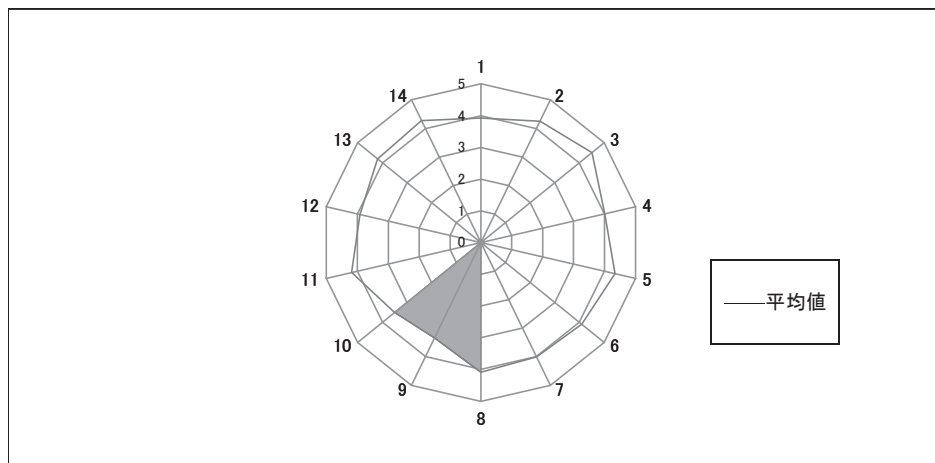
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (家庭)  
 評価実施日 平成25年1月30日  
 担当教員名

渡邊 廣二, 前田 英雄, 黒川 衣代, 金 貞均, 遠水 多佳子, 田村 隆宏, 香川 敦子, 江西 昭子, 木村 知枝

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.1
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.2
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						3.9
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.2
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3



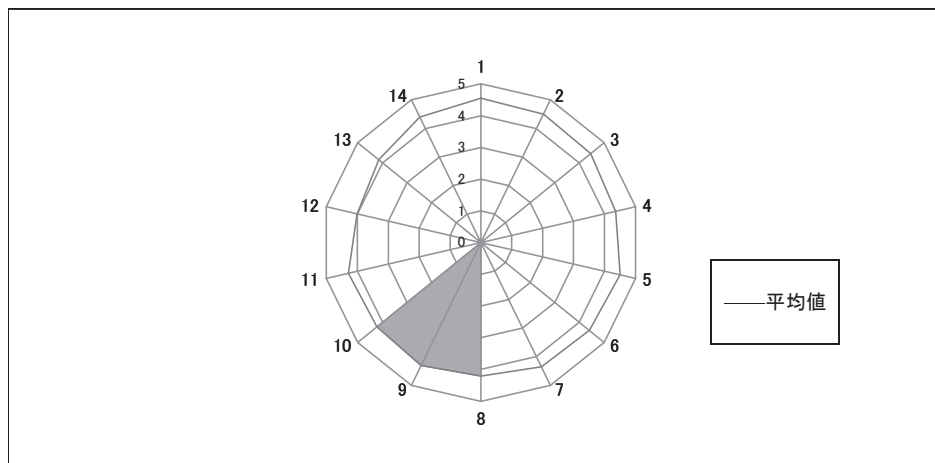
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(国語)  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 村井 万里子, 小島 明子, 河野 昌紀

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.1
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



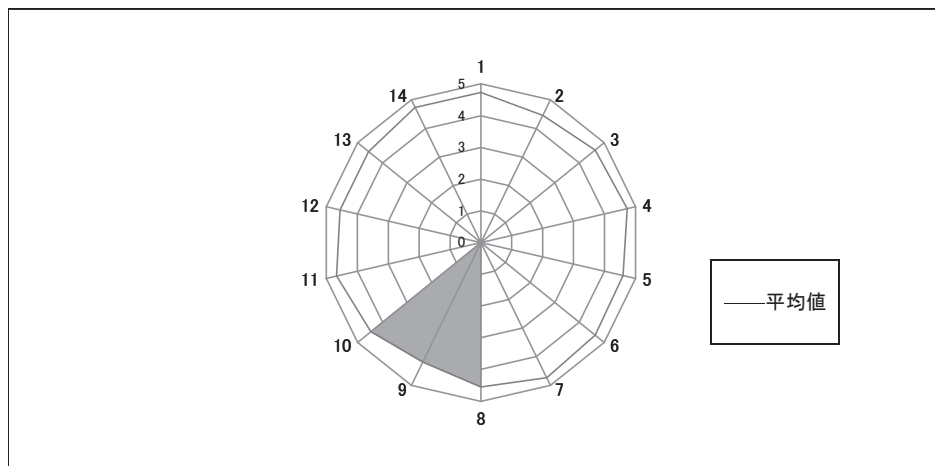
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(英語)  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 眞野 美穂, 畑江 美佳, 大牛 英則

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	4	0	0	0	1	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	5	0	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	4	1	1	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	3	0	0	0	2	4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	4	0	0	0	2	4.6
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	1	0	0	2	4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	3	0	0	0	0	4.7



総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

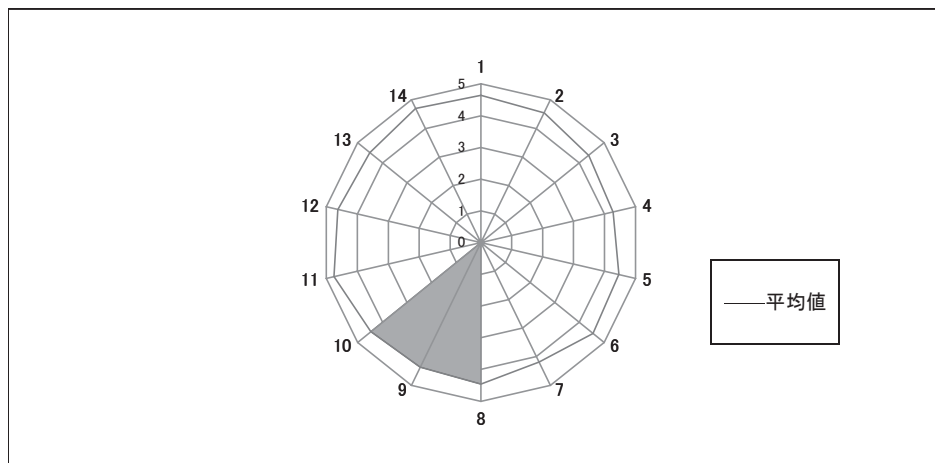
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(社会)

評価実施日 平成25年2月12日

担当教員名 梅津 正美, 町田 哲, 井上 隆, 濱口 恒一郎

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	6	1	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	4	1	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	7	0	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	3	4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	3	0	0	0	3	4.6
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	2	1	0	0	3	4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	3	0	0	0	1	4.7



総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

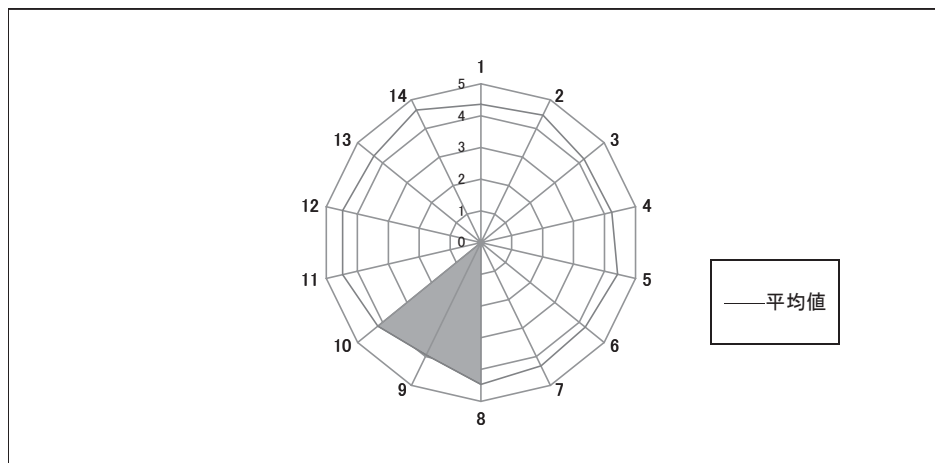
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(算数・数学)

評価実施日 平成25年2月5日

担当教員名 松岡 隆, 秋田 美代, 石川 和幸

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.3
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6



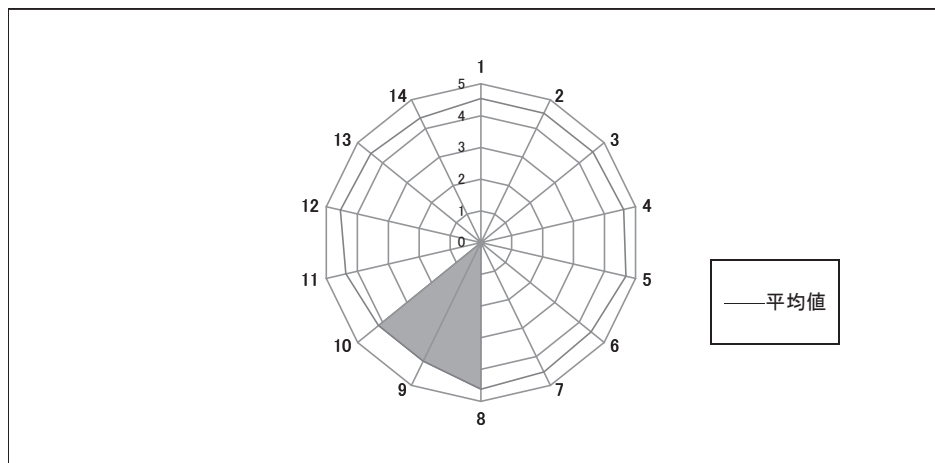
総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(理科)  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 佐藤 勝幸, 香西 武, 村田 守, 栗田 高明, 早藤 幸隆, 胸組 虎胤, 片山 隆志

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.4
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



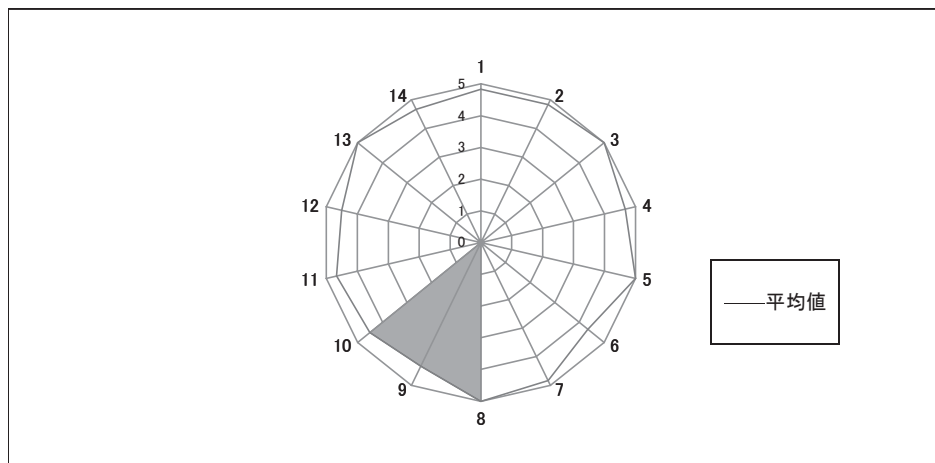
総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(音楽)  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 長島 真人, 森 正, 上田 光江, 佐伯 順一

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は,シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						5.0
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



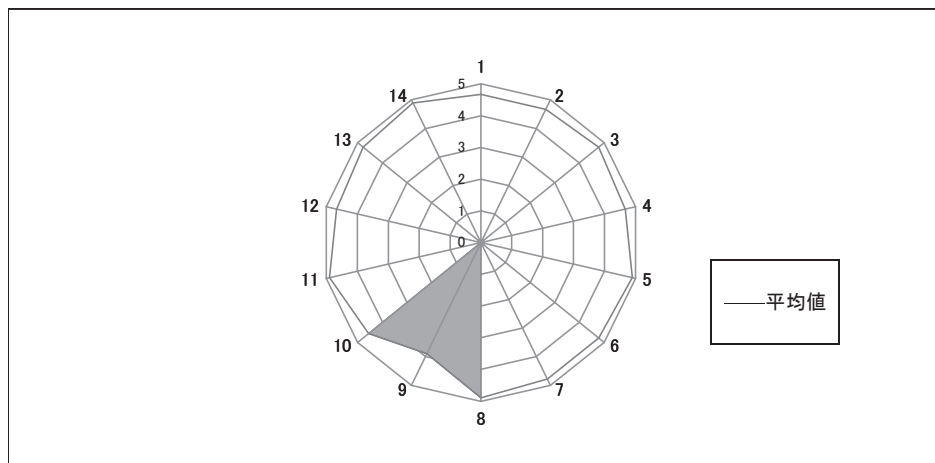
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(図工・美術)

評価実施日 平成25年2月12日

担当教員名 山田 芳明, 鈴木 久人, 栗原 慶, 森 裕二郎

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	4	3	0	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	2	0	0	0	0	4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	0	4.9



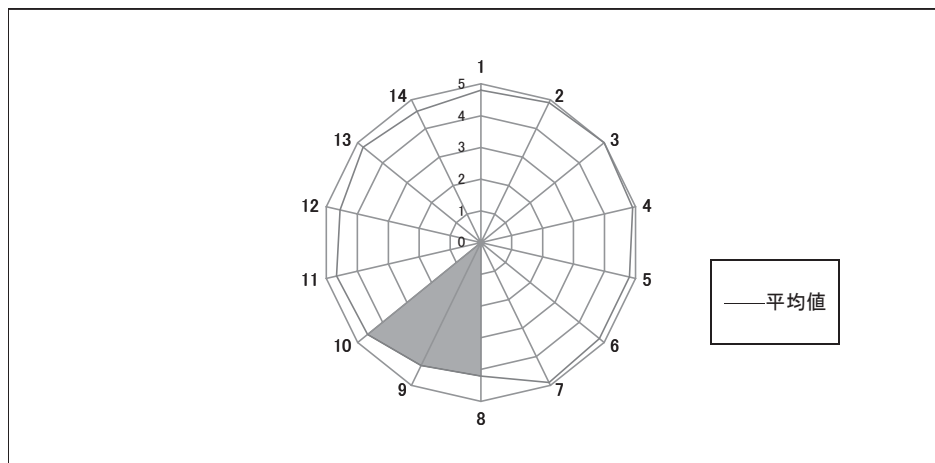
総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(体育・保体)  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 梅野 圭史, 藤田 雅文, 月本 直樹

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	6	1	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	3	0	0	0	1	4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	2	1	0	0	1	4.6
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	2	0	0	0	1	4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	4	0	0	0	0	4.6

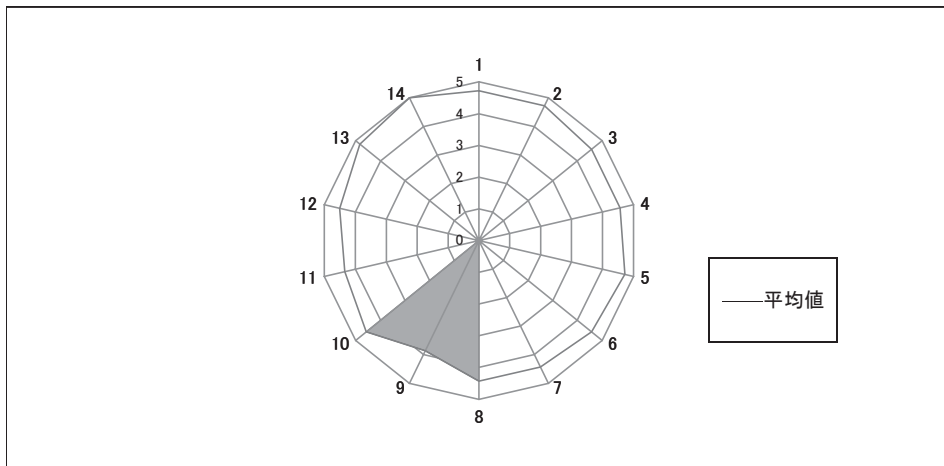


総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(技術)  
 評価実施日 平成25年1月15日  
 担当教員名 宮下 晃一, 尾崎 士郎, 宮本 賢治, 畑中 伸夫      回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	4	2	0	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	2	1	0	0	1	4.3
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	3	0	0	0	1	4.5
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	1	0	0	0	1	4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 4.6

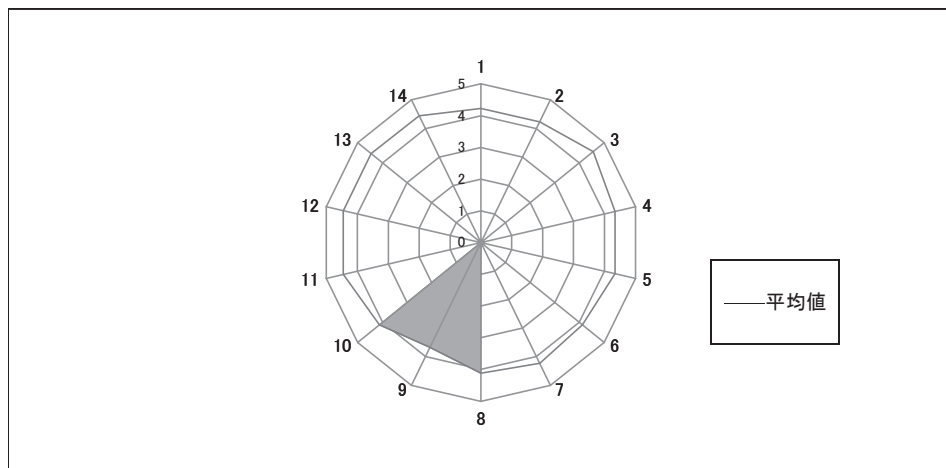
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(家庭)

評価実施日 平成25年2月5日

担当教員名 福井 典代, 黒川 衣代, 渡邊 廣二, 速水 多佳子, 井原 和美, 東條 良栄 回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.4
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



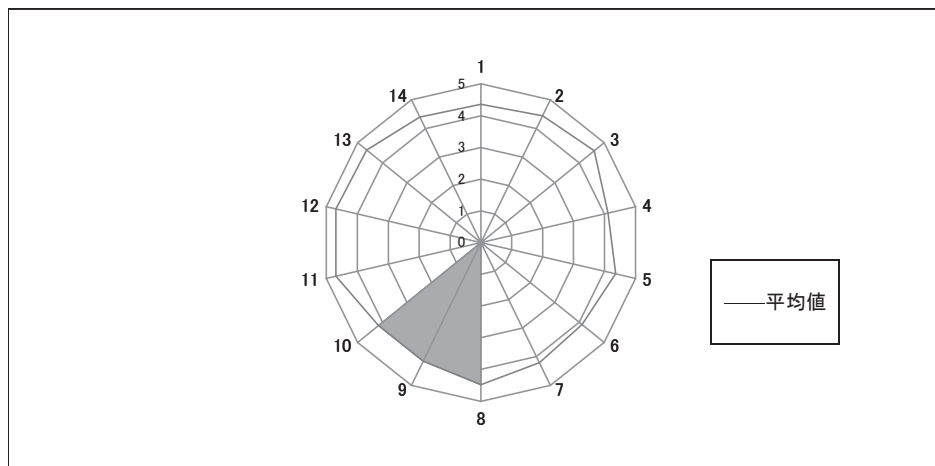
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(国語)  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 幾田 伸司, 清水 愛, 大井 育代

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



総合評価 4.4

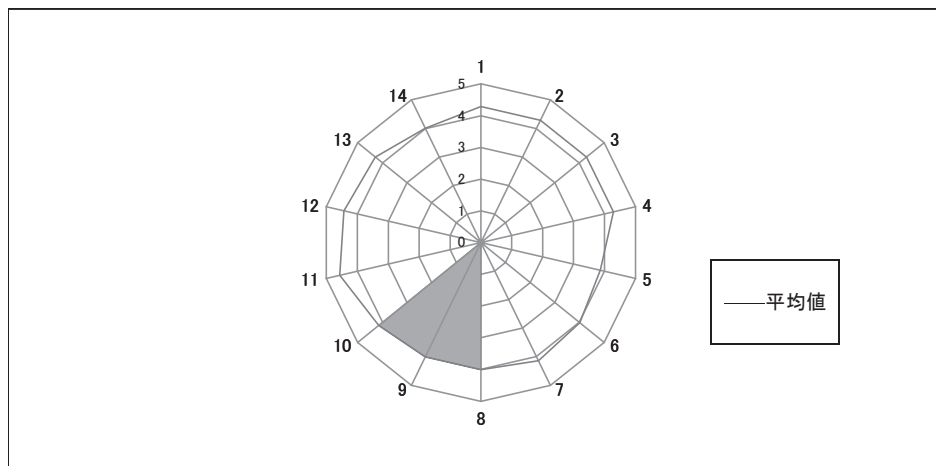
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(英語)

評価実施日 平成24年8月2日

担当教員名 山森 直人, 杉浦 裕子, 長野 仁志, 藤井 紀代美 回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.3
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.0



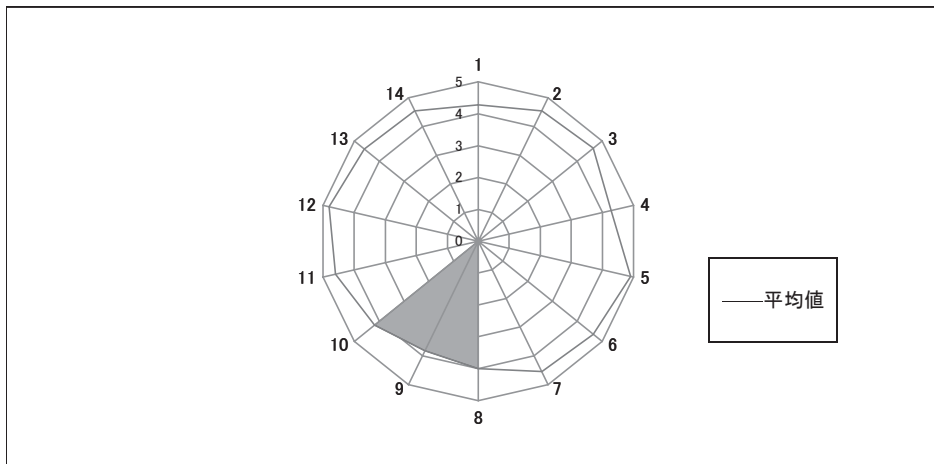
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(社会)  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 井上 奈穂, 麻生 多聞, 重本 哲也, 高崎 英和

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

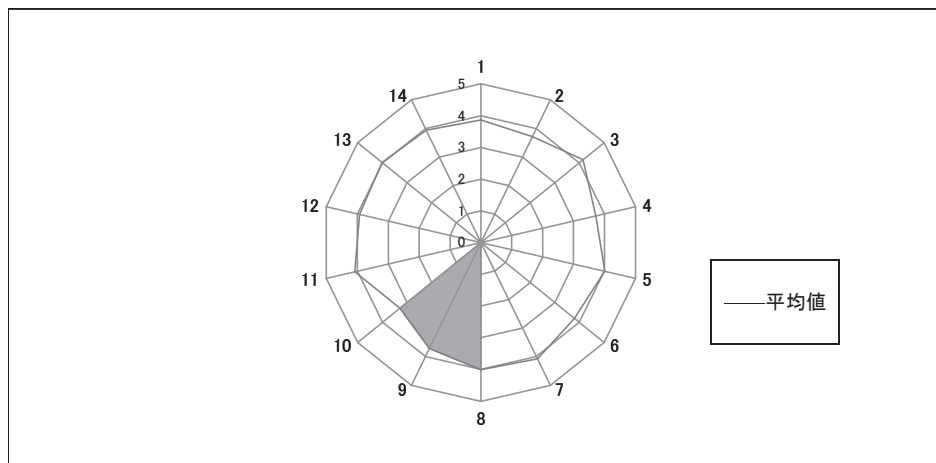
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(算数・数学)

評価実施日 平成24年7月19日

担当教員名 松岡 隆, 秋田 美代, 石川 和幸

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	6	5	0	0	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	7	0	0	0	3.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	6	3	0	0	0	4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	4	2	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	6	4	0	0	0	4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	5	3	2	0	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	5	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	5	3	1	0	0	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	6	6	0	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	5	5	3	0	0	3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	8	2	0	0	1	4.1
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	6	4	0	0	1	3.9
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	6	2	1	0	1	4.0
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	5	5	0	0	0	3.9



総合評価 3.9

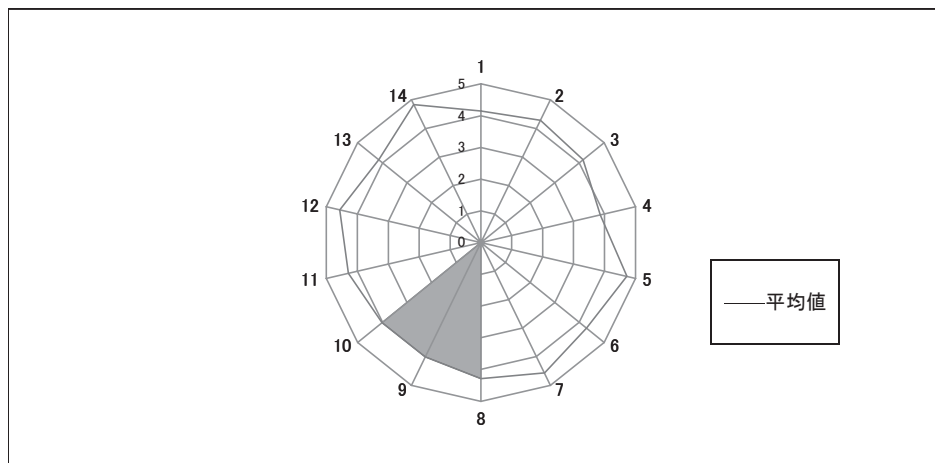
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(音楽)  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 長島 真人, 松岡 貴史, 武田 有加里

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.1
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 4.3

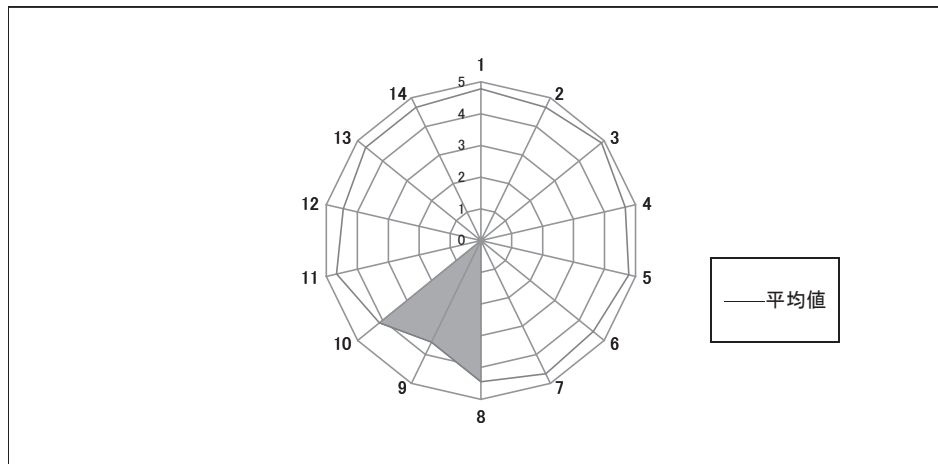
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(図工・美術)

評価実施日 平成24年7月26日

担当教員名 小川 勝, 内藤 隆, 山木 朝彦, 山田 芳明, 栗原 慶, 小浜 かおり 回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



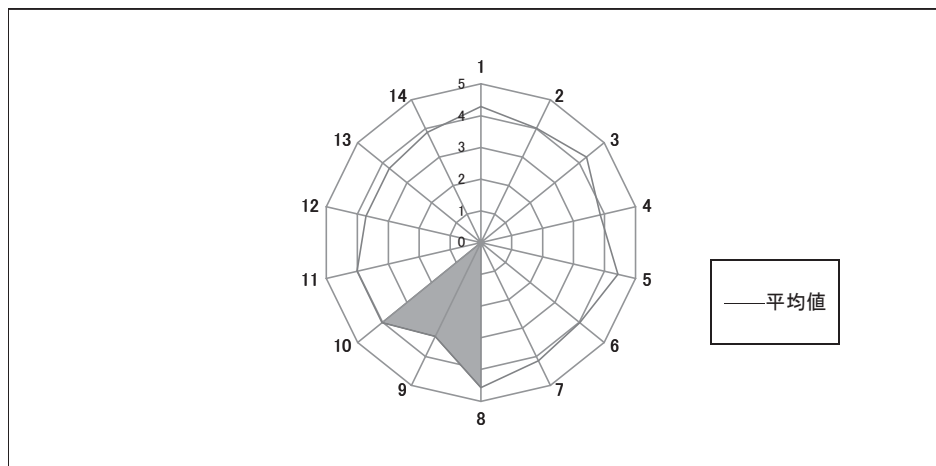
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(技術)  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 伊藤 陽介, 菊地 章, 谷 陽子

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	5	0	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	5	1	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	4	2	0	0	0	3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	3	2	0	0	0	4.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	2	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	2	2	2	0	0	3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	2	1	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	3	2	0	0	0	4.0
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	1	4	0	0	0	3.7
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	2	2	1	0	0	3.7
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	4	2	0	0	0	3.9

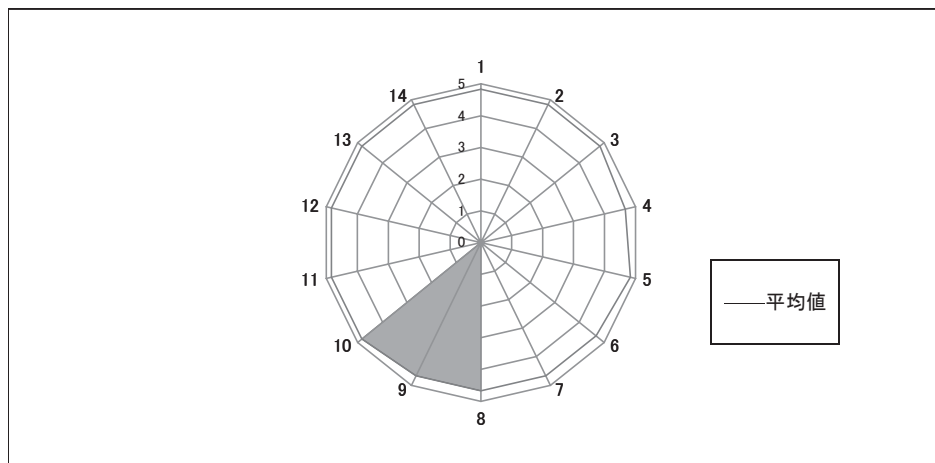


総合評価 4.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(家庭)  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 速水 多佳子, 金 貞均, 西川 和孝, 島田 郁子, 東條 良栄 回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	1	0	0	0	0	4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別支援教育実践基礎演習

評価実施日 平成24年7月18日

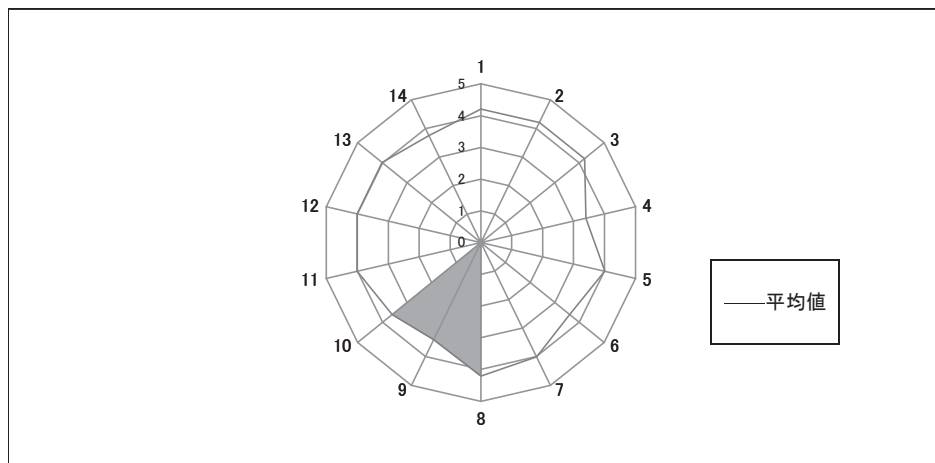
担当教員名

津田 芳見, 大谷 博俊, 八幡 ゆかり, 井上 とも子, 島田 恭仁, 高原 光恵, 田中 淳一, 佐藤 公子

回答者数

5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.6
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.0
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.0
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.8



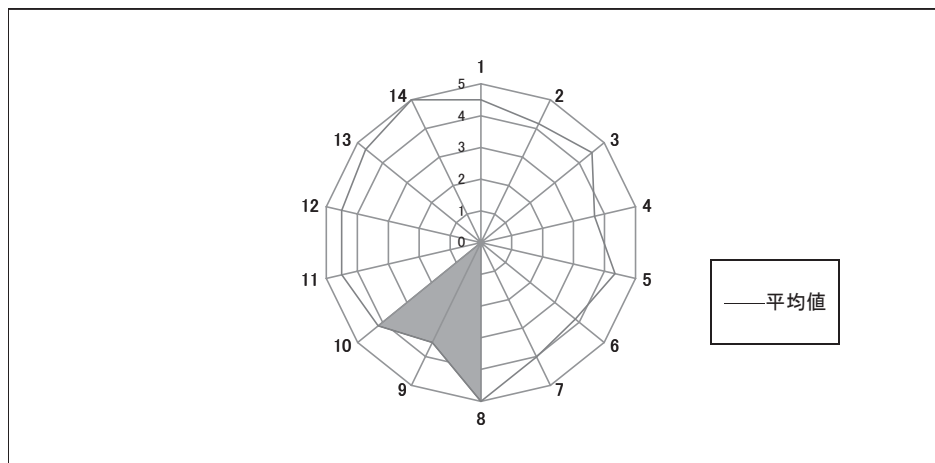
総合評価 3.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別支援教育実践 I  
 評価実施日 平成24年7月4日  
 担当教員名 \_\_\_\_\_

津田 芳見, 高原 光恵, 八幡 ゆかり, 大谷 博俊, 井上 とも子, 島田 恭仁, 田中 淳一 回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	5	0	0	0	0	4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	4	2	0	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	4	0	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	1	3	0	0	0	3.8
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	4	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	4	1	1	0	0	3.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	5	0	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	1	0	0	0	4.7
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	1	5.0



総合評価 4.3

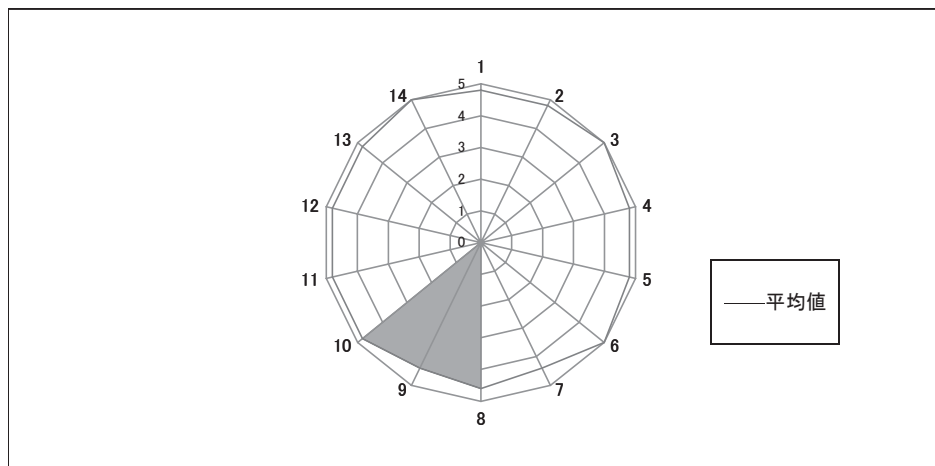
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別支援教育実践Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月5日  
 担当教員名 \_\_\_\_\_

島田 恭仁, 大谷 博俊, 高原 光恵, 井上 とも子, 田中 洋一, 津田 芳見, 八幡 ゆかり

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.8
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

# 教 職 共 通 科 目



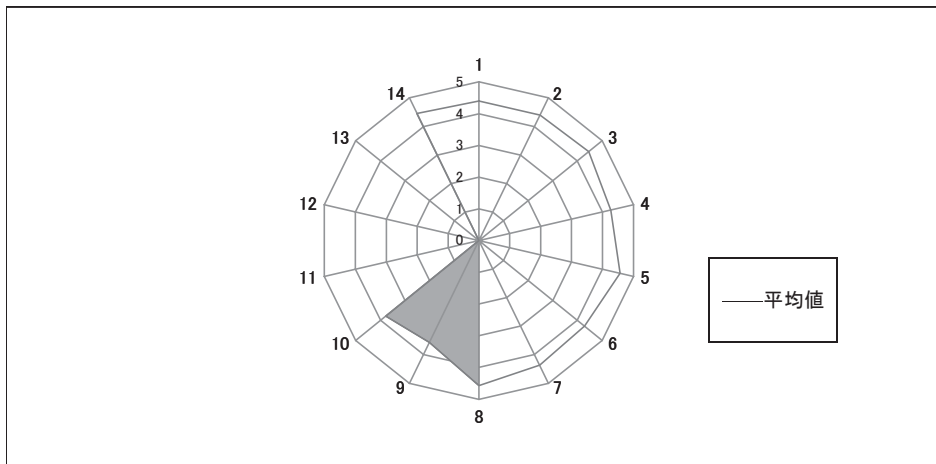
授業科目名 教職論

評価実施日 平成24年7月23日

担当教員名 阪根 健二, 塩路 晶子, 新見 員子

回答者数 140名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	72	51	17	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	72	51	17	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	79	46	14	1	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	65	47	28	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	92	35	13	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	67	48	23	2	0	0	4.3
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	67	57	14	1	0	1	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	96	30	12	2	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	33	38	49	13	6	1	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	39	47	39	9	4	2	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	51	33	9	0	0	47	4.5



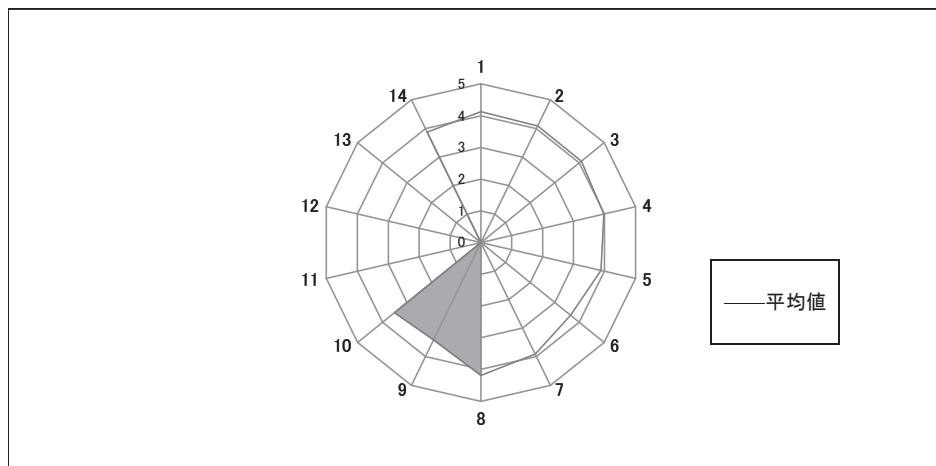
総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 人間形成原論  
 評価実施日 平成24年8月6日  
 担当教員名 梶井 一暁, 木内 陽一

回答者数 171名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.9



総合評価 3.9

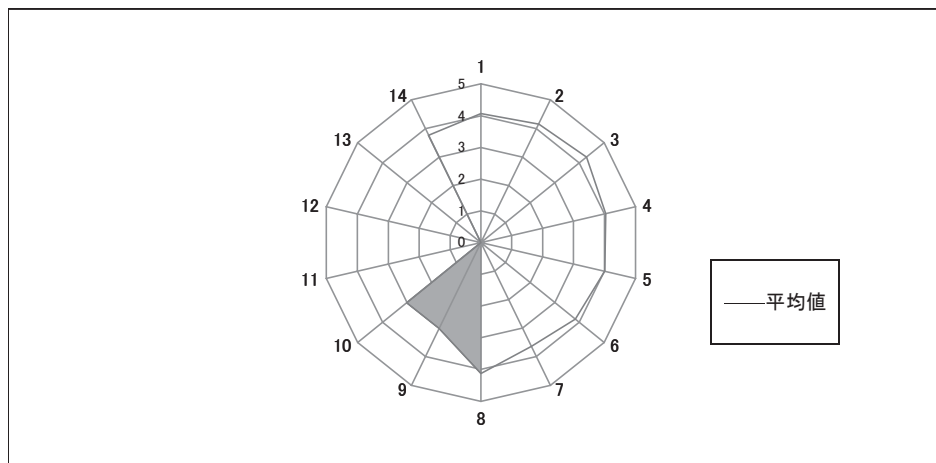
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 発達心理学

評価実施日 平成25年1月31日

担当教員名 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 皆川 直凡, 山崎 勝之, 島田 恭仁, 久米 禎子 回答者数 33名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.8
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.8



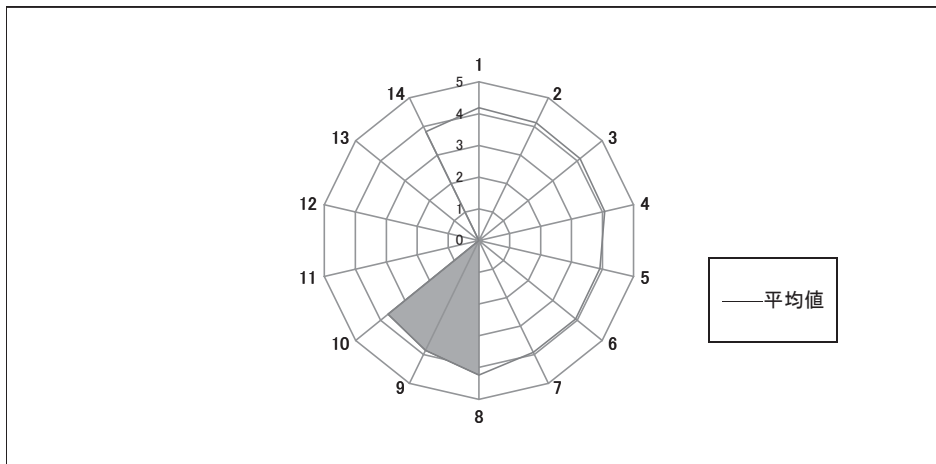
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教育心理学A  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 皆川 直凡

回答者数 65名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.8



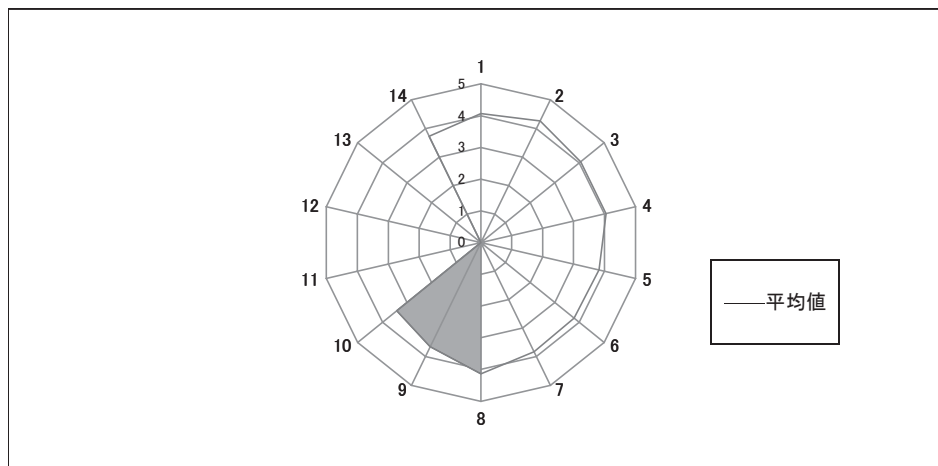
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育心理学B  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 皆川 直凡

回答者数 45名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	19	7	3	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	16	7	1	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	21	11	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	16	16	12	1	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	16	14	3	0	0	3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	16	14	1	2	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	15	14	2	1	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	22	10	10	3	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	11	14	6	1	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	11	14	4	5	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	17	12	2	2	2	3.7



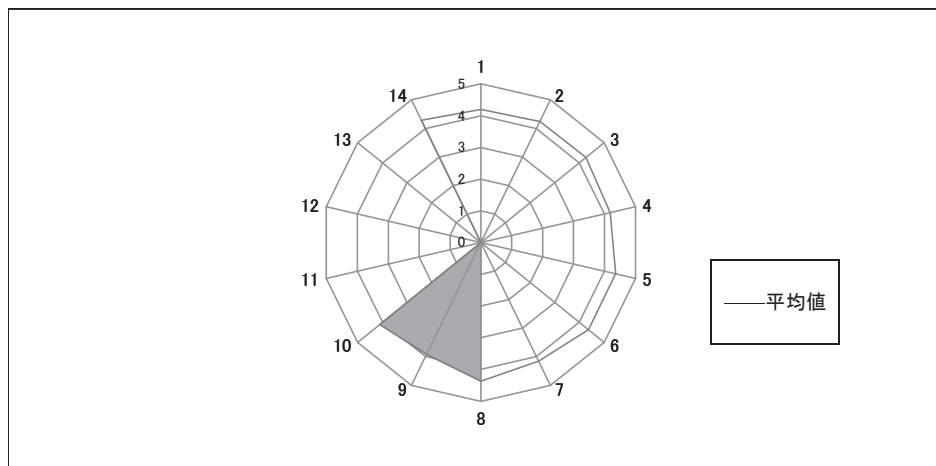
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育制度・経営論  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 石村 雅雄

回答者数 119名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	47	53	14	2	2	1	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	54	43	20	1	1	0	4.2
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	61	32	23	1	2	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	53	40	21	2	2	1	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	71	27	16	2	3	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	67	33	15	2	2	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	55	35	24	2	3	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	63	39	14	3	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	42	36	31	8	2	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	48	40	25	6	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	57	36	17	1	2	6	4.3



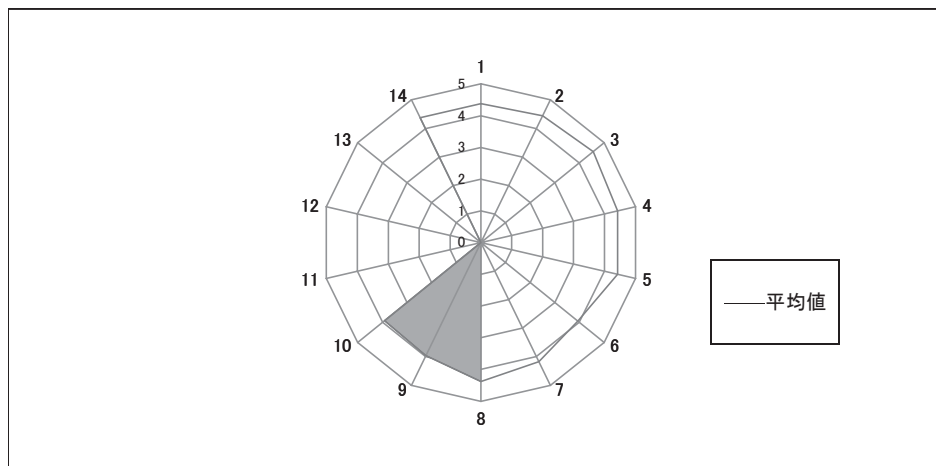
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育社会学  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 伴 恒信

回答者数 29名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	10	4	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	8	4	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	17	11	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	17	8	3	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	9	4	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	10	9	1	0	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	3	9	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	8	5	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	12	6	2	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	12	7	2	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	10	4	0	0	0	4.4



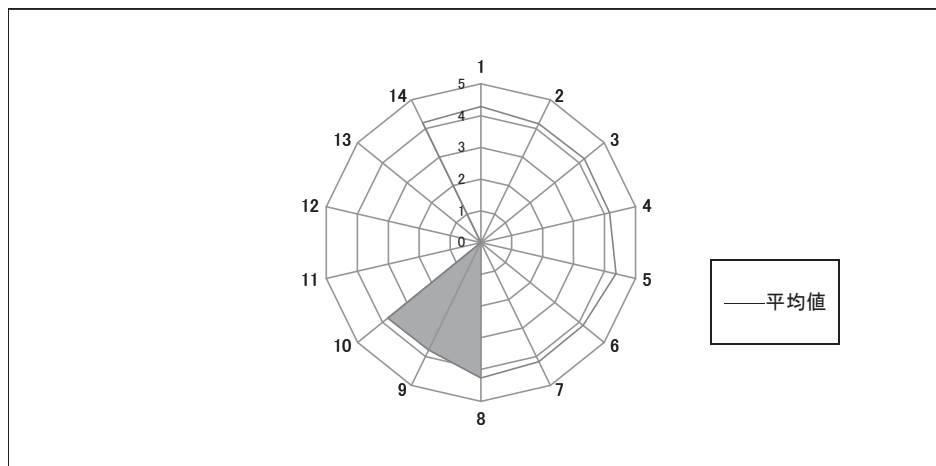
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育課程論  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 村川 雅弘, 前田 洋一

回答者数 68名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	30	29	8	0	1	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	28	26	12	1	1	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	28	28	9	0	2	1	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	26	31	8	2	1	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	38	20	8	1	1	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	29	25	10	3	1	0	4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	29	27	8	3	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	33	23	10	1	1	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	20	21	20	5	2	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	19	23	19	6	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	29	24	11	1	1	2	4.2



総合評価 **4.2**

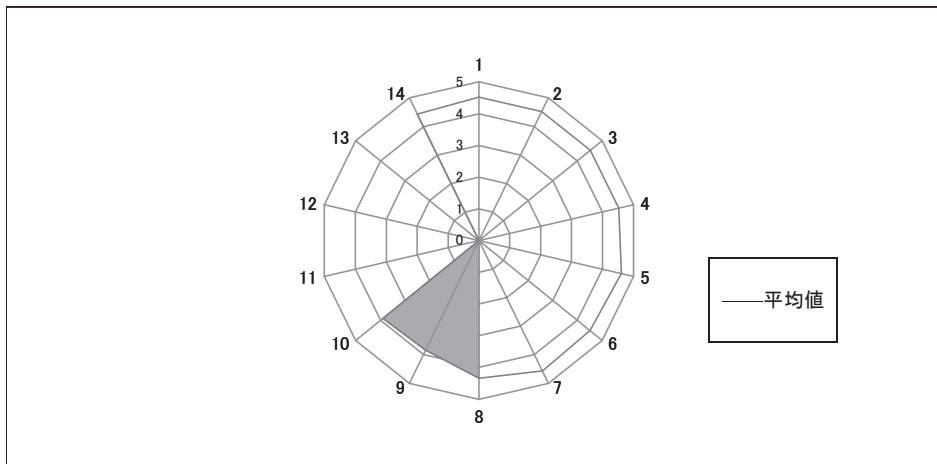
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等国語科教育論A  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 97名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	56	35	6	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	58	31	8	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	57	33	7	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	57	31	7	0	0	2	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	65	23	7	0	0	2	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	60	24	10	1	0	2	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	59	29	6	0	0	3	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	55	24	12	4	1	1	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	31	31	26	3	5	1	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	35	24	27	6	2	3	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	52	34	7	2	0	2	4.4



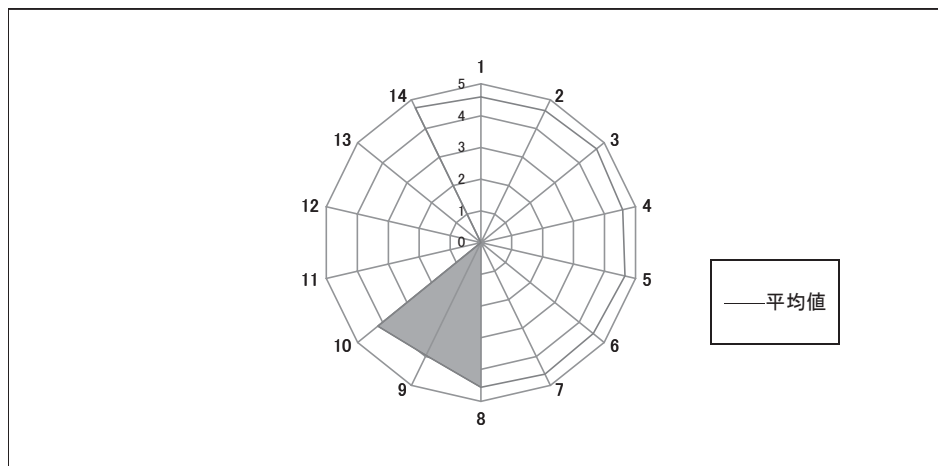
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語科教育論B  
 評価実施日 平成24年8月1日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 65名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	43	17	5	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	44	17	4	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	48	14	3	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	42	19	4	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	47	14	4	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	40	21	4	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	44	15	5	0	0	1	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	42	17	6	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	23	22	16	2	2	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	26	24	15	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	48	14	2	0	0	1	4.7



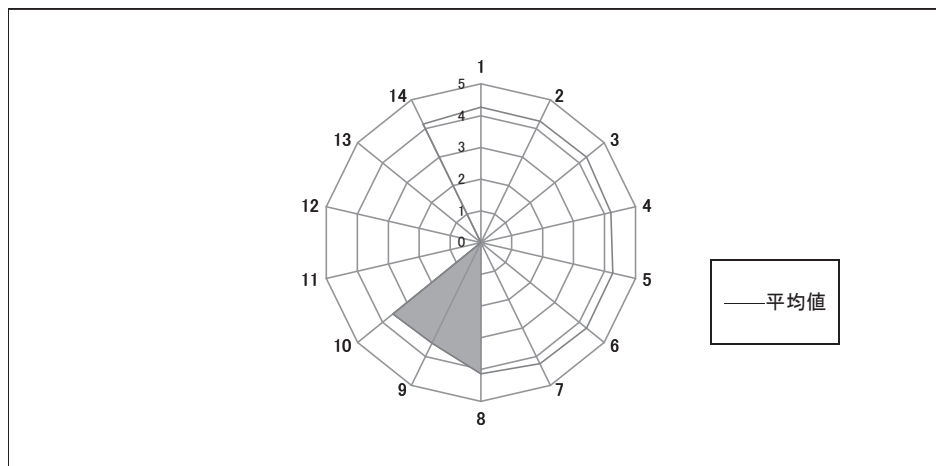
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論A  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 伊藤 直之

回答者数 112名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	48	47	16	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	49	43	19	1	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	53	38	21	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	47	42	20	2	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	52	40	18	2	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	53	39	19	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	49	43	18	2	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	49	36	21	5	1	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	19	39	37	12	4	1	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	23	40	32	12	5	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	41	50	17	2	1	1	4.2



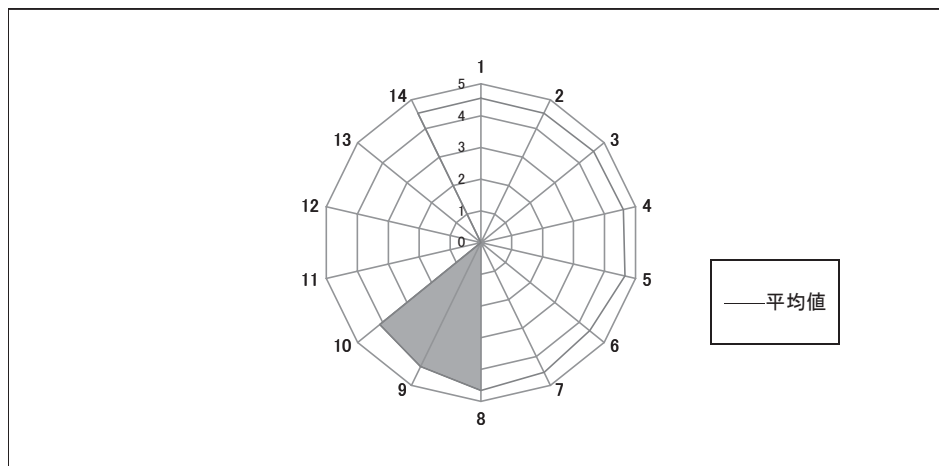
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論A  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 49名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	31	14	4	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	15	4	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	31	14	2	1	0	1	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	34	10	3	1	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	35	11	3	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	28	16	3	1	1	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	33	11	4	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	34	13	2	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	25	17	6	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	21	15	10	3	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	29	12	5	0	0	3	4.5



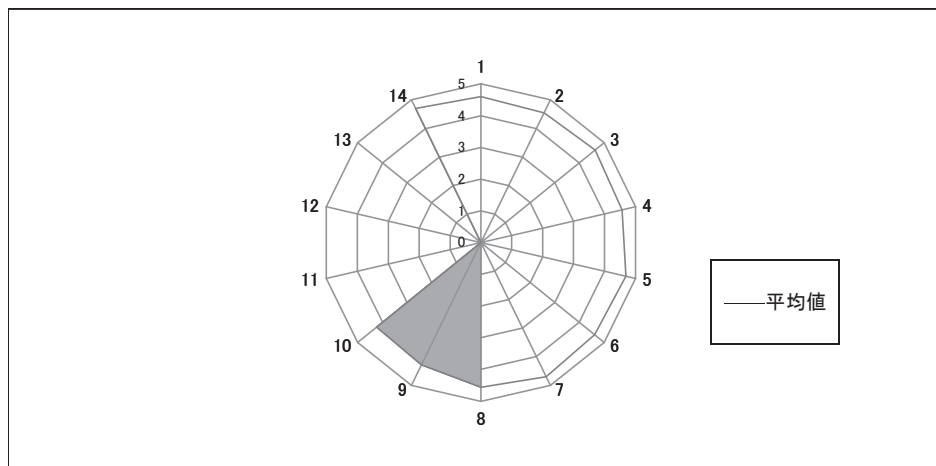
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論B  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 103名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	64	36	3	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	64	31	8	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	69	31	3	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	67	27	9	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	75	24	4	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	69	28	6	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	74	27	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	66	29	7	1	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	47	42	11	2	1	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	46	40	9	5	1	2	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	70	26	2	0	0	5	4.7



総合評価 **4.6**

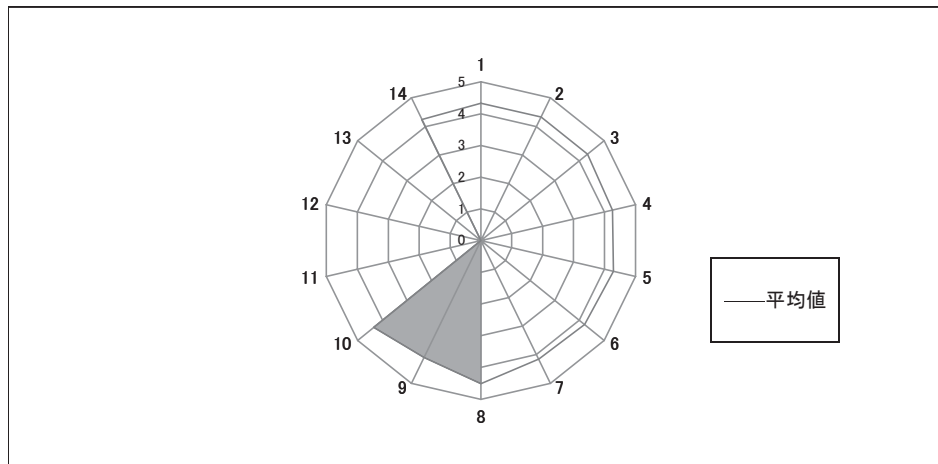
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等理科教育論

評価実施日 平成24年7月18日

担当教員名 本田 亮, 佐藤 勝幸, 武田 清, 香西 武, 早藤 幸隆, 森 繁 回答者数 151名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	71	60	18	2	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	70	61	20	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	76	54	16	4	1	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	66	56	23	3	0	3	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	70	57	20	2	1	1	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	60	66	22	2	1	0	4.2
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	60	59	24	5	1	2	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	96	41	9	5	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	58	60	24	7	2	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	75	55	19	2	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	65	61	21	2	1	1	4.2



総合評価 4.3

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

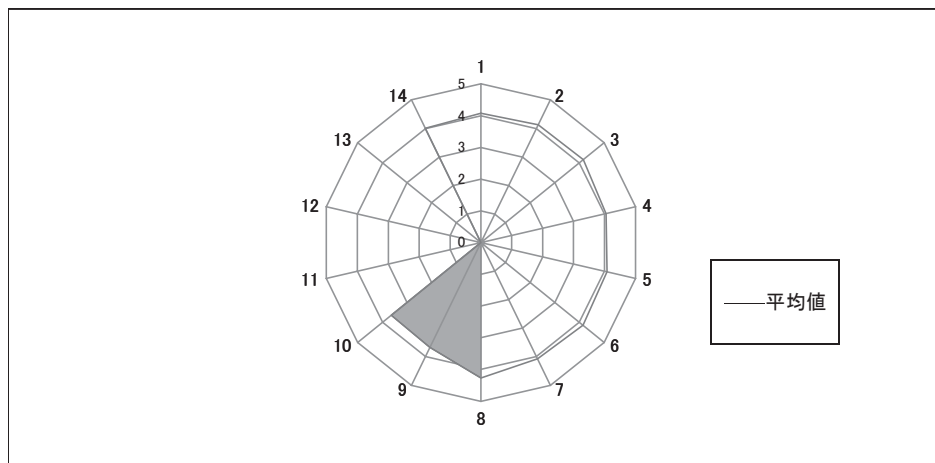
授業科目名 生活科教育論

評価実施日 平成25年2月13日

担当教員名 村川 雅弘, 西村 公孝, 木下 光二

回答者数 161名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	60	62	31	7	1	0	4.1
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	63	61	31	5	1	0	4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	68	59	26	6	2	0	4.1
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	55	65	30	6	2	3	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	60	64	28	7	2	0	4.1
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	60	70	24	6	1	0	4.1
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	60	63	27	6	3	2	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	71	63	25	2	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	33	65	42	18	3	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	33	59	48	13	6	2	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	45	75	29	6	1	5	4.0



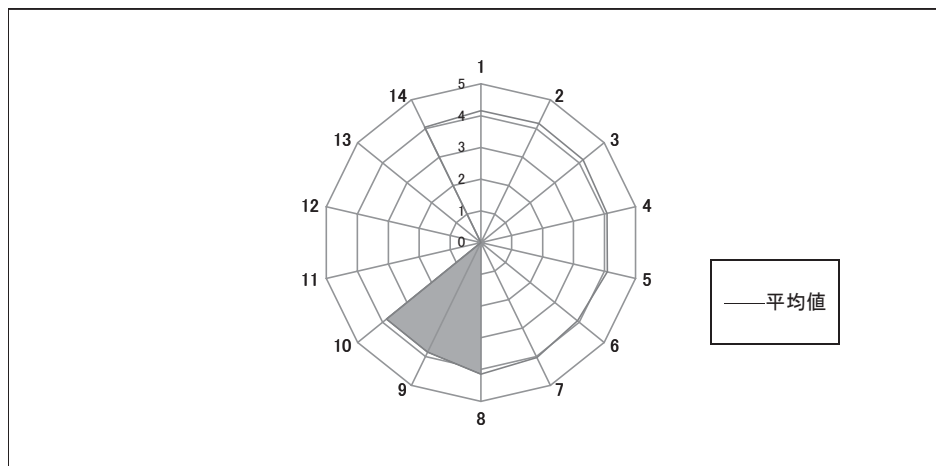
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論A  
 評価実施日 平成25年3月1日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 92名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	35	39	16	1	1	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	37	36	16	1	1	1	4.2
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	40	27	20	2	1	2	4.1
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	33	39	16	2	2	0	4.1
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	37	34	15	4	2	0	4.1
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	33	30	20	6	3	0	3.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	38	26	22	4	2	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	38	33	18	2	1	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	27	32	25	6	2	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	25	35	23	6	2	1	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	39	25	19	5	2	2	4.0



総合評価 **4.1**

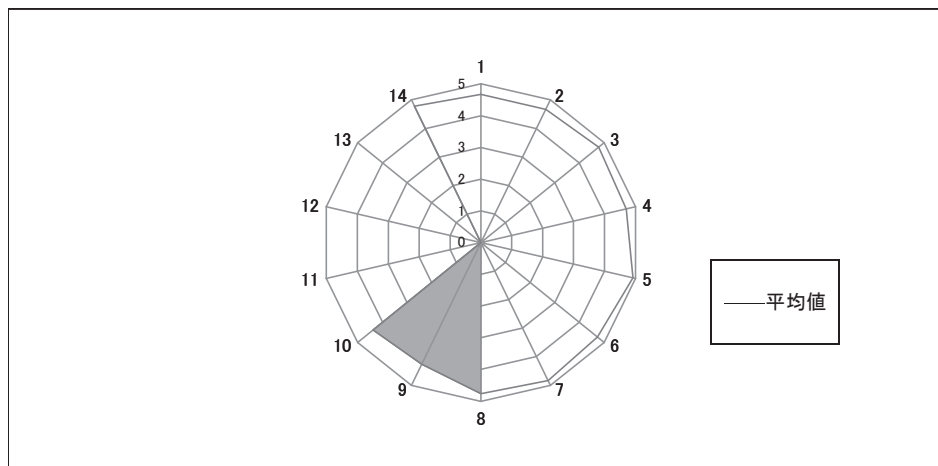
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等音楽科教育論B  
 評価実施日 平成25年2月8日  
 担当教員名 高見 仁志

回答者数 54名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	39	12	3	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	39	13	1	1	0	0	4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	44	8	2	0	0	0	4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	39	12	2	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	50	3	1	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	42	9	3	0	0	0	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	46	7	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	44	7	3	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	26	18	8	2	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	30	13	10	0	0	1	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	42	5	3	0	0	4	4.8



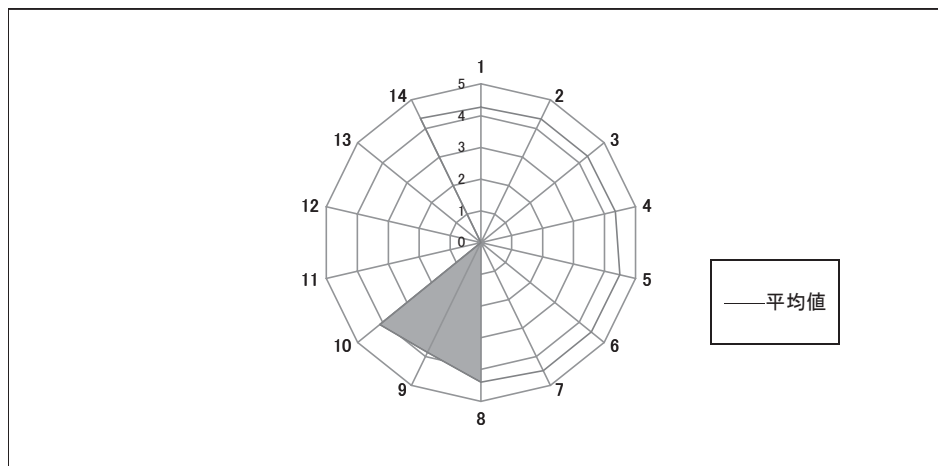
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作科教育論A  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 80名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	36	30	13	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	39	31	8	2	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	41	26	12	0	1	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	40	28	10	0	1	1	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	49	22	8	1	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	49	21	9	1	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	49	22	8	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	42	27	9	1	0	1	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	22	35	17	1	5	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	30	31	13	2	2	2	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	43	25	8	2	1	1	4.4



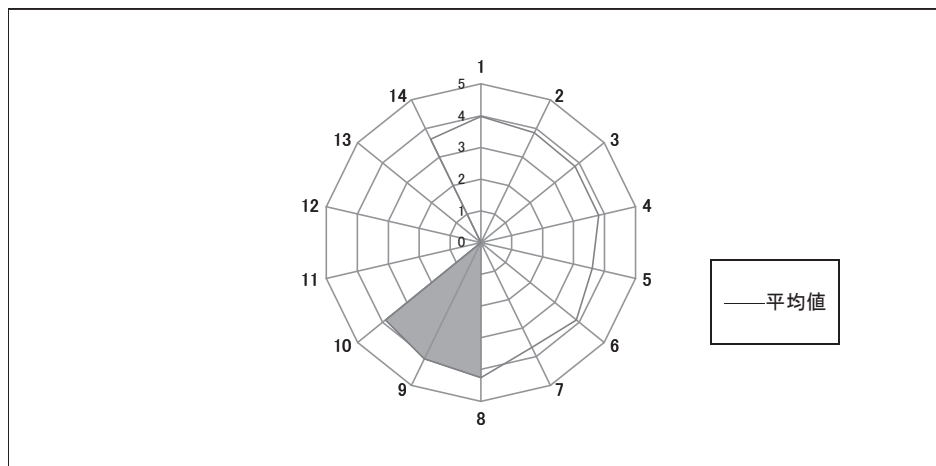
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名          図画工作科教育論B  
 評価実施日          平成25年2月12日  
 担当教員名          山木 朝彦

回答者数          68名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	33	16	8	6	5	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	29	18	9	6	6	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	30	15	10	6	7	0	3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	31	10	13	8	5	1	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	28	15	8	4	13	0	3.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	28	20	9	5	6	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	28	15	9	4	11	1	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	38	18	7	1	4	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	34	17	10	2	5	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	29	19	9	4	7	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	24	19	7	6	10	2	3.6



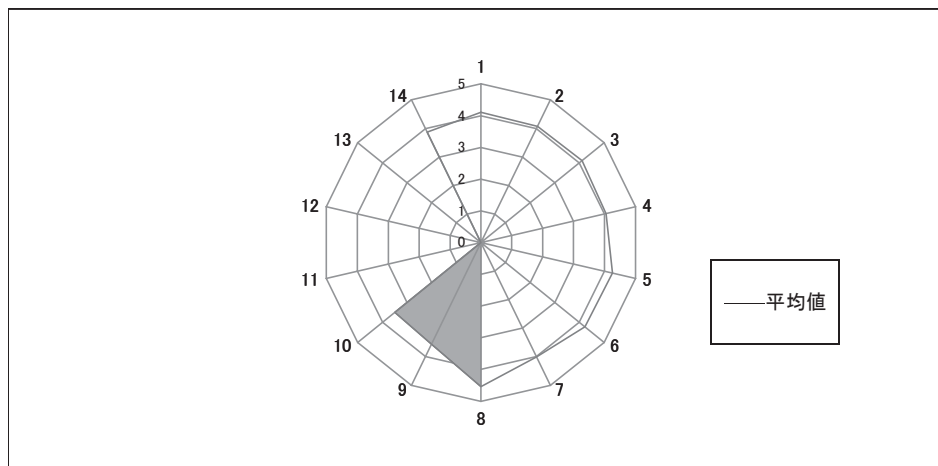
総合評価          3.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育科教育論  
 評価実施日 平成24年6月14日  
 担当教員名 吉本 佐雅子, 梅野 圭史

回答者数 153名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	59	62	22	9	1	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	54	64	28	6	1	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	62	59	20	10	2	0	4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	61	51	30	9	2	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	79	46	15	8	3	2	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	77	45	20	5	5	1	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	62	46	26	12	4	3	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	98	41	12	2	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	35	46	47	20	5	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	35	43	41	24	8	2	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	54	52	26	12	8	1	3.9



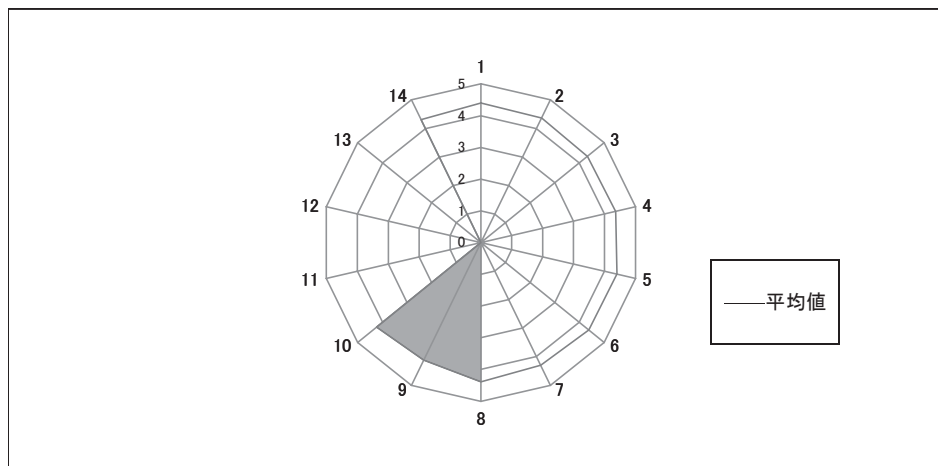
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭科教育論  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子

回答者数 158名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



総合評価 4.4

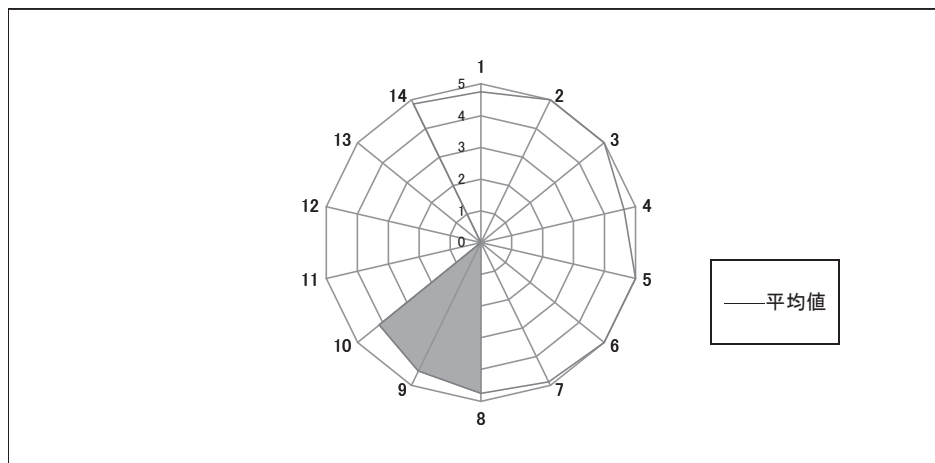
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等英語科教育論・初等英語  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 \_\_\_\_\_

伊東 治己, 前田 一平, 数下 克彦, 山森 直人, ジェラード マーシェソ, 杉浦 裕子, 眞野 美穂, 畑江 美佳

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						5.0
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 4.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 小学校英語教育論

評価実施日 平成24年7月27日

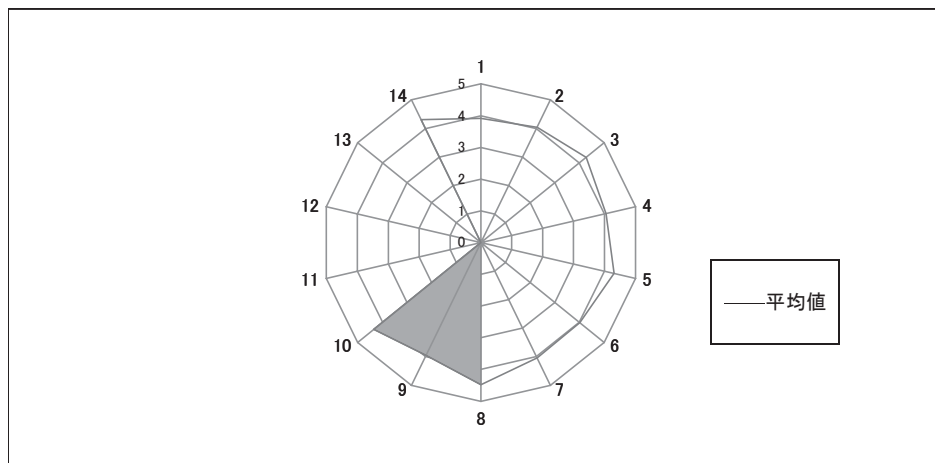
担当教員名

伊東 治己, 前田 一平, 数下 克彦, 山森 直人, ジェラード マーシェソ, 杉浦 裕子, 眞野 美穂, 畑江 美佳

回答者数

23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3



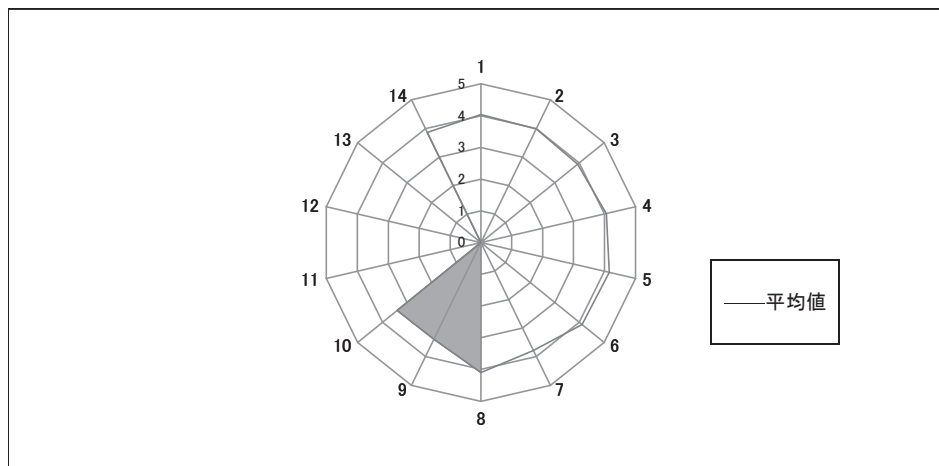
総合評価 4.1

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 道徳教育指導論A  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 兼松 儀郎

回答者数 95名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	32	40	18	4	1	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	37	19	6	1	0	4.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	28	38	24	4	1	0	3.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	34	37	20	3	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	42	33	15	3	2	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	40	36	10	7	2	0	4.1
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	29	30	24	7	4	1	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	41	30	18	4	2	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	17	29	27	15	6	1	3.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	17	29	28	14	6	1	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	26	38	16	10	1	4	3.9



総合評価 **4.0**

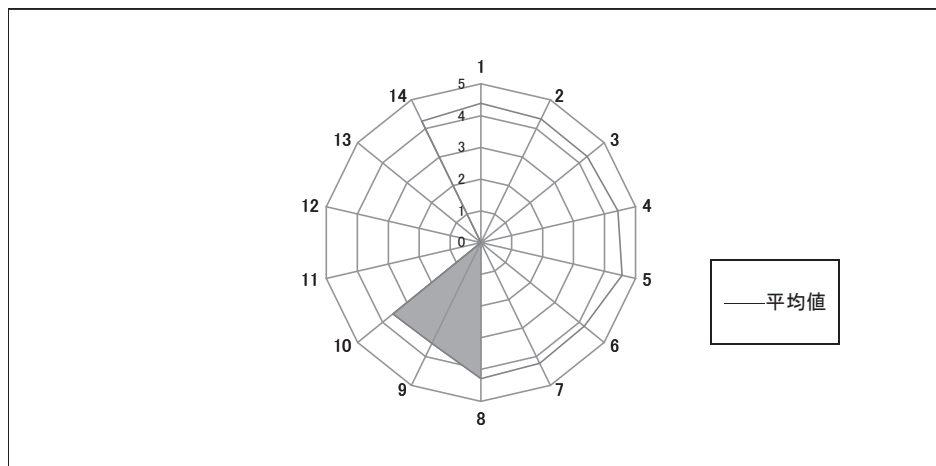
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 道徳教育指導論B  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 兼松 儀郎

回答者数 81名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	45	23	12	1	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	42	25	13	1	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	45	18	16	2	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	46	23	8	2	0	2	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	58	13	9	0	1	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	36	28	12	3	1	1	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	42	19	16	1	2	1	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	43	20	16	2	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	22	15	32	8	4	0	3.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	21	19	30	7	4	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	38	26	7	3	2	5	4.3



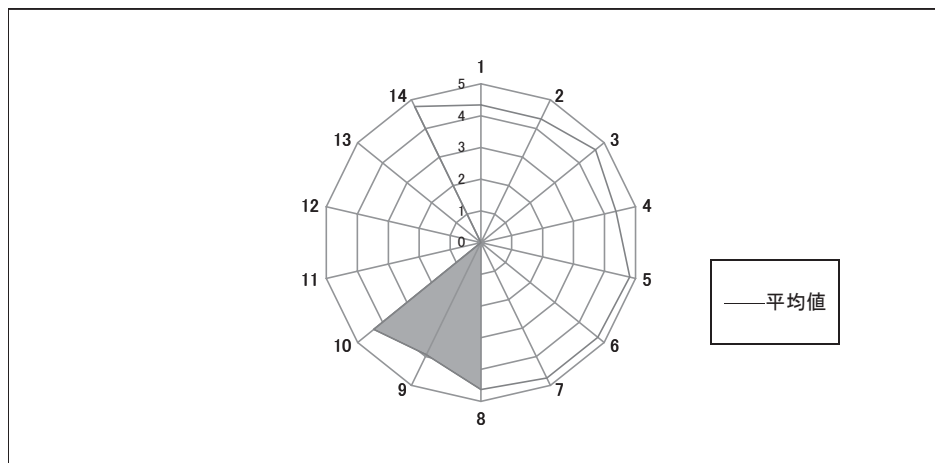
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論  
 評価実施日 平成24年8月9日  
 担当教員名 西山 伸二

回答者数 230名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	124	66	36	1	3	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	126	61	39	1	3	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	175	33	18	1	2	1	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	126	66	35	1	2	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	200	19	10	0	1	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	183	34	10	1	1	1	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	189	24	15	0	1	1	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	162	51	16	1	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	93	58	55	16	8	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	126	60	35	5	1	3	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	188	26	10	1	1	4	4.8



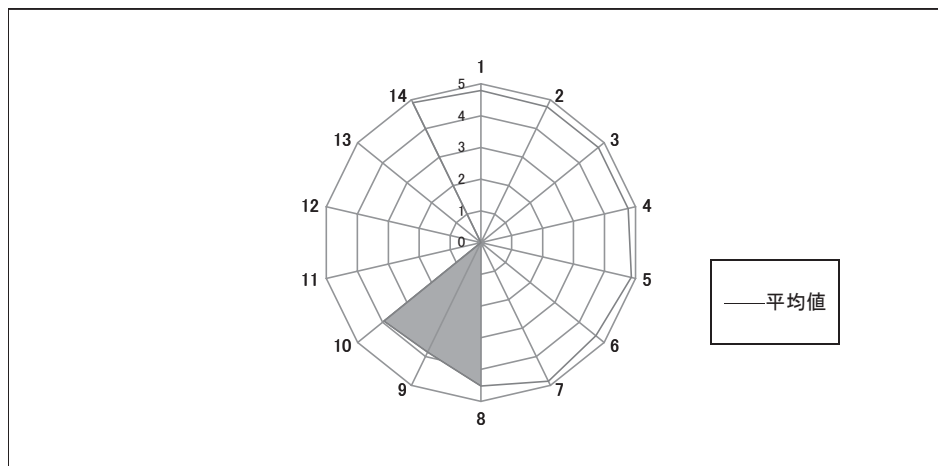
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児教育課程論  
 評価実施日 平成24年12月18日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



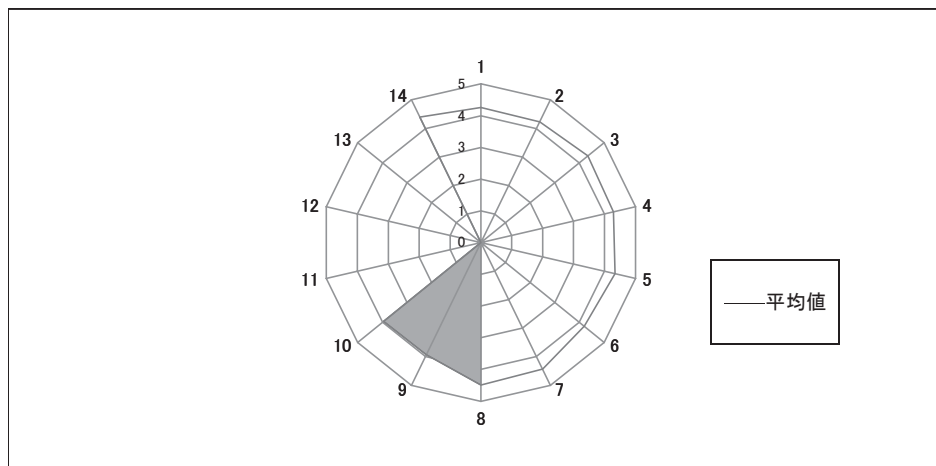
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(人間関係)  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 浜崎 隆司

回答者数 39名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	19	5	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	18	6	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	17	18	4	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	17	17	4	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	19	2	1	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	16	14	9	0	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	14	4	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	21	16	2	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	15	10	1	1	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	19	8	0	1	2	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	17	2	0	0	4	4.4



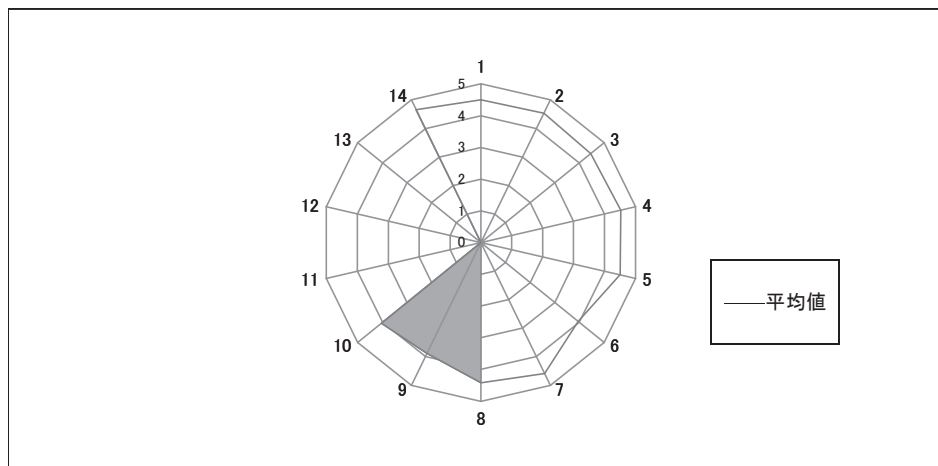
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(環境)  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 34名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	20	11	3	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	10	3	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	18	13	3	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	22	8	4	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	7	5	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	10	11	0	1	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	6	4	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	16	2	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	16	6	2	1	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	14	7	0	1	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	7	2	0	0	2	4.7



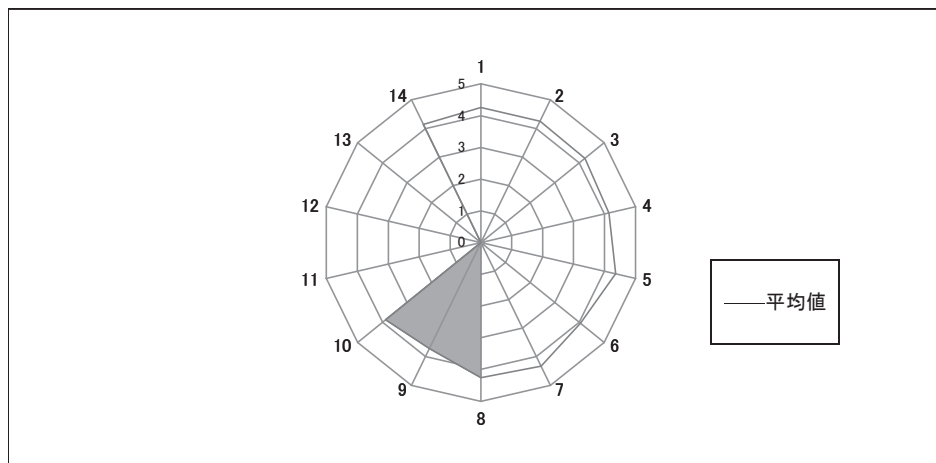
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(言葉)  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 近藤 慶子

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



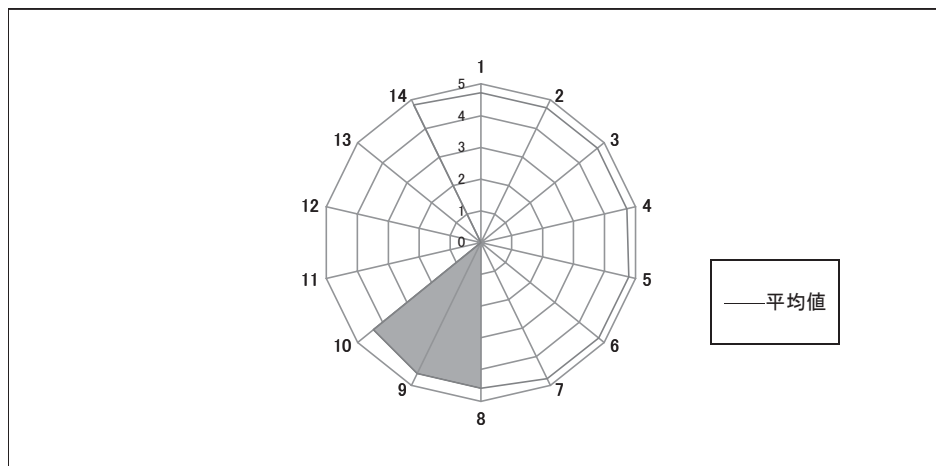
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現I)A  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	5	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	5	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	5	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	5	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	4	0	0	0	1	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	7	0	0	0	1	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	5	1	0	0	1	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	7	2	0	0	1	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	3	0	0	0	1	4.8



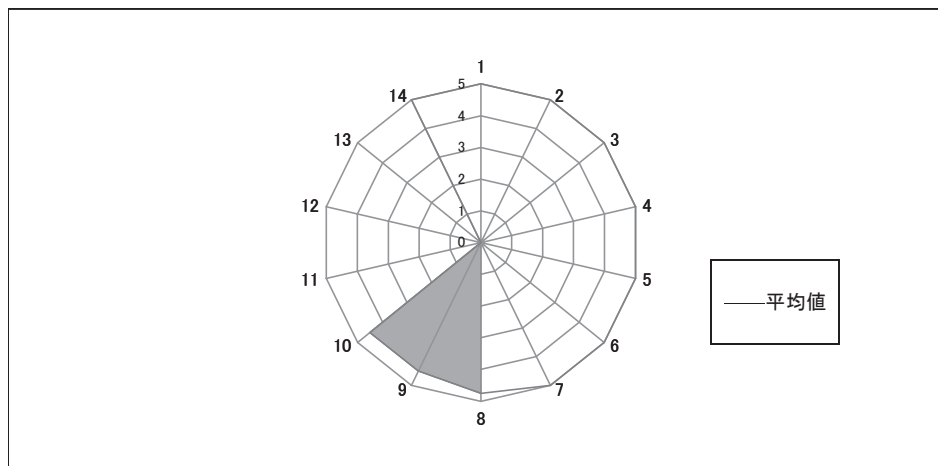
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現I)B  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **5.0**

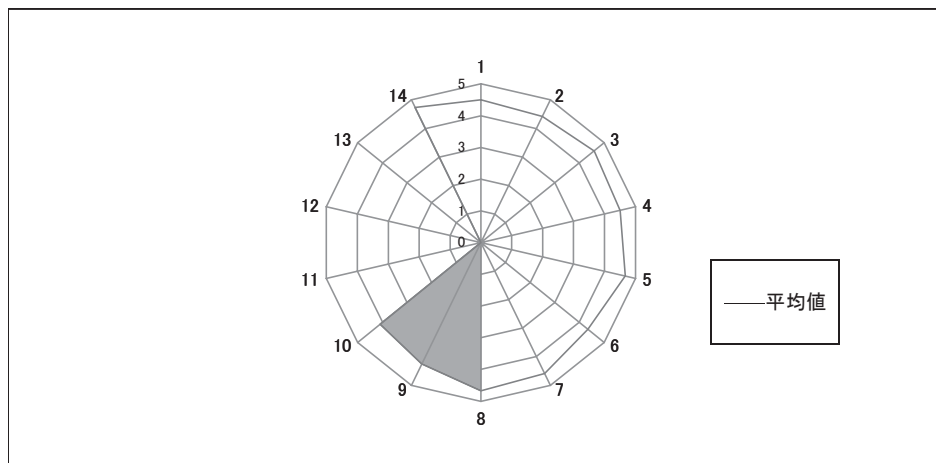
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 保育内容(表現Ⅱ)  
 評価実施日 平成25年2月8日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	5	1	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	2	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	3	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	3	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	2	2	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	1	0	0	1	4.7



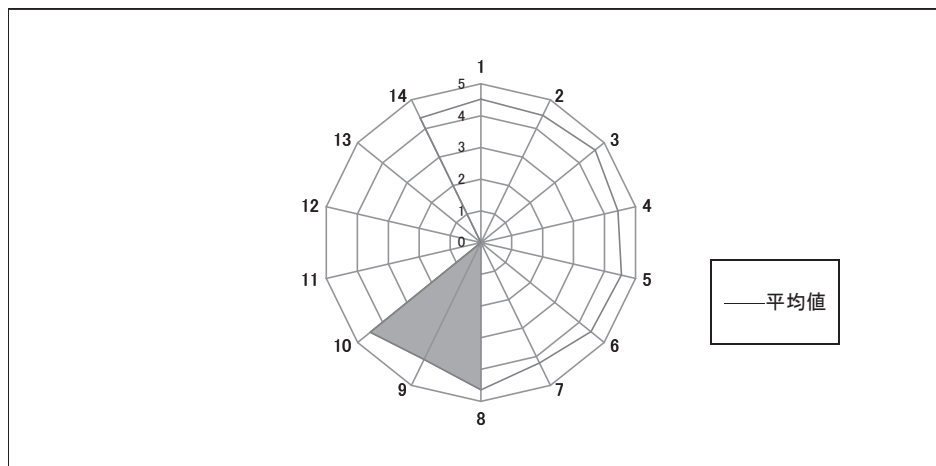
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(健康)  
 評価実施日 平成24年8月30日  
 担当教員名 棟方 百熊

回答者数 33名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



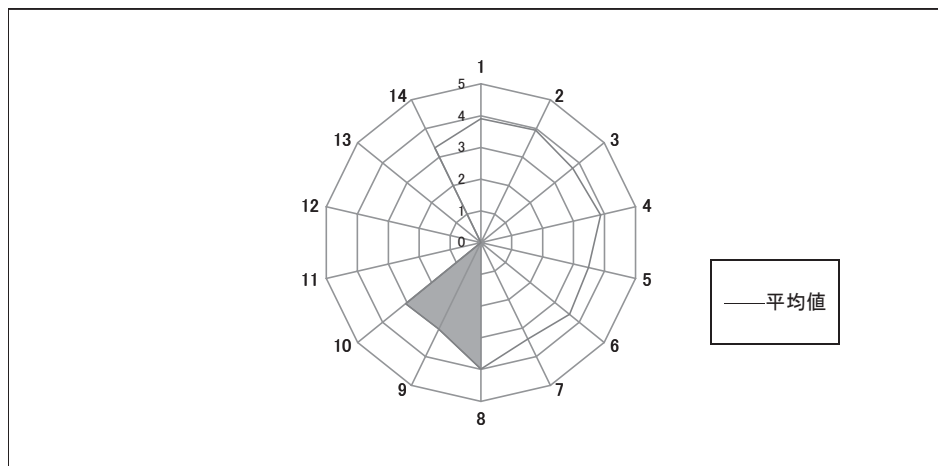
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 授業研究論  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 小野瀬 雅人

回答者数 102名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	25	51	20	3	3	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	29	47	19	4	3	0	3.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	22	42	28	7	3	0	3.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	24	49	20	4	3	2	3.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	19	40	22	13	8	0	3.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	39	26	7	8	0	3.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	34	31	10	10	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	32	44	21	2	3	0	4.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	22	32	22	12	1	3.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	20	36	18	13	0	3.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	29	36	12	7	4	3.3



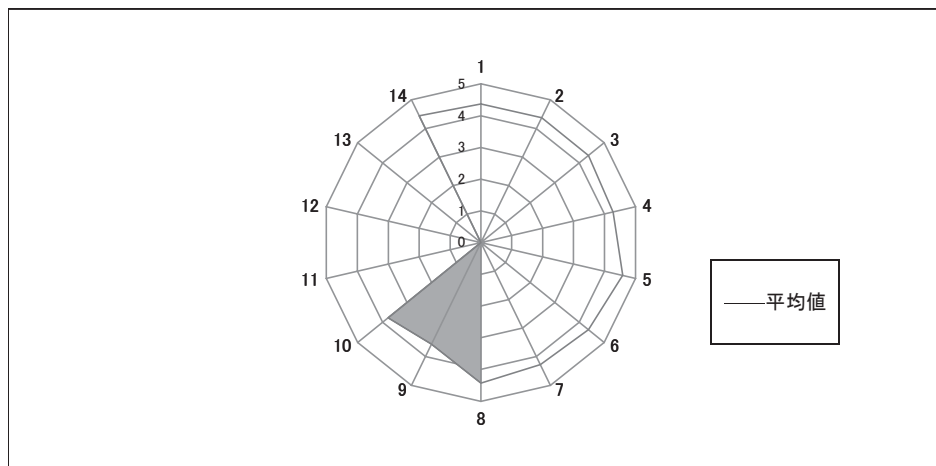
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育評価論  
 評価実施日 平成24年7月20日  
 担当教員名 前田 洋一, 川上 綾子

回答者数 106名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	51	46	6	3	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	55	38	11	2	0	0	4.4
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	52	42	7	4	0	1	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	48	38	17	1	0	2	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	72	25	8	1	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	58	32	12	4	0	0	4.4
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	54	31	17	4	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	58	36	11	1	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	28	24	35	15	3	1	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	29	35	32	8	2	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	61	30	11	2	0	2	4.4



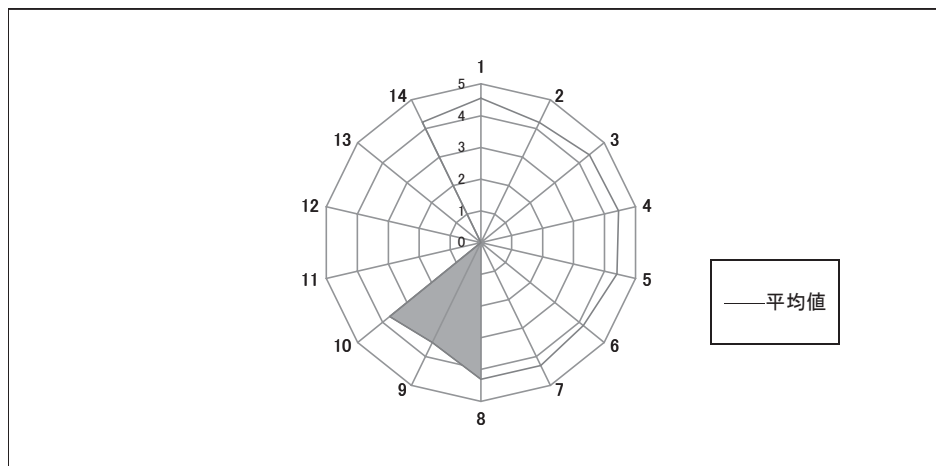
総合評価 4.4

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 教育工学  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 川上 綾子

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



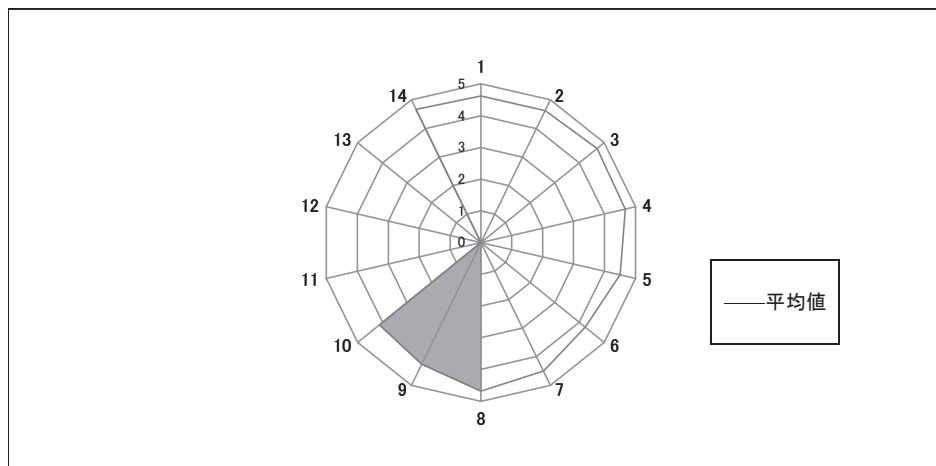
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳幼児心理学  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 田村 隆宏

回答者数 34名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生徒指導論(進路指導を含む。)

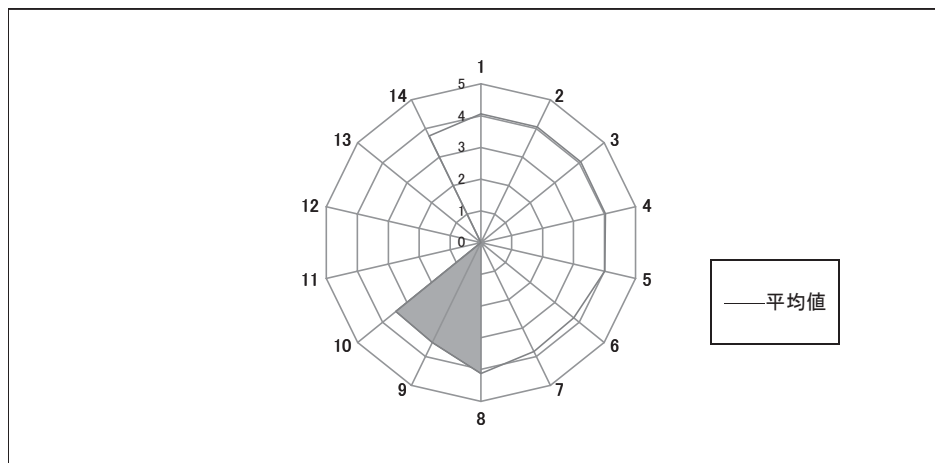
評価実施日 平成25年2月5日

担当教員名 葛上 秀文, 吉井 健治, 小倉 正義, 阿形 恒秀

回答者数

187名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	66	72	42	6	1	0	4.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	62	81	38	4	2	0	4.1
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	69	70	39	5	4	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	67	66	43	8	1	2	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	67	68	39	12	1	0	4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	48	65	59	9	5	1	3.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	48	74	47	15	2	1	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	77	62	39	8	0	1	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	34	59	65	19	8	2	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	34	55	54	27	8	9	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	42	63	46	13	5	18	3.7



総合評価 3.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

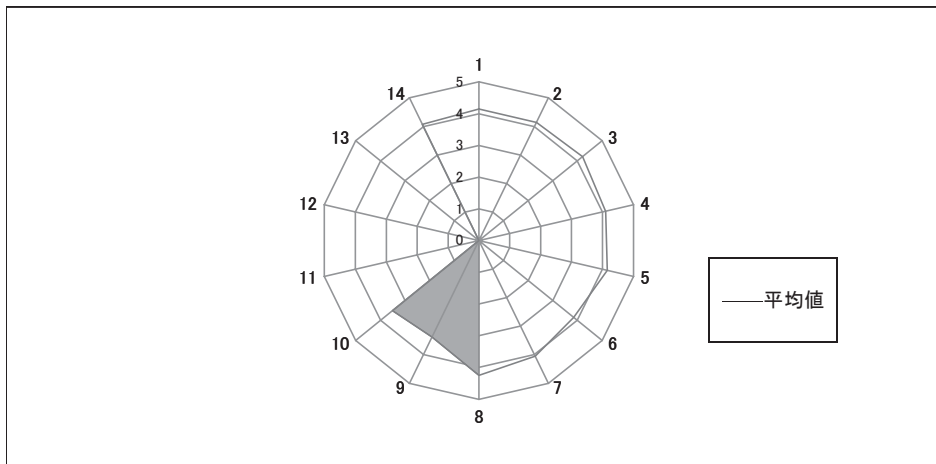
授業科目名 カウンセリング論A

評価実施日 平成24年7月20日

担当教員名 小倉 正義, 久米 禎子, 吉井 健治

回答者数 120名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	41	57	20	2	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	40	60	18	1	1	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	51	45	20	2	1	1	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	39	57	20	1	2	1	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	41	60	17	0	2	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	35	44	31	7	3	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	39	54	23	2	2	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	53	48	16	1	2	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	19	38	38	17	7	1	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	26	38	36	11	9	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	38	53	19	1	3	6	4.1



総合評価	4.1
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

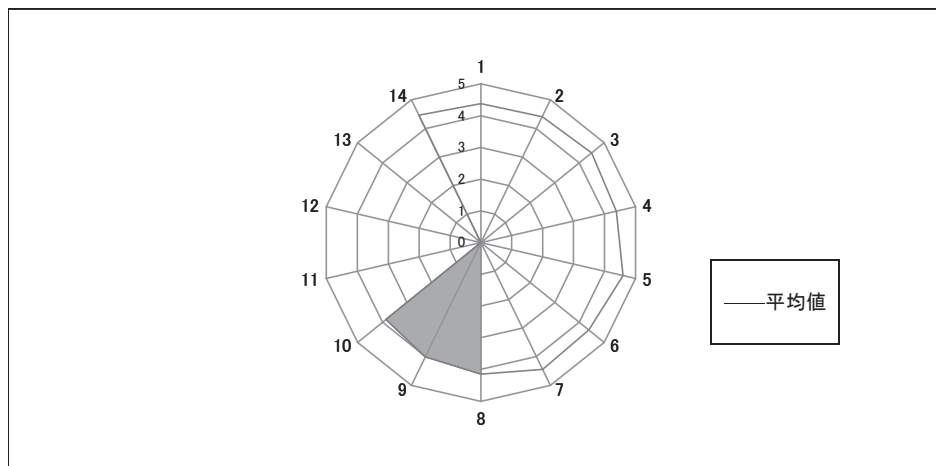




授業科目名 中等国語科教材論  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 27名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	10	2	1	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	12	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	10	2	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	11	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	19	5	3	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	9	4	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	7	4	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	8	6	1	0	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	6	6	3	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	6	6	3	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	8	3	0	0	1	4.5



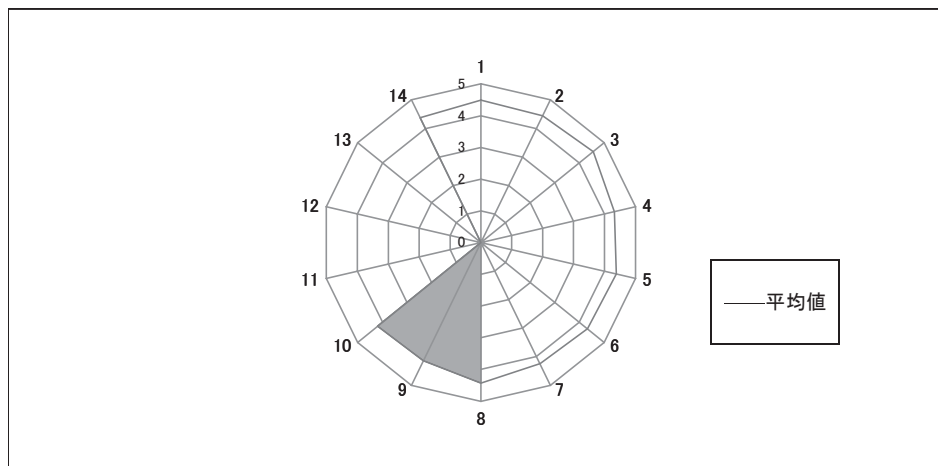
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科教育論  
 評価実施日 平成24年8月1日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 29名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	11	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	10	3	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	19	7	3	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	12	4	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	11	2	1	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	10	5	0	0	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	12	5	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	10	3	0	0	1	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	11	5	1	0	1	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	15	4	0	0	1	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	12	3	0	0	0	4.4



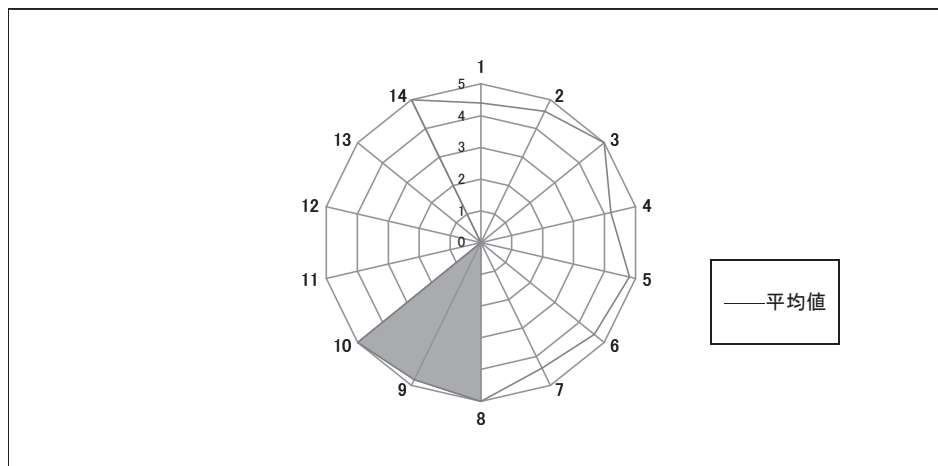
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科授業論  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



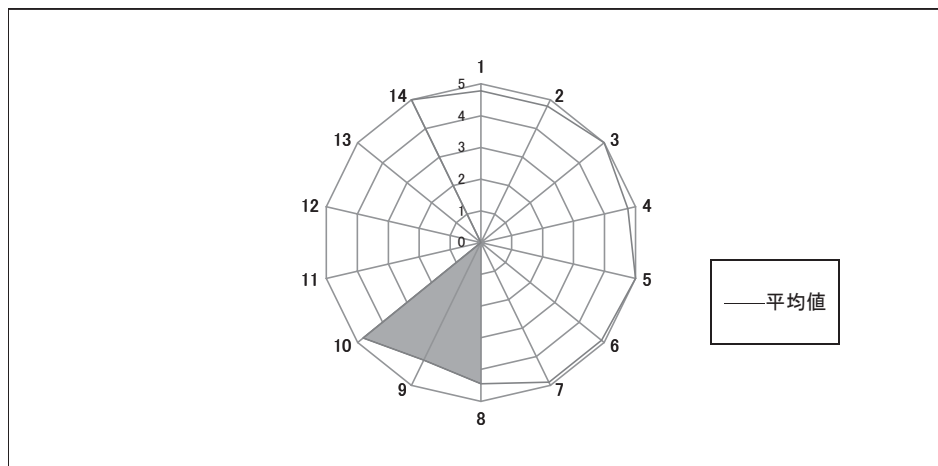
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語科教育特論  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



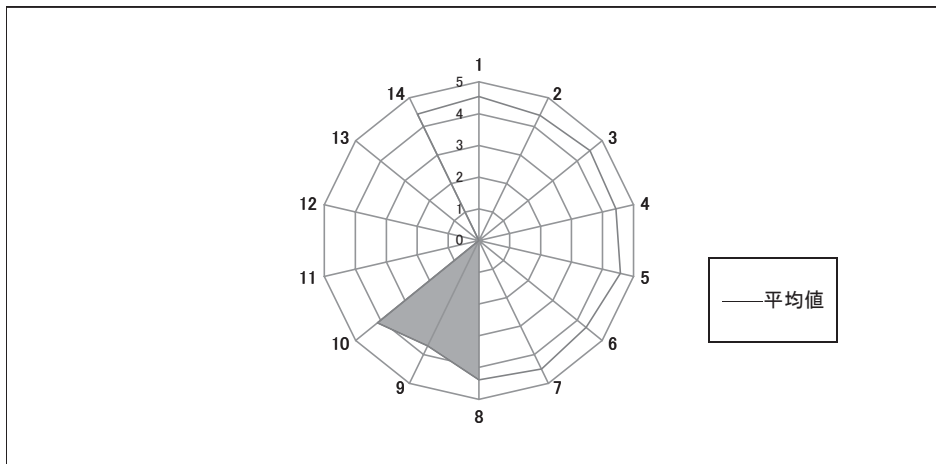
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論 I  
 評価実施日 平成24年8月1日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



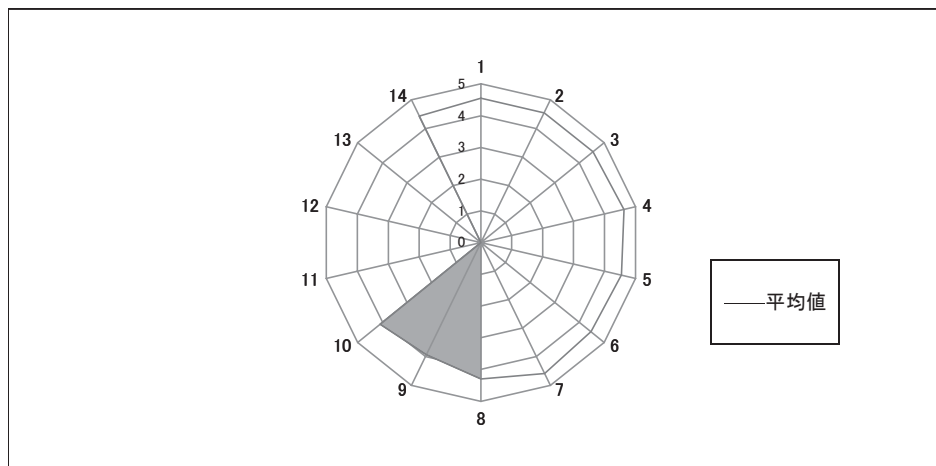
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 伊東 治己

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



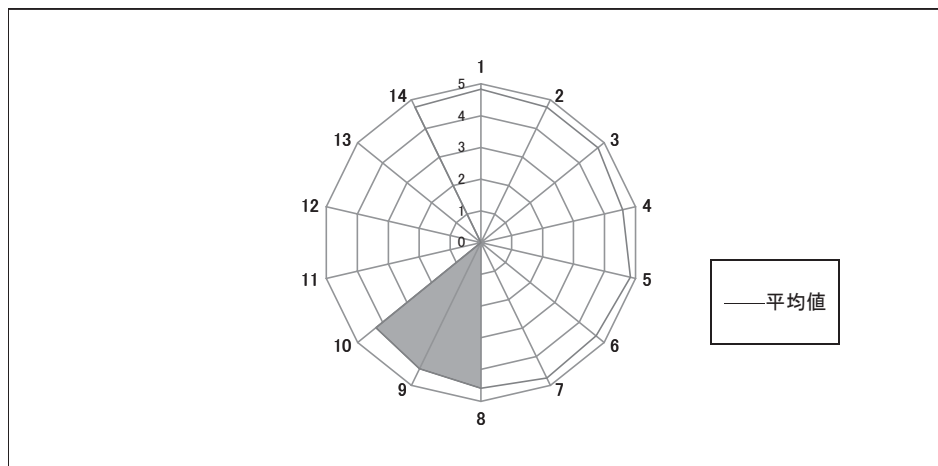
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅲ  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 伊東 治己

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	1	0	0	0	4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	5	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	1	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	0	3	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	3	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.7**

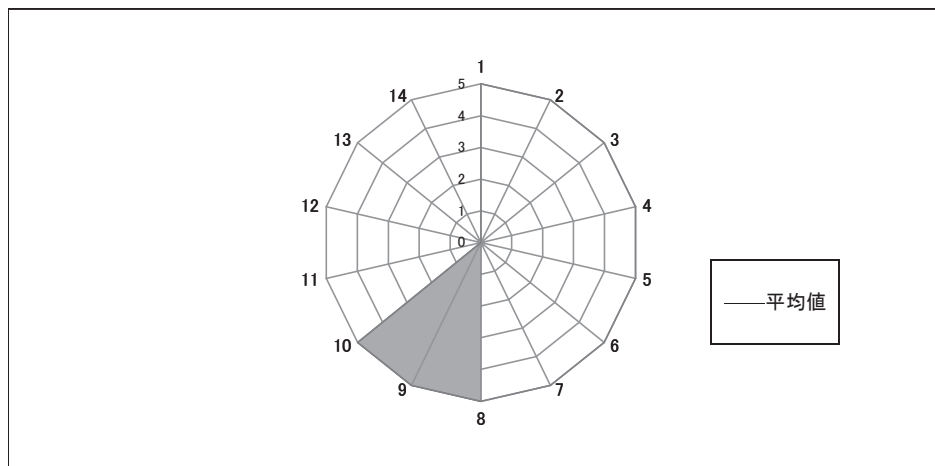
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語科教育論Ⅳ  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 畑江 美佳

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	1	0.0



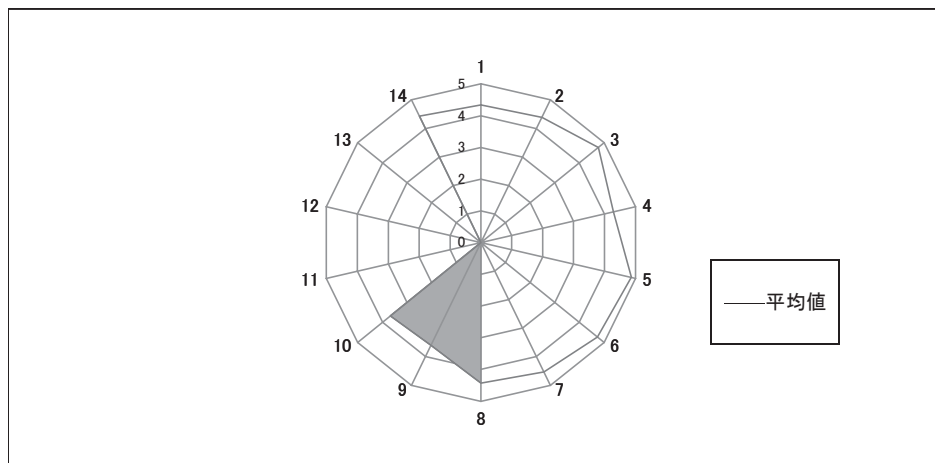
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科教育論  
 評価実施日 平成25年2月28日  
 担当教員名 梅津 正美

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	10	2	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	7	3	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	5	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	11	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	3	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	2	2	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	8	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	6	3	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	8	7	2	0	1	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	13	4	1	1	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	10	1	0	0	0	4.4



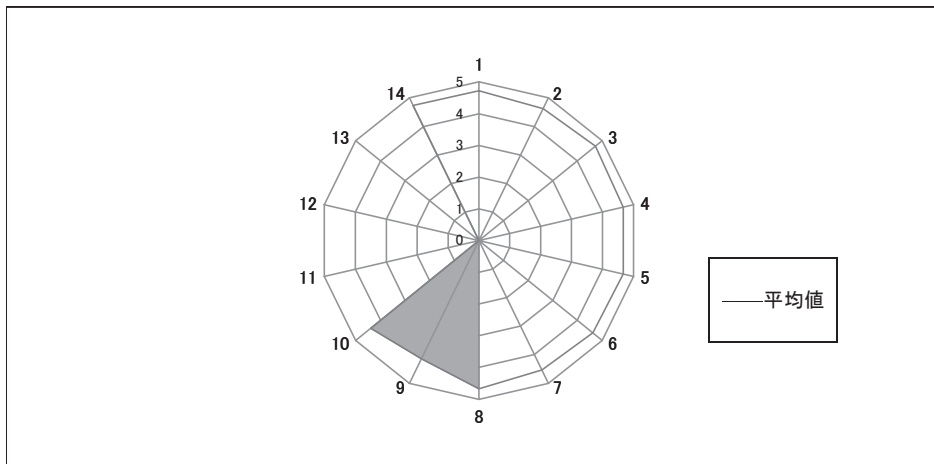
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科授業論  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



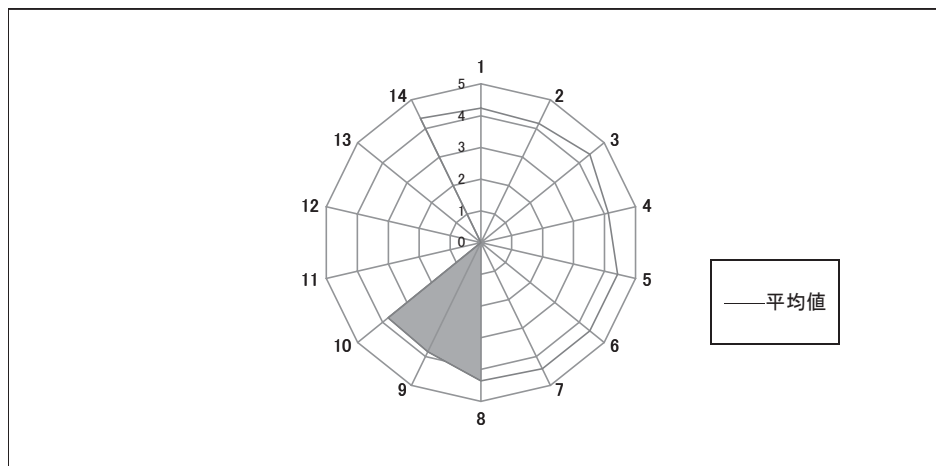
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理歴史科教育論  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	11	1	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	8	3	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	6	2	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	9	3	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	6	2	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	8	1	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	4	3	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	5	3	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	10	5	0	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	7	7	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	5	3	0	0	0	4.4



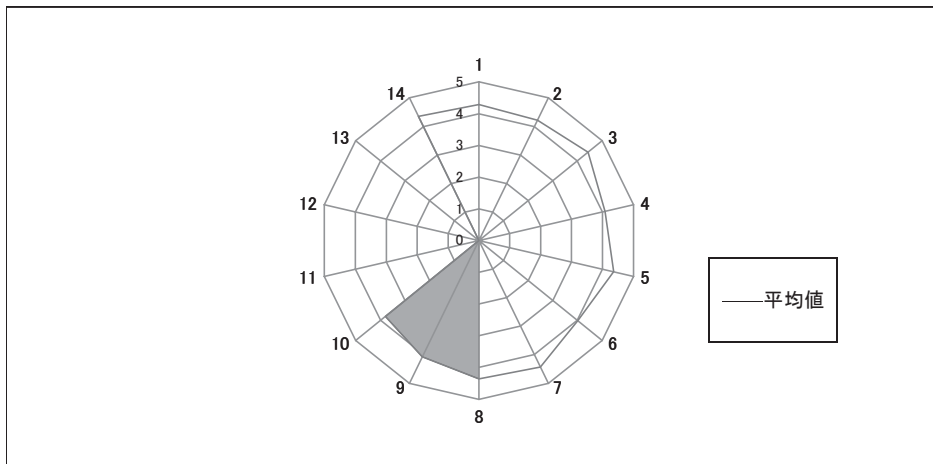
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名           社会科・地理歴史科教材論            
 評価実施日           平成25年2月18日            
 担当教員名           梅津 正美, 伊藤 直之          

回答者数           14名          

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



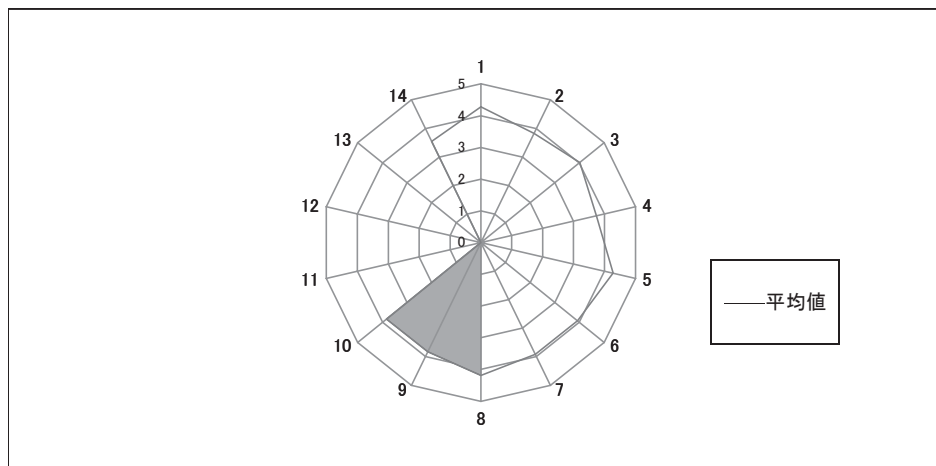
総合評価           4.3          

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 公民科教育論  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	3	1	0	0	3.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	2	1	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	6	2	0	1	0	3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	4	0	0	1	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	6	1	0	1	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	5	0	1	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	2	1	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	5	4	0	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	5	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	5	1	3	0	0	3.5



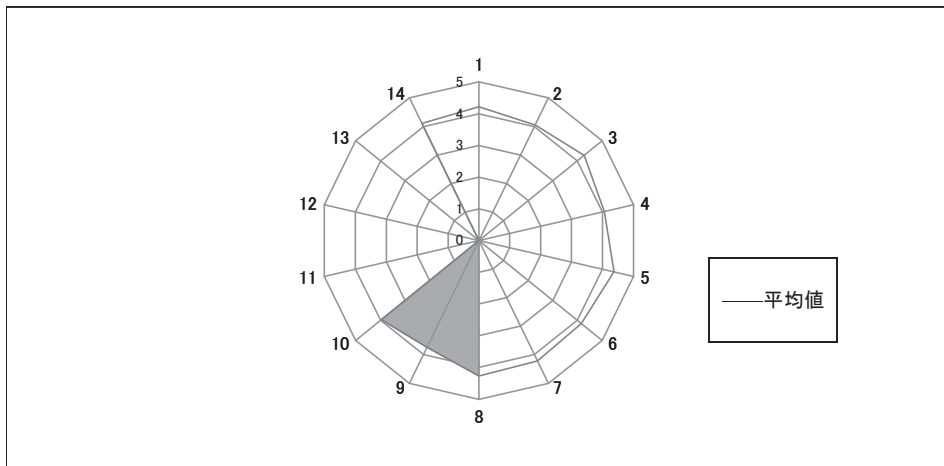
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会科・公民科教材論  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	9	3	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	7	4	1	0	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	6	2	0	1	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	7	3	0	1	1	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	7	1	1	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	4	4	0	1	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	5	3	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	10	0	0	1	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	8	4	0	2	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	10	3	0	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	10	2	1	0	0	4.1



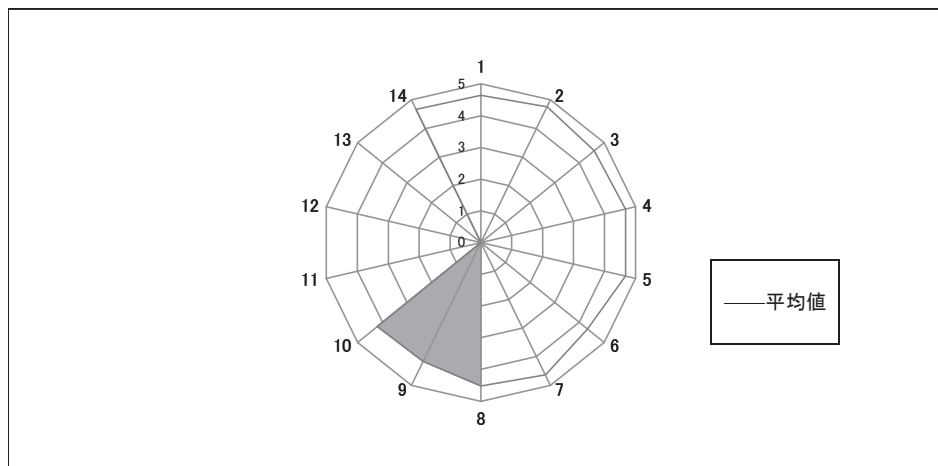
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教育論  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 25名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	9	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	6	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	8	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	18	6	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	8	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	10	2	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	5	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	8	2	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	11	5	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	7	3	2	0	1	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	8	0	0	0	1	4.7



総合評価 **4.6**

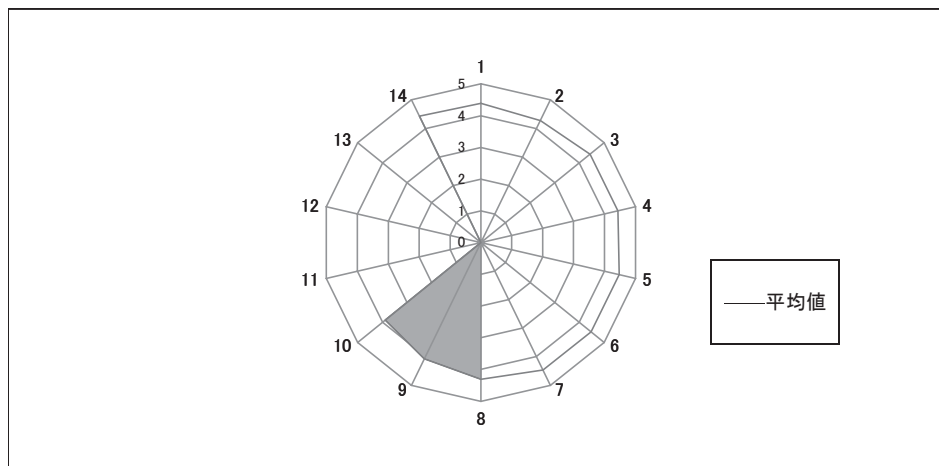
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 数学科教材論  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



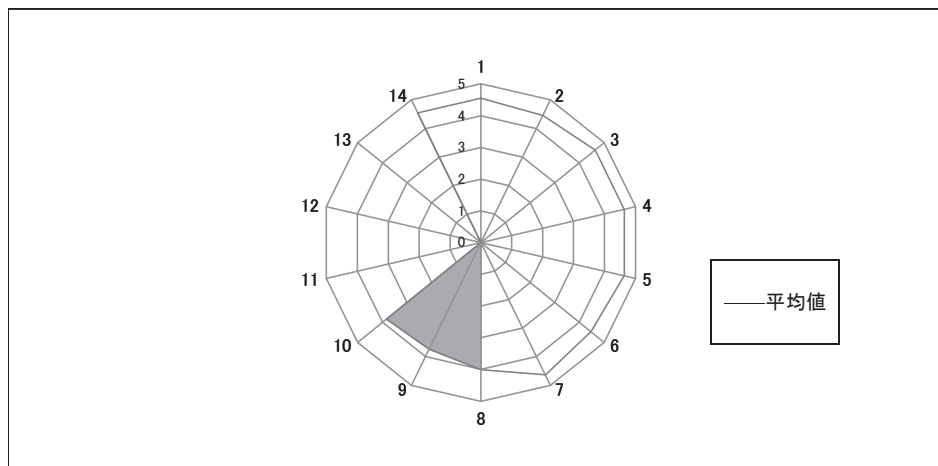
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科授業論  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 坂井 武司

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	6	0	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	5	3	0	0	0	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	5	3	1	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	4	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	5	0	0	0	0	4.5



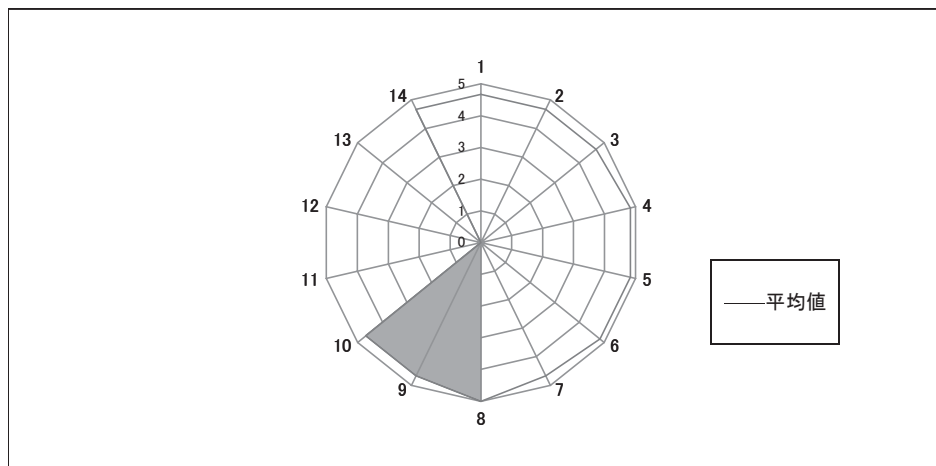
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教育学特論  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 秋田 美代

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

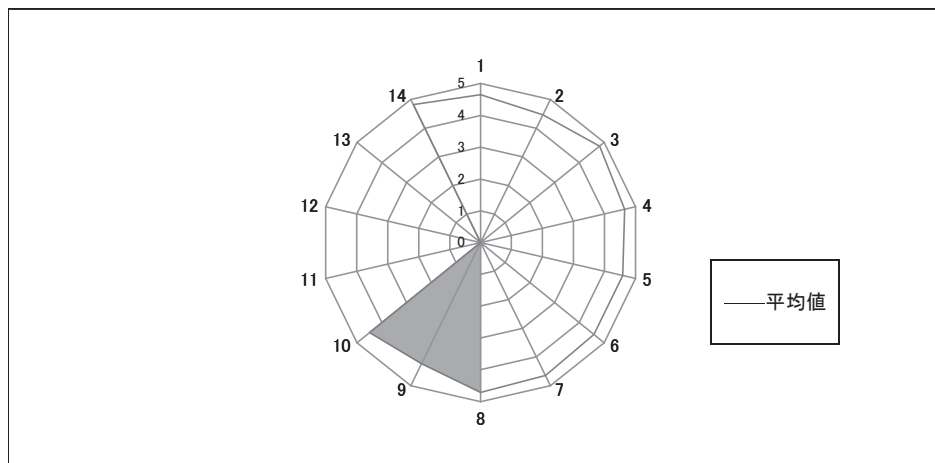
授業科目名 中等理科教育論 I

評価実施日 平成25年2月20日

担当教員名 佐藤 勝幸, 香西 武, 早藤 幸隆, 寺島 幸生

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



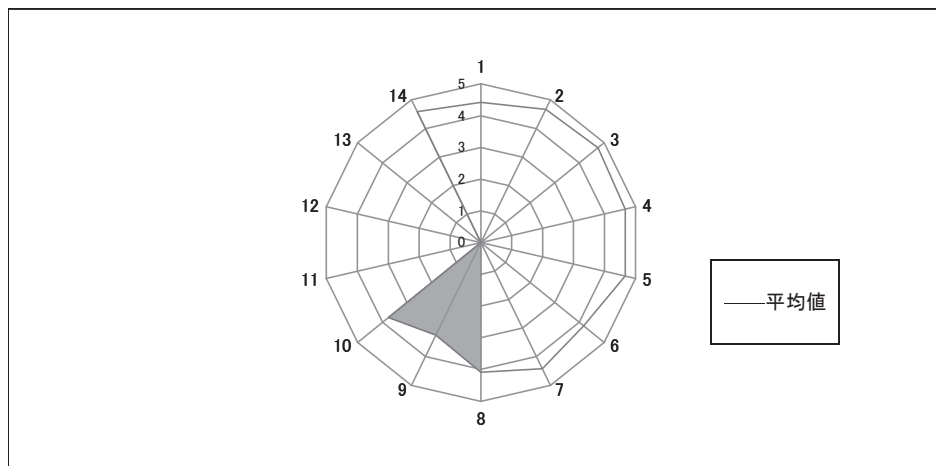
総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 中等理科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 粟田 高明, 早藤 幸隆

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	7	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	4	3	0	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	5	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	4	2	1	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	4	2	3	1	0	3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	4	2	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	5	0	0	0	0	4.6



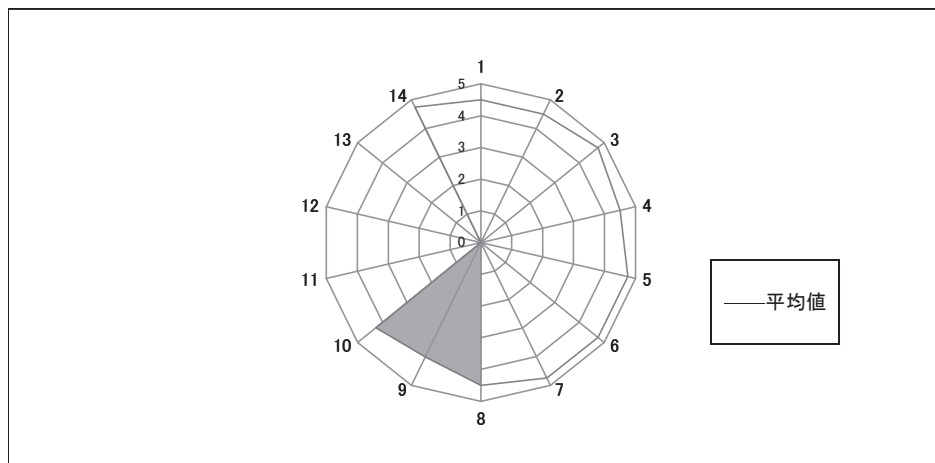
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科教育論Ⅲ  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 佐藤 勝幸, 香西 武

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

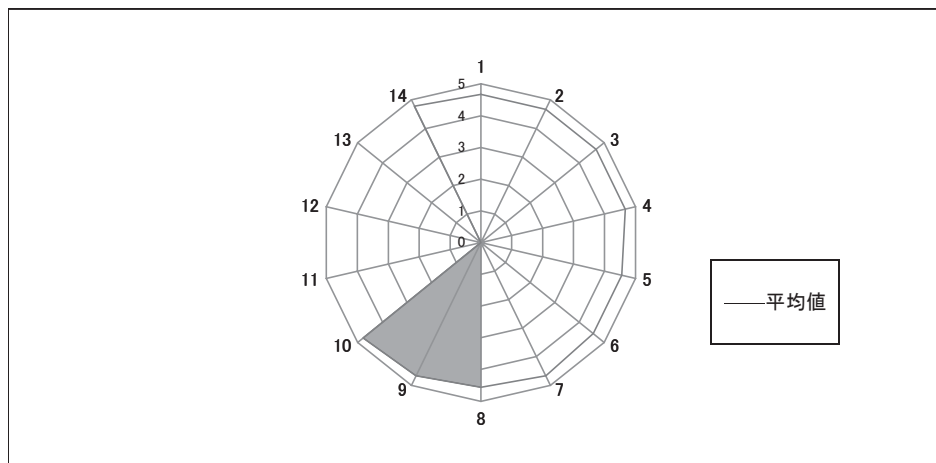
授業科目名 中等理科教育論Ⅳ

評価実施日 平成24年7月23日

担当教員名 香西 武, 武田 清, 早藤 幸隆, 寺島 幸生

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



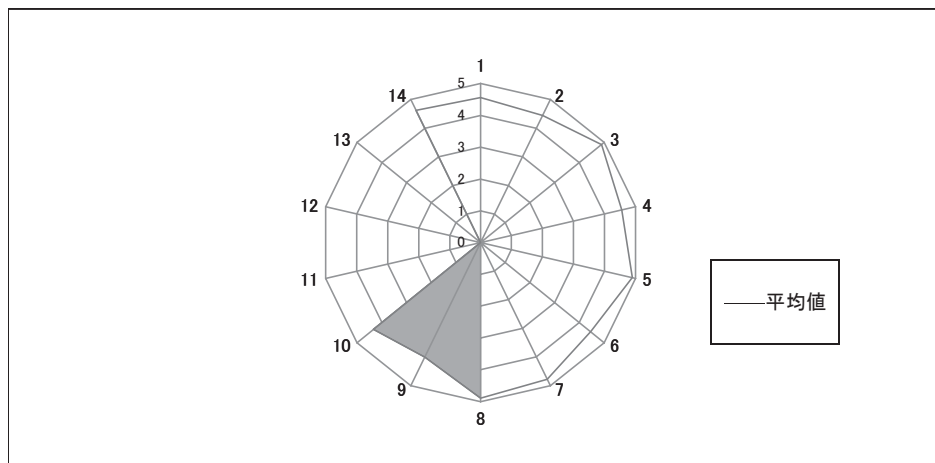
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 中等音楽科教育論  
 評価実施日 平成25年2月28日  
 担当教員名 長島 真人

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	5	0	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	5	2	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	1	4.6



総合評価 **4.7**

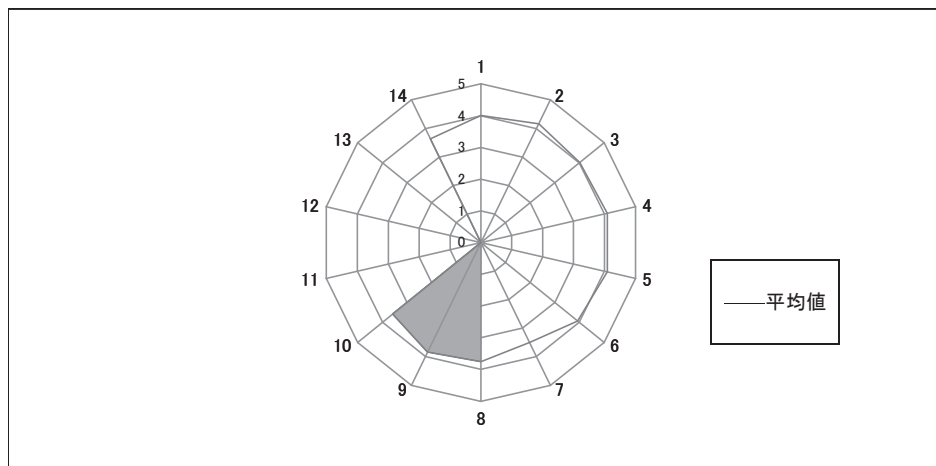
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 中等音楽科授業論  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	7	1	1	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	8	0	0	1	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	8	0	1	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	7	2	0	0	0	4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	6	2	1	0	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	6	1	0	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	4	4	1	0	0	3.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	6	4	0	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	7	2	2	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	5	2	2	0	1	3.6



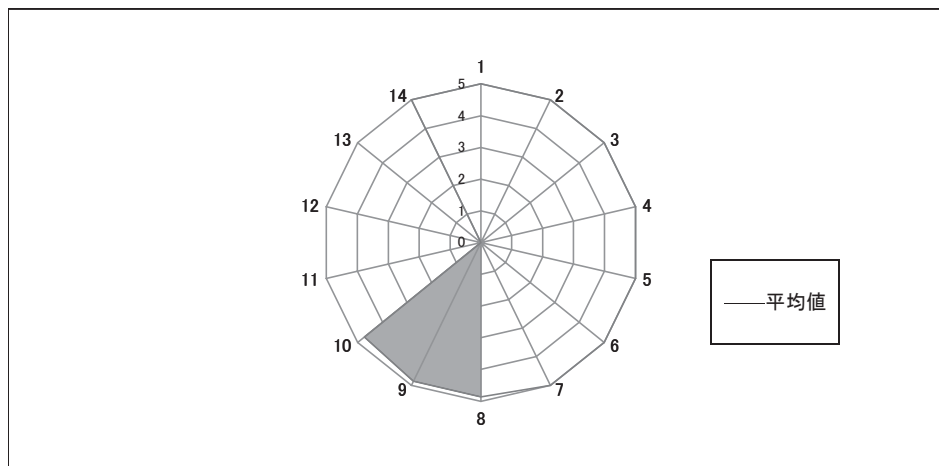
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等音楽科教材論  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 長島 真人

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



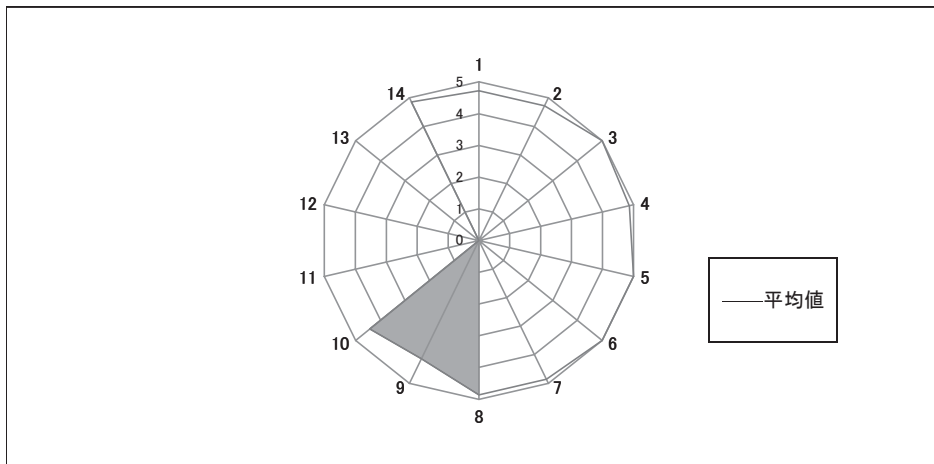
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教育論  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



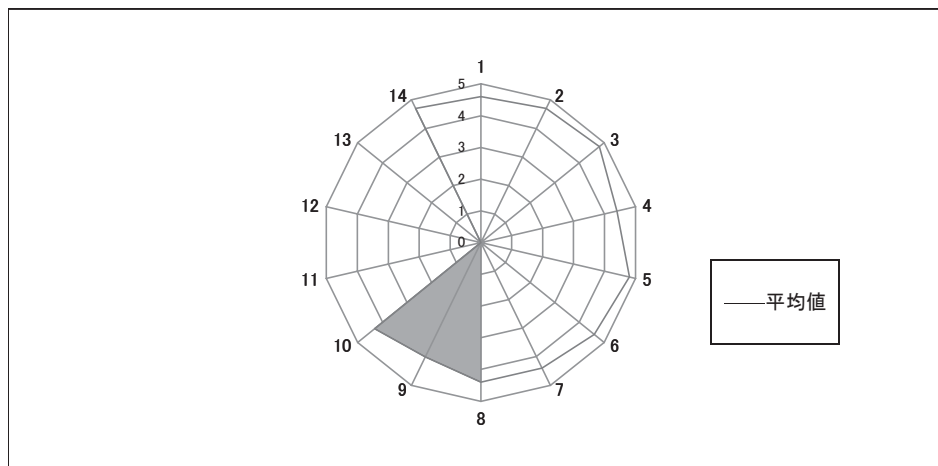
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科授業論  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



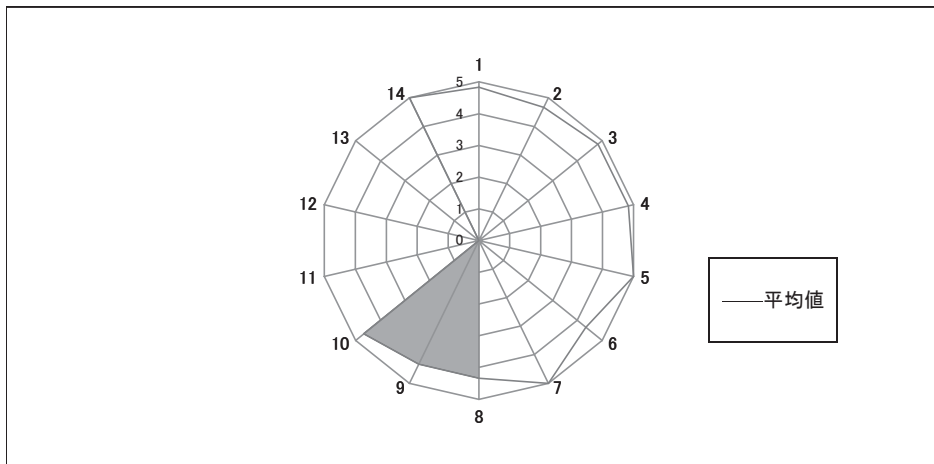
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教材論  
 評価実施日 平成25年2月1日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



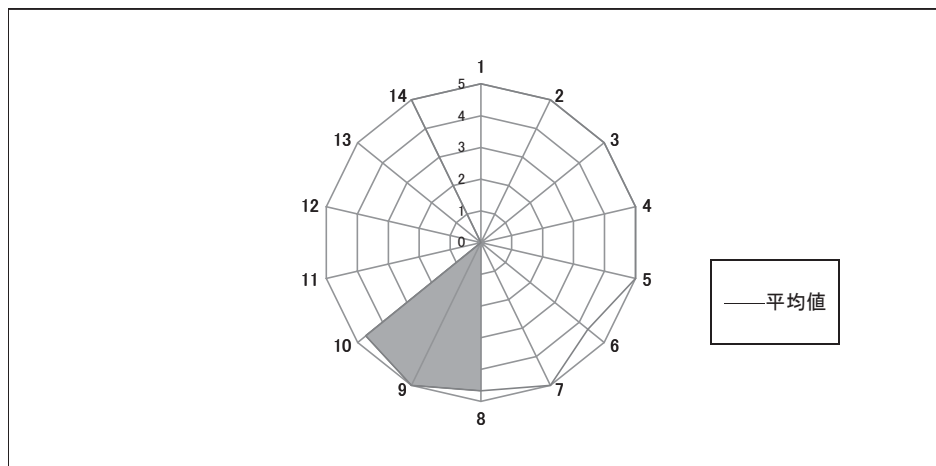
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教育特論  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 山木 朝彦, 山田 芳明

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



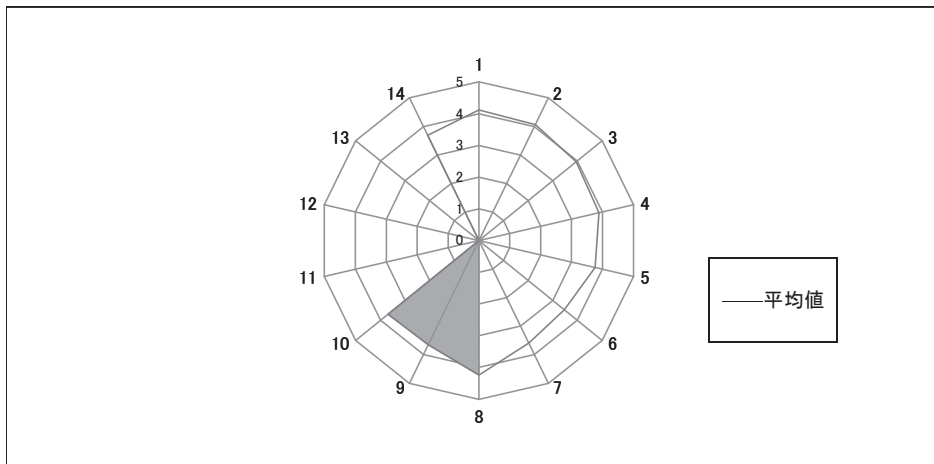
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 保健体育科教育論Ⅲ  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 吉本 佐雅子

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	9	3	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	9	2	1	0	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	7	2	1	1	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	7	4	0	1	0	3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	7	5	0	1	0	3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	6	2	4	1	0	3.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	8	1	2	2	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	5	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	4	8	1	0	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	5	5	2	0	1	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	5	4	0	2	1	3.7



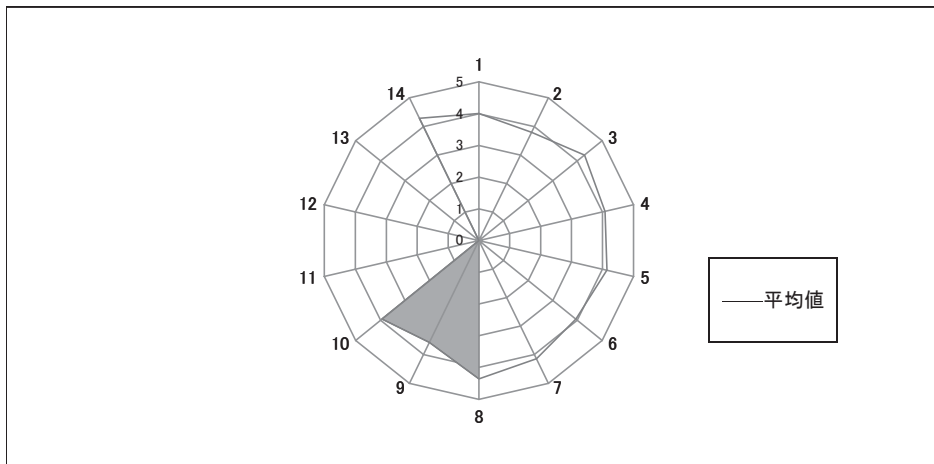
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 技術科教育論 I  
 評価実施日 平成25年2月28日  
 担当教員名 尾崎 士郎

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	5	3	1	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	6	0	0	0	3.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	5	1	1	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	5	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	8	2	0	0	0	4.1
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	7	4	0	0	0	3.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	8	2	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	4	1	1	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	4	5	2	0	0	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	6	3	1	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	6	2	0	0	0	4.3



総合評価 4.1

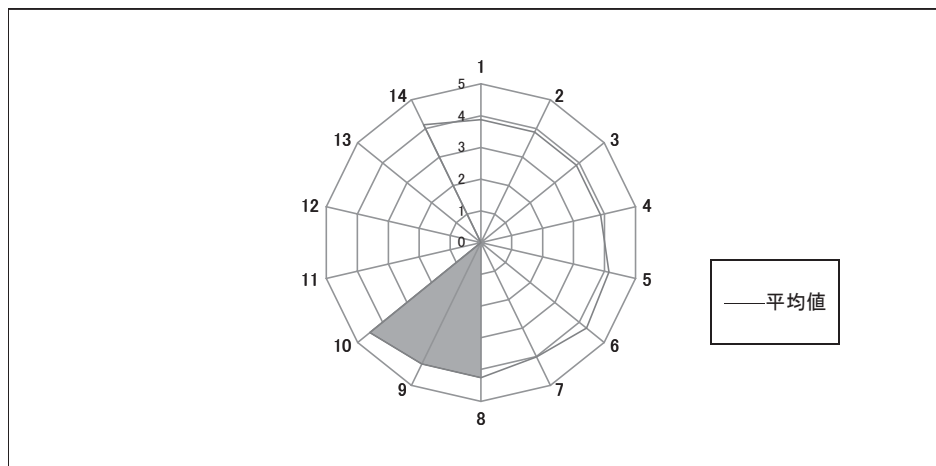
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 技術科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月26日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 宮下 晃一

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



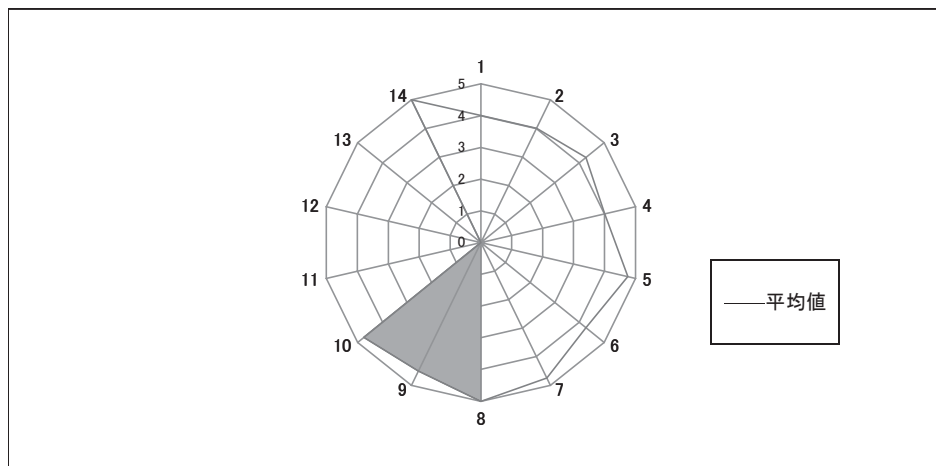
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 技術科教育論演習 I  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 米延 仁志

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



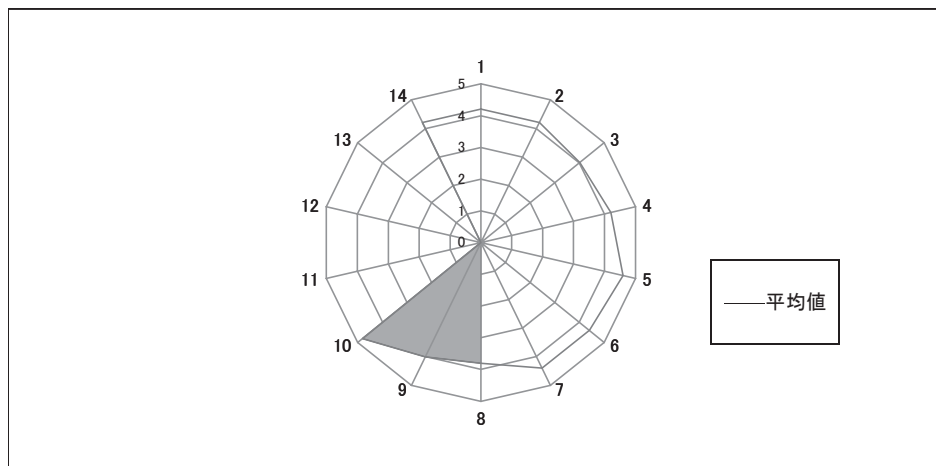
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 技術科教育論演習Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 尾崎 士郎

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



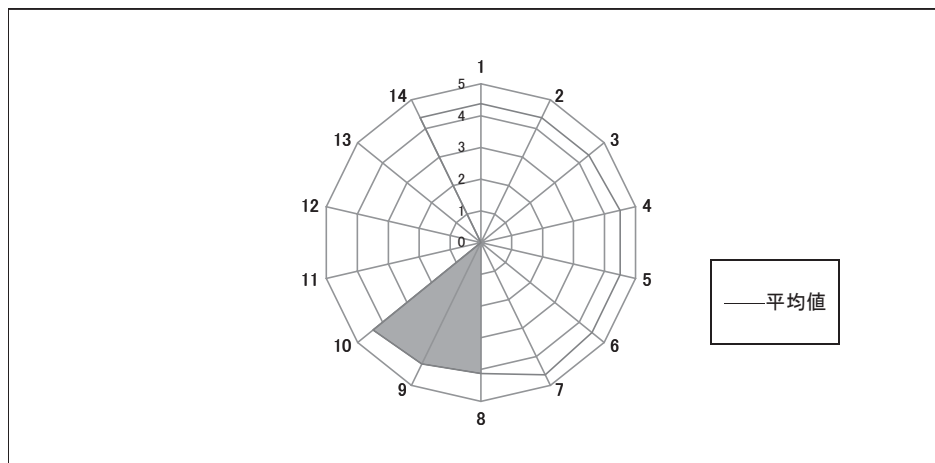
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業科教育論 I  
 評価実施日 平成24年8月1日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	1	1	0	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	3	1	0	0	0	4.4



総合評価 **4.5**

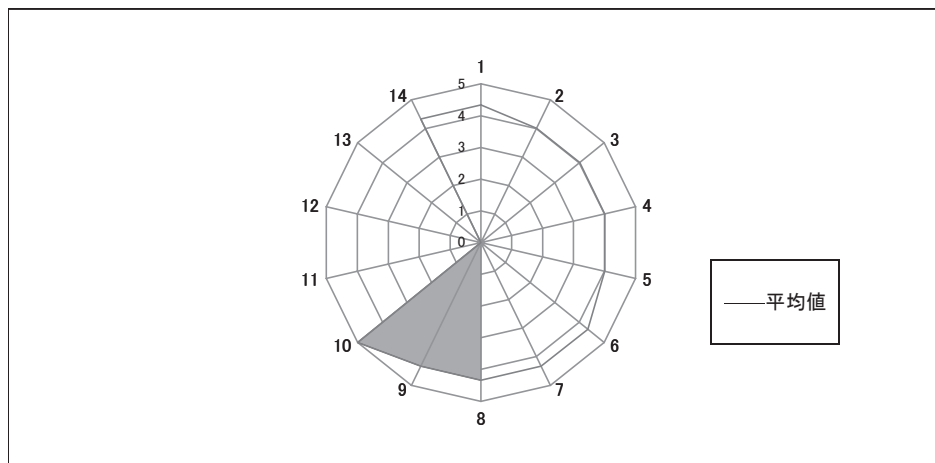
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業科教育論Ⅱ

評価実施日 平成25年2月7日

担当教員名 尾崎 士郎, 宮下 晃一, 米延 仁志, 畑中 伸夫 回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	1	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	1	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	1	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	1	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	0	1	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	1	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	2	0	0	0	0	4.3



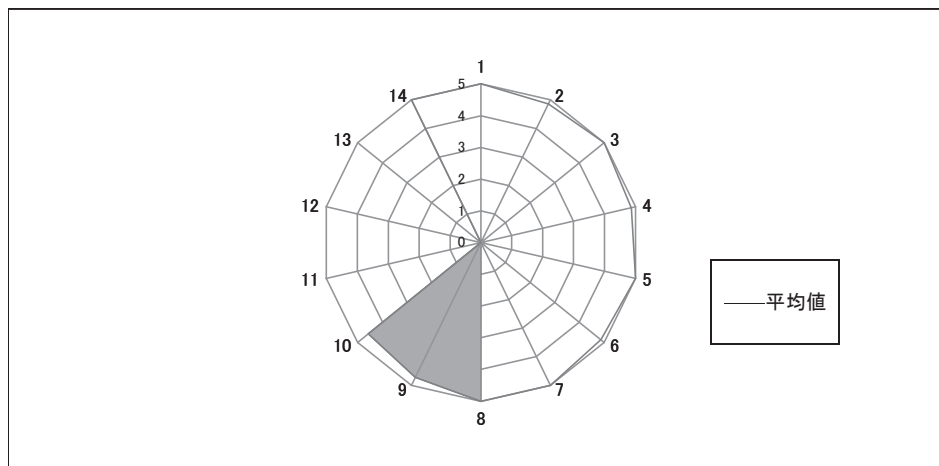
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報科教育論Ⅱ  
 評価実施日 平成24年8月26日  
 担当教員名 森山 潤

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



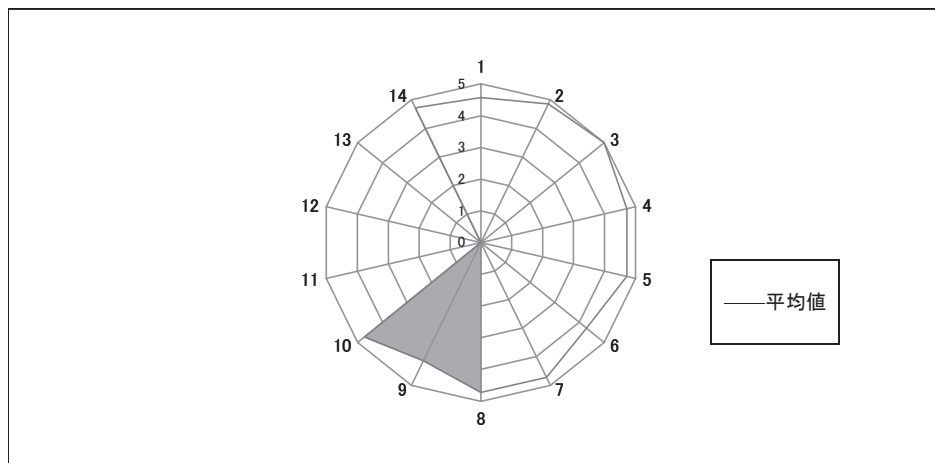
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科教育論  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	1	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	1	0	1	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

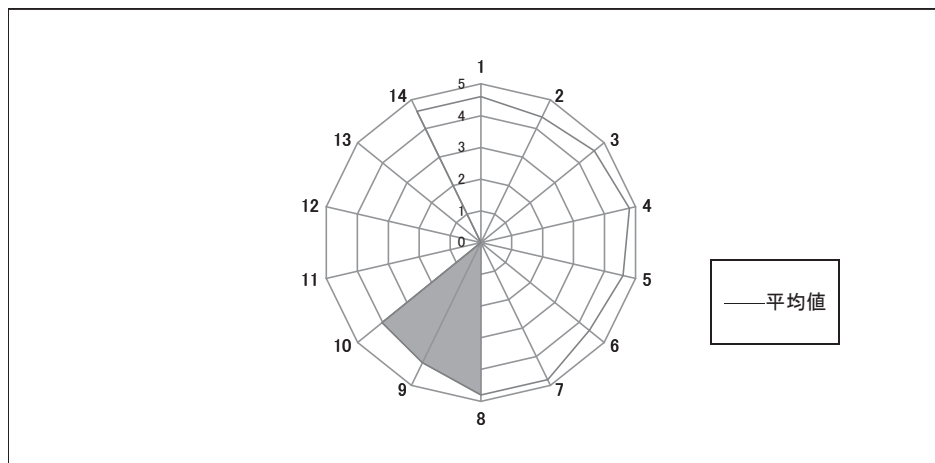
授業科目名 中等家庭科教材論

評価実施日 平成24年7月26日

担当教員名 福井 典代, 金 貞均, 西川 和孝

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	0	4.6



総合評価 4.6

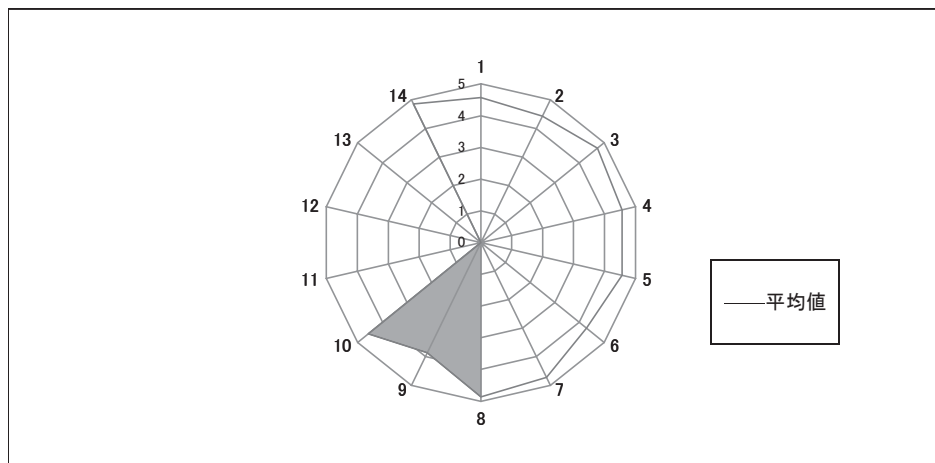
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 中等家庭科授業論  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



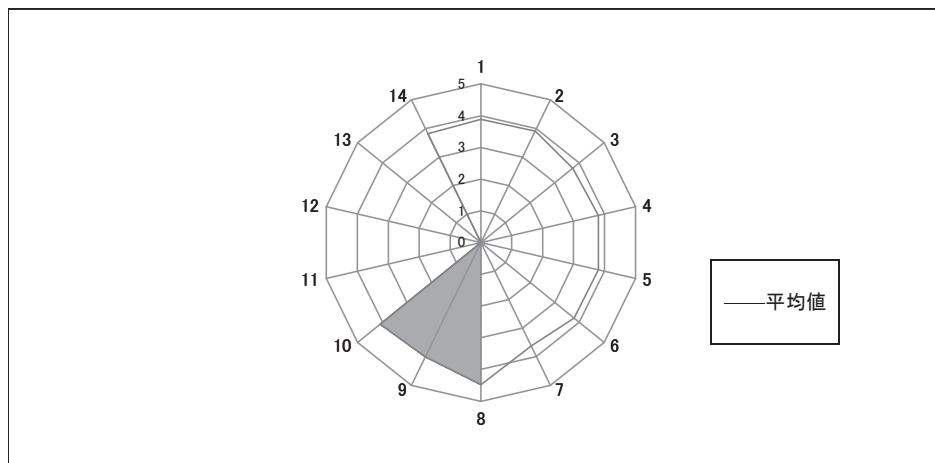
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 総合演習  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 小西 正雄, 太田 直也, 近森 憲助, 藤村 裕一, 谷村 千絵, 田村 和之

回答者数 50名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.8



総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

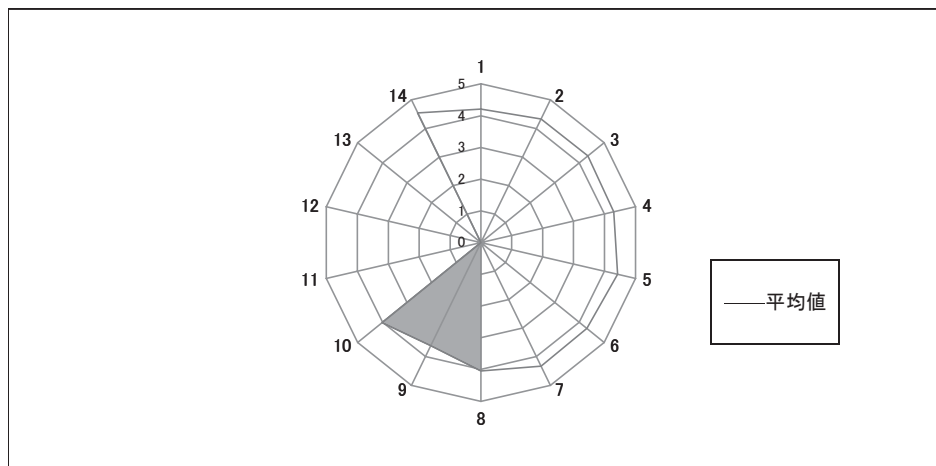


# 專修專門科目

授業科目名 学校と人間形成  
 評価実施日 平成25年2月4日  
 担当教員名 梶井 一暁, 木内 陽一

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	13	3	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	8	4	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	6	5	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	11	3	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	10	2	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	10	2	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	12	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	12	5	0	0	1	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	11	7	1	1	1	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	8	6	1	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	7	2	0	0	0	4.5



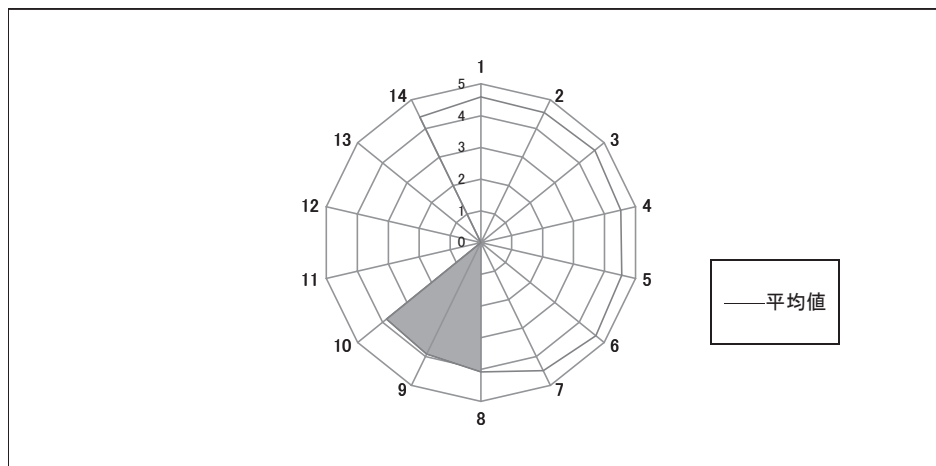
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校制度と教育法規  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 石村 雅雄

回答者数 29名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	17	12	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	11	1	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	7	2	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	19	6	4	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	19	7	3	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	20	8	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	8	2	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	10	7	1	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	7	11	1	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	8	10	2	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	13	2	0	0	1	4.4



総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

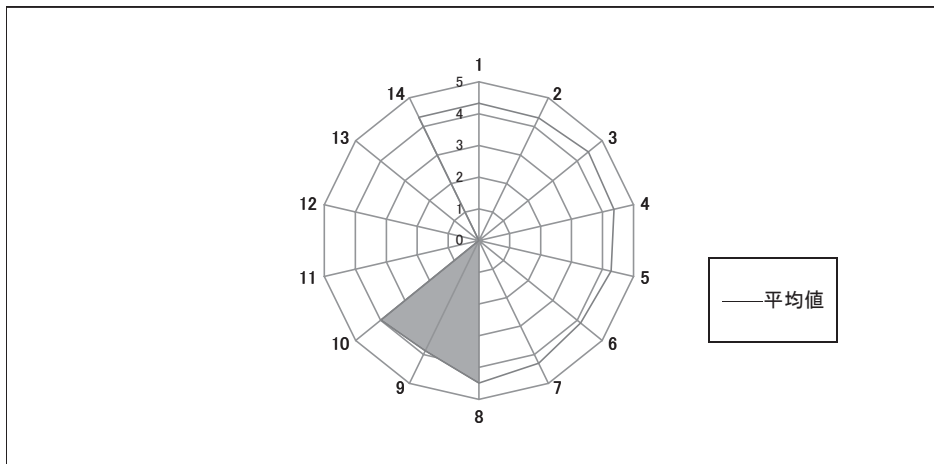
授業科目名 学校の組織と集団

評価実施日 平成24年7月27日

担当教員名 芝山 明義, 久我 直人, 佐古 秀一

回答者数 65名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	34	19	11	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	25	9	1	0	0	4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	35	24	5	1	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	35	20	9	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	30	25	8	2	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	28	21	13	2	1	0	4.1
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	34	19	9	3	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	40	16	7	1	0	1	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	18	22	21	3	0	1	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	21	24	17	3	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	33	21	6	2	1	2	4.3



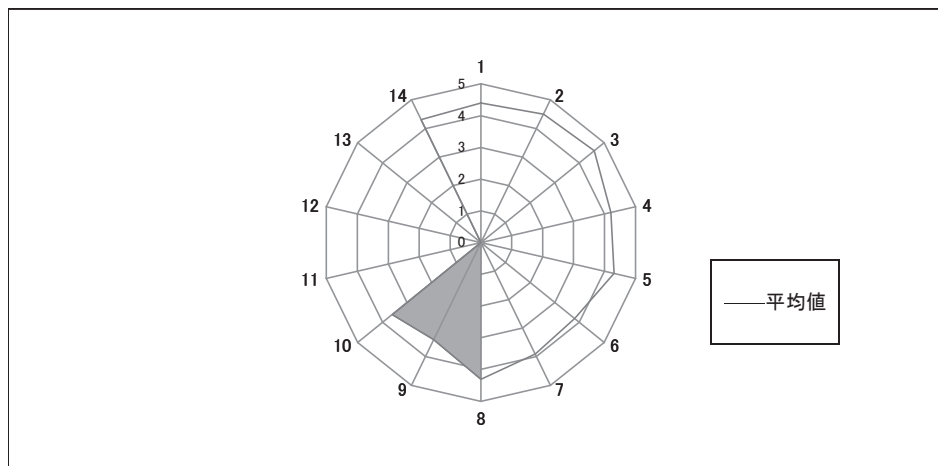
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 臨床心理学  
 評価実施日 平成24年8月30日  
 担当教員名 牧田 浩一

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



総合評価 **4.3**

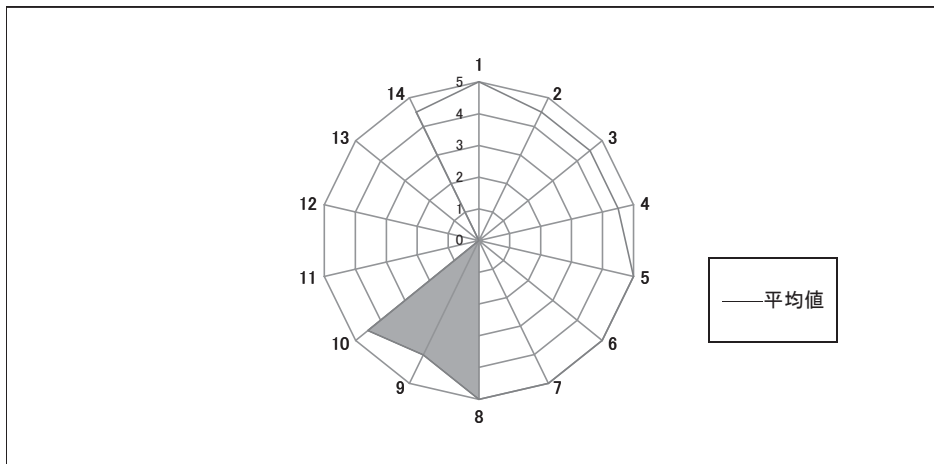
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 学校教育心理学演習  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 皆川 直凡

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



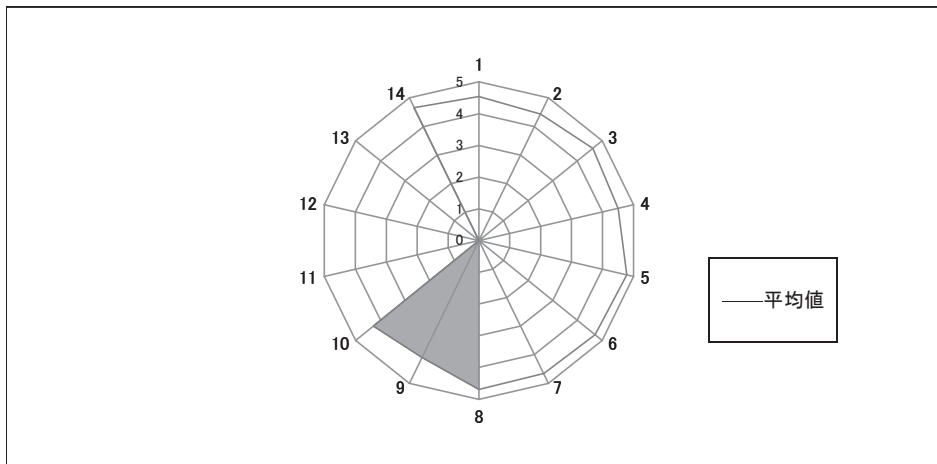
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校の危機管理  
 評価実施日 平成25年2月4日  
 担当教員名 阪根 健二

回答者数 73名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



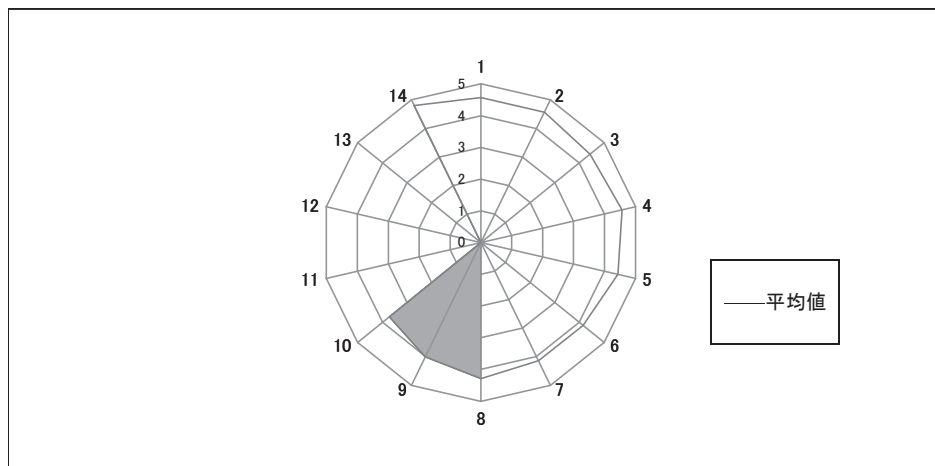
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 発達臨床心理アセスメント  
 評価実施日 平成25年2月1日  
 担当教員名 久米 禎子, 今田 雄三, 栗飯原 良造, 吉井 健治, 中津 郁子, 小倉 正義

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	2	0	0	0	4.1
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	2	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	2	1	1	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	2	2	1	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	2	4.8



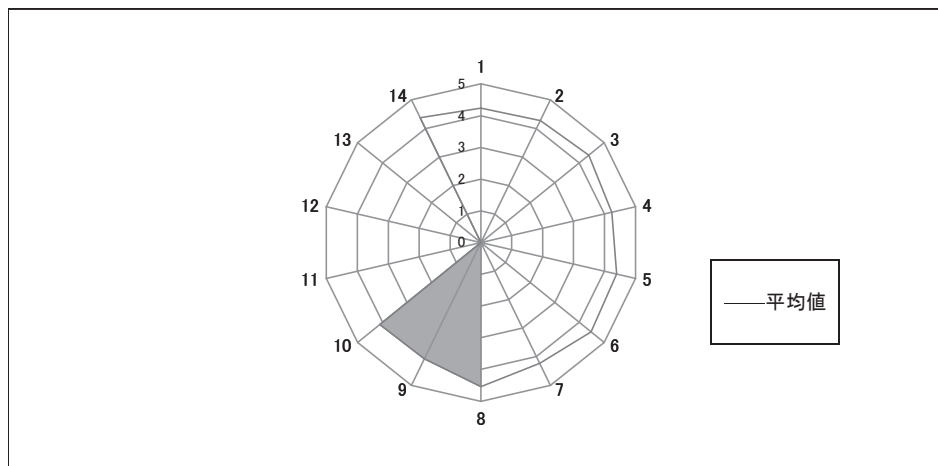
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 総合学習論  
 評価実施日 平成24年12月21日  
 担当教員名 村川 雅弘

回答者数 78名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	35	30	10	2	1	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	35	33	8	0	2	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	40	30	5	0	2	1	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	33	32	10	1	1	1	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	45	21	10	1	1	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	46	25	5	1	1	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	38	25	12	1	2	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	53	18	5	0	2	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	28	34	11	4	1	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	32	10	2	3	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	45	22	6	2	2	1	4.4



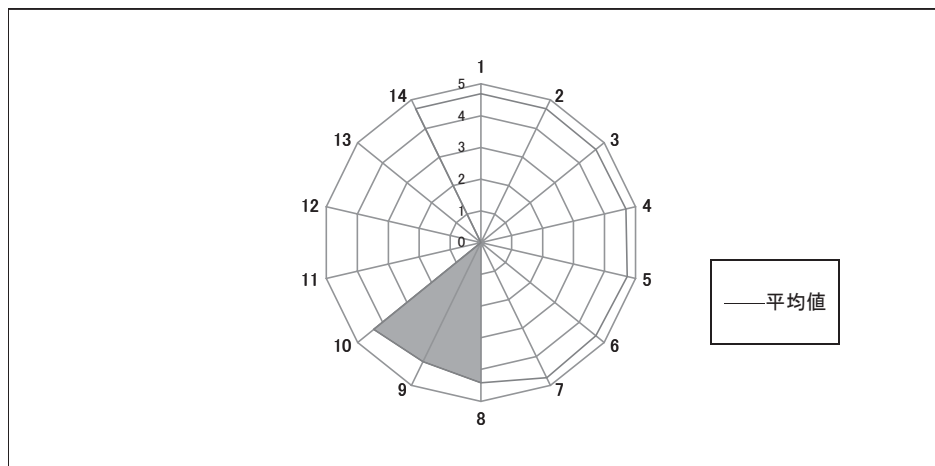
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 予防教育科学と学校教育  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 佐々木 恵, 内田 香奈子

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



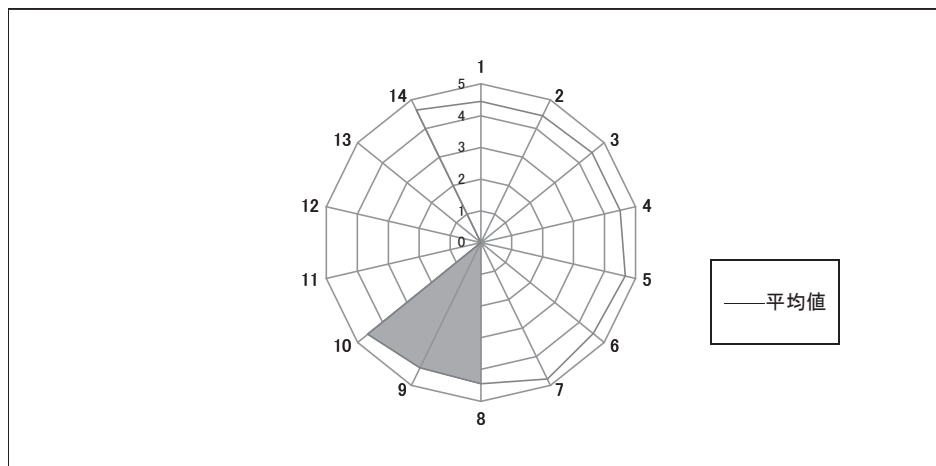
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 授業実践力の形成  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 前田 洋一, 葛上 秀文

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)					
		5	4	3	2	1	N.A
1 授業の計画と内容について (1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。 (2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。 (3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。 (4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	8	1	0	0	0	4.4
	9	8	1	0	0	0	4.4
	10	7	1	0	0	0	4.5
	10	7	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について (5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。 (6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。 (7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	14	2	2	0	0	0	4.7
	11	6	1	0	0	0	4.6
	15	2	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて (8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。 (9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。 (10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	8	1	0	0	0	4.4
	10	5	3	0	0	0	4.4
	11	5	1	0	0	1	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ) (11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。 (12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。 (13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価 (14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	12	4	1	0	0	1	4.6



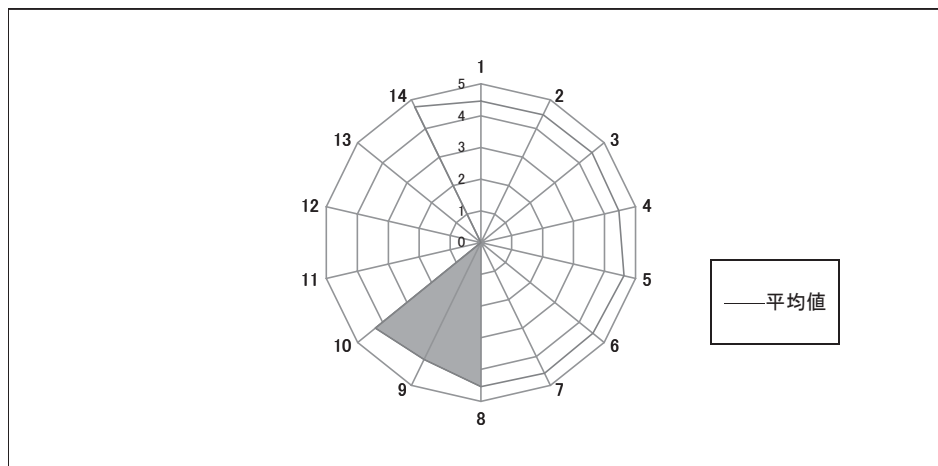
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等国語A  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 109名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	59	41	9	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	63	35	11	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	64	36	9	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	62	35	12	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	74	30	4	1	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	69	31	8	1	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	72	28	9	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	69	30	9	1	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	42	39	25	2	1	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	48	45	12	3	0	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	83	20	3	0	0	3	4.8



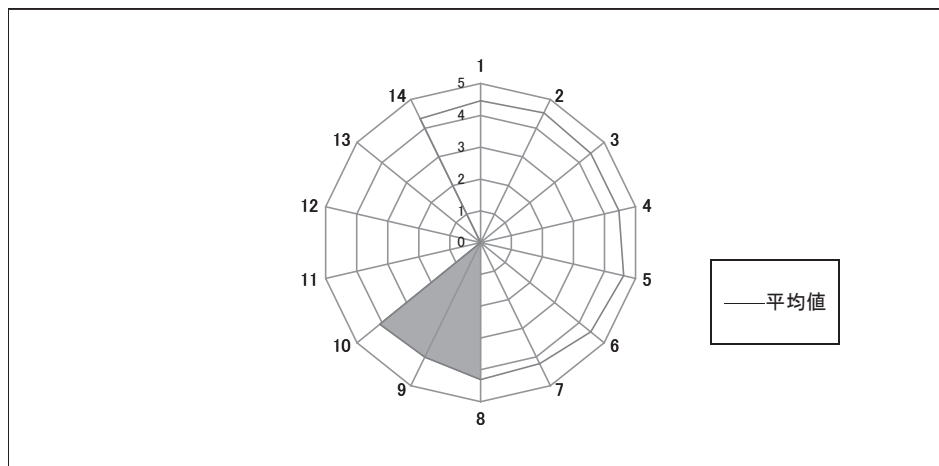
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語B  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



総合評価 **4.5**

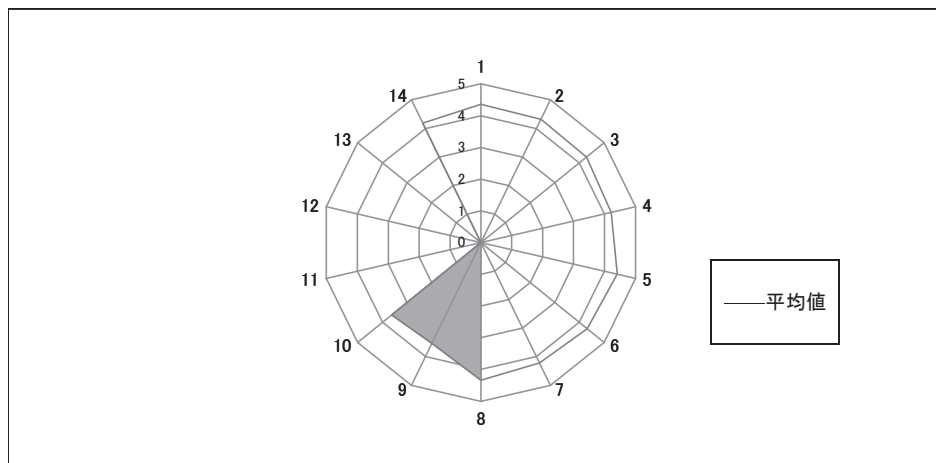
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等社会  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之, 井上 奈穂

回答者数 124名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



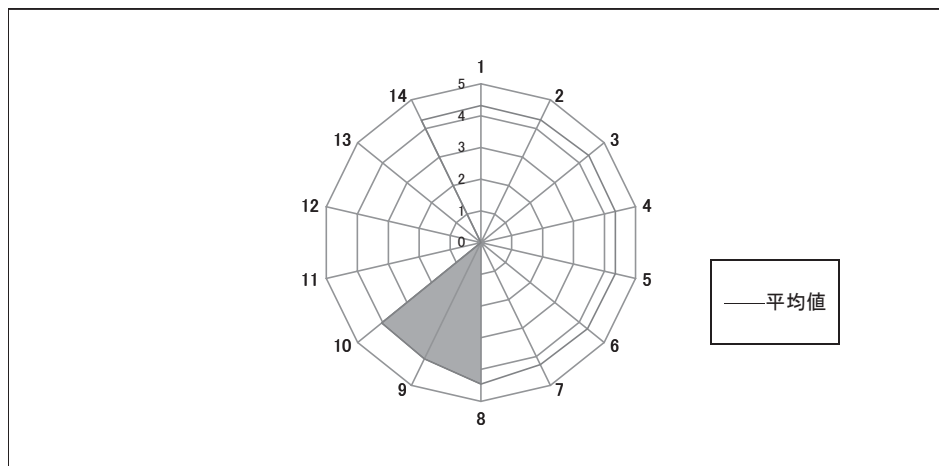
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 算数A  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 44名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



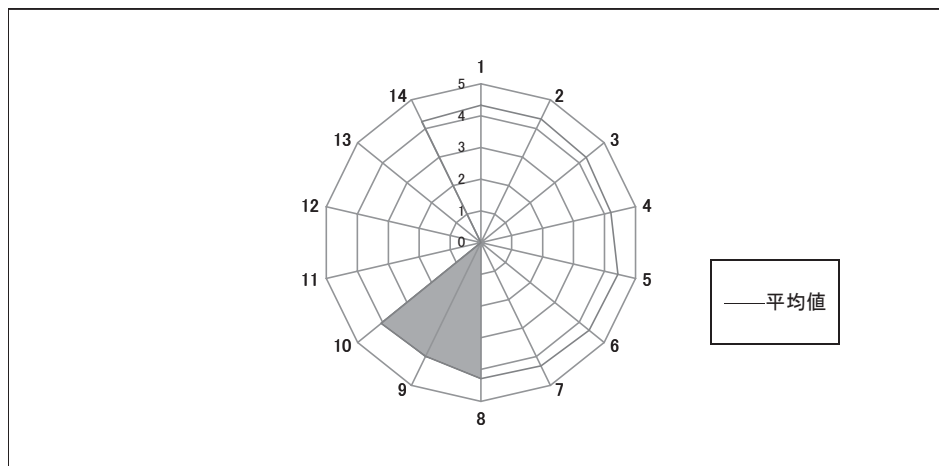
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数B  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 49名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	21	23	5	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	20	25	4	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	22	7	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	20	20	8	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	27	17	4	1	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	25	18	6	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	19	25	4	0	0	1	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	22	19	8	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	17	17	12	3	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	20	10	2	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	25	6	0	0	0	4.2



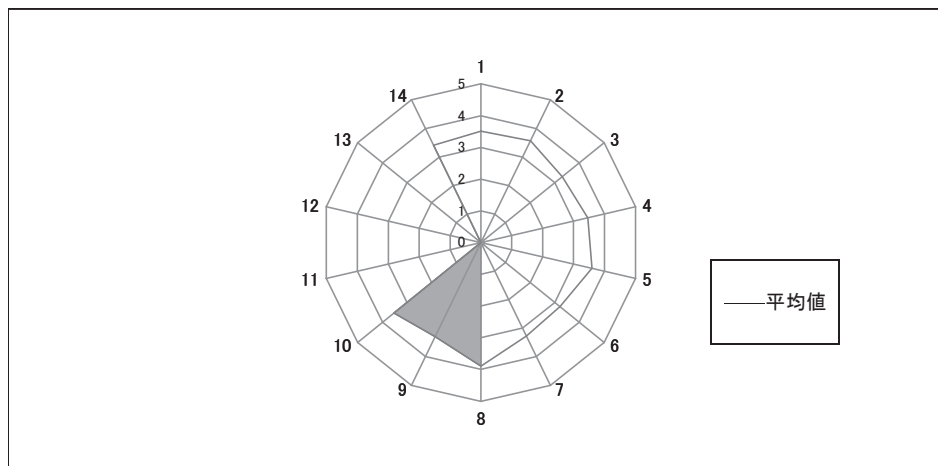
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活A  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 107名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	41	39	7	5	0	3.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	41	35	10	3	0	3.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	30	40	12	9	0	3.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	14	33	46	11	1	2	3.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	23	35	33	14	2	0	3.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	27	44	17	6	1	3.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	30	33	16	10	0	3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	34	37	27	8	1	0	3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	19	26	38	16	8	0	3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	25	31	33	12	6	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	34	31	14	6	5	3.4



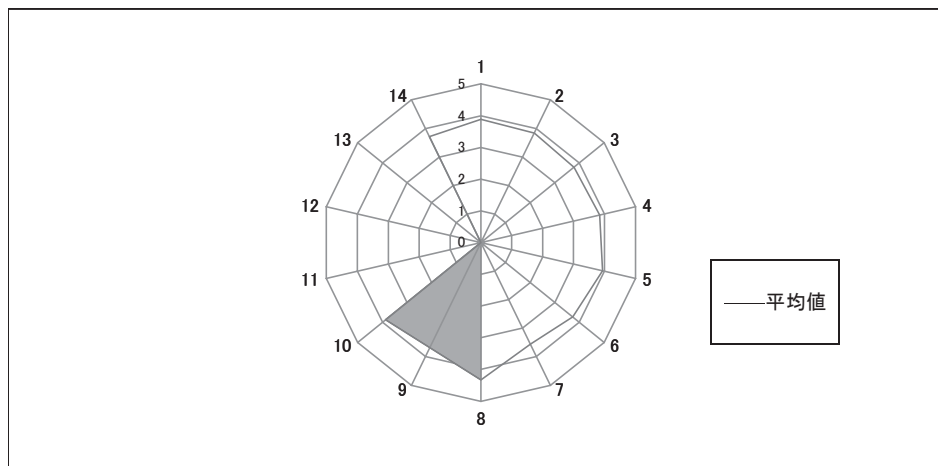
総合評価 **3.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活B  
 評価実施日 平成24年7月23日  
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 43名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	15	11	1	2	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	17	11	1	2	0	3.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	14	9	3	3	0	3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	15	11	3	1	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	13	5	5	2	0	3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	12	14	1	3	0	3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	8	13	4	4	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	24	12	5	1	1	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	11	13	4	2	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	12	12	3	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	8	9	4	4	1	3.7



総合評価 **3.8**

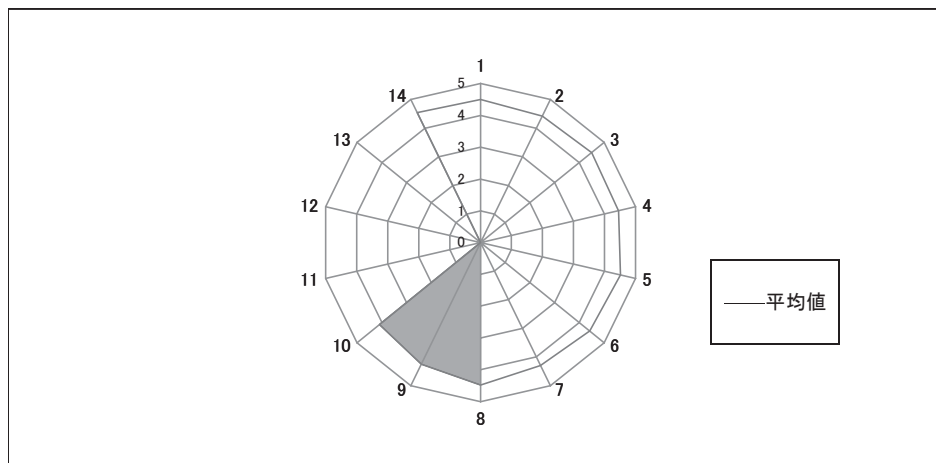
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽 I

評価実施日 平成25年2月15日

担当教員名 山田 啓明, 草下 寛, 松岡 貴史, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲 回答者数 95名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	58	27	9	1	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	54	29	11	1	0	0	4.4
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	54	33	8	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	55	27	11	1	0	1	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	56	33	4	0	1	1	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	48	38	7	1	0	1	4.4
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	47	28	19	0	0	1	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	55	32	6	2	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	47	33	9	4	2	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	42	27	20	5	1	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	54	33	4	0	0	4	4.5



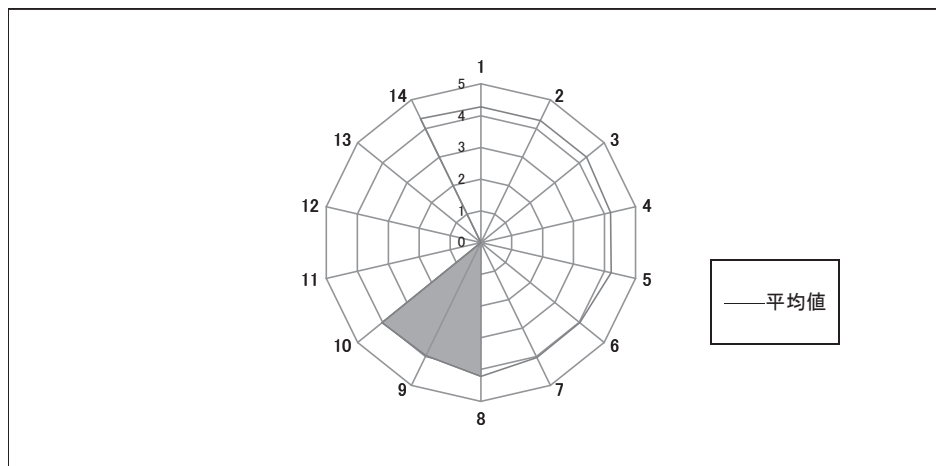
総合評価 4.4

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 図画工作 I A  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 武市 勝, 栗原 慶

回答者数 47名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	24	14	8	0	1	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	23	18	3	2	1	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	22	18	6	0	1	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	21	16	7	1	1	1	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	15	9	0	1	0	4.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	21	10	13	1	2	0	4.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	12	9	4	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	26	10	7	3	1	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	18	16	8	3	2	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	19	14	10	3	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	24	12	6	0	1	4	4.3



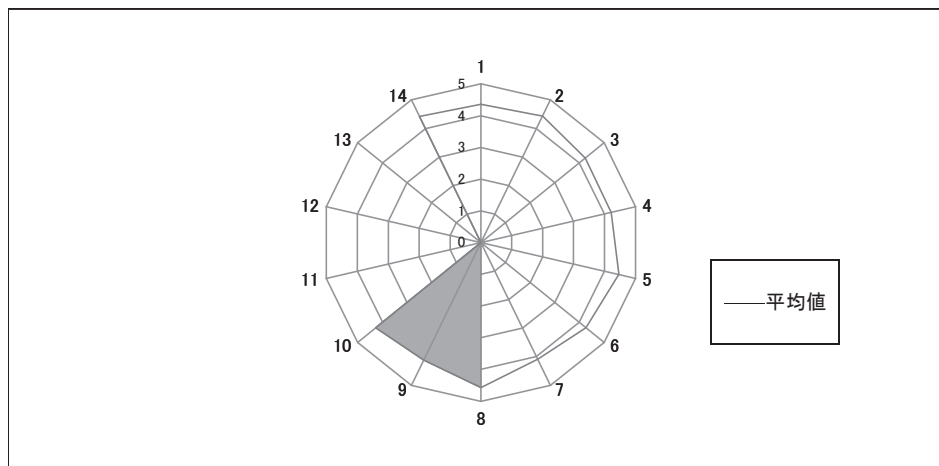
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I B  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 山田 芳明, 栗原 慶

回答者数 51名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)						
	5	4	3	2	1	N.A							
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						23	23	5	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						27	19	5	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						21	21	9	0	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						22	19	9	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						29	17	4	1	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						24	19	6	1	1	0	4.3
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						20	18	11	1	1	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						33	14	4	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						21	17	12	0	1	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						23	18	8	1	0	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。												
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。												
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。												
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						28	17	5	1	0	0	4.4



総合評価 **4.3**

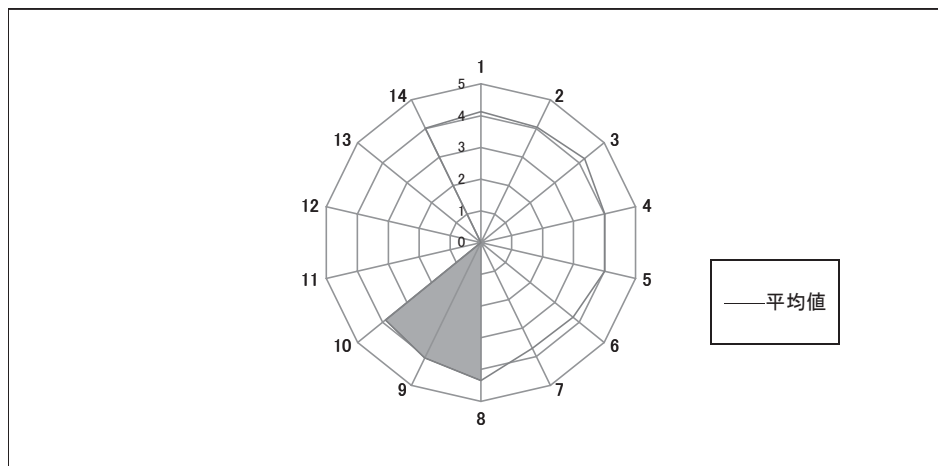
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 図画工作 I C  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 釜床 育子

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



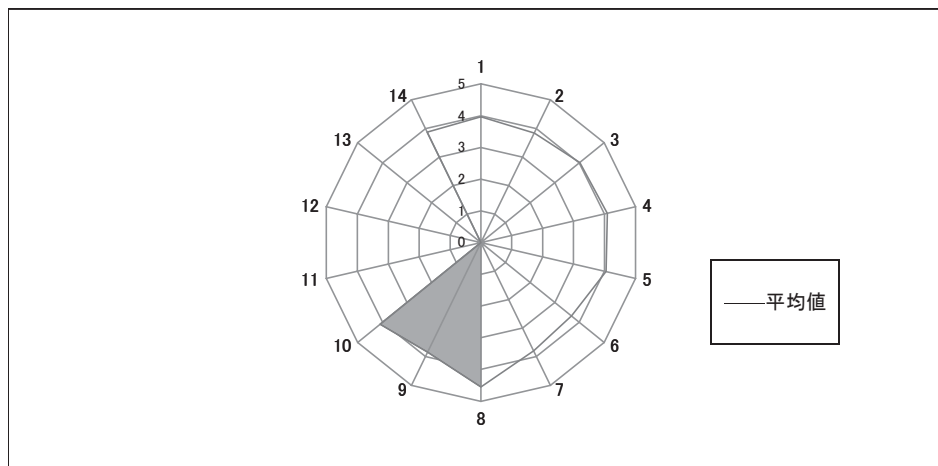
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I D  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 手塚 てる子

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.9



総合評価 **3.9**

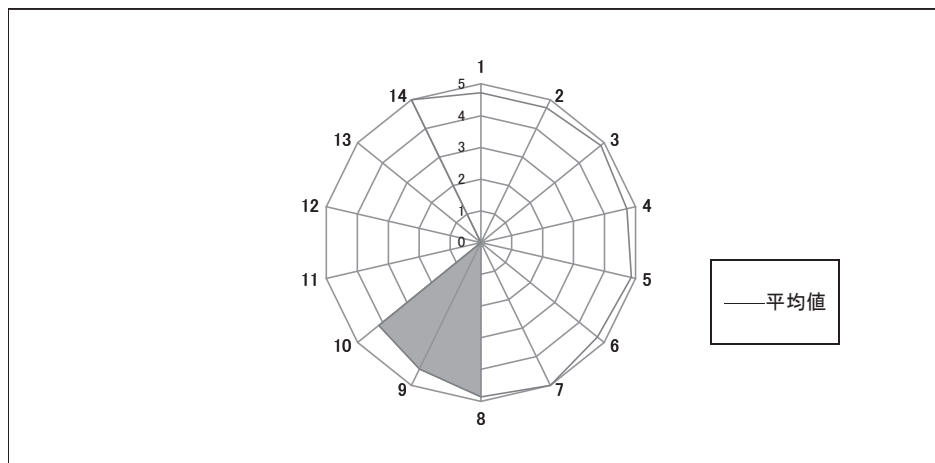
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽Ⅱ

評価実施日 平成25年2月18日

担当教員名 山田 啓明, 草下 寛, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 松岡 貴史 回答者数 7名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	1	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	4	1	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



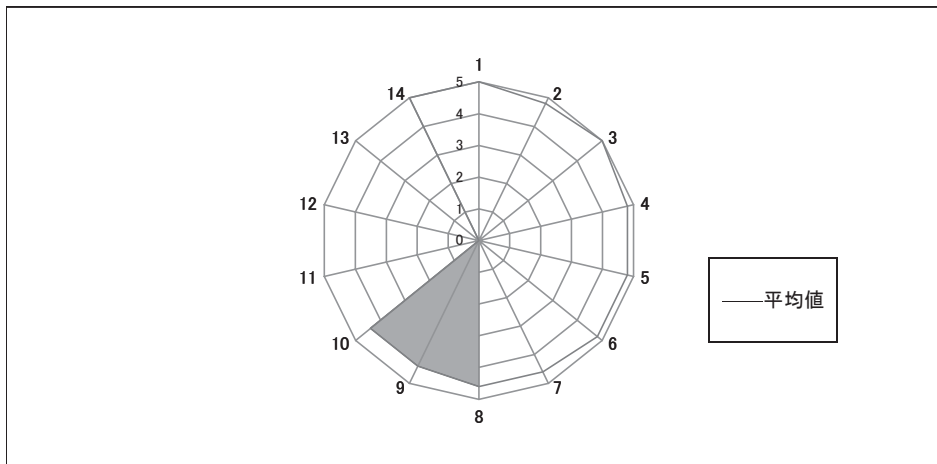
総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名          図画工作Ⅱ  
 評価実施日          平成25年2月7日  
 担当教員名          野崎 窮, 内藤 隆

回答者数          5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



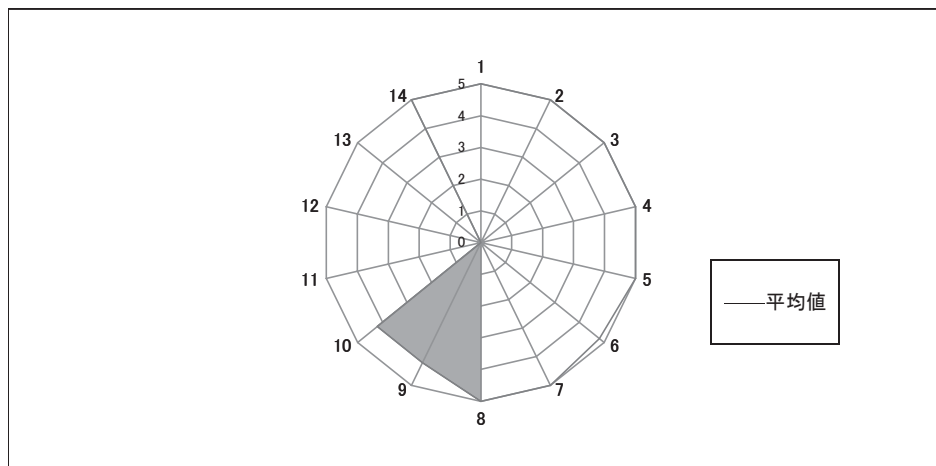
総合評価          4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等体育Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月4日  
 担当教員名 賀川 昌明

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



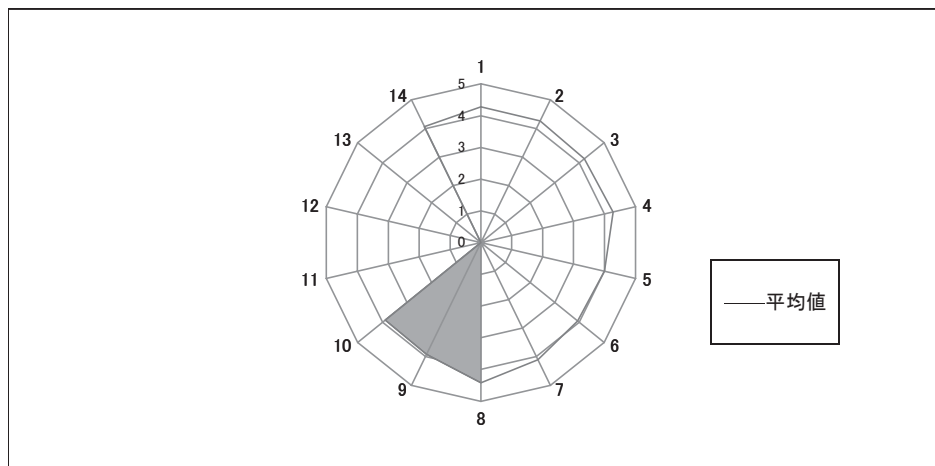
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 前田 英雄, 福井 典代, 金 貞均, 渡邊 廣二

回答者数 79名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



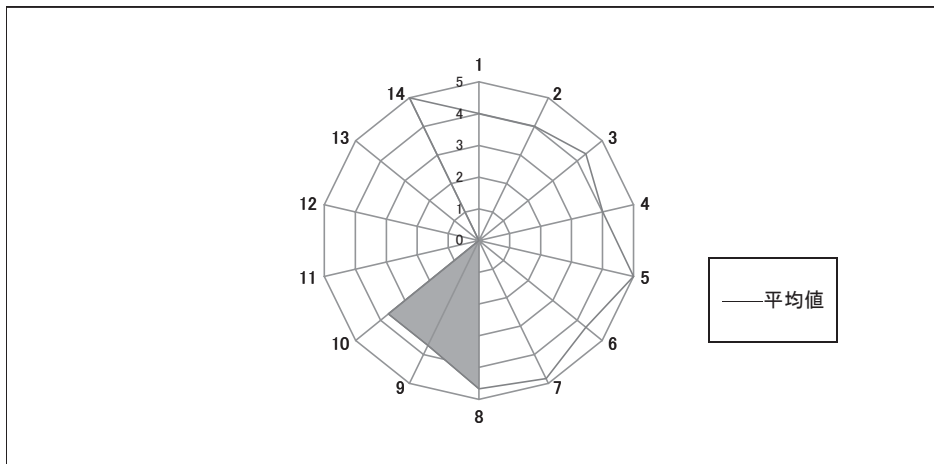
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育原論  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



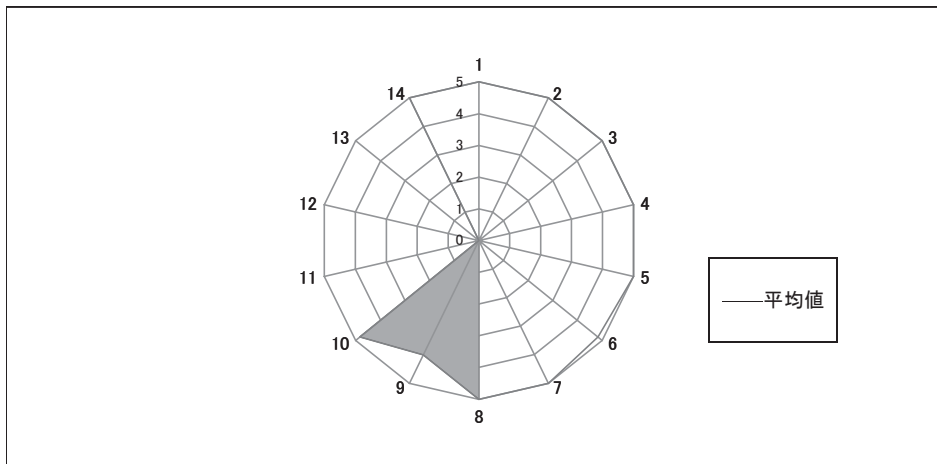
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会的養護  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 5.0

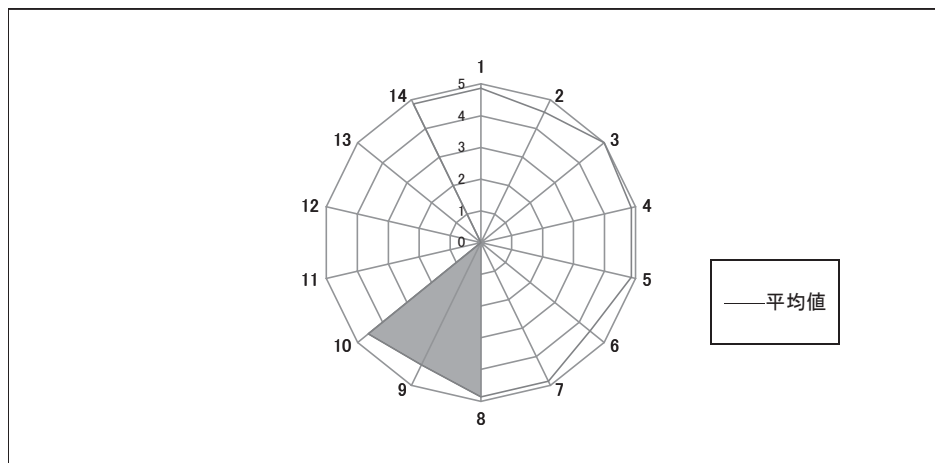
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 社会福祉論  
 評価実施日 平成24年8月3日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



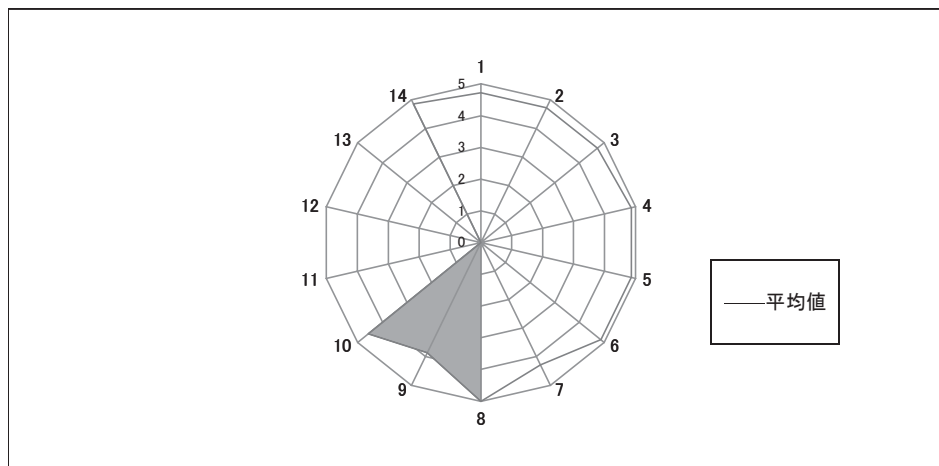
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 相談援助  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



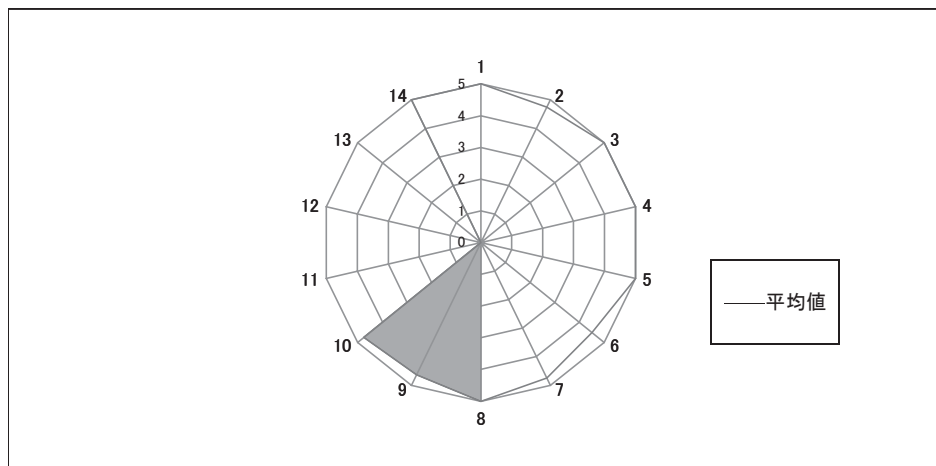
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 児童家庭福祉論  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



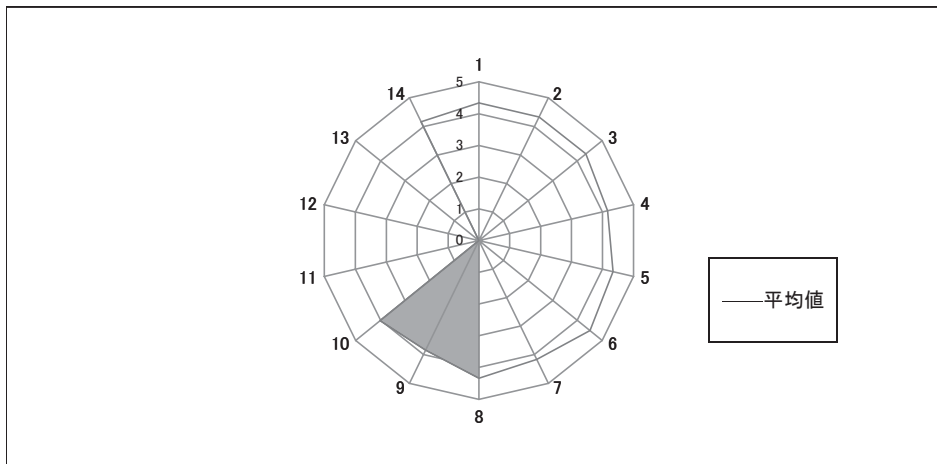
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの保健 I  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



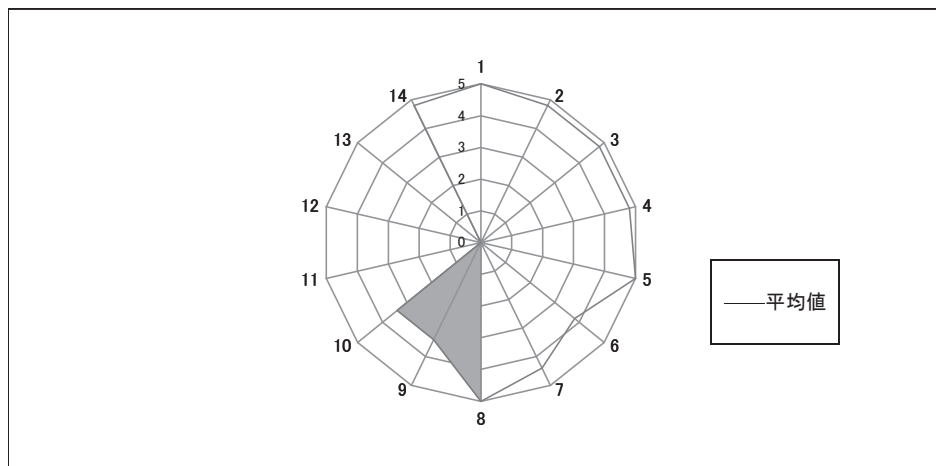
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの地域保健  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	3	0	0	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	2	3	0	0	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	3	0	0	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



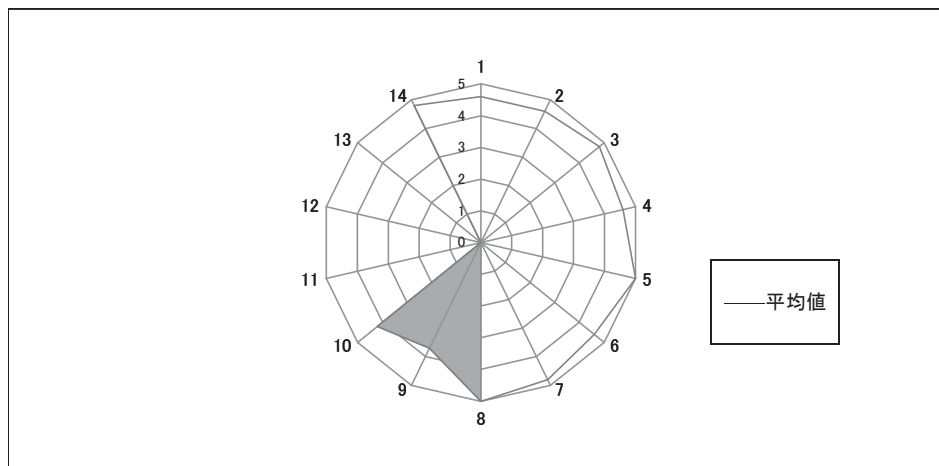
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの保健Ⅱ  
 評価実施日 平成24年5月22日  
 担当教員名 市岡 隆男

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



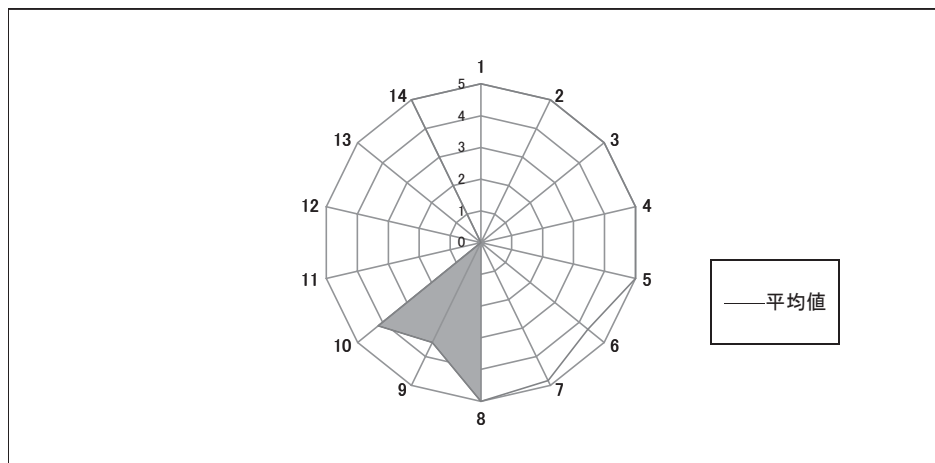
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳児保育  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



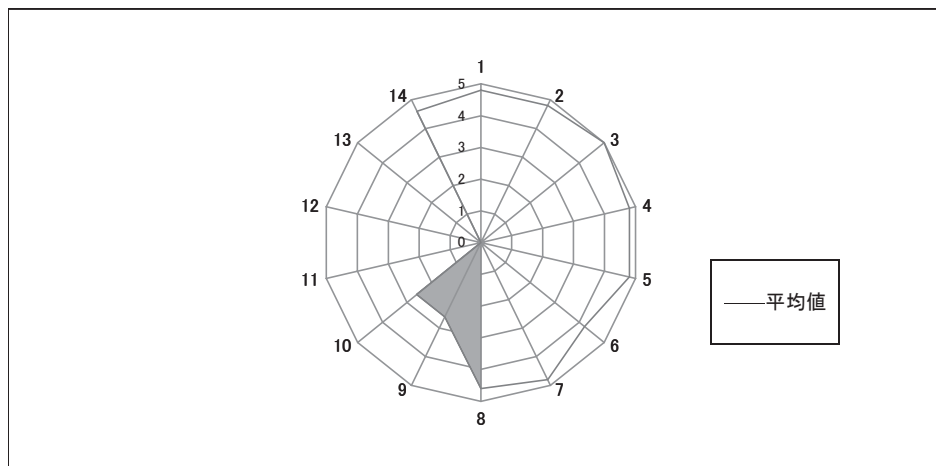
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校精神保健学  
 評価実施日 平成24年7月18日  
 担当教員名 粟飯原 良造

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						2.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						2.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



総合評価 **4.7**

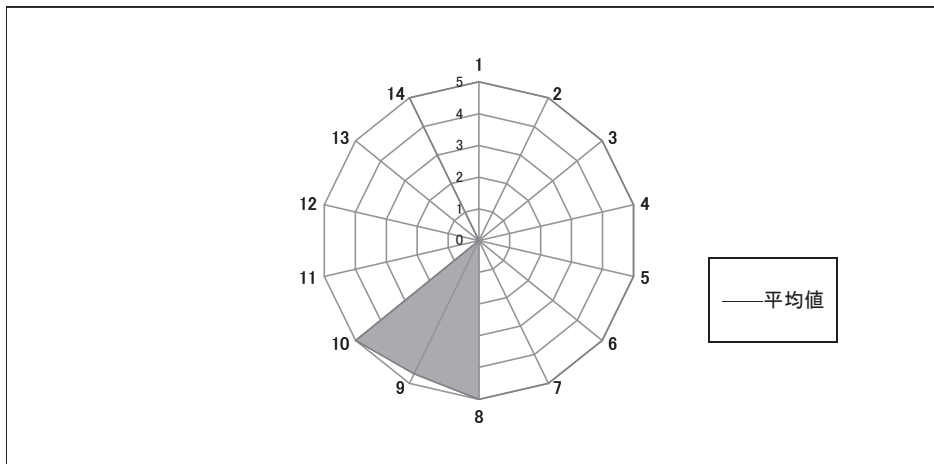
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 乳幼児教育研究法 I  
 評価実施日 平成25年2月6日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



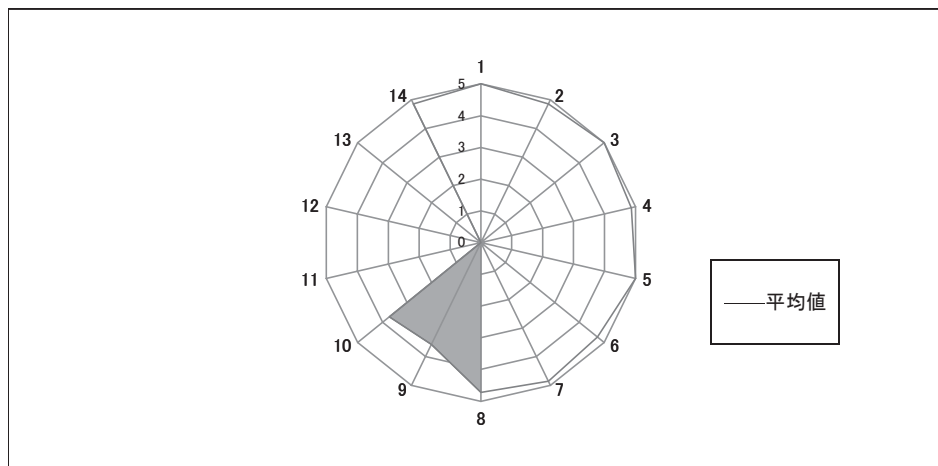
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家族論(幼児)  
 評価実施日 平成24年8月31日  
 担当教員名 田辺 昌吾

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



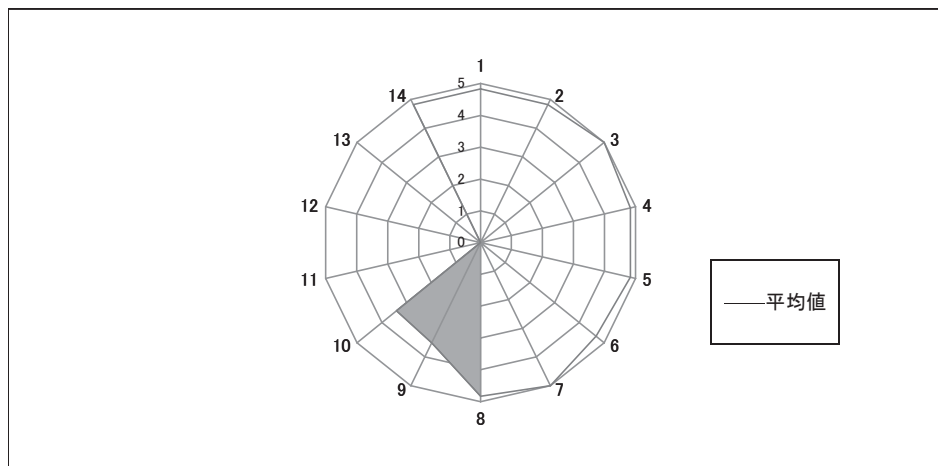
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 養護内容  
 評価実施日 平成24年12月20日  
 担当教員名 吉田 耕平

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	2	0	1	1	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	1	1	1	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.8



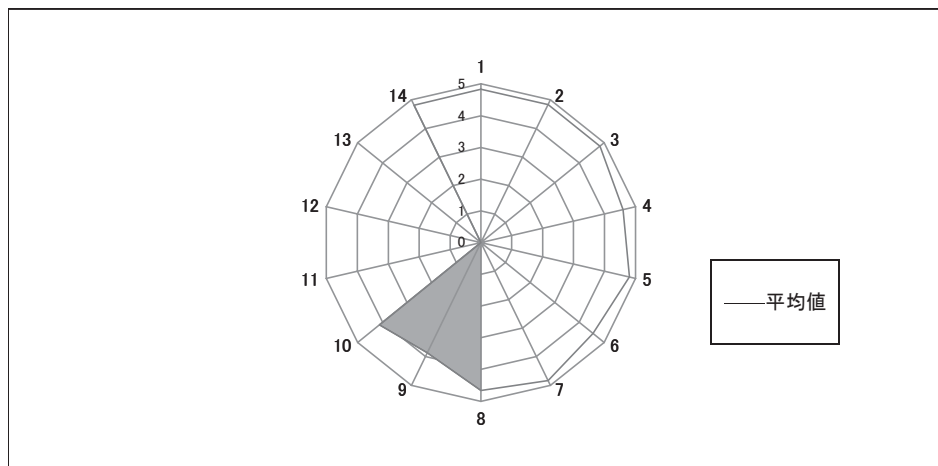
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学概論(音声言語・文章表現を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



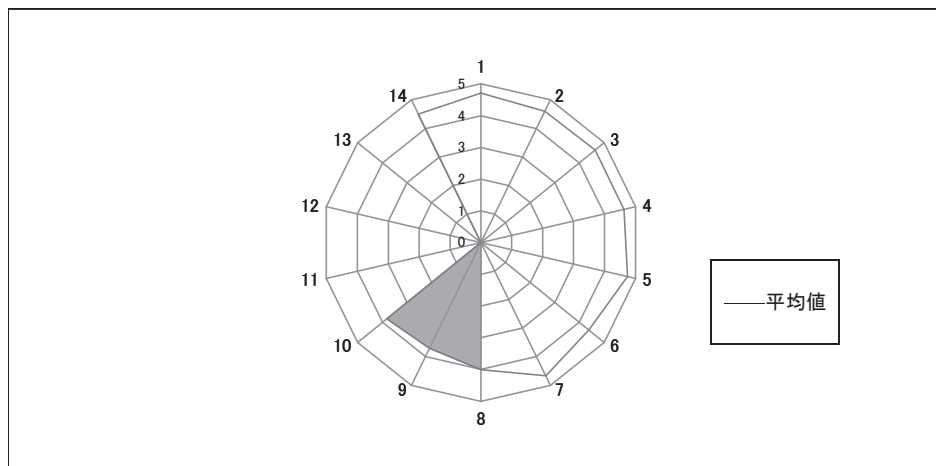
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学 I  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



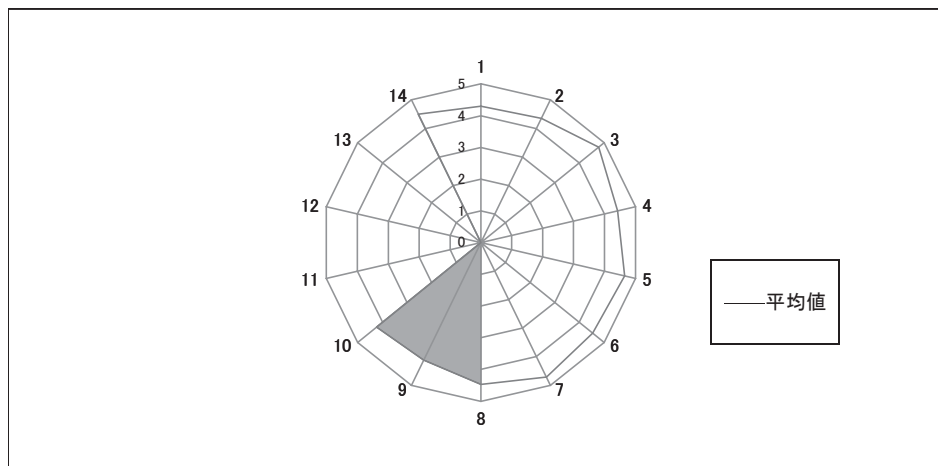
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	4	2	0	1	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	3	2	0	1	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	4	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	3	2	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	2	2	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	6	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	3	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	0	3	1	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	6	3	1	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	2	4	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	4	2	0	0	1	4.5



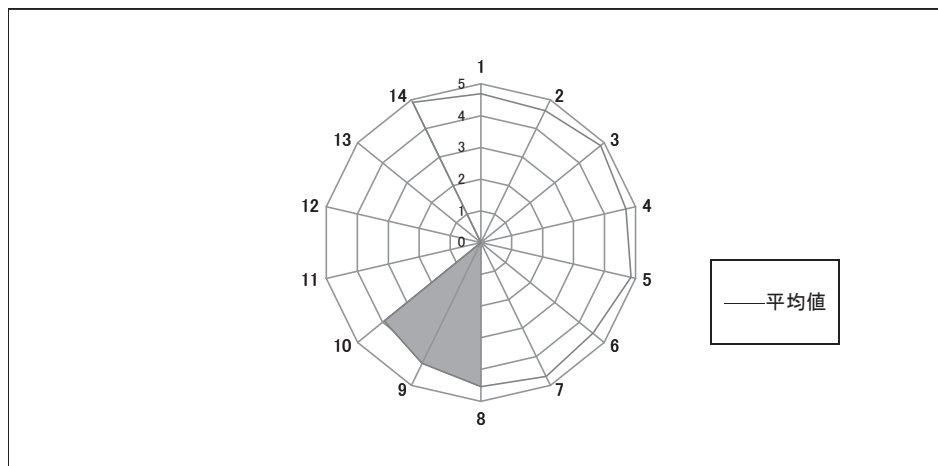
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論 I  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	0	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	4	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	4	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	2	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	8	1	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	7	2	1	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	2	4.9



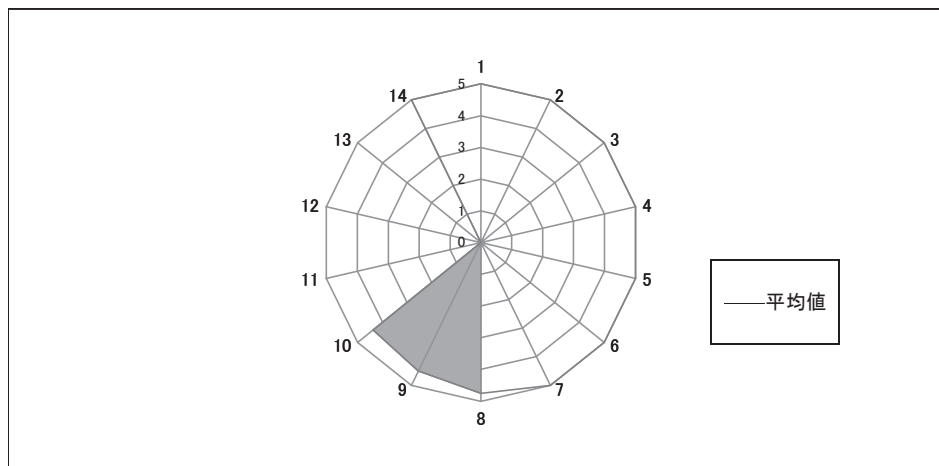
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論ⅡA  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 茂木 俊伸

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	5	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **5.0**

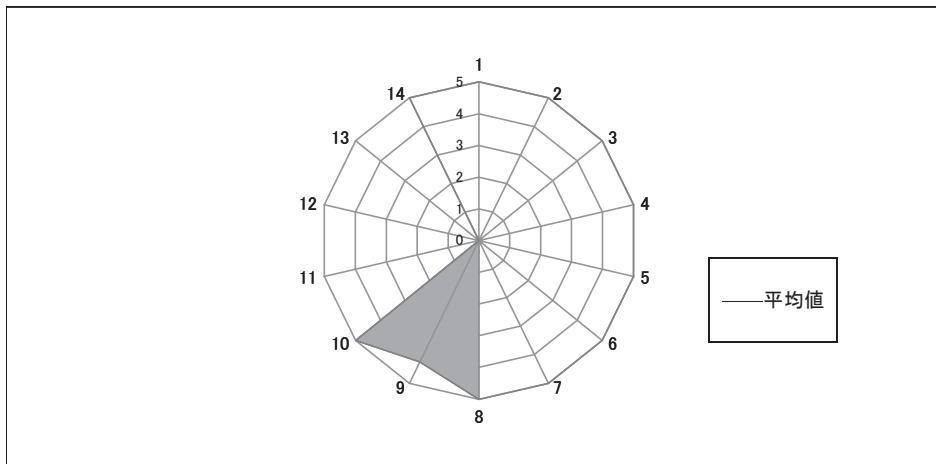
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 国語学特論ⅡB  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	1	5.0



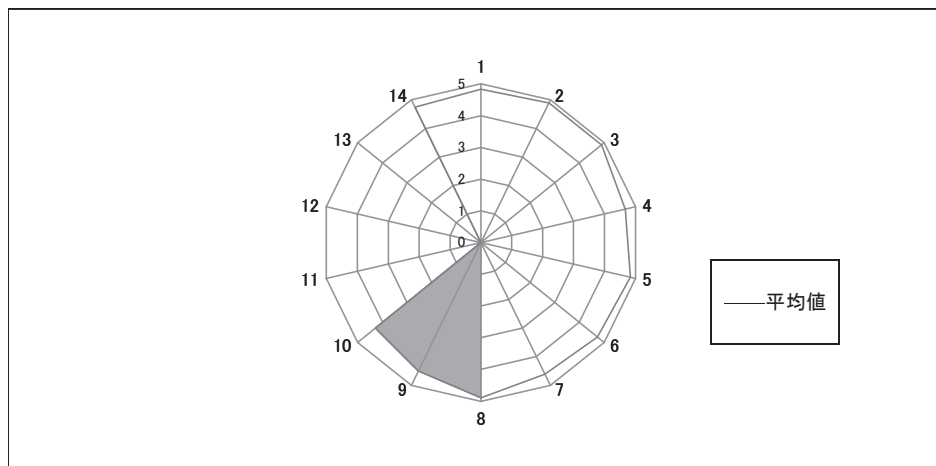
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 原 卓志, 茂木 俊伸

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	3	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	4	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	3	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	5	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	7	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	17	0	1	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	3	3	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	5	4	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	2	1	0	0	2	4.8



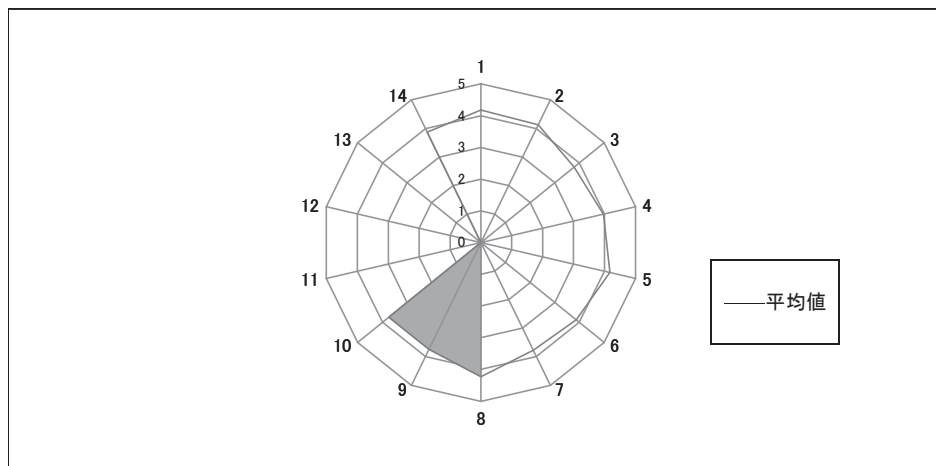
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学概論(国文学史を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 58名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	31	7	1	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	34	7	1	0	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	27	17	2	1	0	3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	14	29	14	1	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	20	30	6	2	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	27	13	4	0	1	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	26	14	4	1	1	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	23	26	8	1	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	27	10	6	2	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	32	8	7	1	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	29	12	2	1	2	3.9



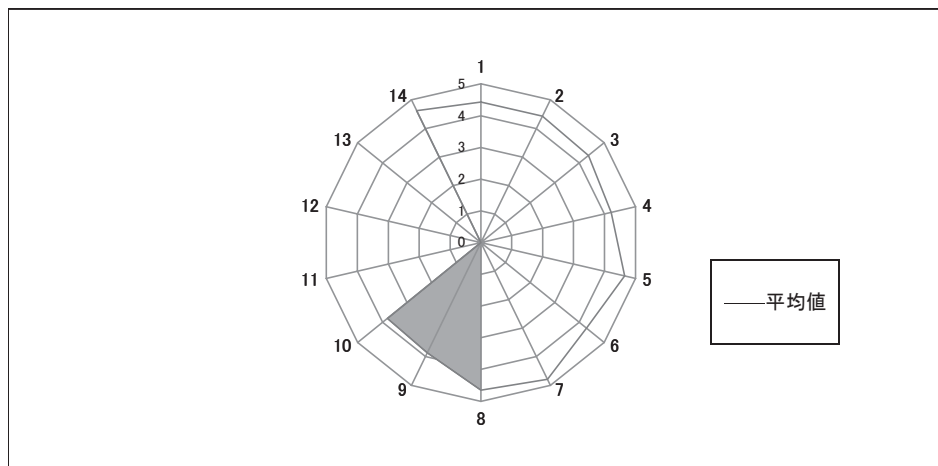
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学 I  
 評価実施日 平成24年8月30日  
 担当教員名 野口 哲也

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



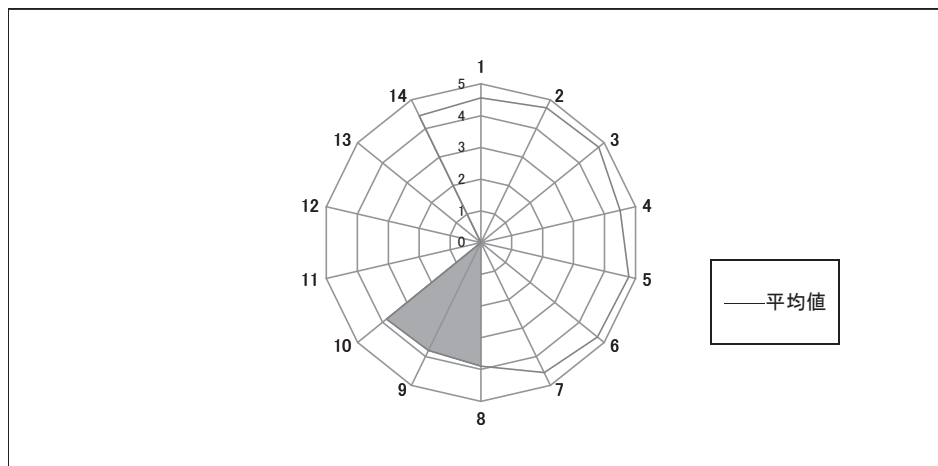
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月6日  
 担当教員名 小島 明子

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



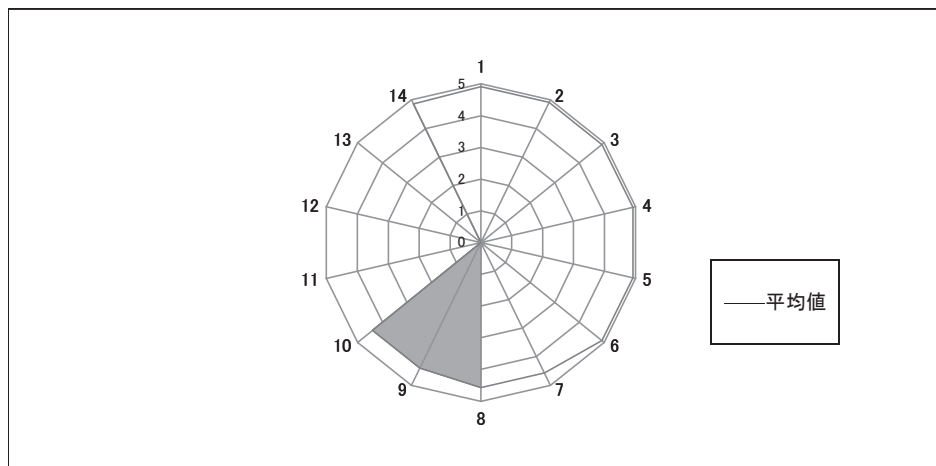
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論 I  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 原 卓志, 茂木 俊伸

回答者数 23名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	21	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	21	2	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	19	2	0	0	0	2	4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	2	0	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	21	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	6	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	4	3	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	14	4	5	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	4	2	2	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	3	0	0	0	1	4.9



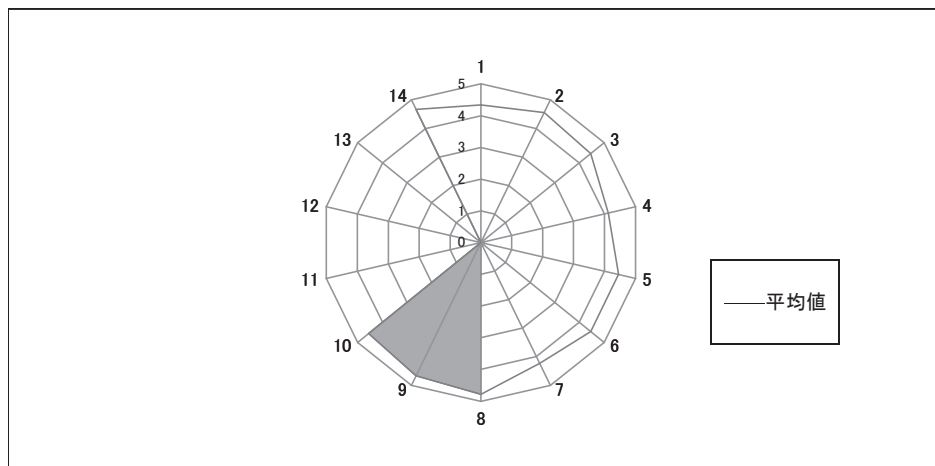
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 小島 明子, 黒田 俊太郎

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



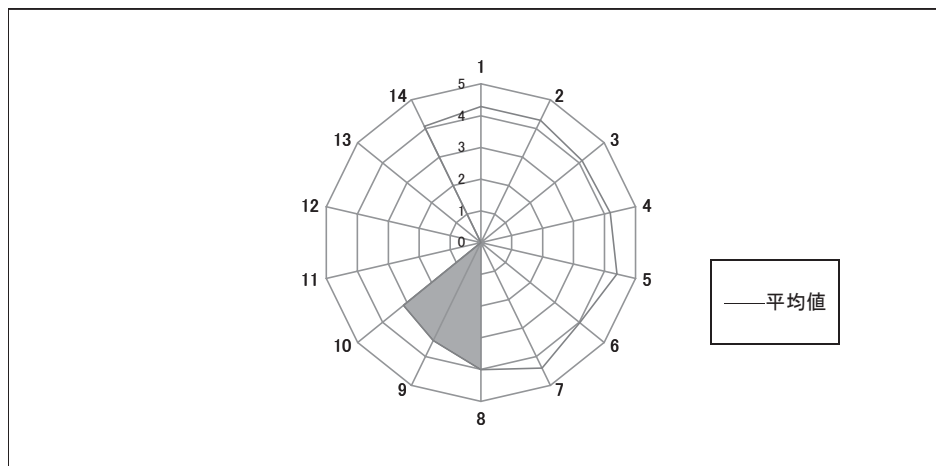
総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 漢文学概論  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 佐伯 雅宣

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



総合評価 **4.2**

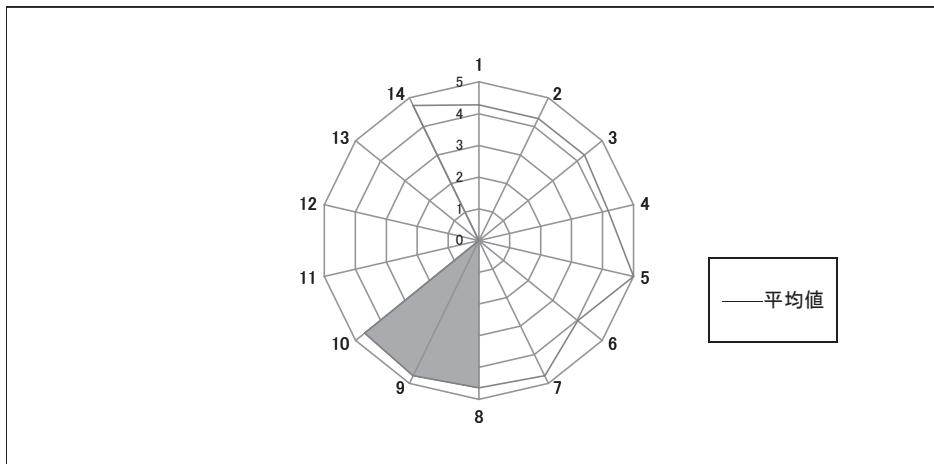
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)  
 評価実施日 平成24年12月22日  
 担当教員名 鷹橋 明久

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



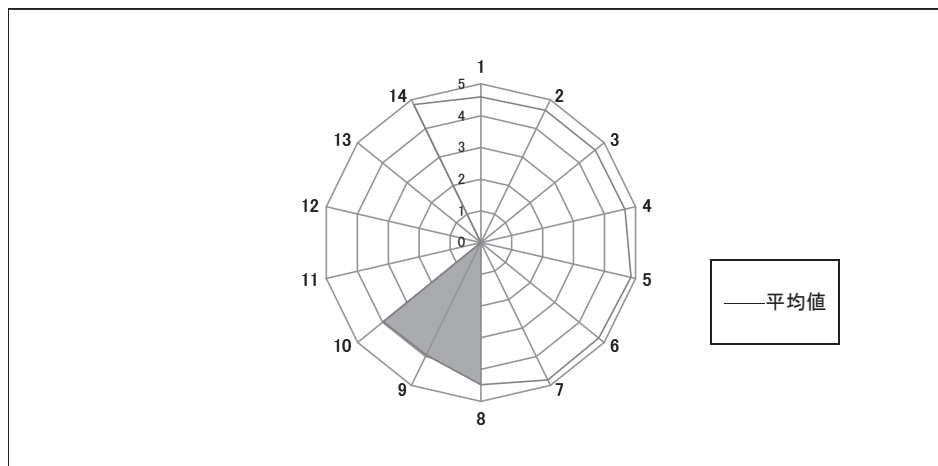
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写 I  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 41名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



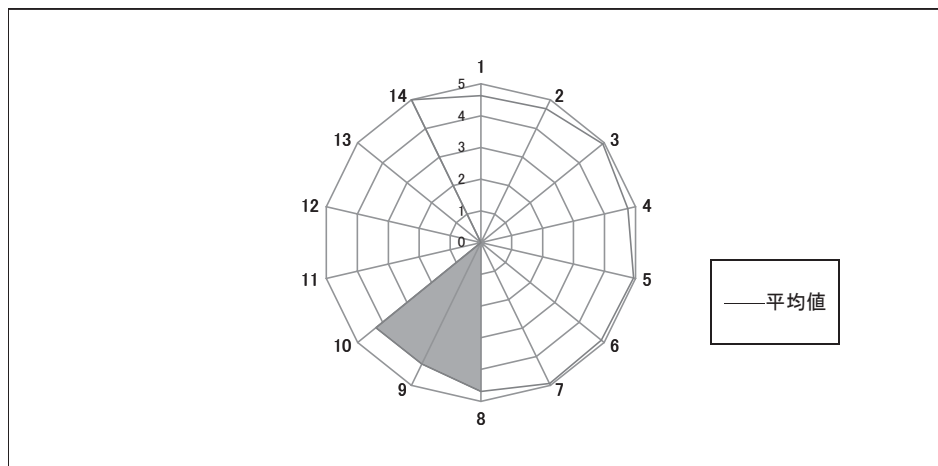
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅱ  
 評価実施日 平成25年1月30日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	4	1	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	3	1	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	1	0	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	2	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	3	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	3	3	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	6	1	0	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	0	0	0	0	1	5.0



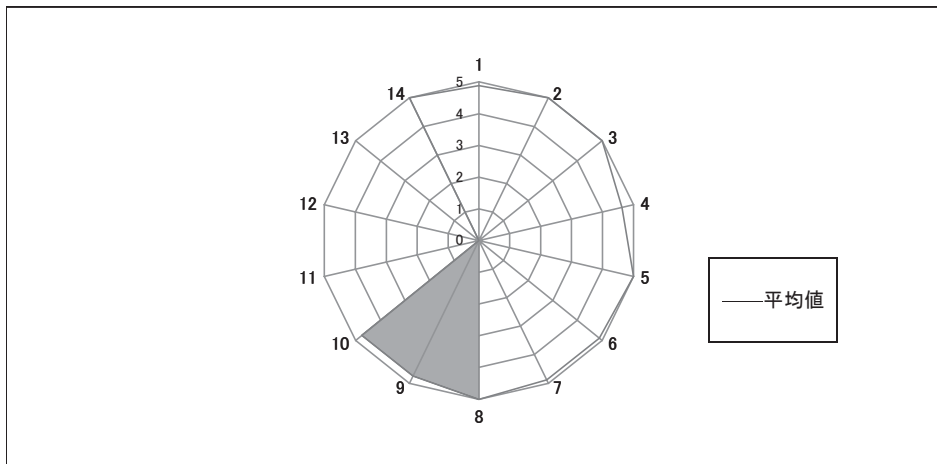
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅲ  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

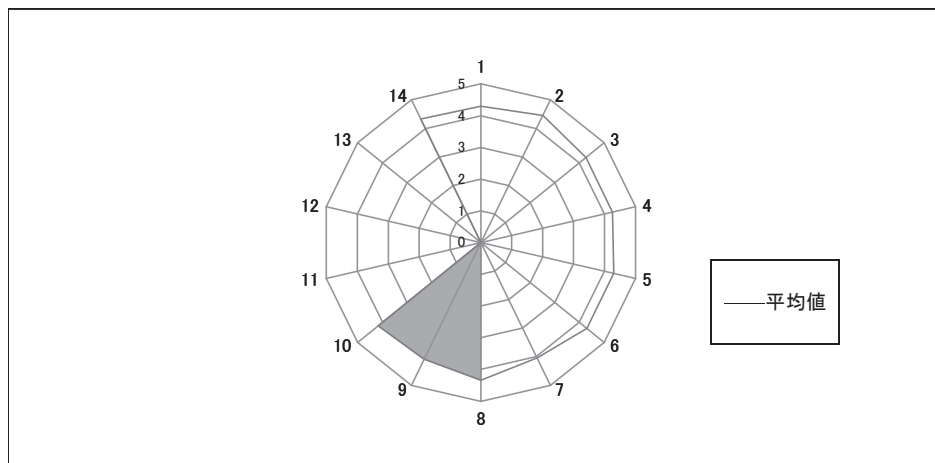
授業科目名 英語基礎研究

評価実施日 平成25年2月12日

担当教員名 藪下 克彦, 杉浦 裕子, 眞野 美穂

回答者数 24名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	6	4	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	5	4	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	6	6	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	4	7	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	9	4	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	9	4	0	0	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	8	7	0	0	1	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	2	7	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	4	9	0	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	6	7	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	10	3	0	0	0	4.3



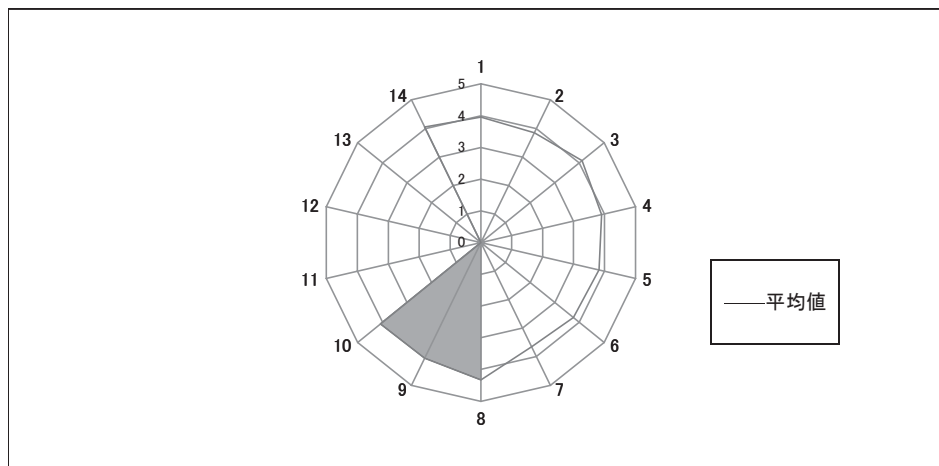
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学概論  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 40名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



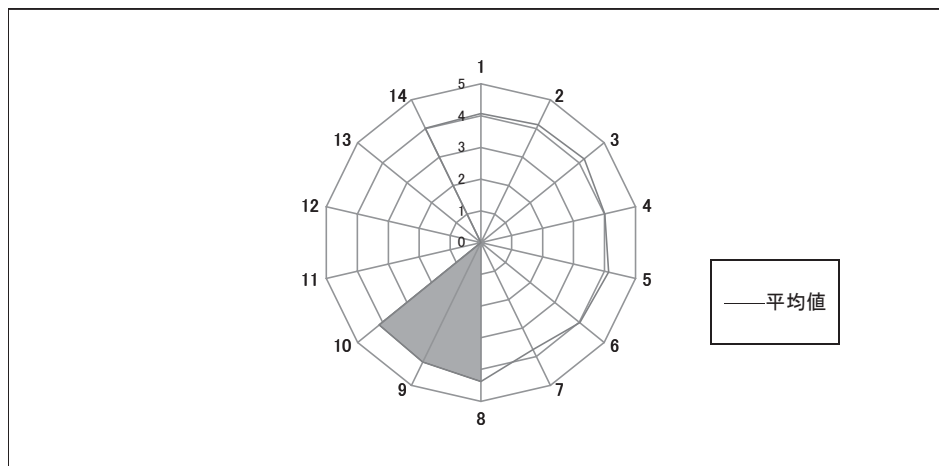
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学習英文法  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



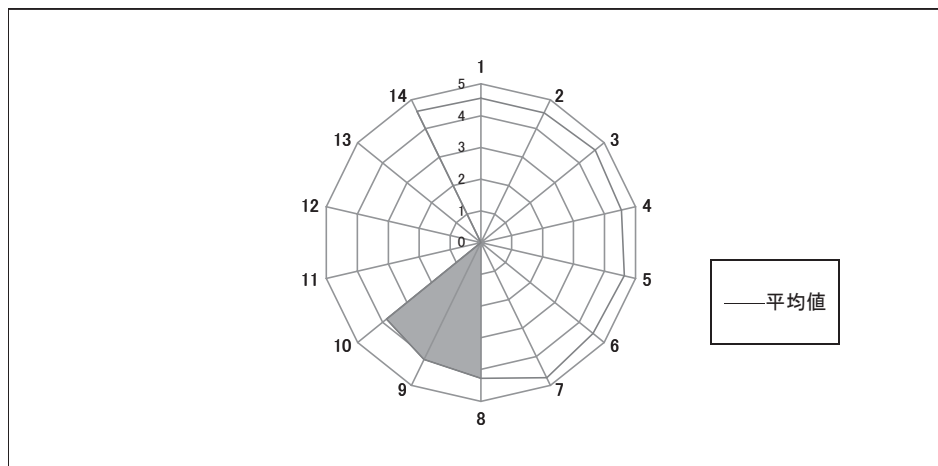
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語音声学  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	1	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	3	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	3	1	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	5	1	1	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	5	2	0	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	4	0	0	0	1	4.6



総合評価 **4.6**

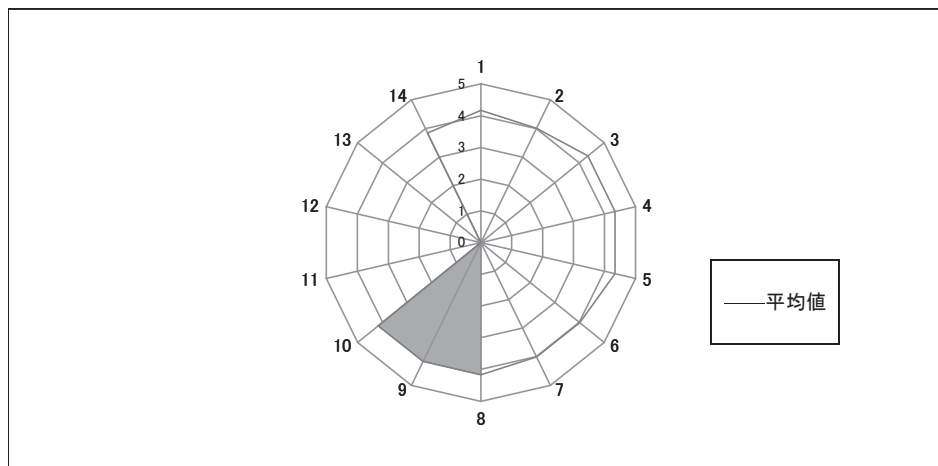
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語学研究 I  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	1	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	2	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	2	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	3	2	0	0	0	3.8



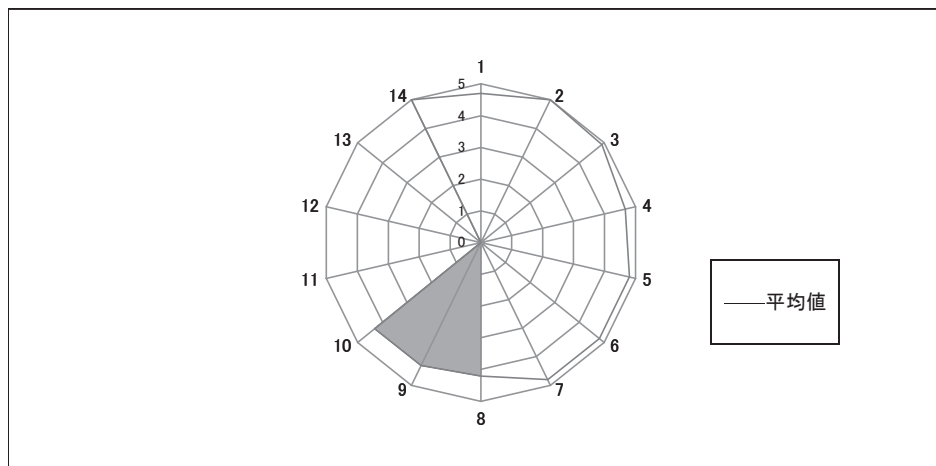
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	4	0	1	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	0	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



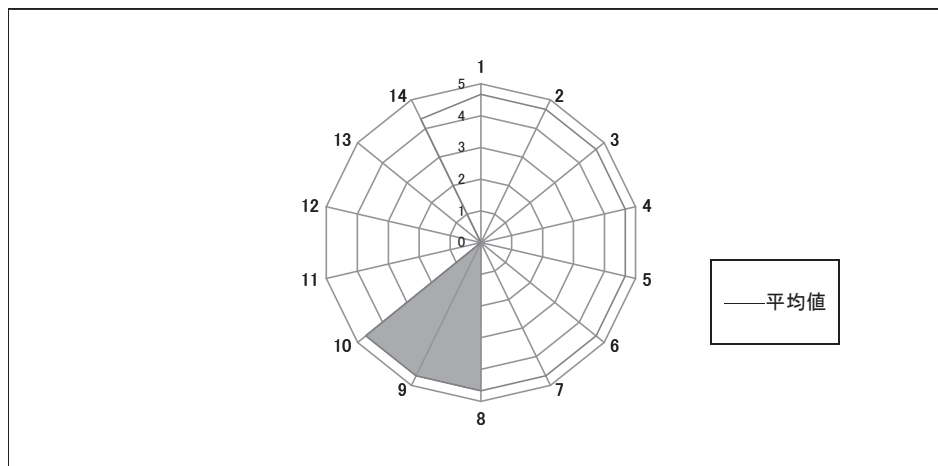
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究Ⅲ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	1	0	0	0	4.3



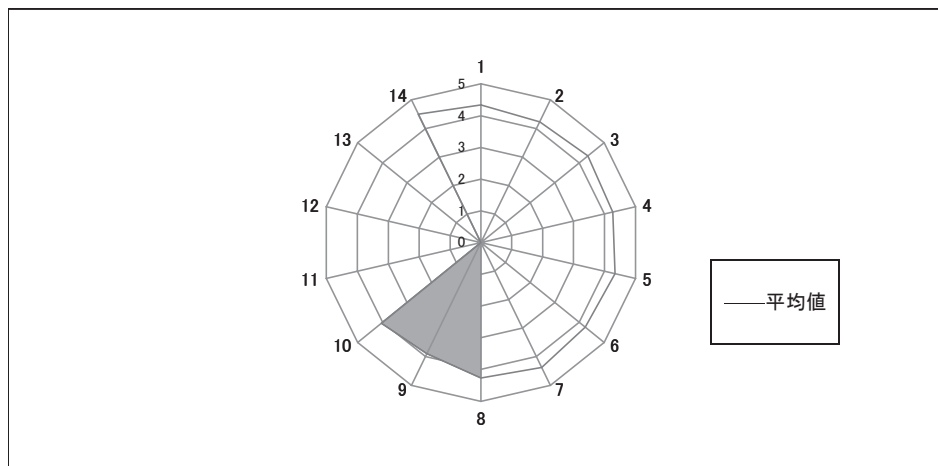
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文講読  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



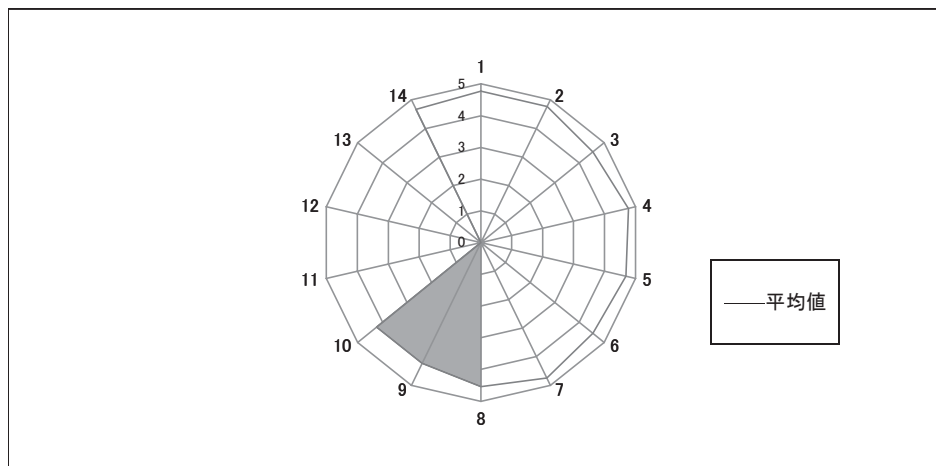
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文学史  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	2	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	4	1	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	0	0	0	1	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	4	1	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	4	3	0	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	4	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	0	0	0	1	4.7



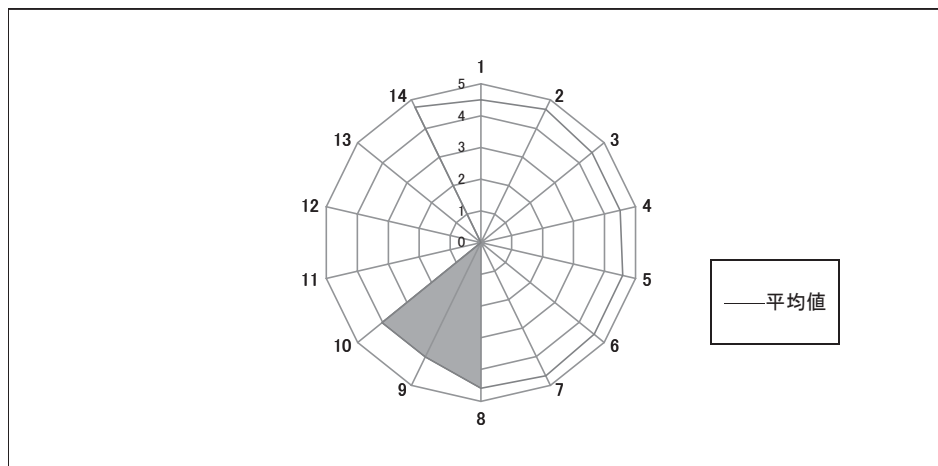
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 米文学史  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	0	1	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	3	3	1	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	5	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	3	0	0	0	0	4.8



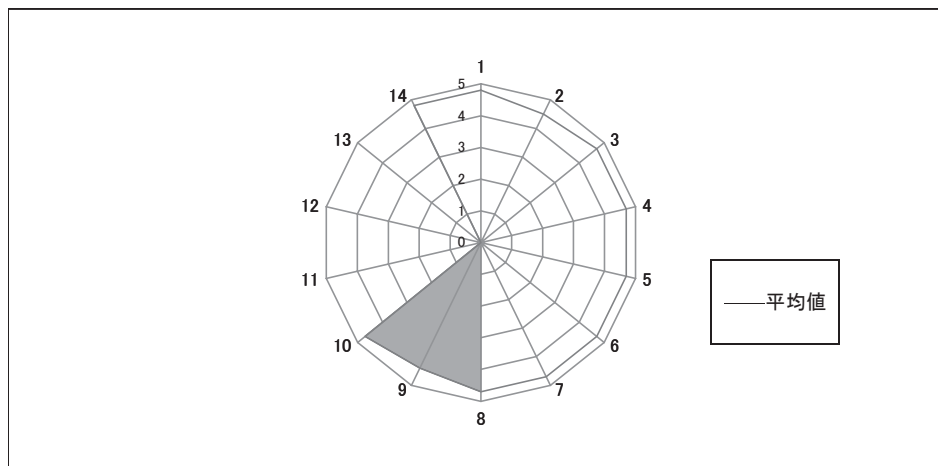
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英米文学研究 I  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 杉浦 裕子

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	0	1	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



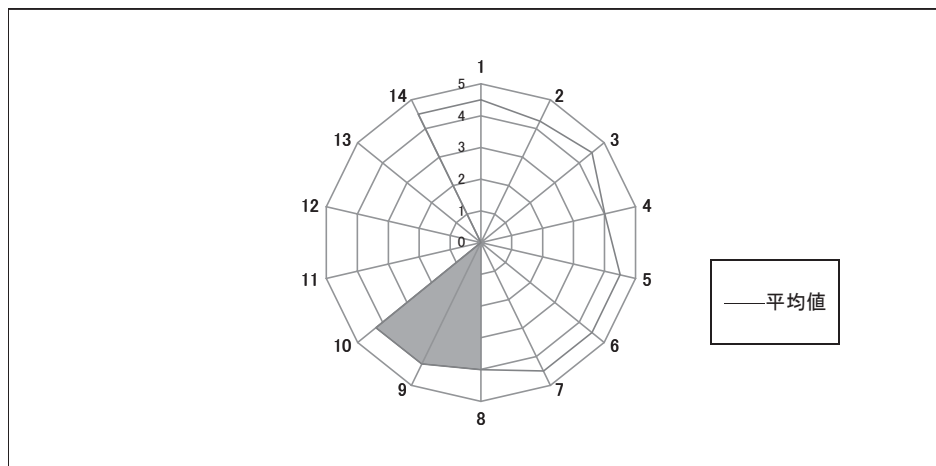
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英米文学研究Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 4.4

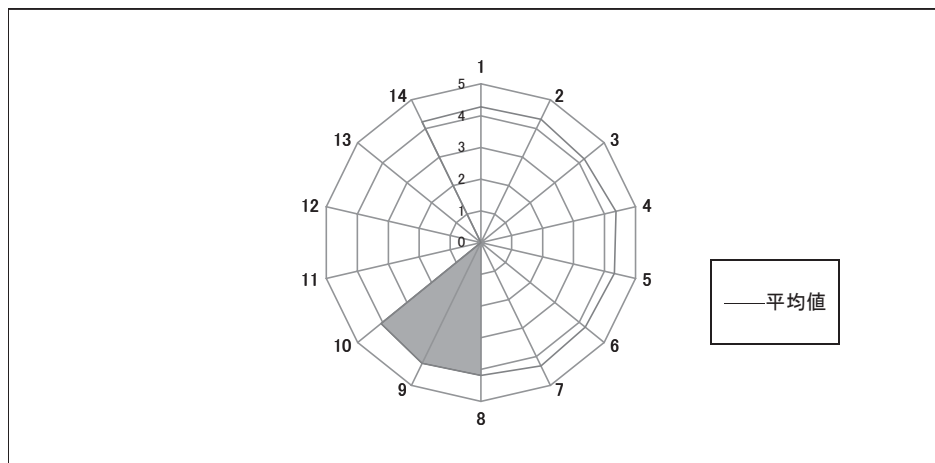
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語オーラルコミュニケーション I  
 評価実施日 平成25年2月20日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



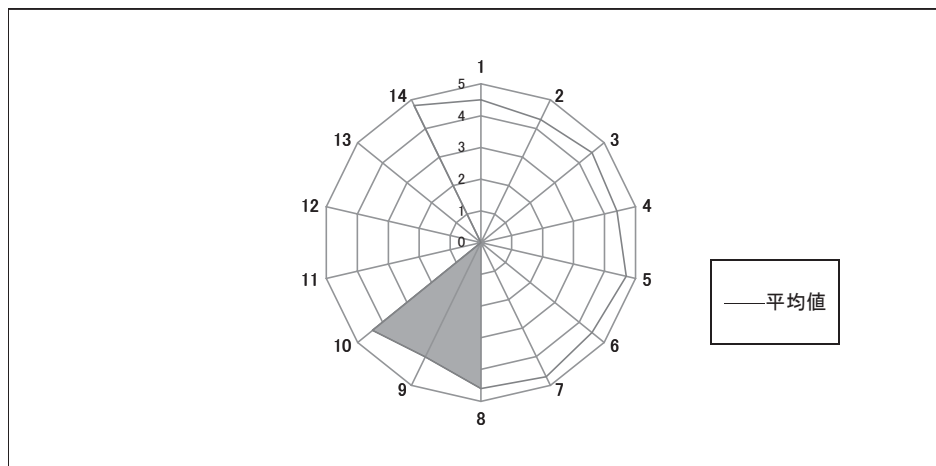
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 比較文化研究Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	1	1	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	2	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	4	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



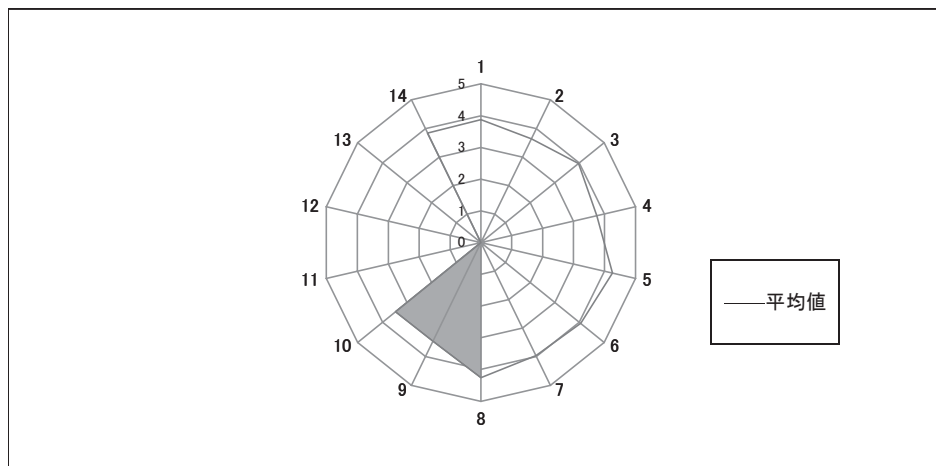
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学概論  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 大石 雅章

回答者数 24名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	11	8	0	0	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	10	10	1	0	0	3.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	10	6	1	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	8	11	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	5	5	1	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	8	7	0	0	1	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	10	6	1	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	7	4	1	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	5	11	2	1	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	11	2	1	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	11	7	1	0	0	3.8



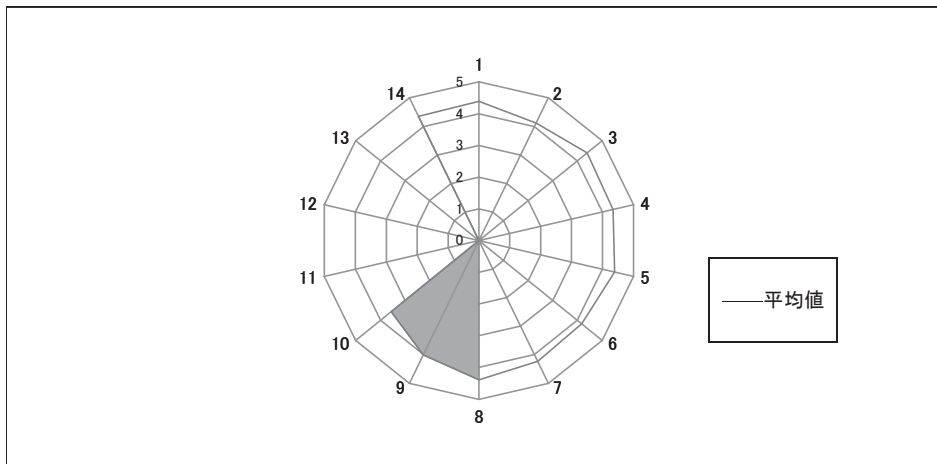
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論 I (古代・中世)  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 大石 雅章

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



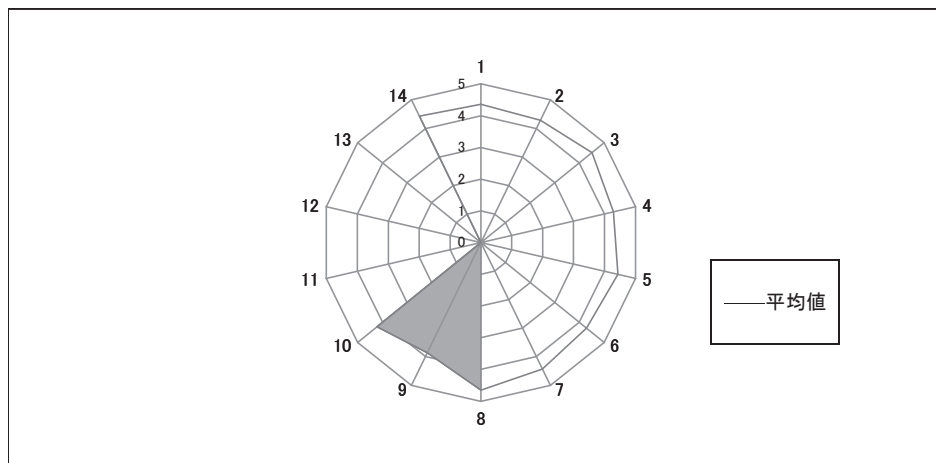
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論Ⅱ(近世・近代)  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 町田 哲

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



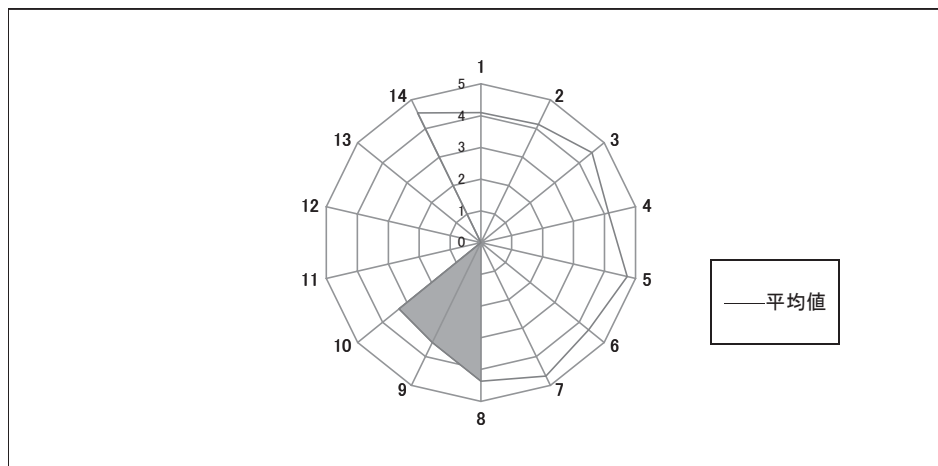
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 外国史概論  
 評価実施日 平成24年6月7日  
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



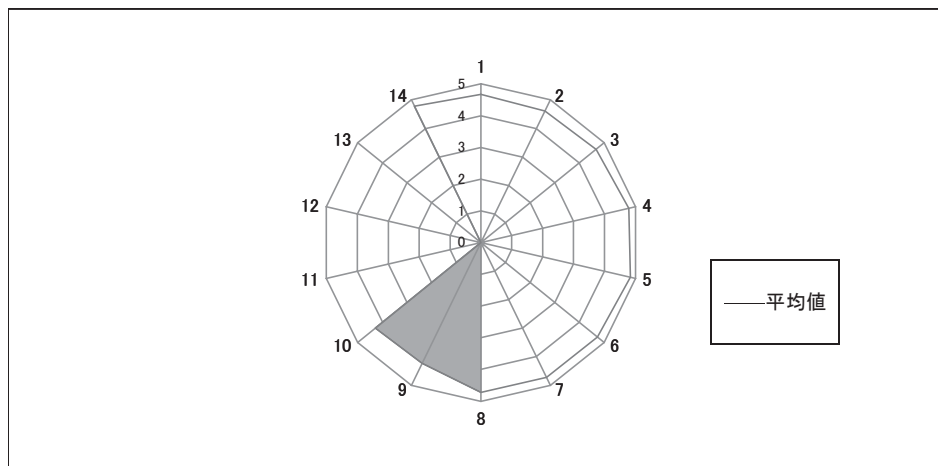
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 外国史特論  
 評価実施日 平成25年2月6日  
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



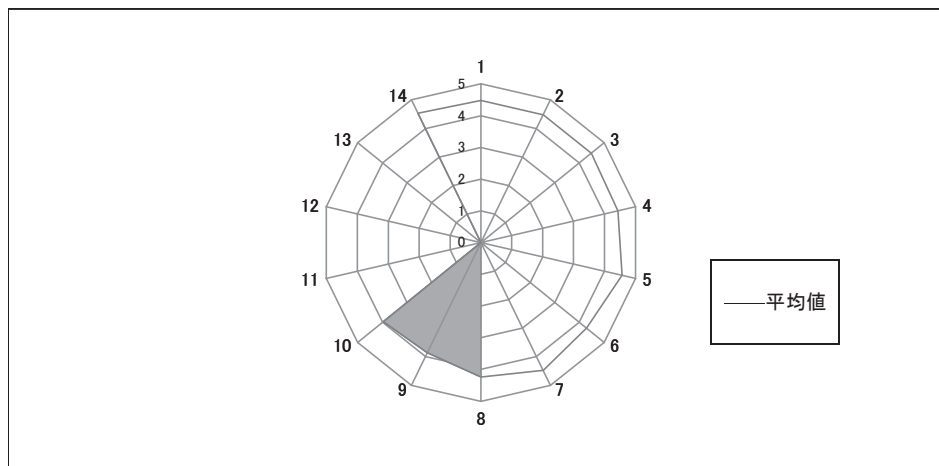
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 考古学  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 木原 克司

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 4.5

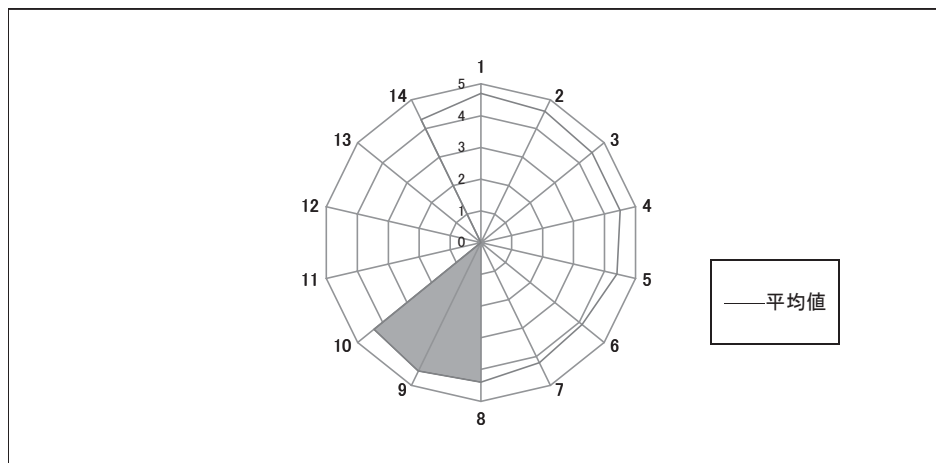
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 史学演習  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 大石 雅章, 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



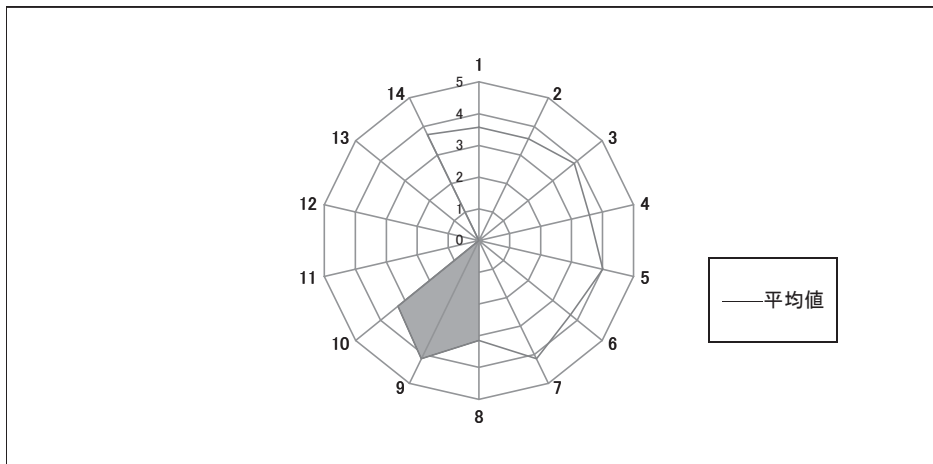
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 史料講読  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 大石 雅章, 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.7



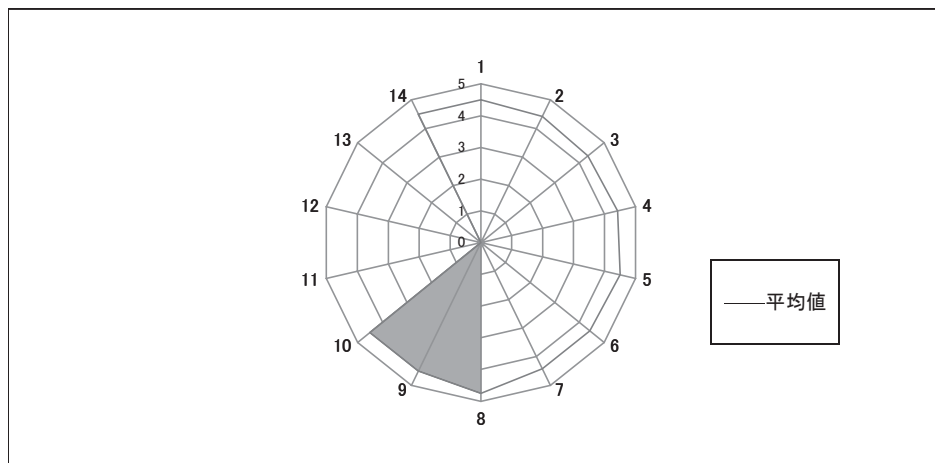
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 人文地理学特論  
 評価実施日 平成24年8月2日  
 担当教員名 木原 克司

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	4	2	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	3	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	5	1	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	1	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	2	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	4	1	0	0	0	4.5



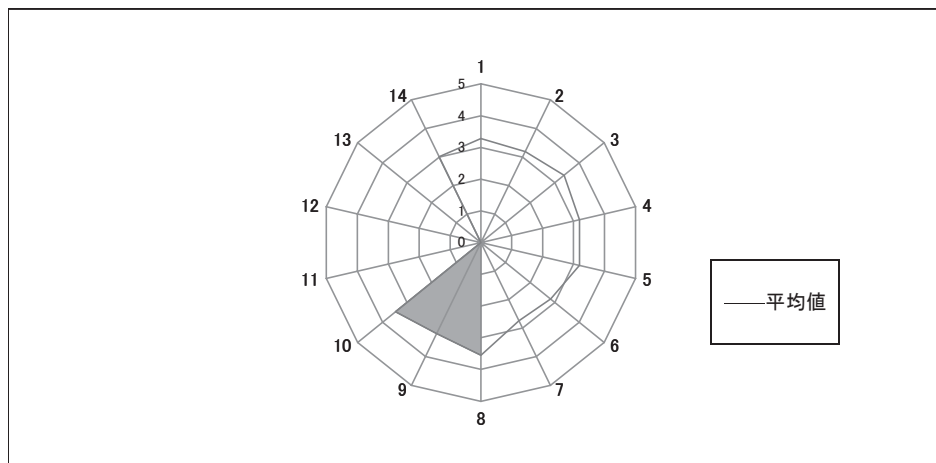
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学概論  
 評価実施日 平成25年2月27日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	3	8	0	0	0	3.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	3	7	1	0	0	3.2
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	4	4	2	0	0	3.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	4	5	2	0	0	3.2
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	3	4	3	0	0	3.2
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	8	1	1	0	2.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	7	2	1	0	2.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	2	3	0	0	3.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	3	4	3	0	0	3.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	6	2	1	1	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	5	3	0	1	3.0



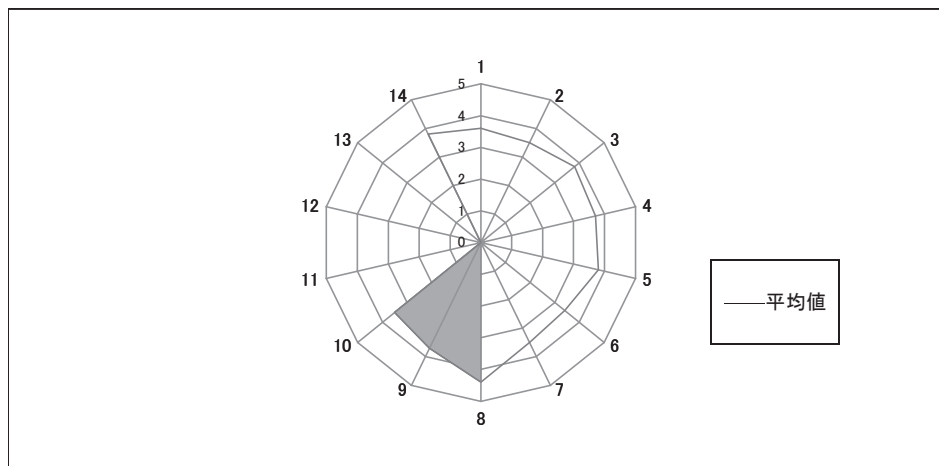
総合評価 **3.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学特論  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	4	5	0	0	0	3.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	4	4	1	0	0	3.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	4	4	0	0	0	3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	5	0	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	4	1	2	0	0	3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	6	1	0	0	3.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	3	2	0	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	2	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	5	0	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	7	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	4	4	0	0	0	3.8



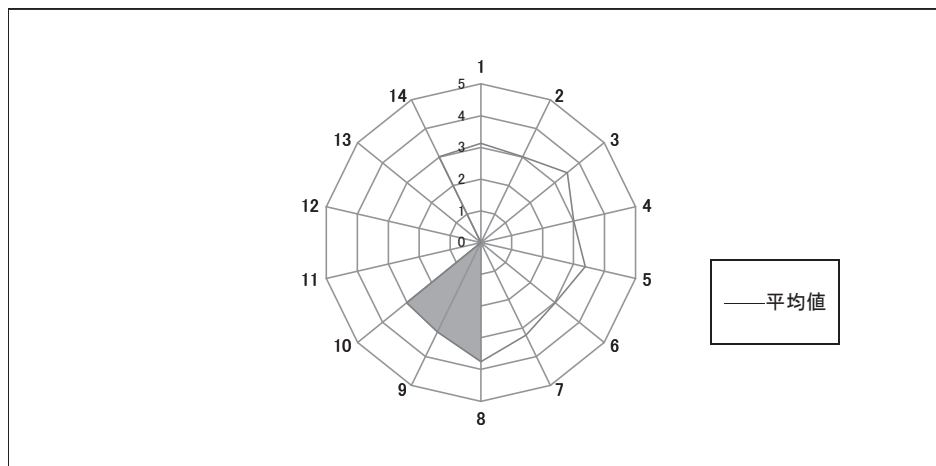
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地図学概論  
 評価実施日 平成25年3月5日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.0



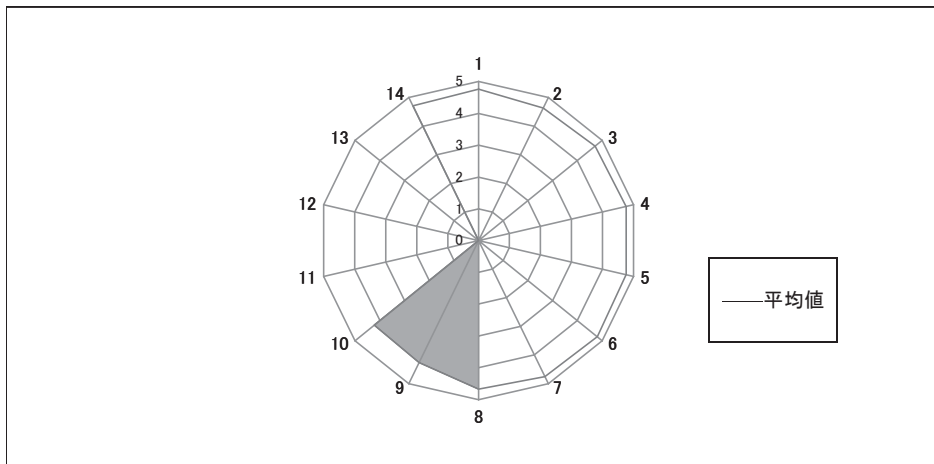
総合評価 **3.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学概論(国際法を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月6日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



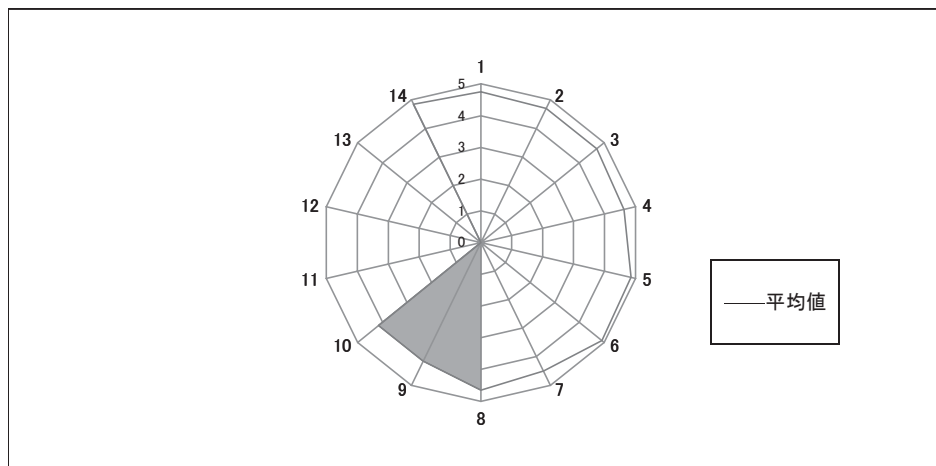
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学特論  
 評価実施日 平成24年8月3日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	5	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	6	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	6	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	7	0	0	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	3	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	2	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	6	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	3	0	0	1	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	4	6	0	0	1	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	4	5	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	3	0	0	0	0	4.9



総合評価 4.7

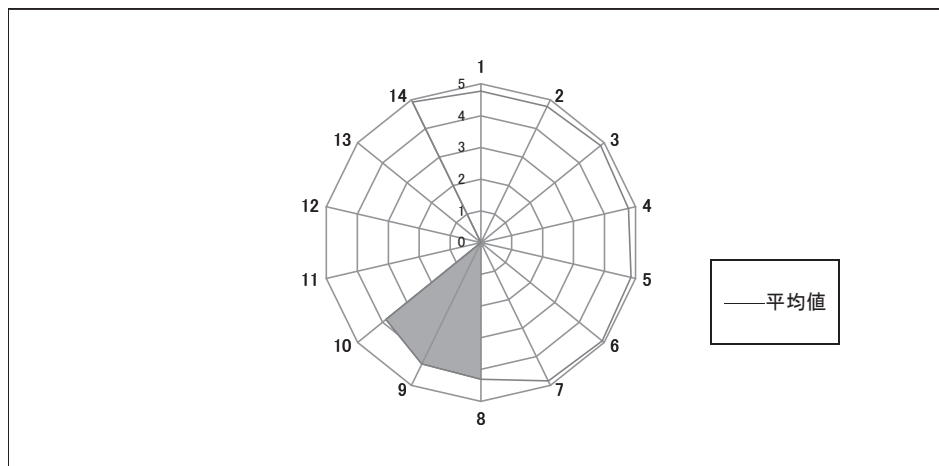
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 法律学演習  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



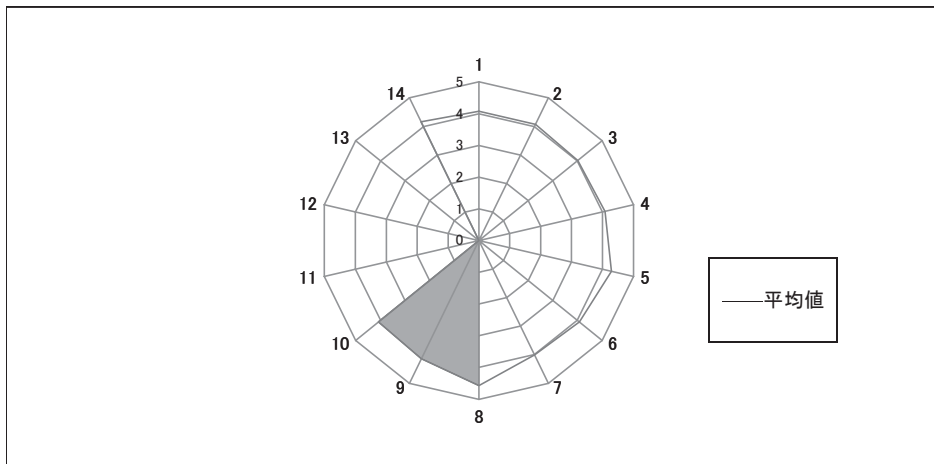
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 経済学概論  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	5	4	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	5	0	0	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	5	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	7	3	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	3	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	4	0	0	0	4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	4	5	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	4	1	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	4	4	0	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	4	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	6	2	0	0	2	4.2



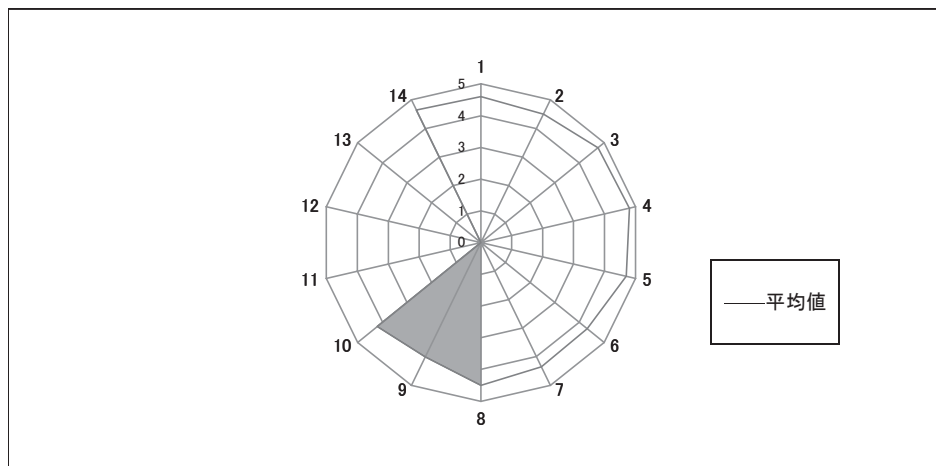
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会学特論  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 山本 準

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



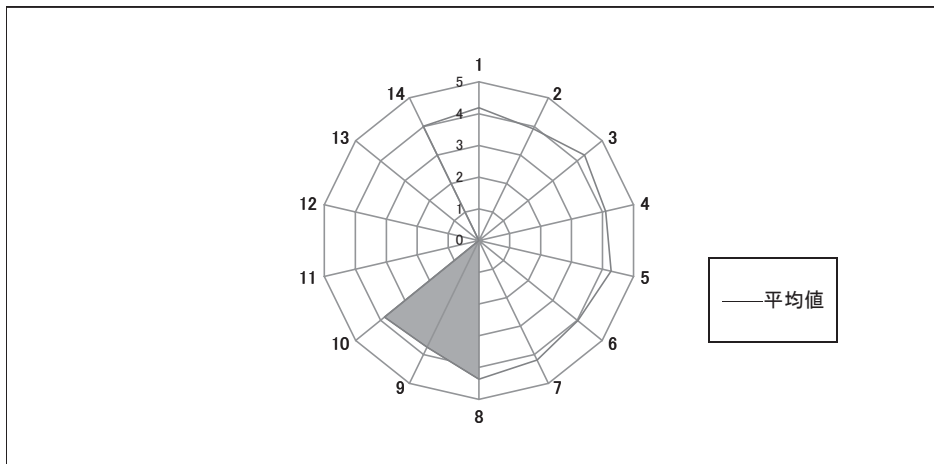
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 経済学特論  
 評価実施日 平成24年7月23日  
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	5	2	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	2	1	0	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	2	1	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	3	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	2	0	1	0	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	5	2	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	7	0	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	3	4	1	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	4	3	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	4	3	0	0	1	4.0



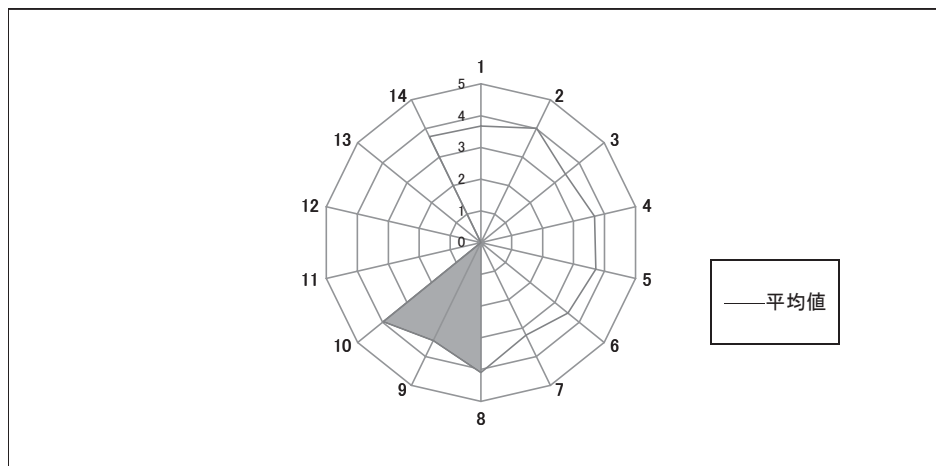
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学 I  
 評価実施日 平成25年1月30日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.7



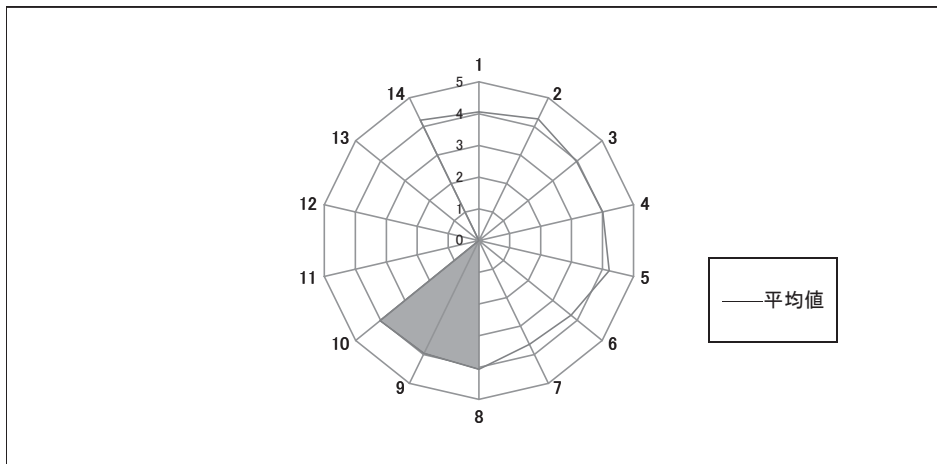
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	10	4	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	12	1	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	11	1	1	1	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	8	5	0	0	1	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	7	2	0	1	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	7	5	1	1	0	3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	7	6	1	1	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	9	3	1	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	7	5	1	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	8	4	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	11	0	0	1	0	4.2



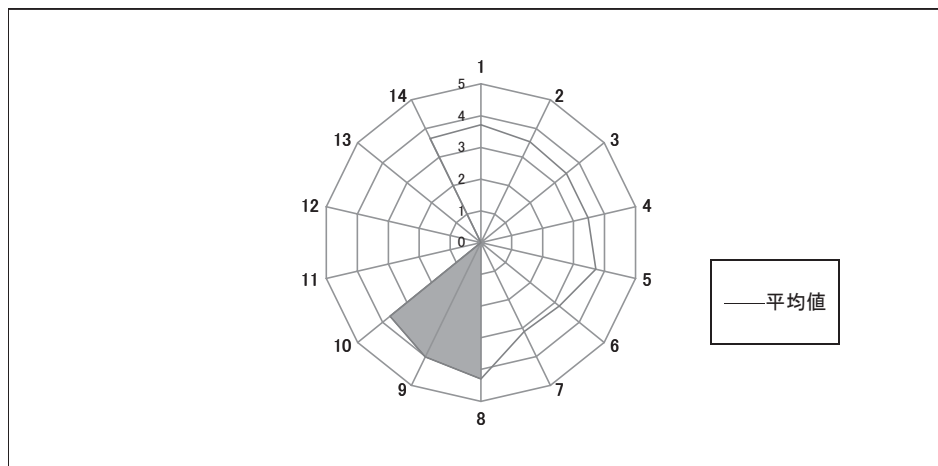
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅲ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	9	3	1	1	0	3.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	7	5	0	2	0	3.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	7	4	1	2	0	3.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	8	5	0	2	0	3.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	8	3	0	2	0	3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	7	6	0	3	0	3.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	6	6	2	2	0	3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	6	1	0	1	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	7	3	0	1	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	3	5	0	2	1	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	6	3	1	2	0	3.6



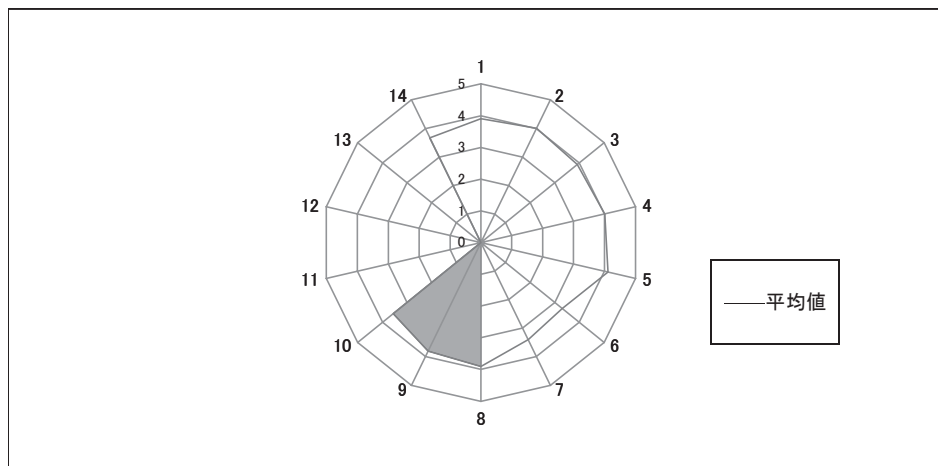
総合評価 3.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学特論  
 評価実施日 平成25年1月31日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	5	3	0	0	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	6	2	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	3	1	0	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	3	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	2	1	0	0	4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	4	5	1	0	0	3.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	3	5	1	0	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	4	2	1	0	0	3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	6	3	0	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	3	5	0	0	1	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	3	3	1	0	1	3.7



総合評価 **3.8**

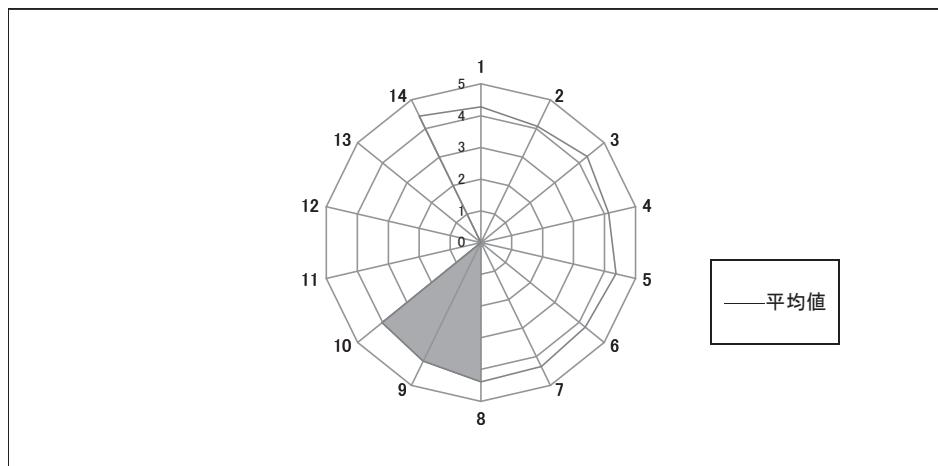
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 幾何学 I  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



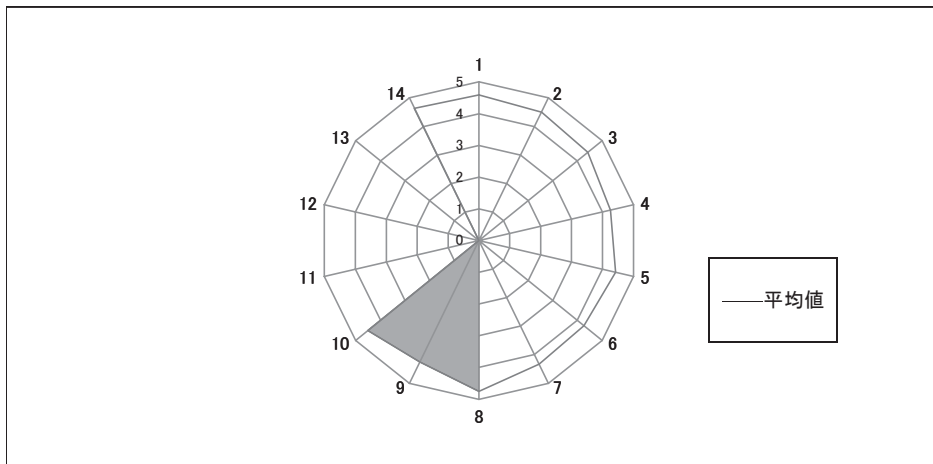
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月6日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	6	0	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	5	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	5	1	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	2	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	6	1	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	7	1	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	6	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	4	0	0	0	1	4.6



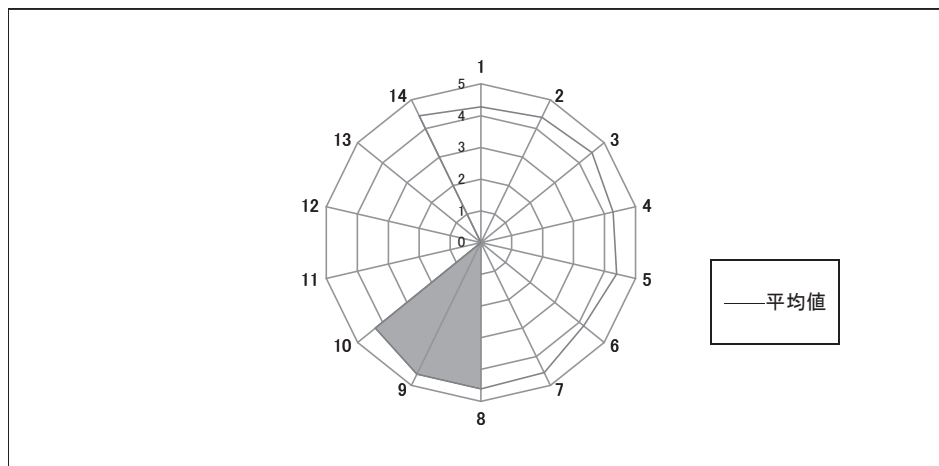
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅲ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



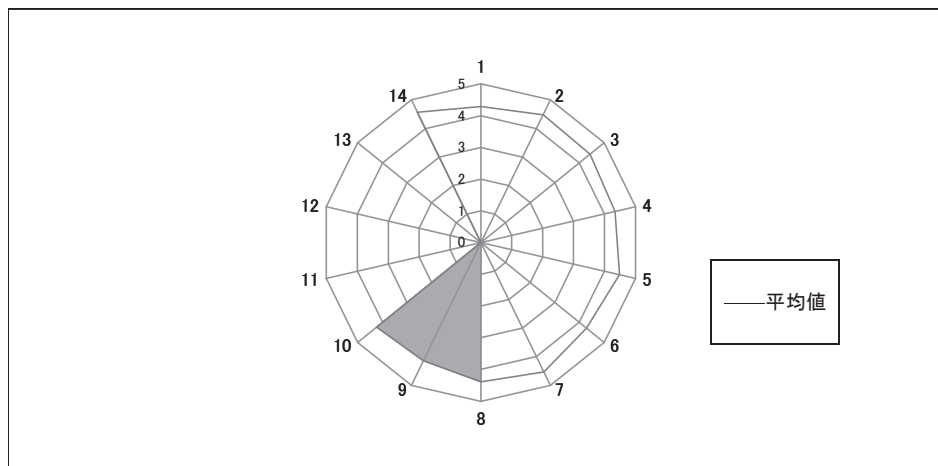
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学特論  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	11	2	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	9	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	10	1	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	8	3	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	9	1	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	11	2	0	0	0	4.3
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	8	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	7	3	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	6	6	0	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	8	4	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	7	1	0	0	0	4.6



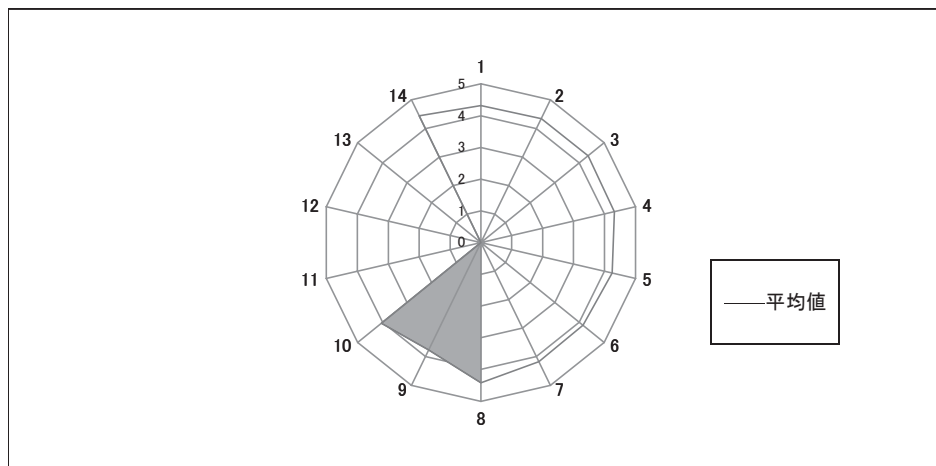
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学 I  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



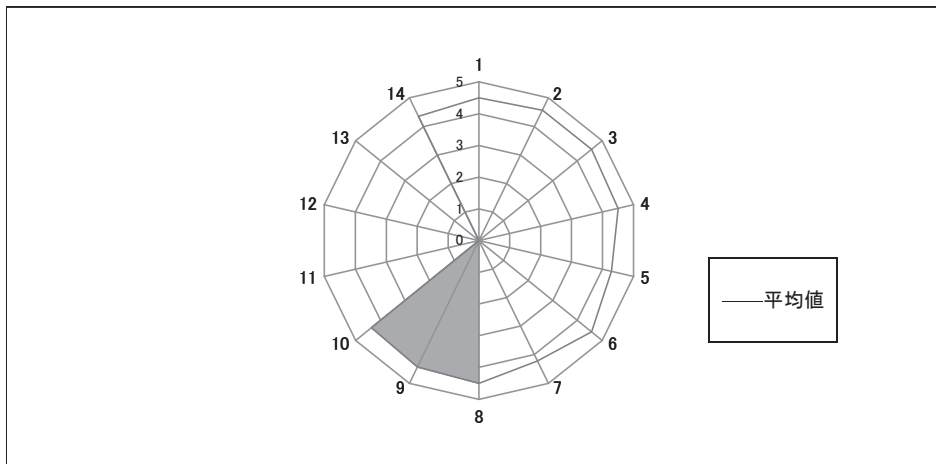
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	7	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	6	2	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	6	1	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	2	3	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	5	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	5	2	0	0	0	4.4



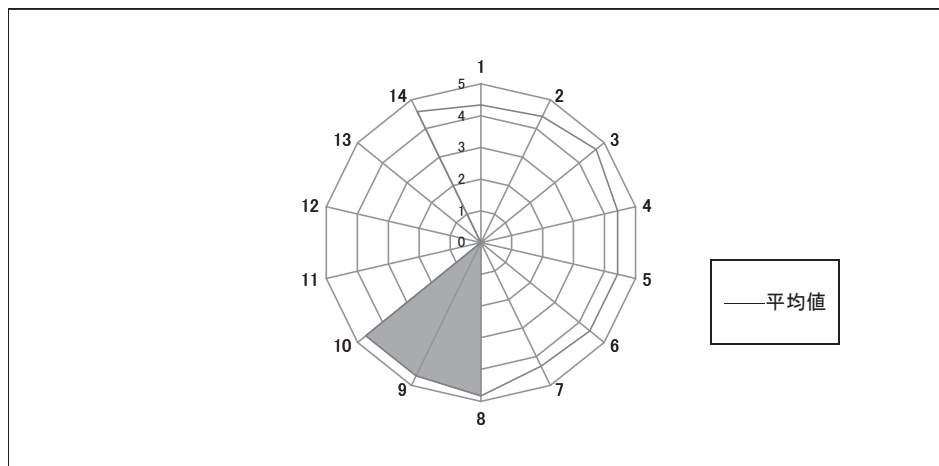
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学Ⅲ  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	6	1	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	5	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	5	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	4	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	3	1	0	0	0	4.6



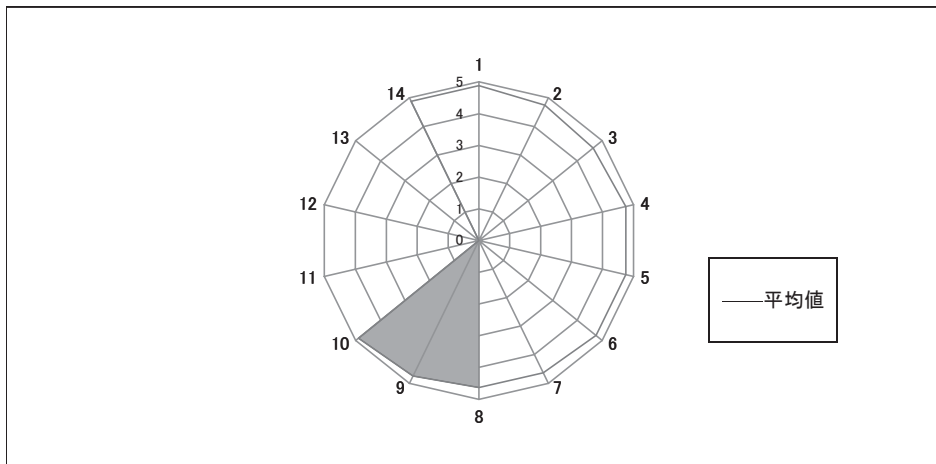
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学特論  
 評価実施日 平成25年2月5日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

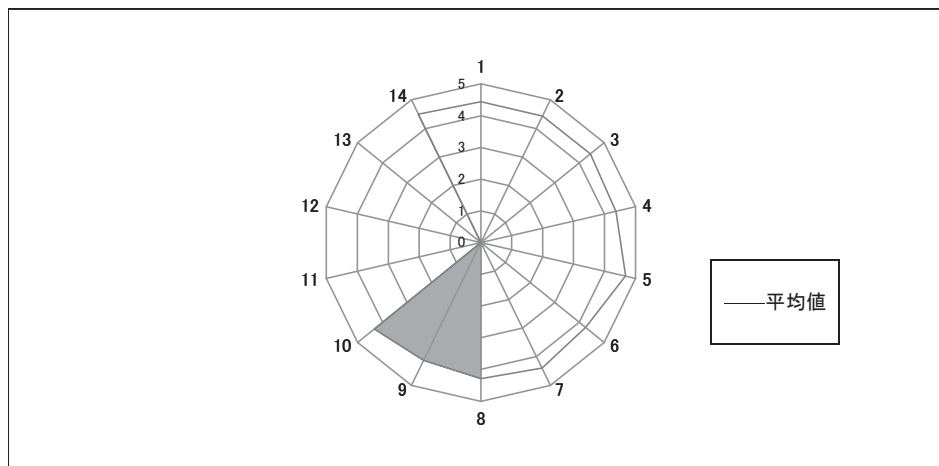
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 確率・統計学  
 評価実施日 平成25年2月13日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 25名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	14	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	8	3	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	11	0	1	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	14	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	8	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	13	3	0	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	11	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	11	2	1	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	13	3	1	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	8	3	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	7	1	1	0	1	4.5



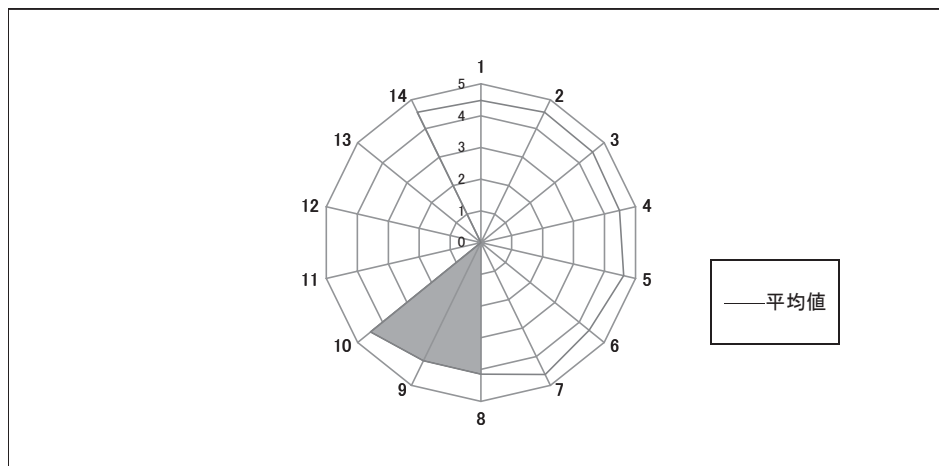
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 確率・統計学特論  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	5	3	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	3	3	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	4	3	0	0	0	4.5
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	5	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	2	3	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	5	4	0	0	0	4.4
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	2	3	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	5	3	1	1	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	4	4	2	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	5	3	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	2	2	1	0	0	4.6



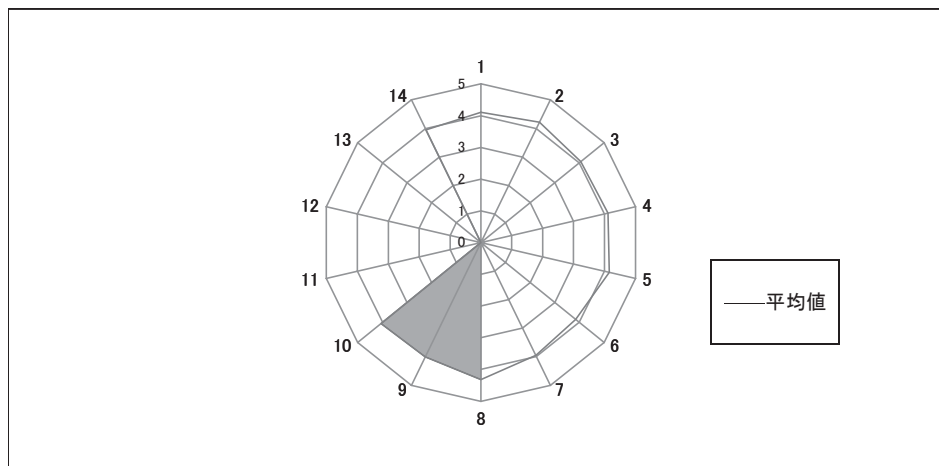
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 計算数学  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.9



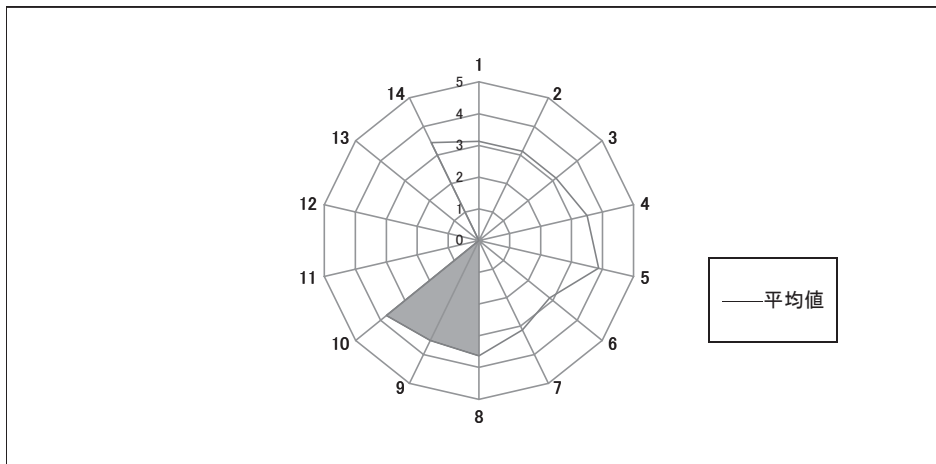
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎数学 I  
 評価実施日 平成25年1月31日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						2.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.4



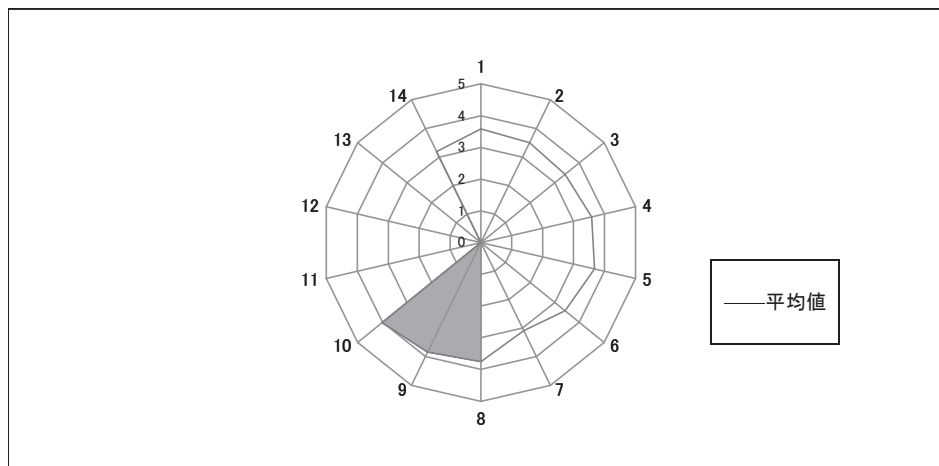
総合評価 **3.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎数学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.2



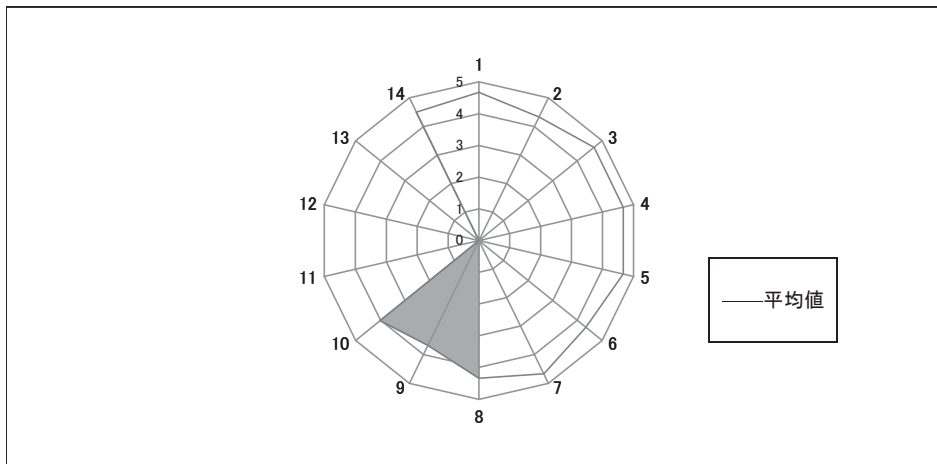
総合評価 **3.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学の基礎  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 寺島 幸生

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	1	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	1	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	2	1	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5



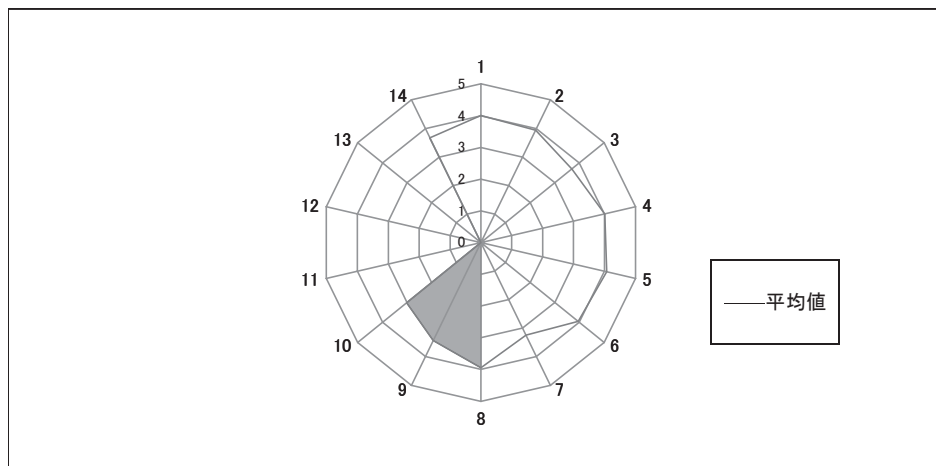
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(物理学分野)  
 評価実施日 平成24年11月26日  
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	6	5	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	5	6	0	0	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	8	5	1	0	0	3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	10	3	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	5	5	0	0	0	4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	7	5	0	0	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	5	6	1	2	0	3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	6	4	1	0	0	3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	4	9	1	0	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	7	4	1	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	7	5	1	0	1	3.7



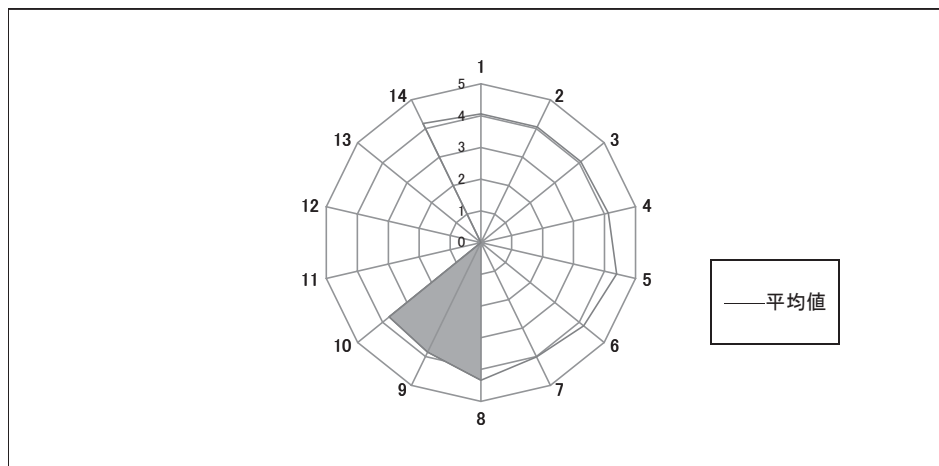
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学 I  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



総合評価 4.1

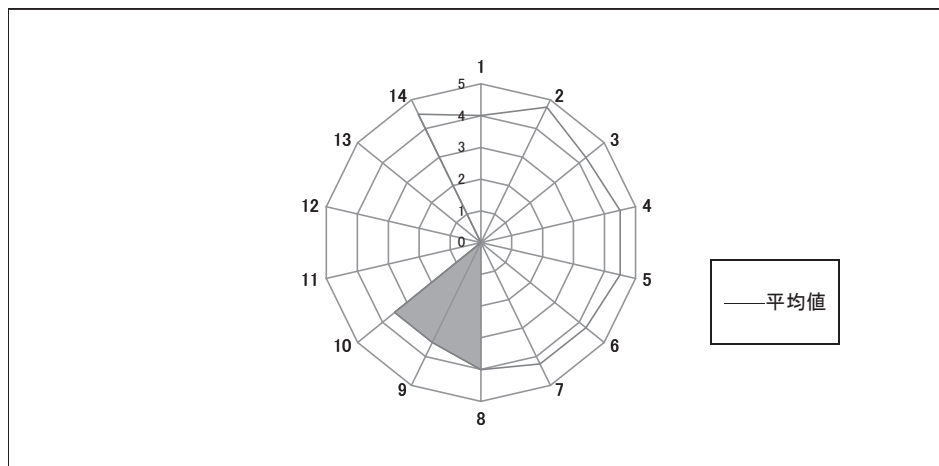
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 物理学Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 本田 亮, 寺島 幸生

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	3	0	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	1	1	0	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	1	1	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

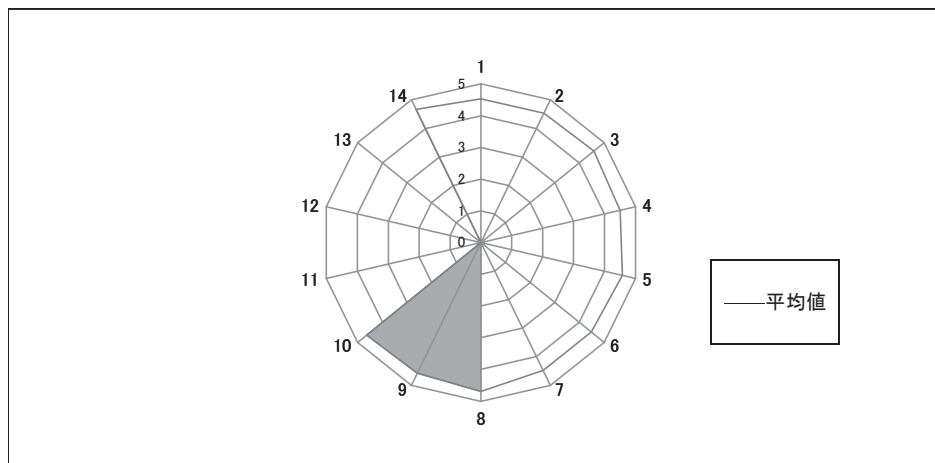
授業科目名 物理学実験 I

評価実施日 平成24年11月29日

担当教員名 粟田 高明, 本田 亮, 寺島 幸生

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	12	5	2	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	5	2	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	13	4	2	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	5	2	0	0	1	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	11	8	0	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	12	5	1	1	0	0	4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	8	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	14	4	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	11	8	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	13	5	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	13	4	1	0	0	1	4.7



総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

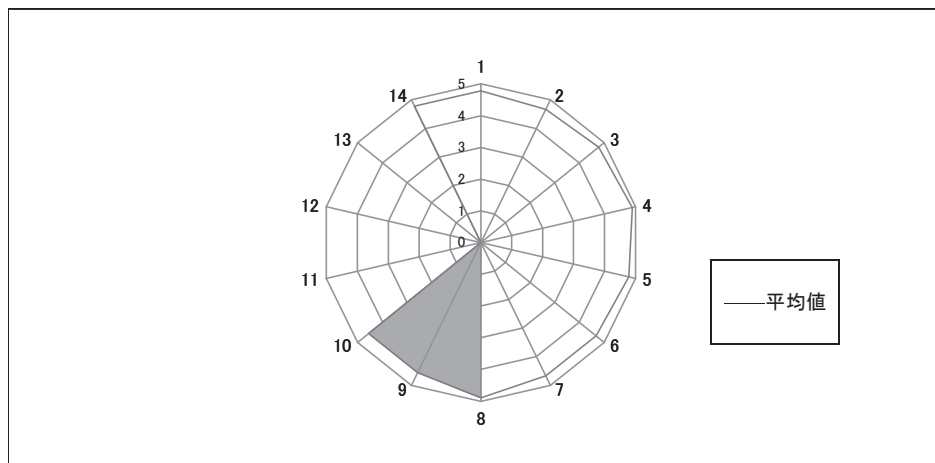
授業科目名 物理学実験Ⅱ

評価実施日 平成25年2月28日

担当教員名 粟田 高明, 本田 亮, 寺島 幸生

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



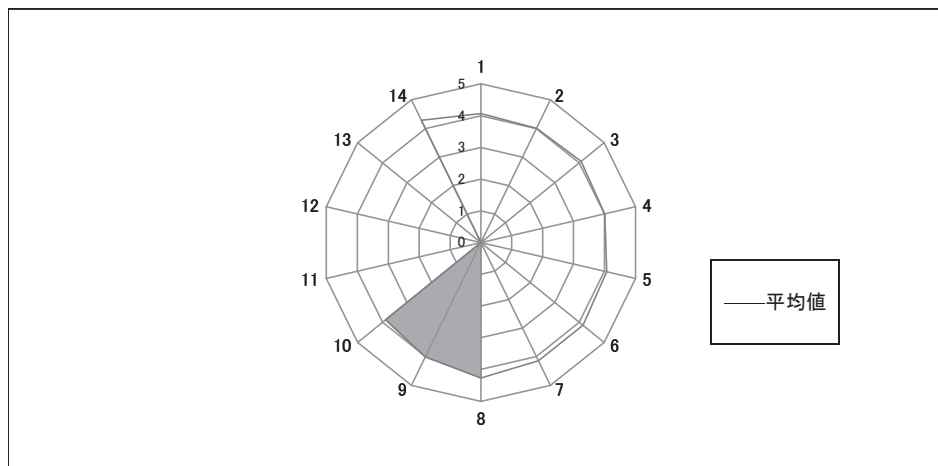
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(化学分野)  
 評価実施日 平成25年3月4日  
 担当教員名 武田 清

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



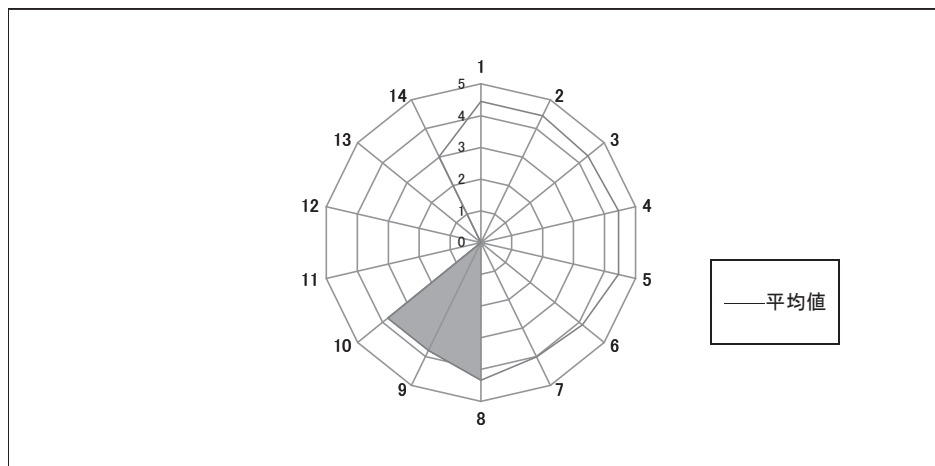
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学 I  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 早藤 幸隆, 胸組 虎胤

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	5	0	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	1	0	0	0	4.3
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	5	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	3	1	0	0	0	4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	5	0	1	0	0	4.1
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	4	1	1	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	4	1	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	3	1	2	0	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	4	2	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	3	0	3	1	1	3.0



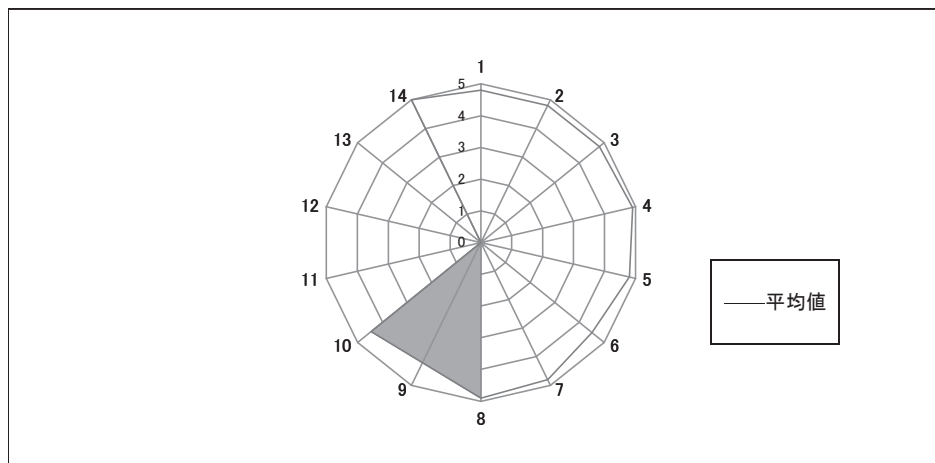
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学実験 I  
 評価実施日 平成24年6月7日  
 担当教員名 武田 清, 早藤 幸隆, 胸組 虎胤

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



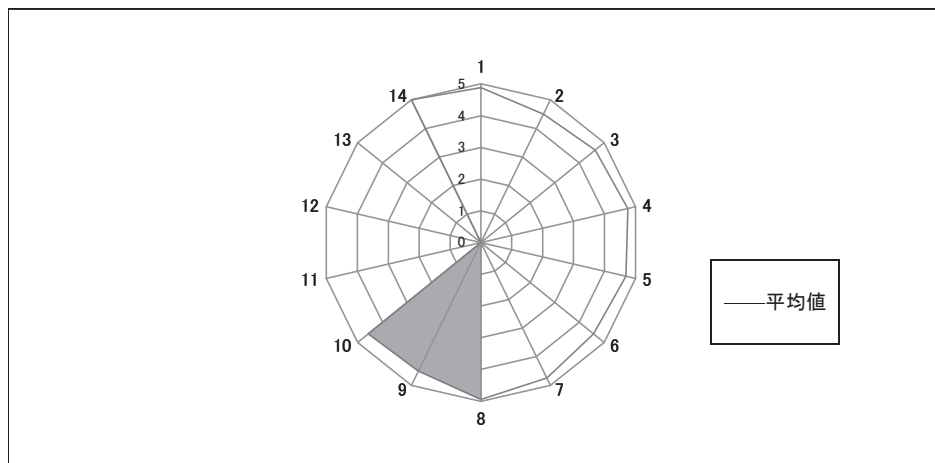
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 化学実験Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 武田 清, 早藤 幸隆, 胸組 虎胤

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	6	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	6	0	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	2	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	5	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	7	0	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	2	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	4	2	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	5	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	0	0	0	0	1	5.0



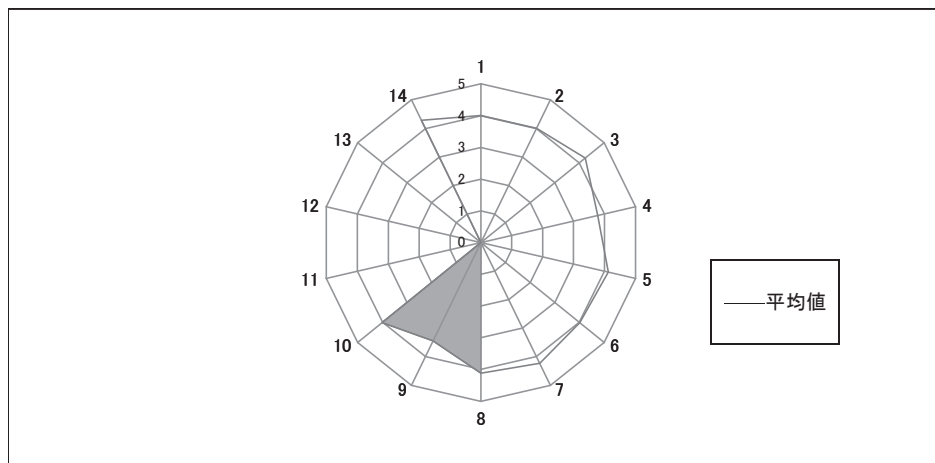
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学の基礎  
 評価実施日 平成24年6月4日  
 担当教員名 小汐 千春

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	5	2	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	5	2	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	2	0	0	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	5	3	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	6	1	0	0	0	4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	3	3	0	0	0	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	5	1	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	1	1	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	3	4	1	0	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	2	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	1	0	0	2	4.3



総合評価 4.1

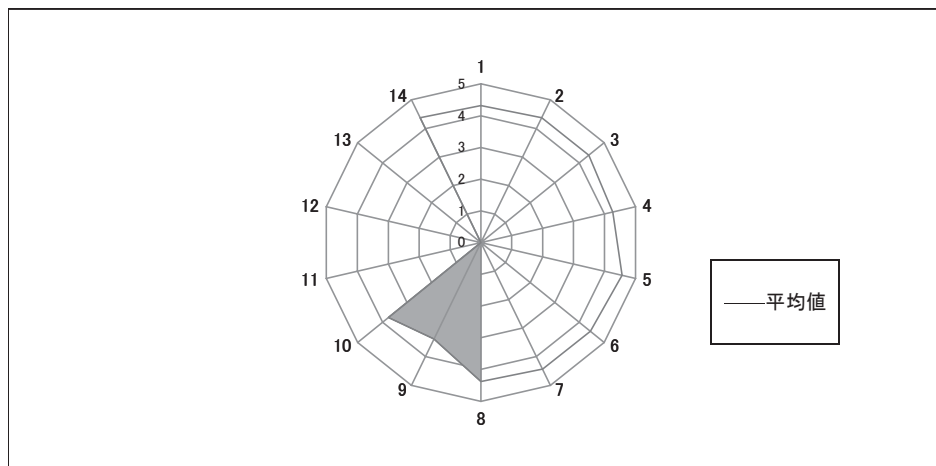
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 中等理科(生物学分野)  
 評価実施日 平成24年11月26日  
 担当教員名 小汐 千春

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	2	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	4	3	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	3	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	7	2	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	3	2	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	5	2	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	3	3	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	3	2	1	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	3	7	3	0	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	7	5	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	4	3	0	0	0	4.4



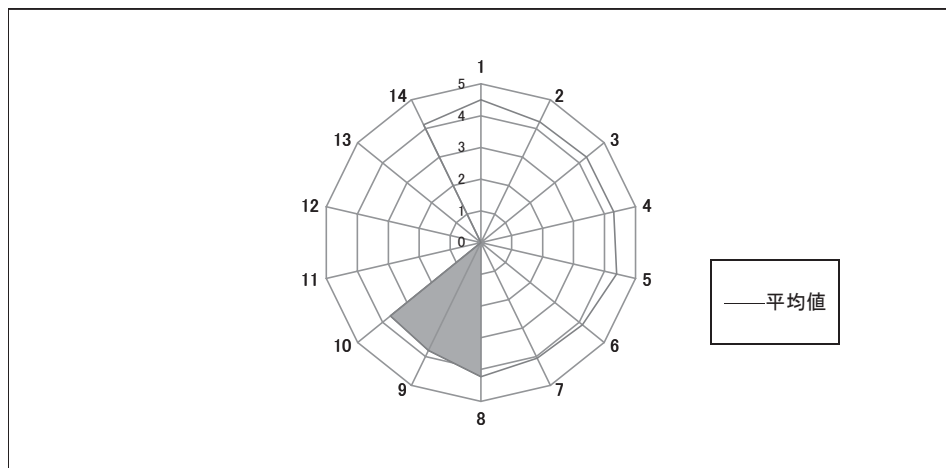
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学 I  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 米澤 義彦

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



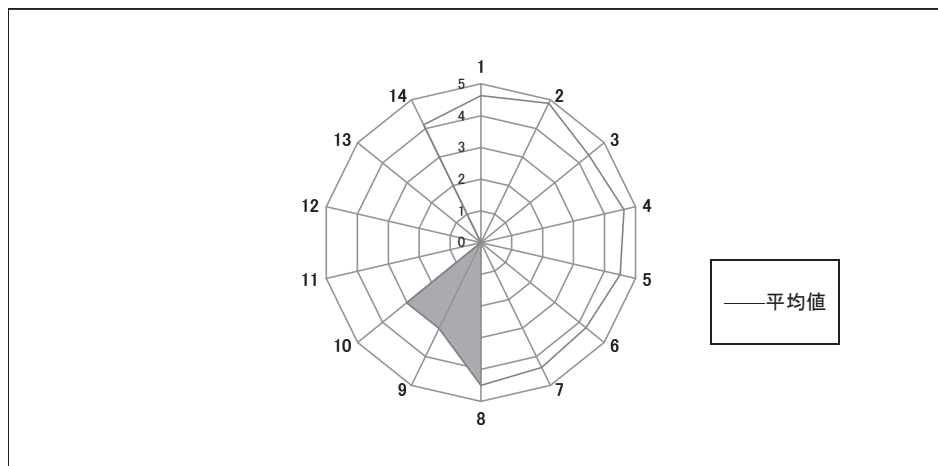
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 工藤 慎一

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



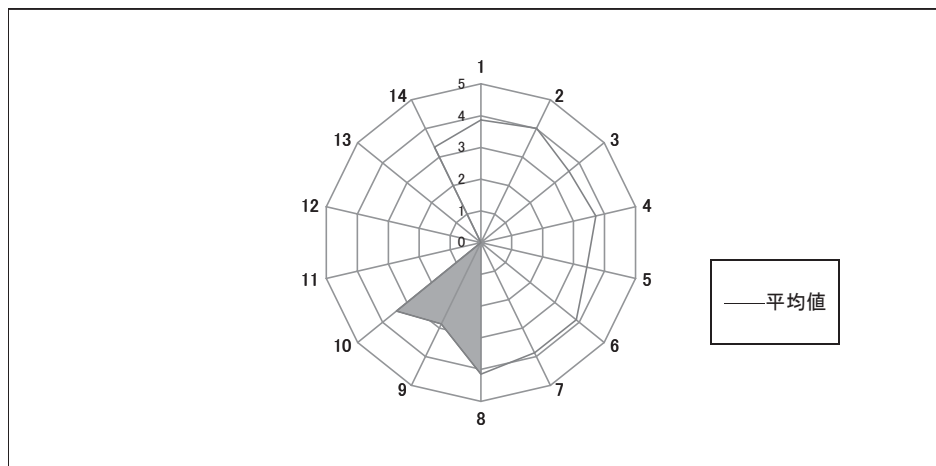
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学の基礎  
 評価実施日 平成24年5月31日  
 担当教員名 村田 守

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	1	1	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	2	0	1	0	3.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	2	1	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	3	2	0	1	0	3.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	3	0	0	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	1	1	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	2	0	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	1	4	0	0	2.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	2	2	0	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	4	1	0	1	1	3.3



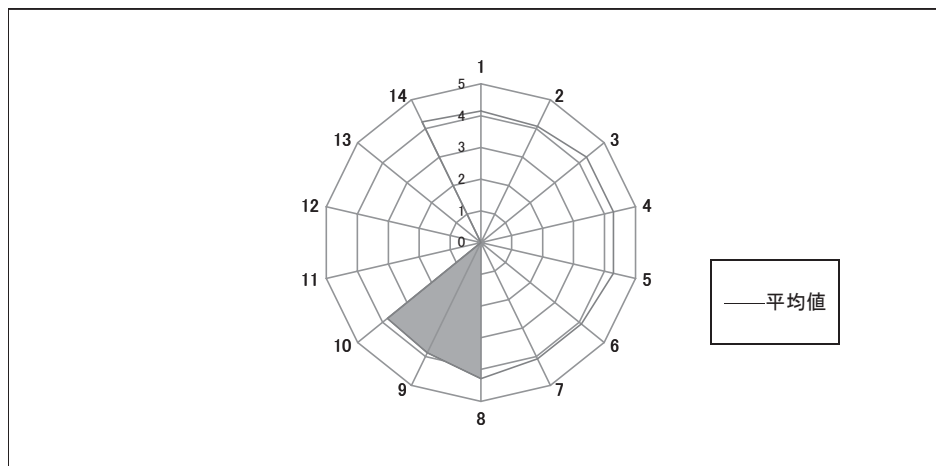
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(地学分野)  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 西村 宏

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	8	2	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	9	2	0	0	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	6	2	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	6	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	8	1	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	7	3	0	0	0	4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	7	3	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	6	2	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	6	5	0	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	6	4	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	6	2	0	0	1	4.2



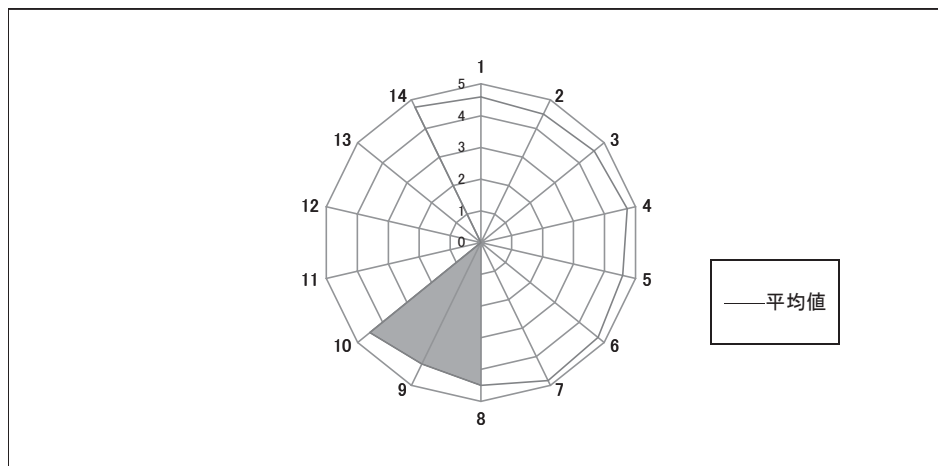
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学 I  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 香西 武, 村田 守

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	1	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	1	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	6	5	0	0	1	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	2	0	0	1	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	11	0	0	1	0	0	4.8



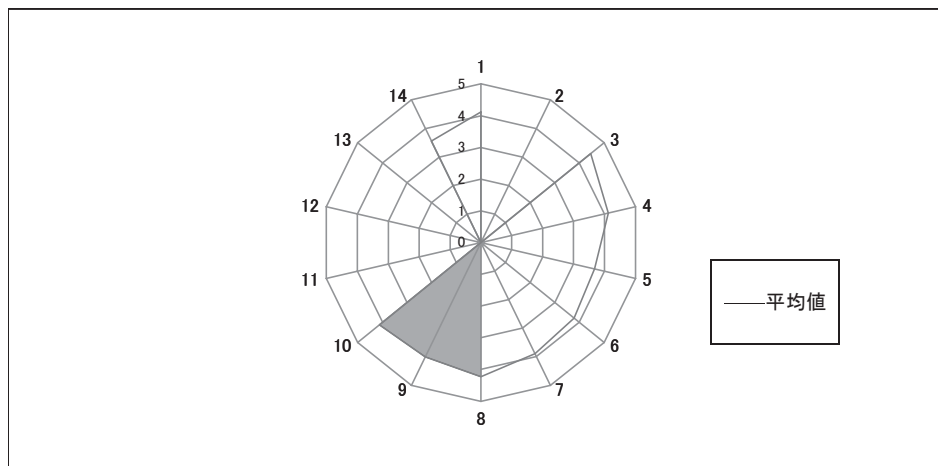
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値 (大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 地学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月23日  
 担当教員名 村田 守, 香西 武

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	4	2	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。							
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	1	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	2	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	4	1	2	0	0	3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	4	2	1	0	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	5	1	1	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	5	1	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	5	2	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	4	2	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	3	2	2	0	0	3.6



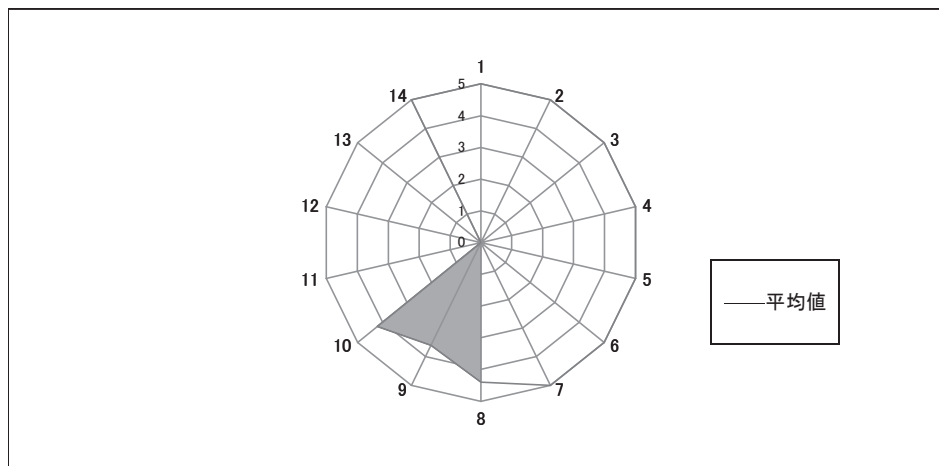
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学Ⅲ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 西村 宏

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **5.0**

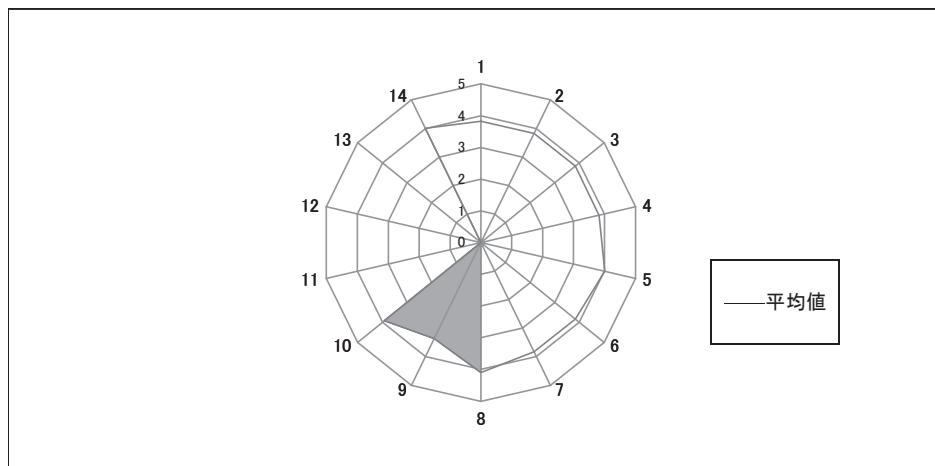
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 地学実験 I (野外実習)  
 評価実施日 平成24年11月29日  
 担当教員名 村田 守, 香西 武, 小澤 大成

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.8
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.8
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.0



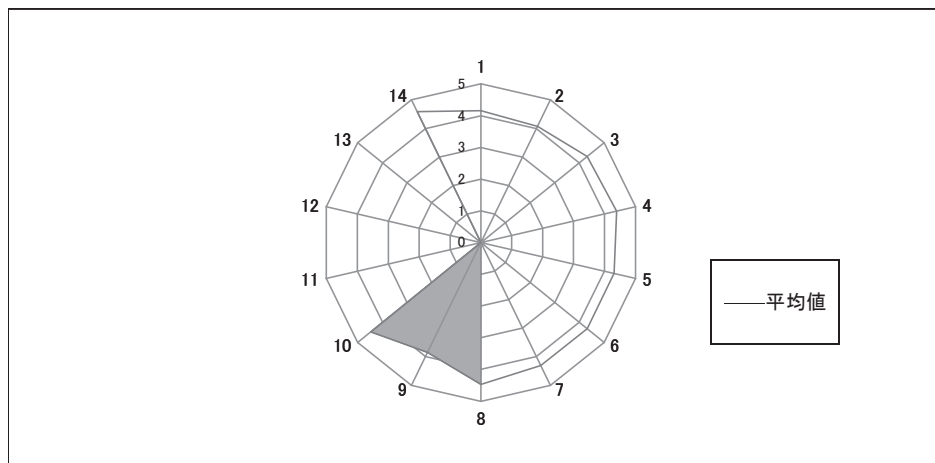
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 地学実験Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 村田 守, 香西 武, 小澤 大成

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



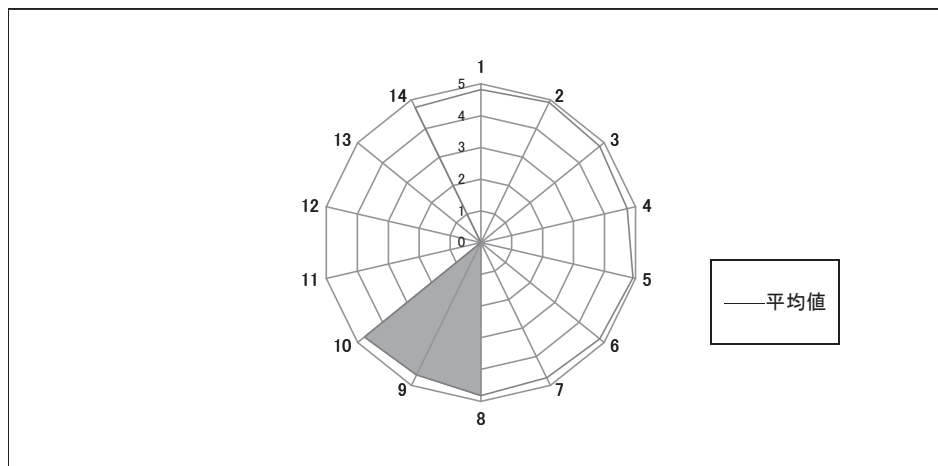
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ソルフェージュ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	4	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	3	0	0	0	0	4.7



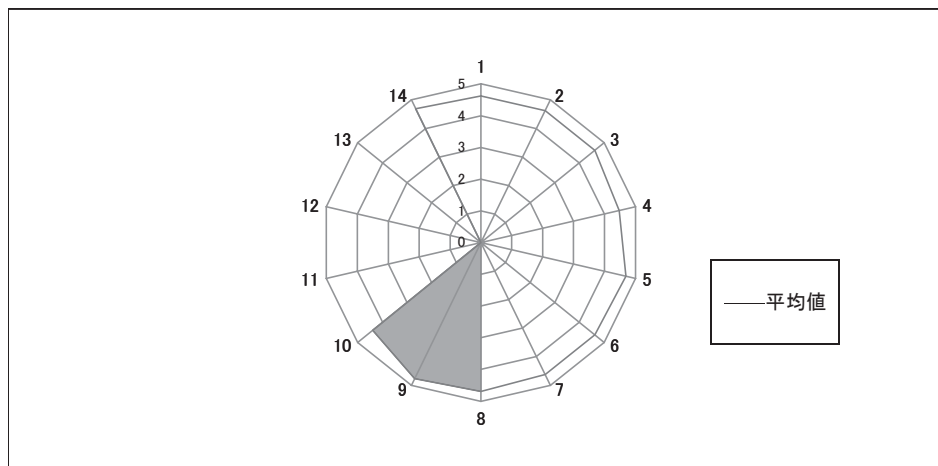
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽(合唱を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 頃安 利秀, 草下 實

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	1	0	0	1	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	1	0	0	1	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	1	0	0	1	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	1	0	1	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	0	0	0	1	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	1	0	0	1	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	1	0	0	1	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	1	0	1	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	1	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	2	1	0	1	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	0	0	0	1	0	4.7



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

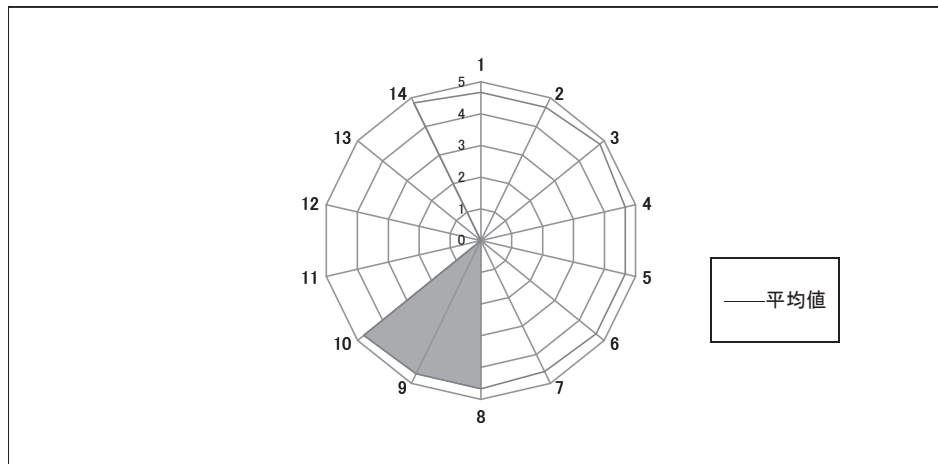
授業科目名 日本の伝統音楽(日本の伝統的な歌唱を含む)

評価実施日 平成24年11月22日

担当教員名 丸岡 安弥乃

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



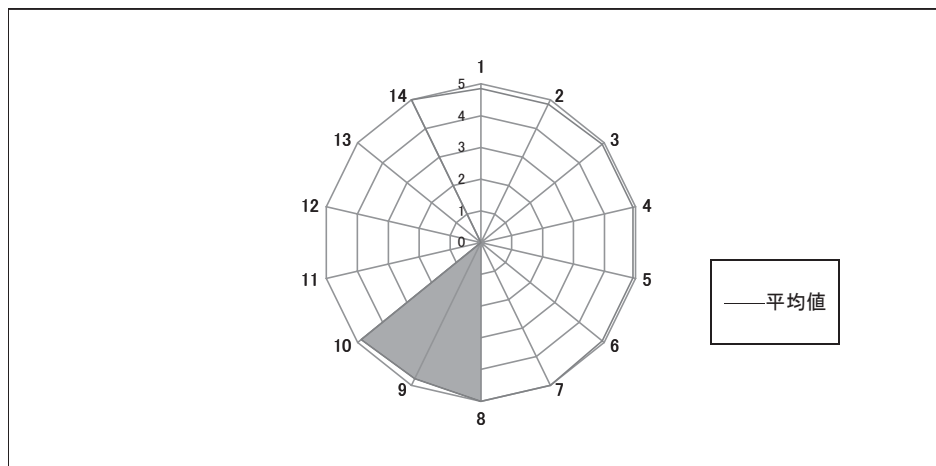
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽基礎 I  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 頃安 利秀, 草下 實

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	12	1	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	12	1	0	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	12	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	13	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む。) をした。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	11	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	13	0	0	0	0	0	5.0



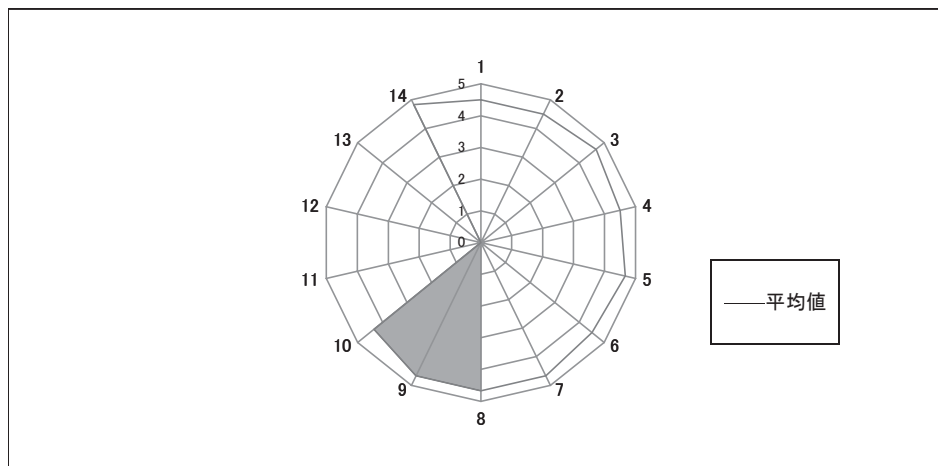
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値 (大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 声楽基礎Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 頃安 利秀, 草下 實

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



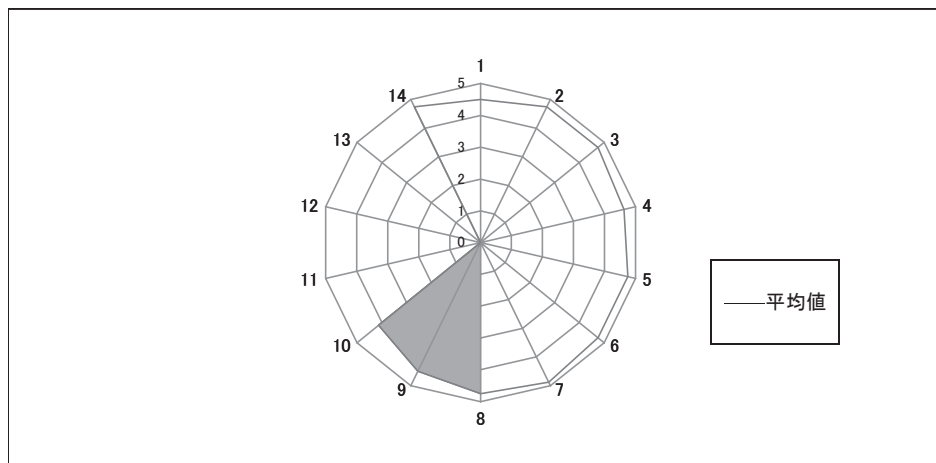
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 歌唱法 I  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 頃安 利秀, 草下 實

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.8**

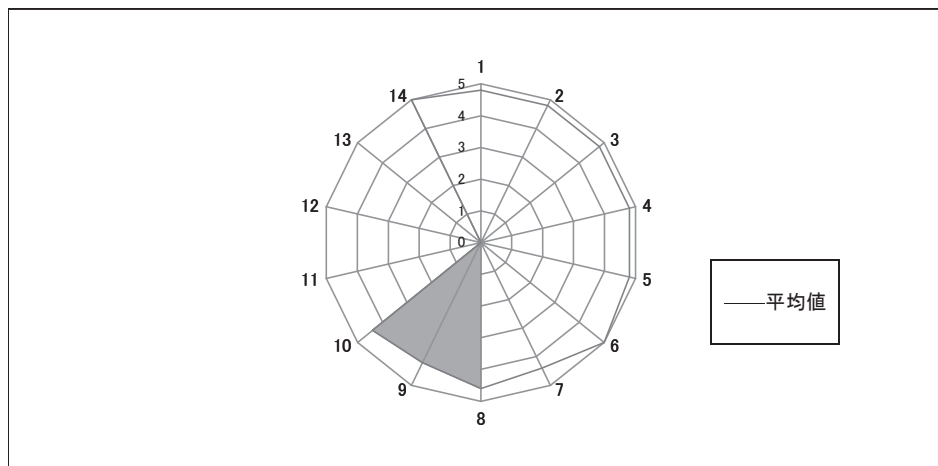
※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 歌唱法Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 草下 實, 頃安 利秀

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



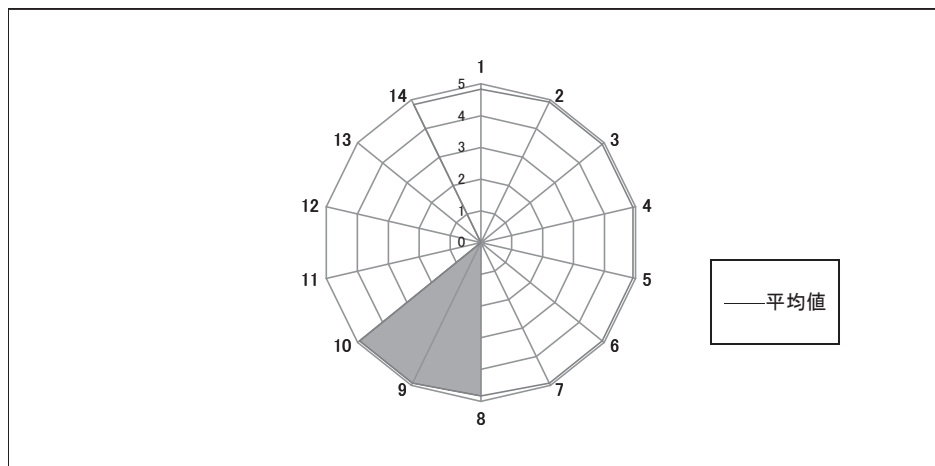
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 器楽(合奏及び伴奏を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 森 正, 山根 秀憲, 加藤 佳子

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



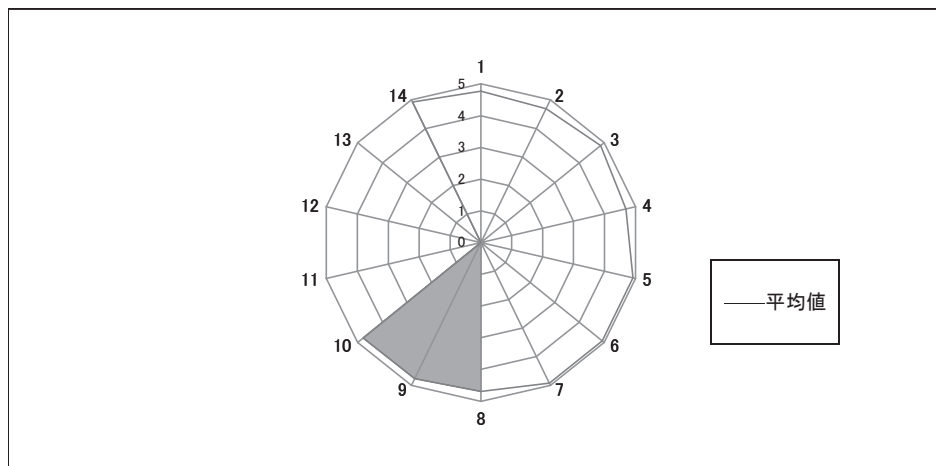
総合評価 4.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 日本の伝統音楽(和楽器)  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 横山 佳世子

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	3	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	1	4.9



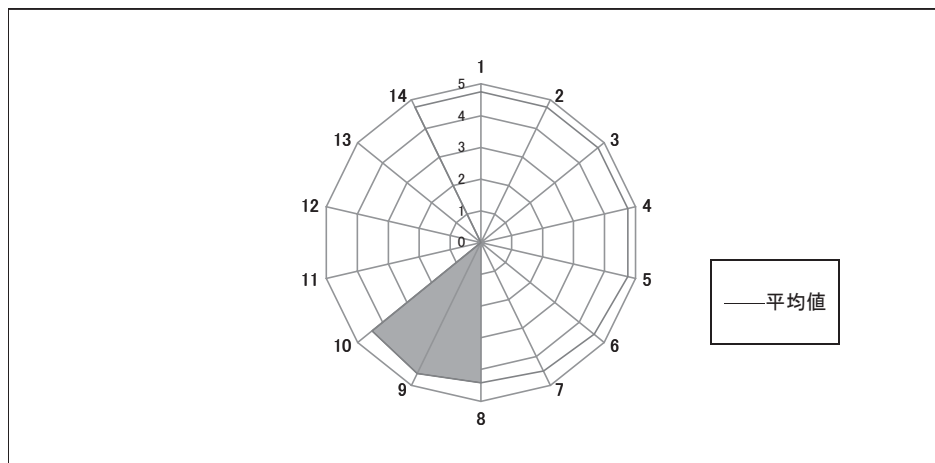
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ基礎 I  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 森 正, 加藤 佳子

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	5	1	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	3	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	1	0	0	0	4.8



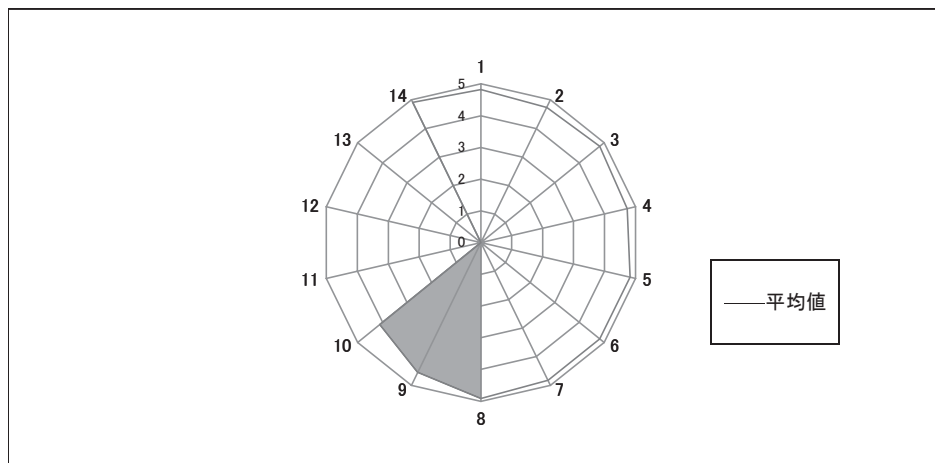
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ基礎Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 森 正, 田中 巴穂

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



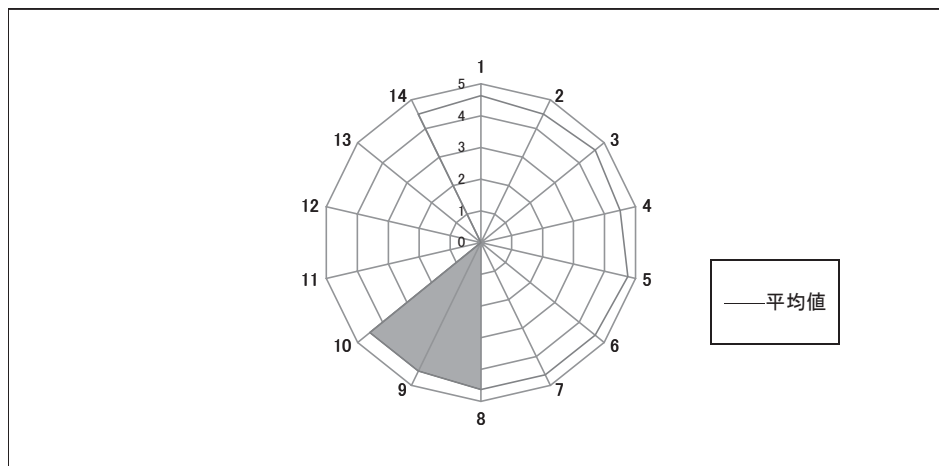
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ I  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 森 正, 田中 巴穂

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



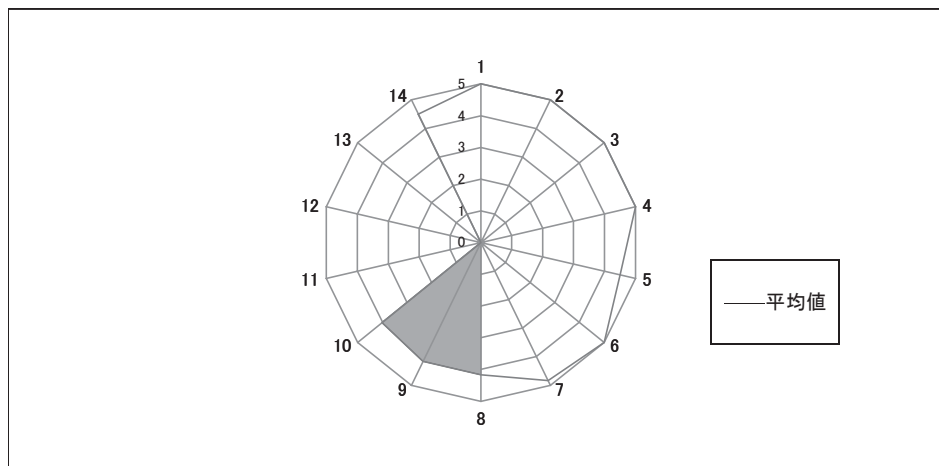
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 ピアノⅡ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 森 正

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



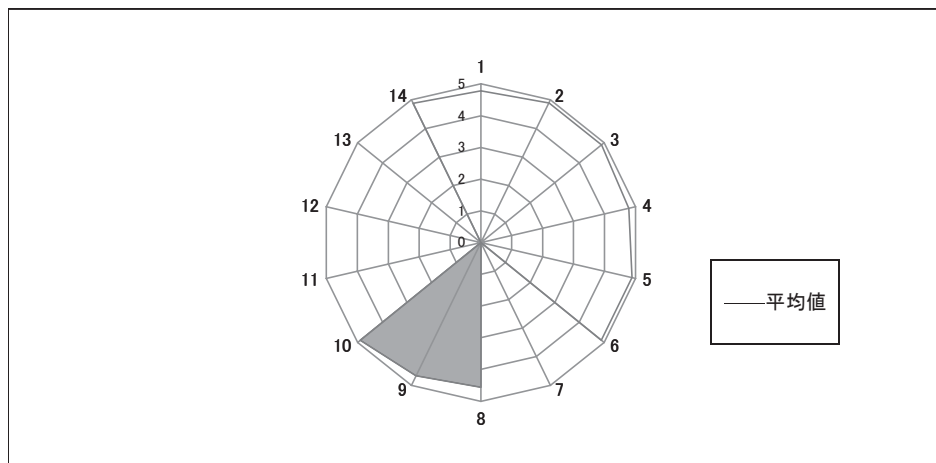
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器基礎 I  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	1	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	1	4.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	1	4.9



総合評価 **4.9**

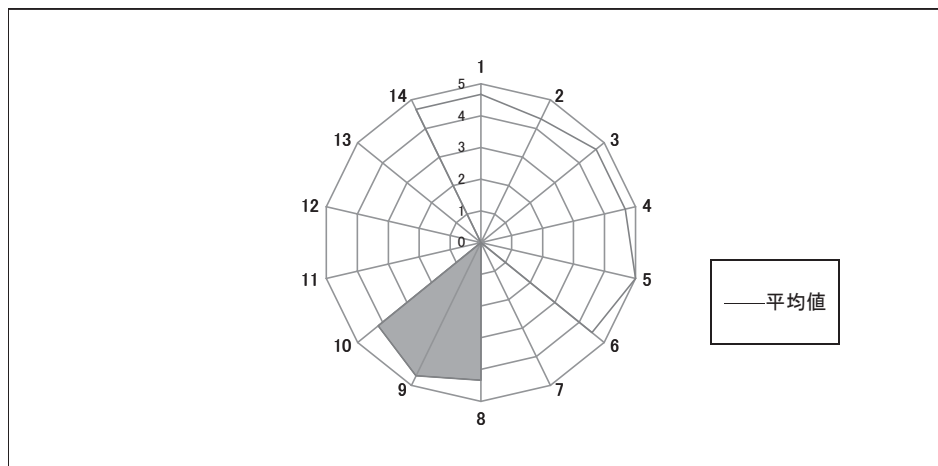
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 管弦打楽器基礎Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	1	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



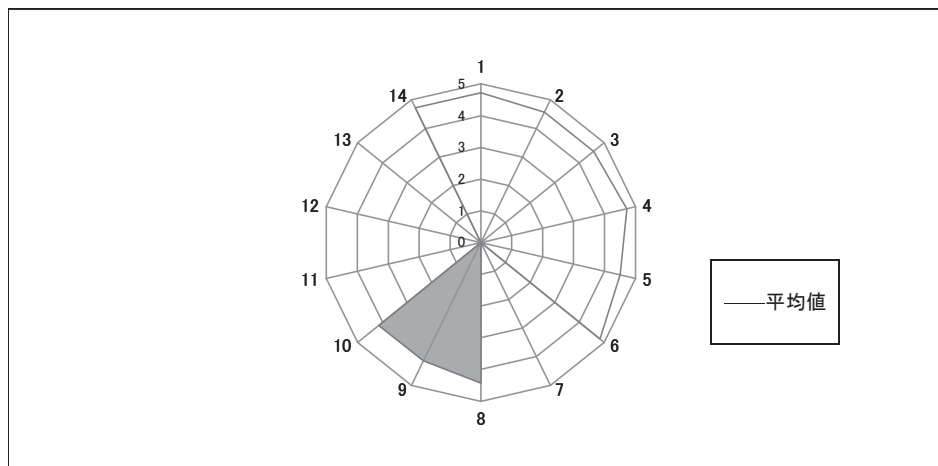
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器 I  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



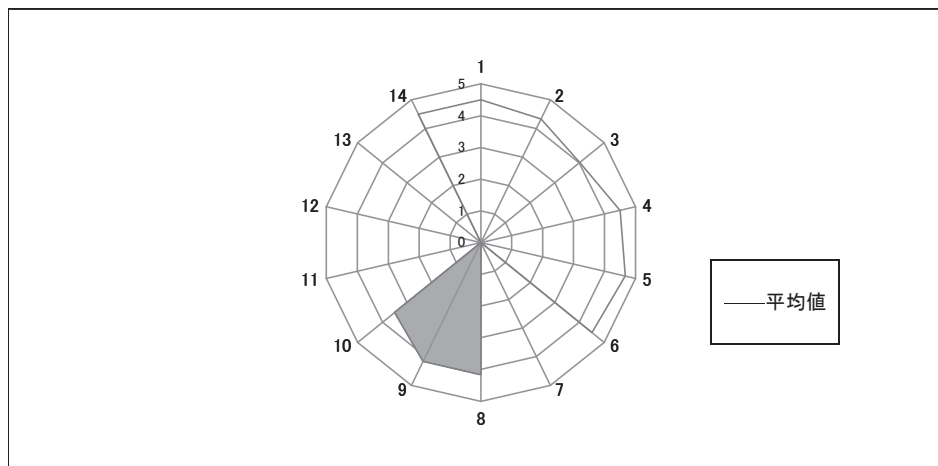
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



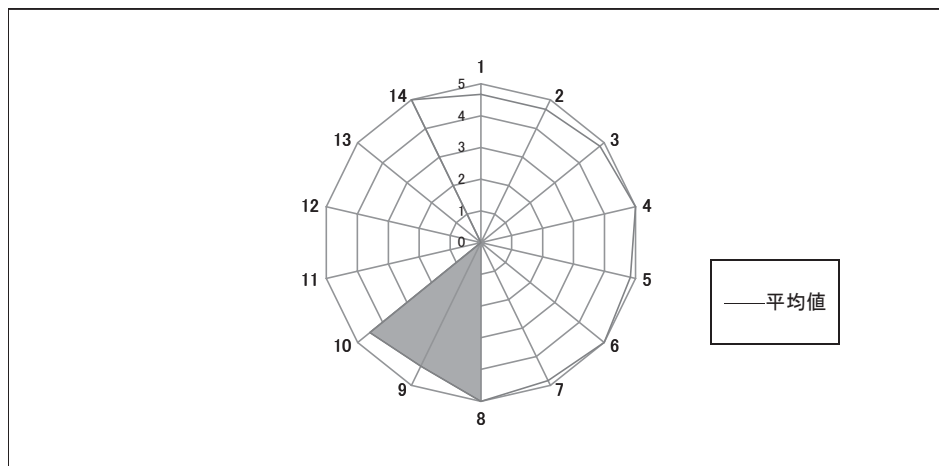
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮法  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



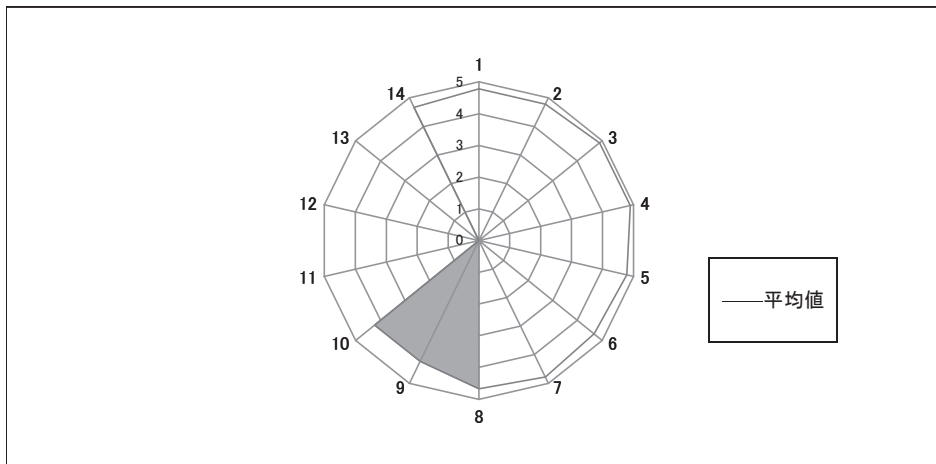
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮 I  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



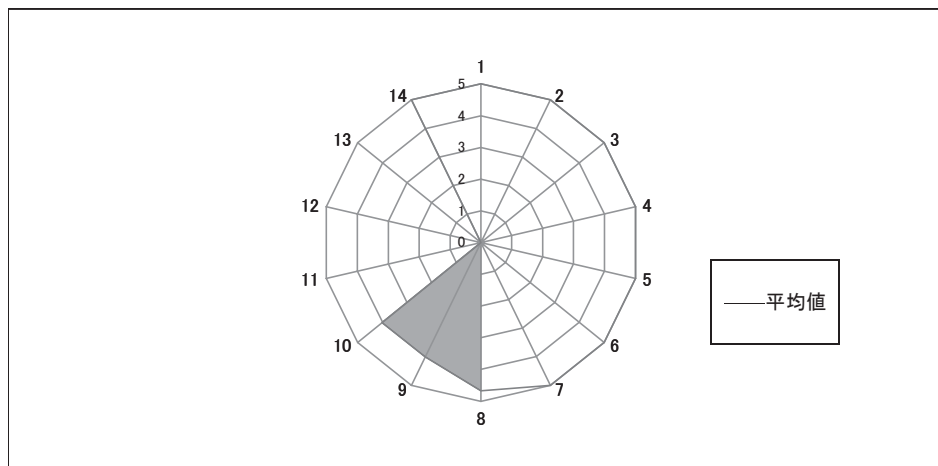
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



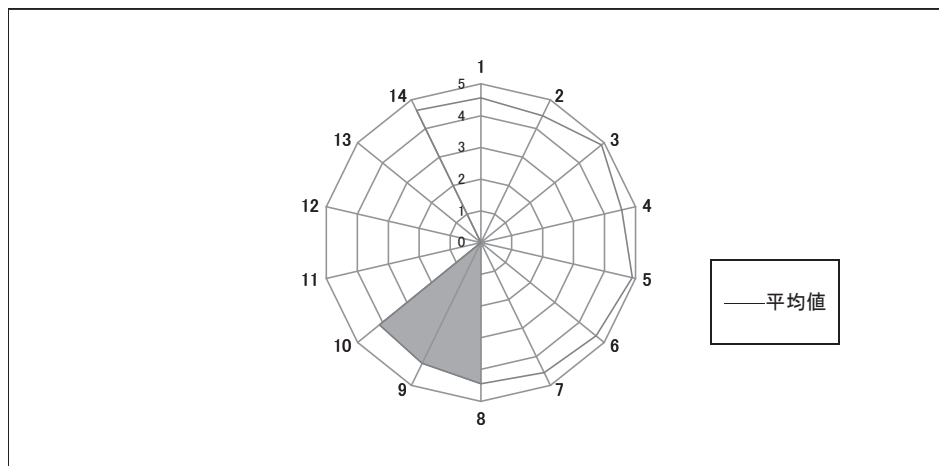
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 合奏  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



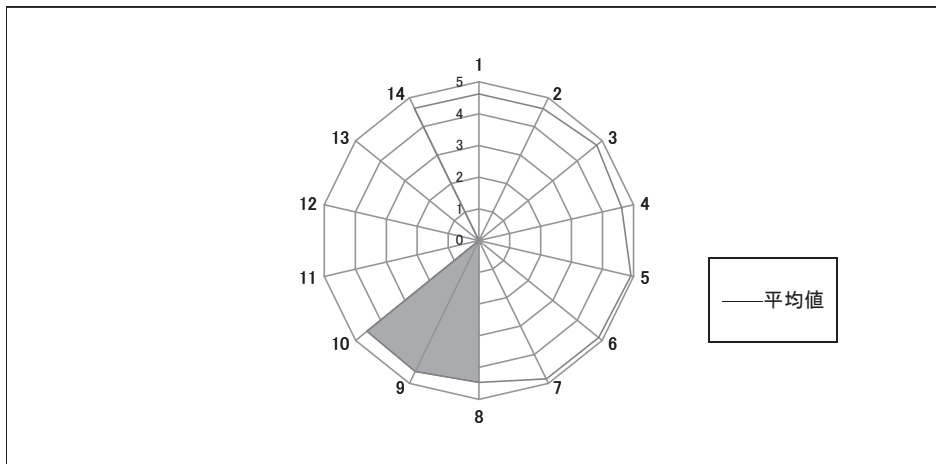
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 音楽の理論と歴史  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	2	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	1	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	1	1	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	1	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	1	2	0	0	1	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	2	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	2	1	0	0	2	4.6



総合評価 **4.7**

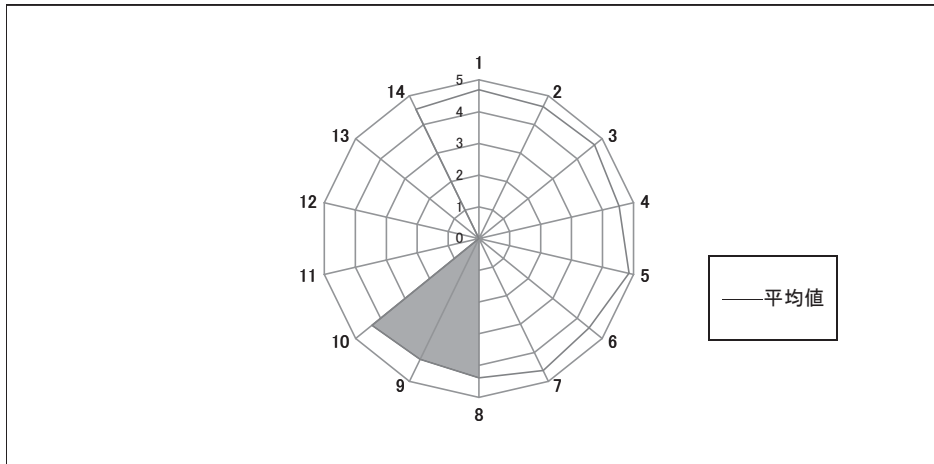
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 音楽通論 I  
 評価実施日 平成25年2月28日  
 担当教員名 長島 真人, 松岡 貴史

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	5	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	8	1	0	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	8	0	0	0	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	1	0	0	0	4.5



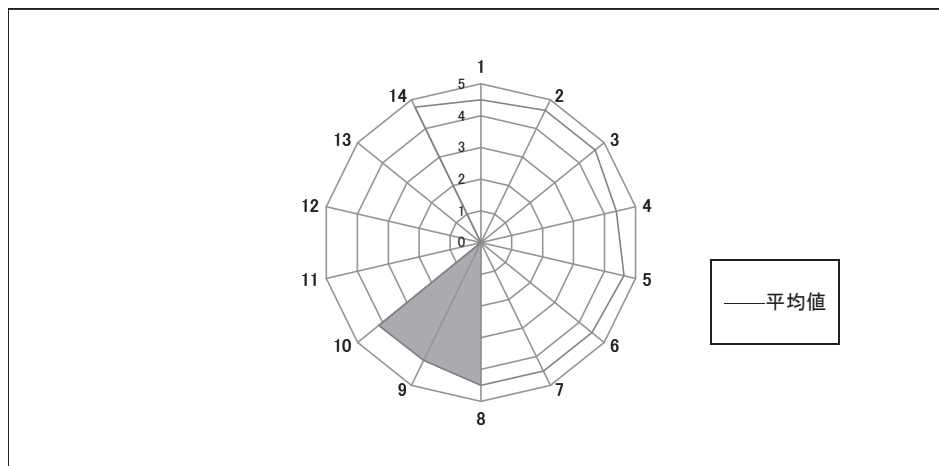
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 音楽通論Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 長島 真人

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



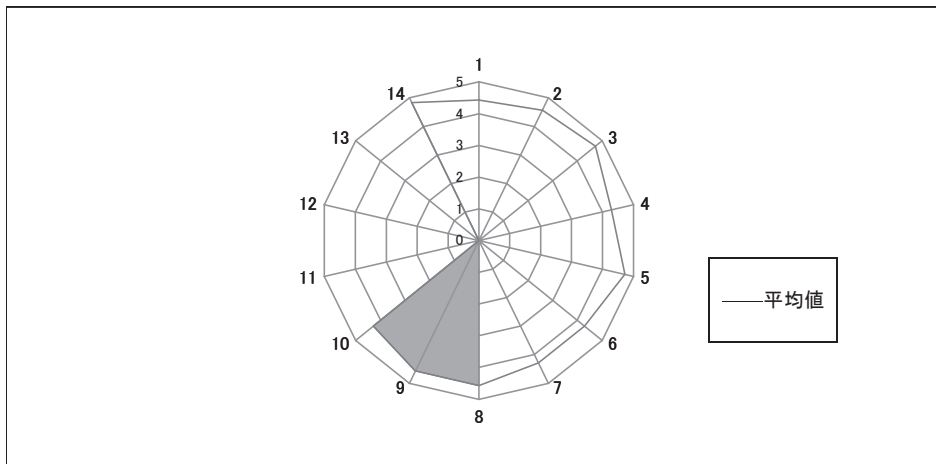
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 作曲法 I  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



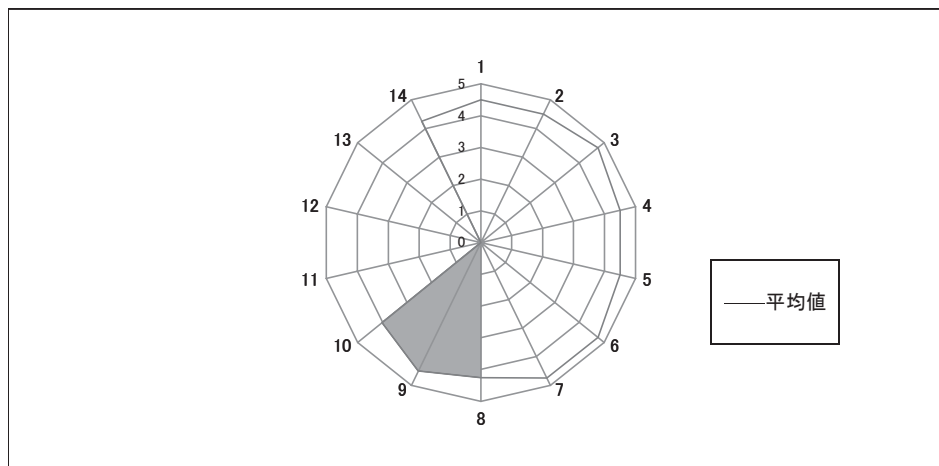
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 作曲法Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月28日  
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	3	0	0	0	0	4.3



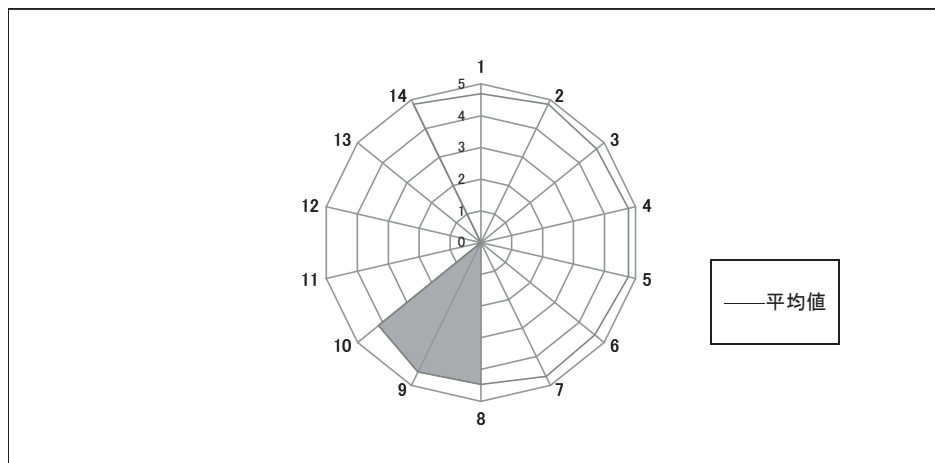
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画 I  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	1	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	3	1	0	0	0	4.6
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	1	3	0	0	0	4.5
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	4	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	6	1	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	2	0	0	0	0	4.8



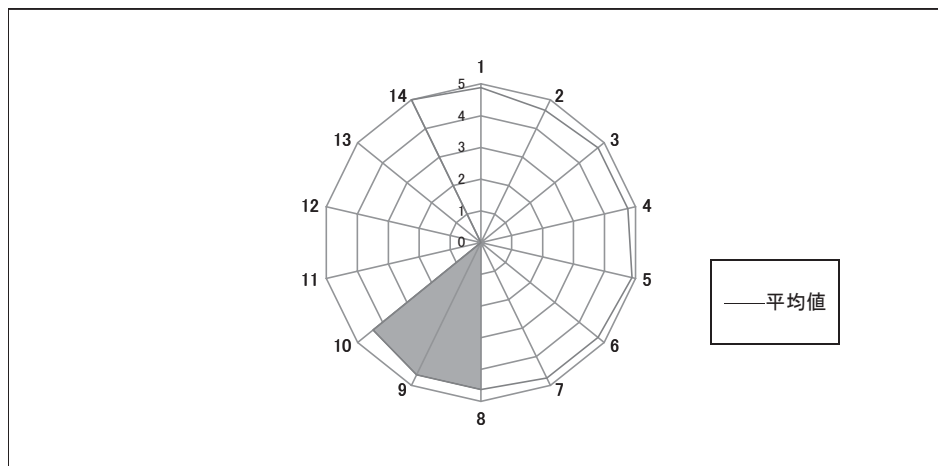
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



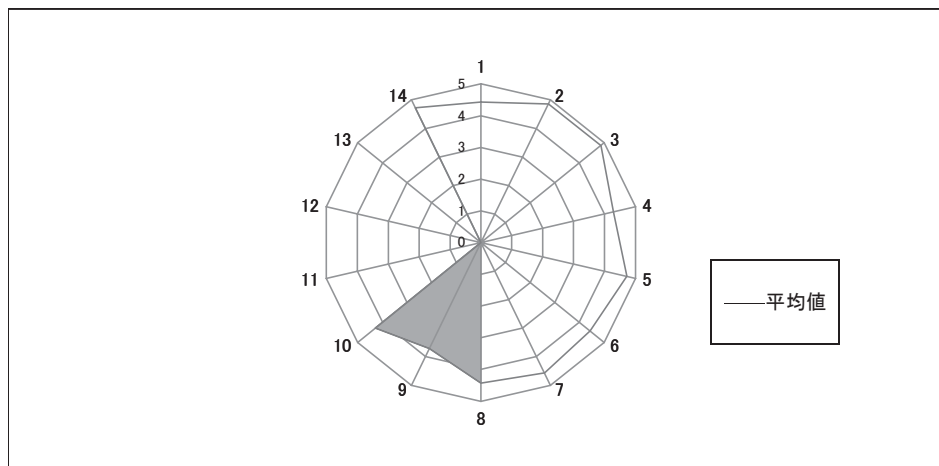
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画材料研究  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



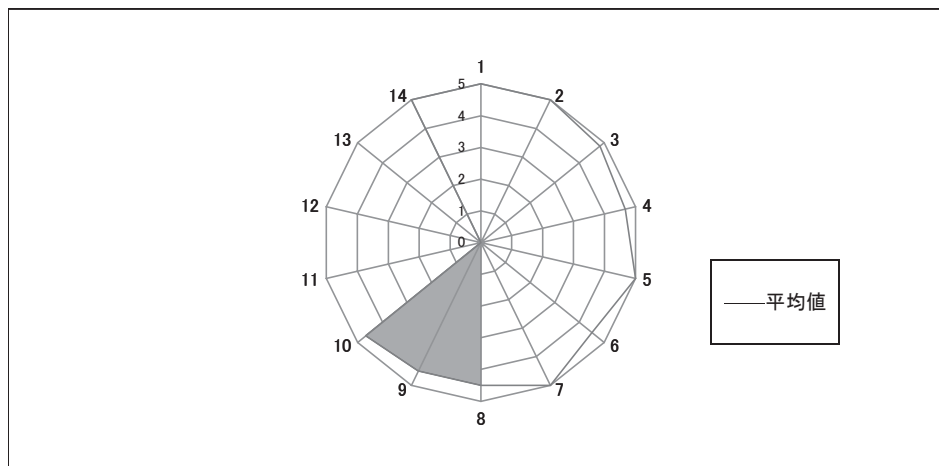
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画特別演習 I  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

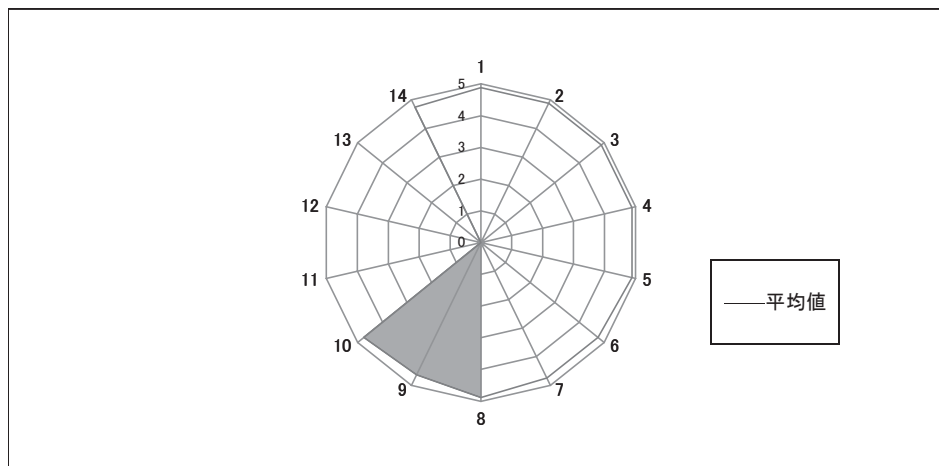
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 絵画特別演習Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 武市 勝

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



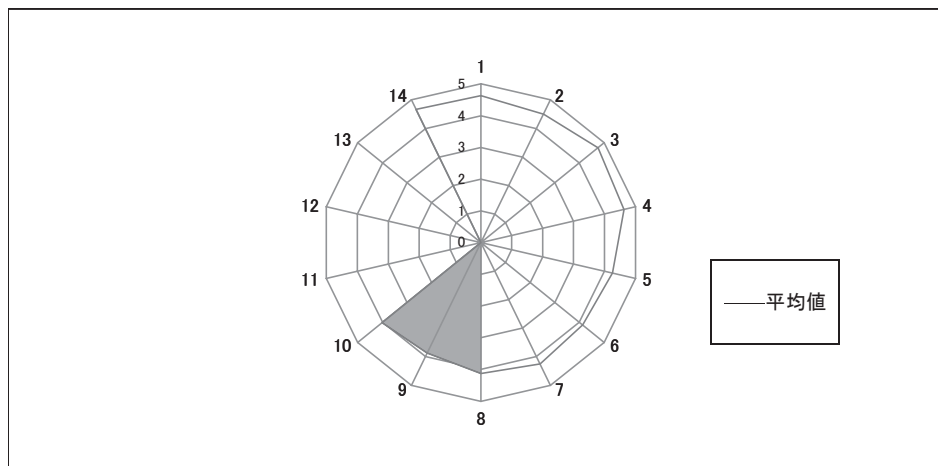
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 素描  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 鈴木 久人, 武市 勝

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



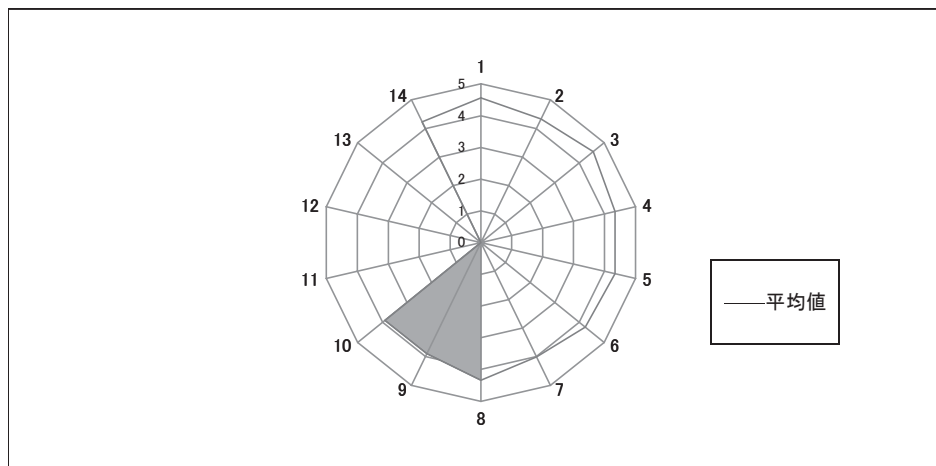
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻 I  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



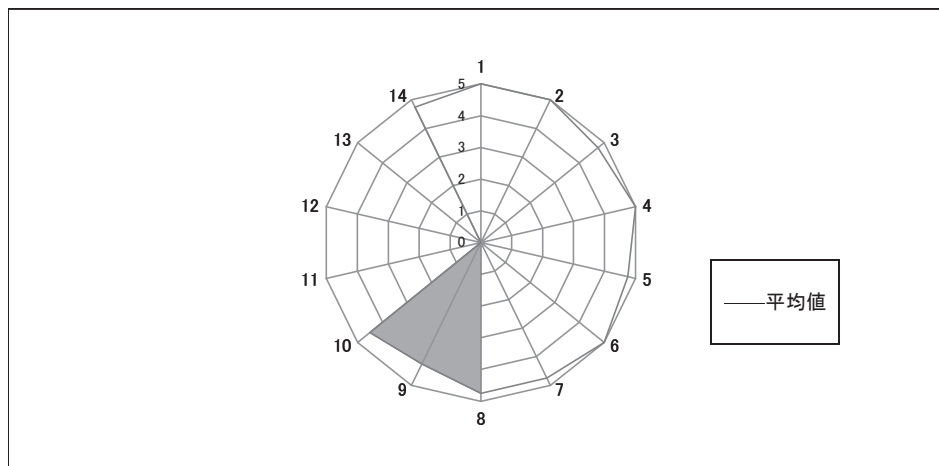
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



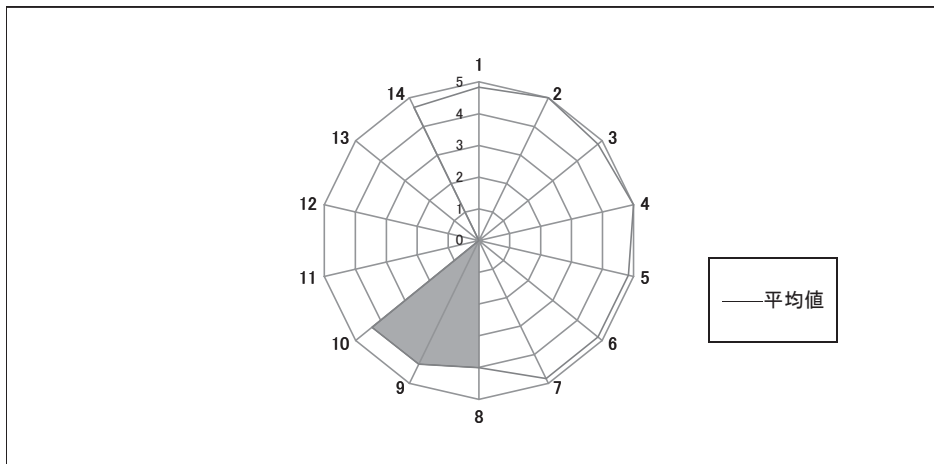
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻材料研究  
 評価実施日 平成24年7月25日  
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



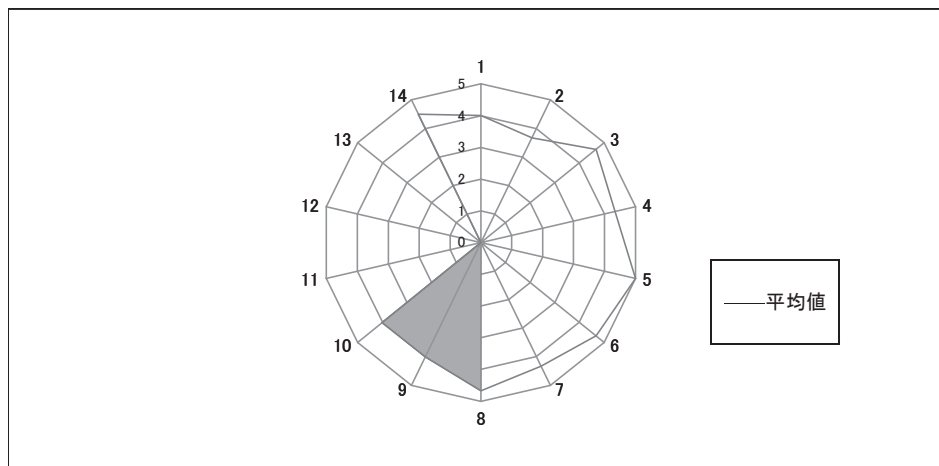
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻特別演習  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



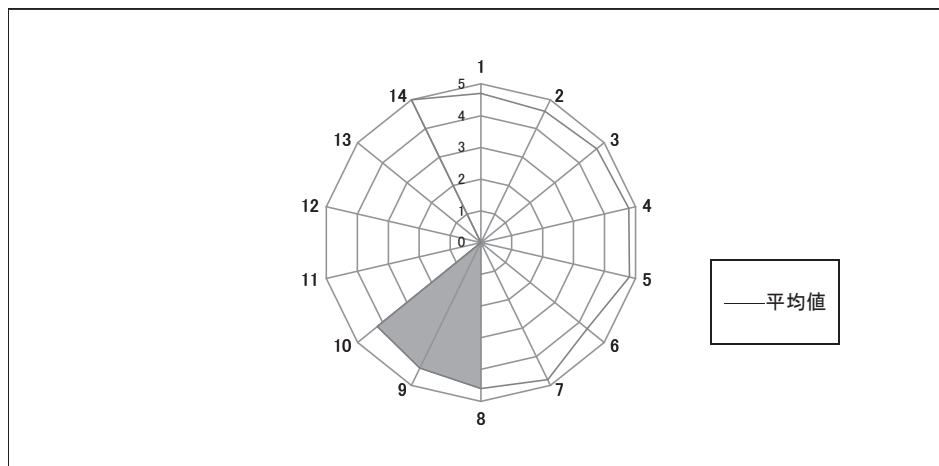
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザイン I  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	1	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	4	1	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



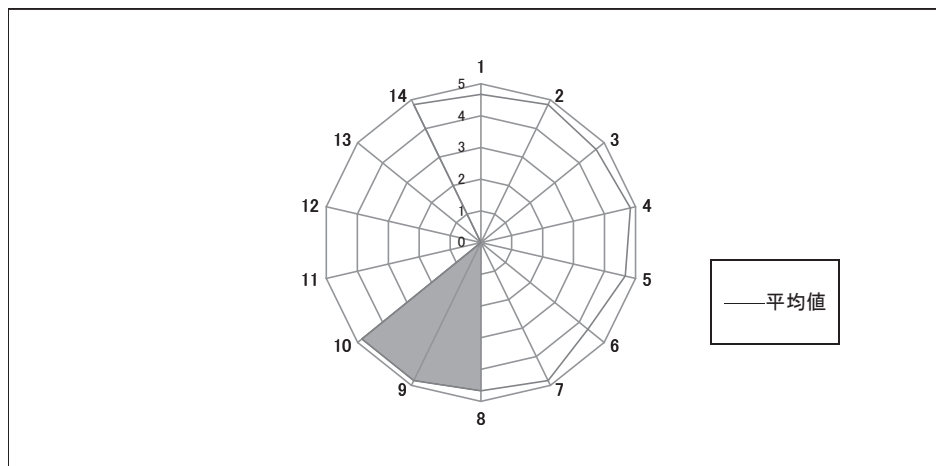
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザインⅡ  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 4.7

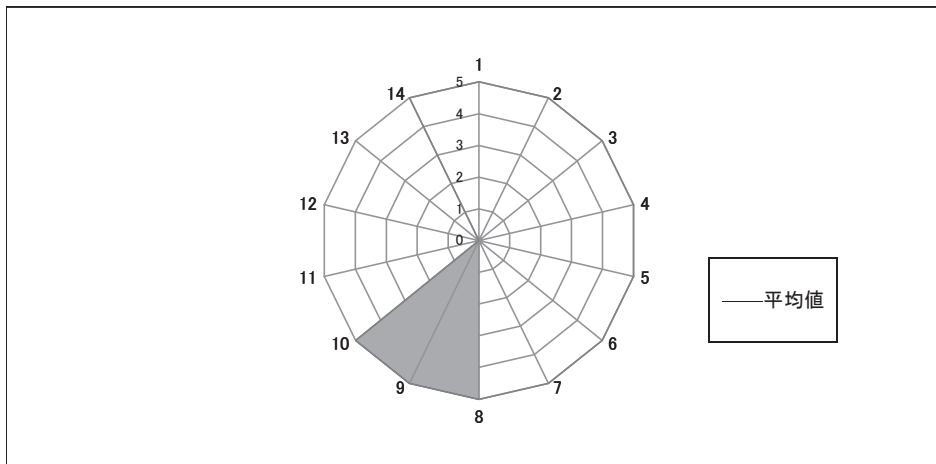
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 構成・デザイン材料研究  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



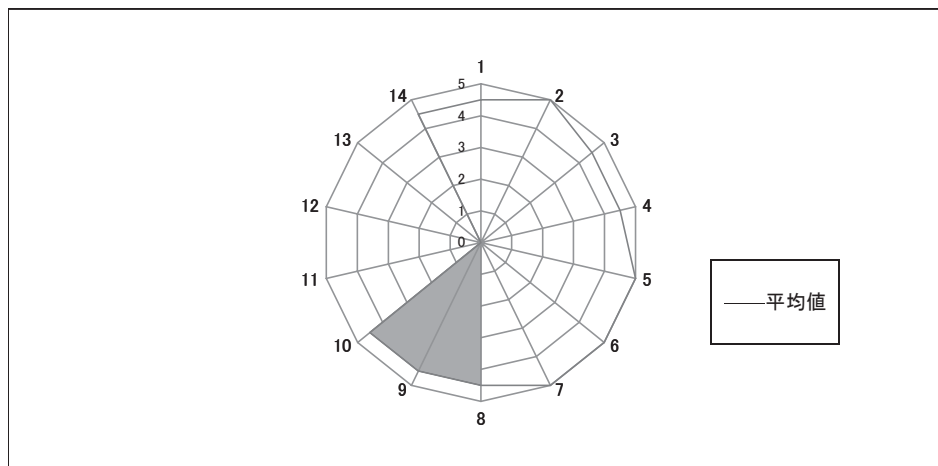
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザイン特別演習  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



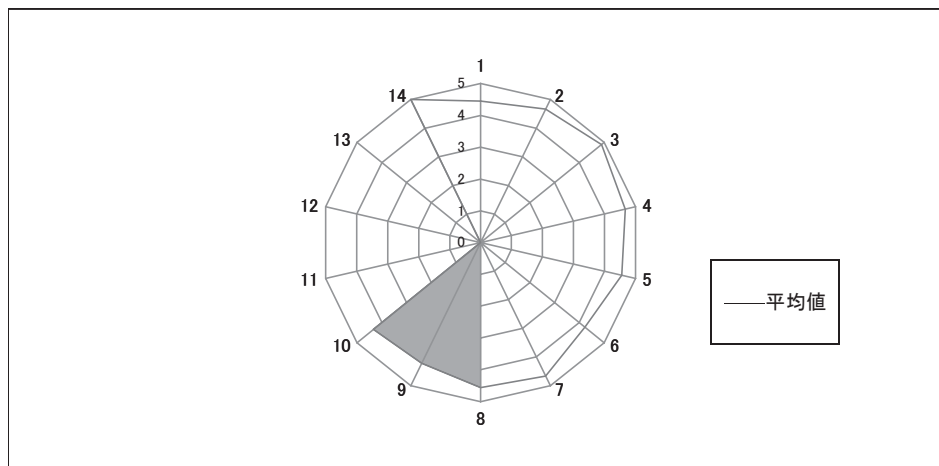
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸 I  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



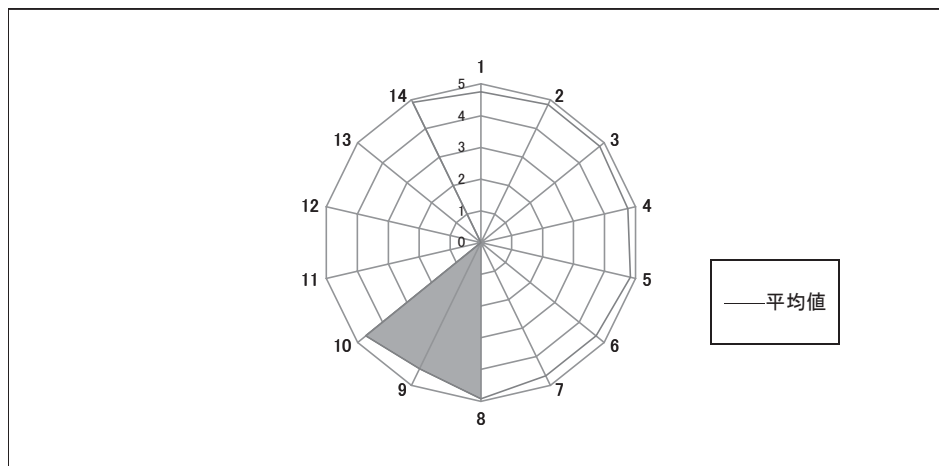
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	1	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	1	4.9



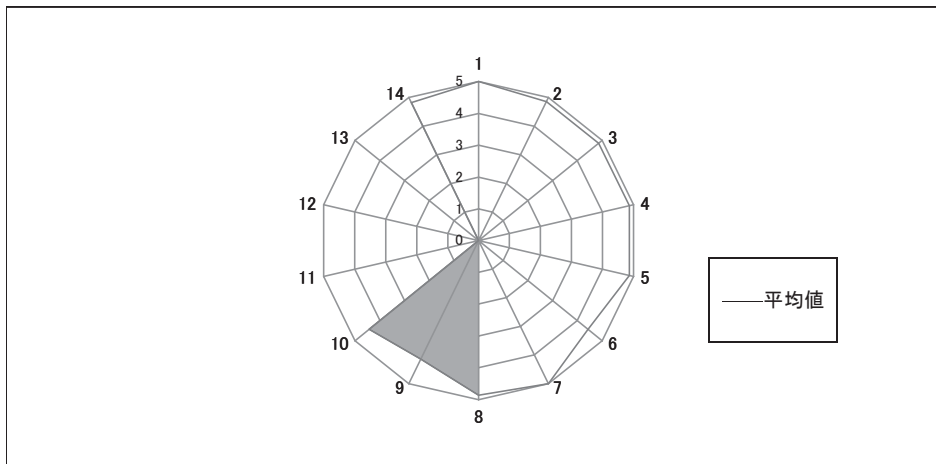
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸材料研究  
 評価実施日 平成25年2月6日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



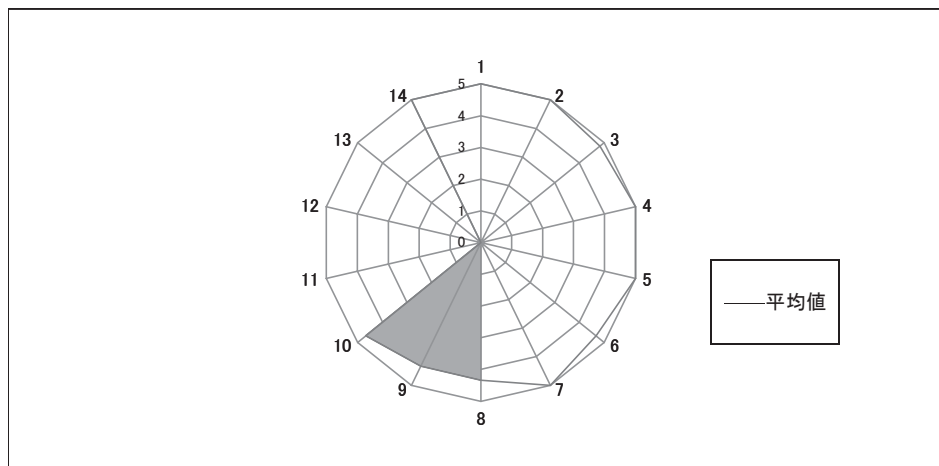
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸特別演習  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



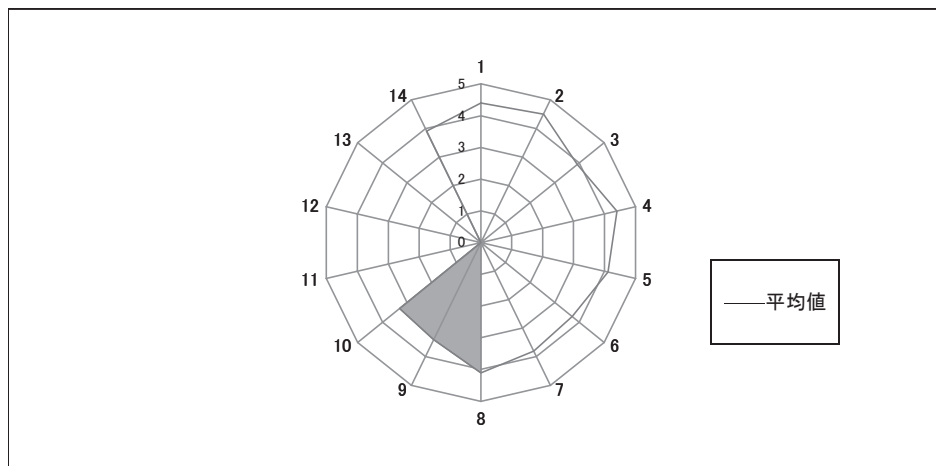
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術理論・美術史 I  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 小川 勝

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	4	1	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	4	2	1	0	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	4	1	1	0	0	4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	4	3	1	0	0	3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	4	4	0	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	5	2	0	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	3	1	1	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	4	1	1	0	3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	5	3	0	0	0	3.9



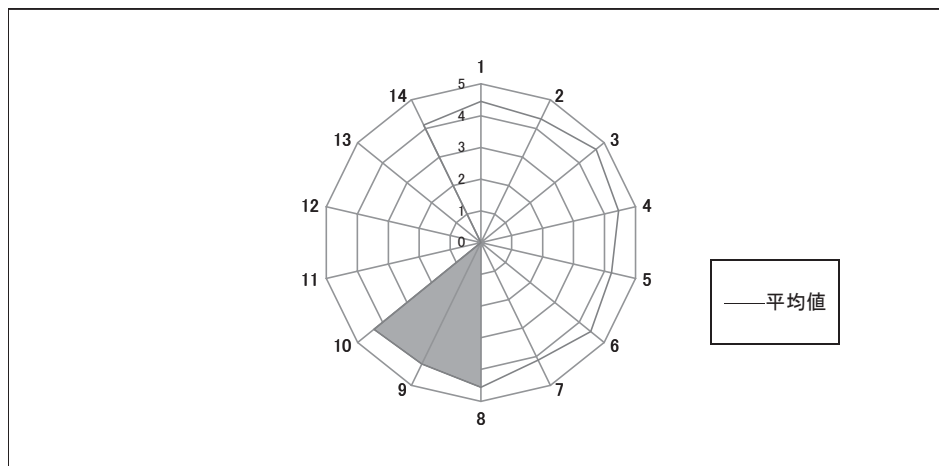
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術史演習  
 評価実施日 平成24年7月21日  
 担当教員名 小川 勝

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



総合評価 **4.3**

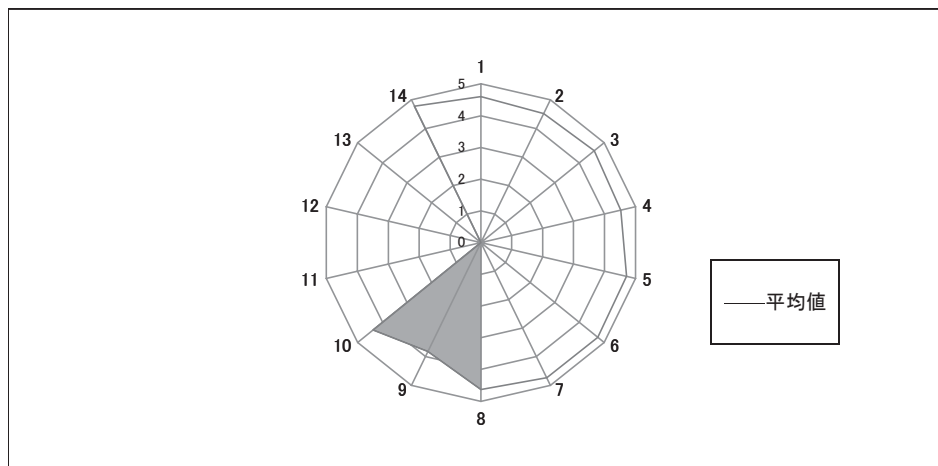
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 運動方法実習 I  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 藤田 雅文

回答者数 27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



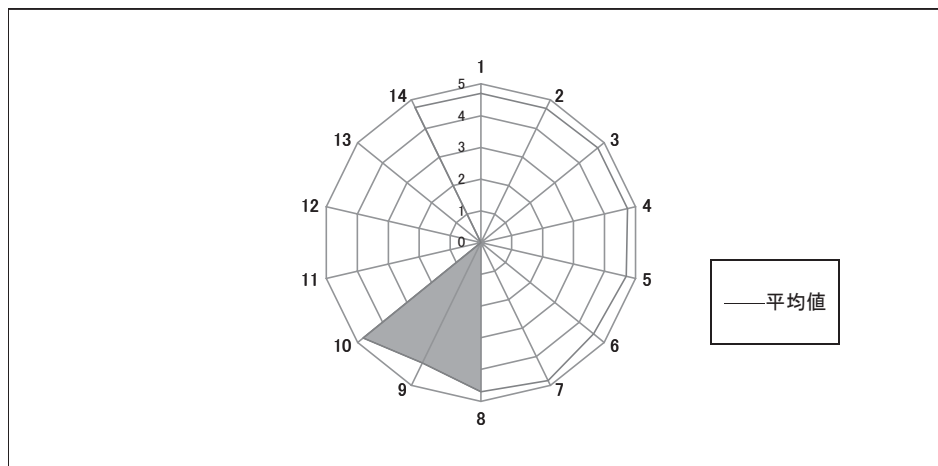
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動方法実習Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 藤田 雅文

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



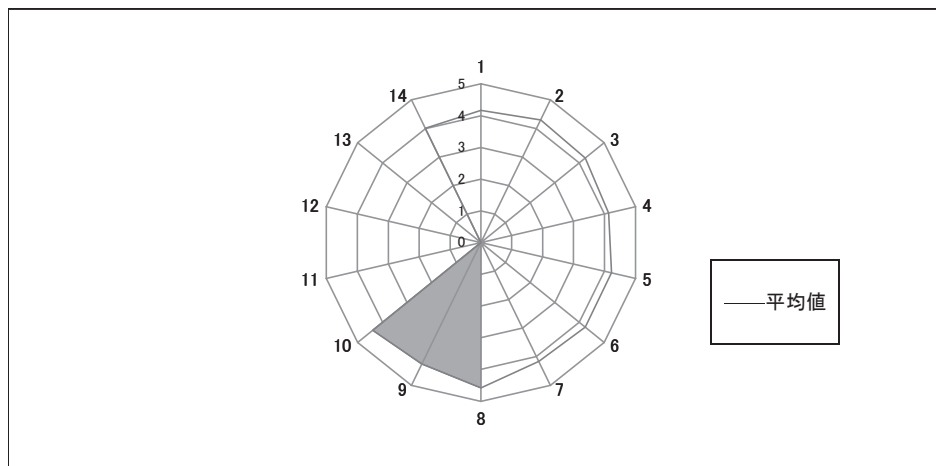
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動方法実習Ⅴ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 賀川 昌明

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	17	6	5	2	1	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	7	4	1	1	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	9	4	1	1	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	16	8	3	3	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	9	4	1	1	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	6	4	2	1	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	10	3	2	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	21	7	3	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	17	5	9	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	7	6	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	8	5	1	2	2	4.0



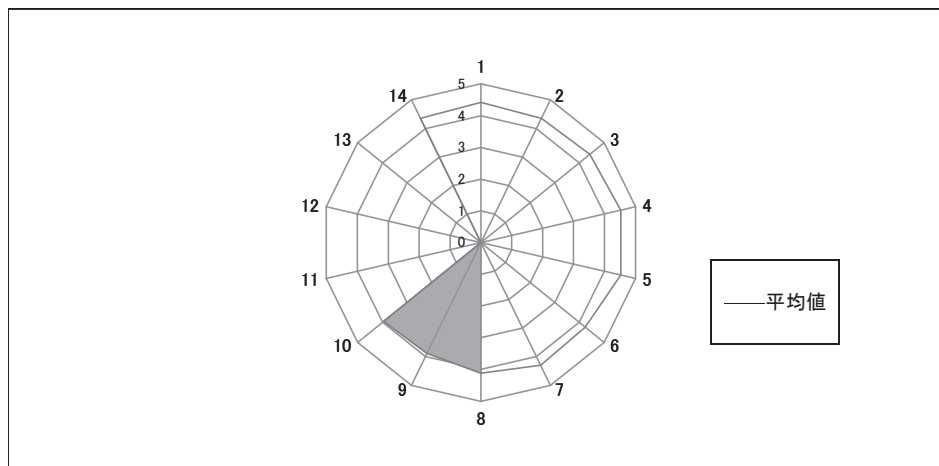
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育哲学 I  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 綿引 勝美

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	6	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	5	3	0	0	0	4.4
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	4	3	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	4	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	6	1	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	4	3	1	0	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	4	4	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	8	2	1	0	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	4	6	1	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	5	5	1	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	5	3	0	0	0	4.4



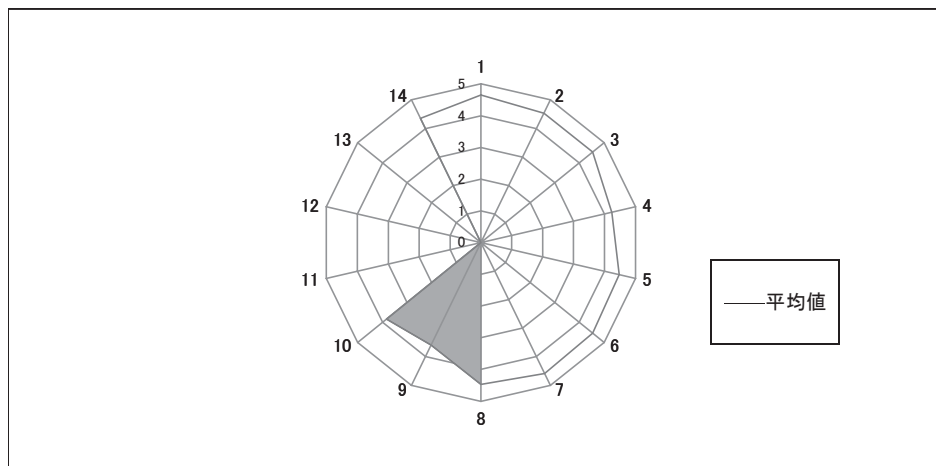
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育心理学 I  
 評価実施日 平成24年6月7日  
 担当教員名 賀川 昌明

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	2	2	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	4	2	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	4	2	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	5	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	1	4	0	0	0	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	2	3	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	0	2	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	3	3	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	6	2	2	2	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	3	2	3	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	3	4	0	0	0	4.4



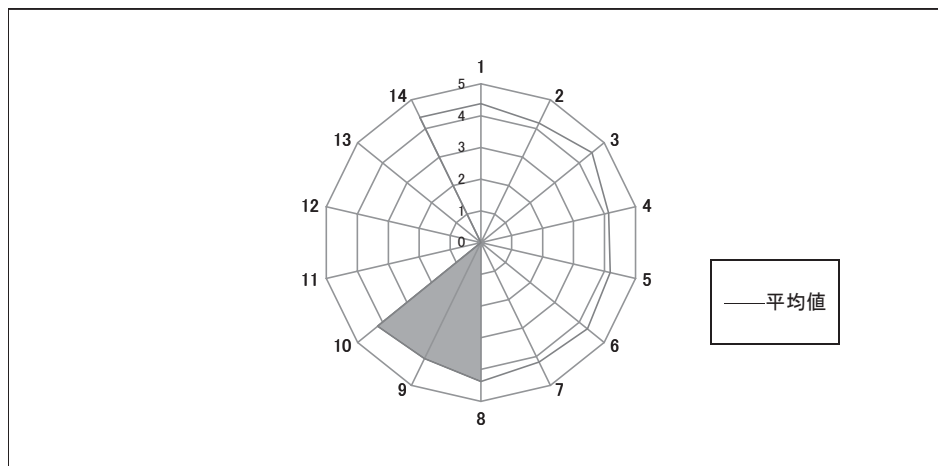
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育心理学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 賀川 昌明

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	3	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	5	4	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	6	1	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	5	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	5	0	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	7	2	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	5	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	2	4	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	5	3	0	1	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	2	4	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	4	2	0	0	3	4.4



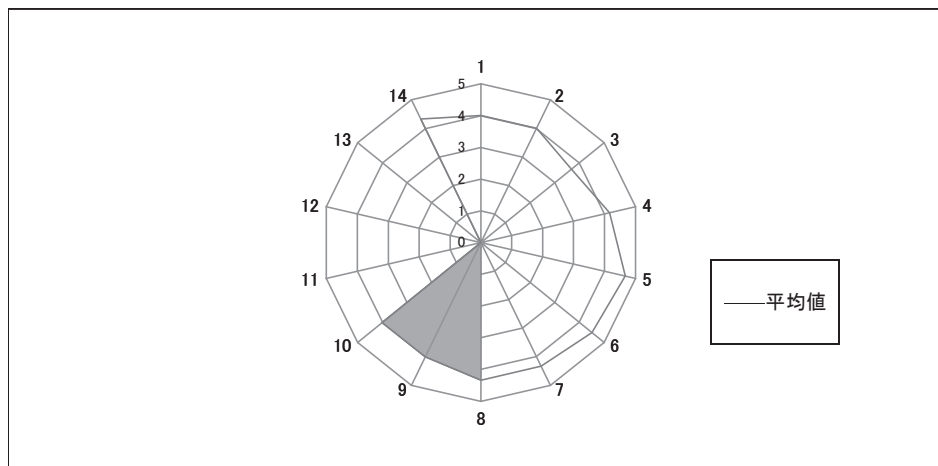
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育社会学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 木原 資裕

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	4	2	0	0	0	3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	5	0	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	1	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	1	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	4	0	0	0	0	4.3



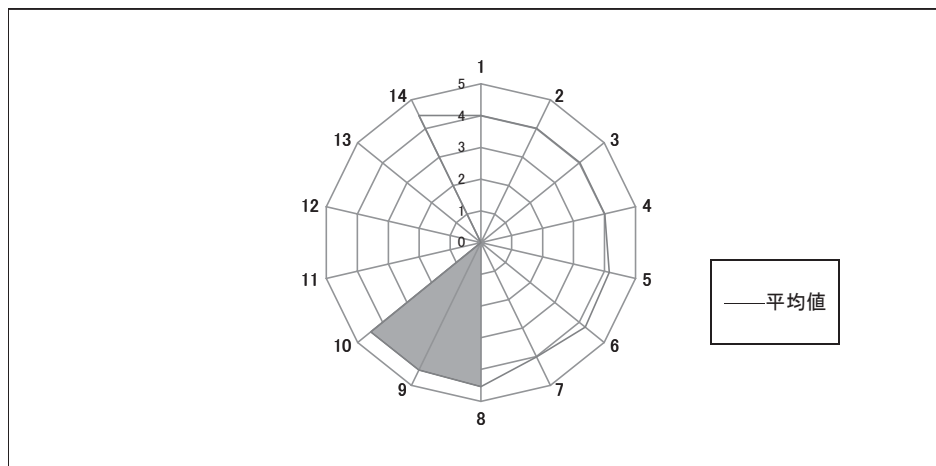
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月4日  
 担当教員名 乾 信之

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	5	4	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	4	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	7	3	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	5	4	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	5	3	0	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	4	3	0	0	0	4.2
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	5	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	4	1	0	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	3	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	4	1	0	0	2	4.5



総合評価 **4.1**

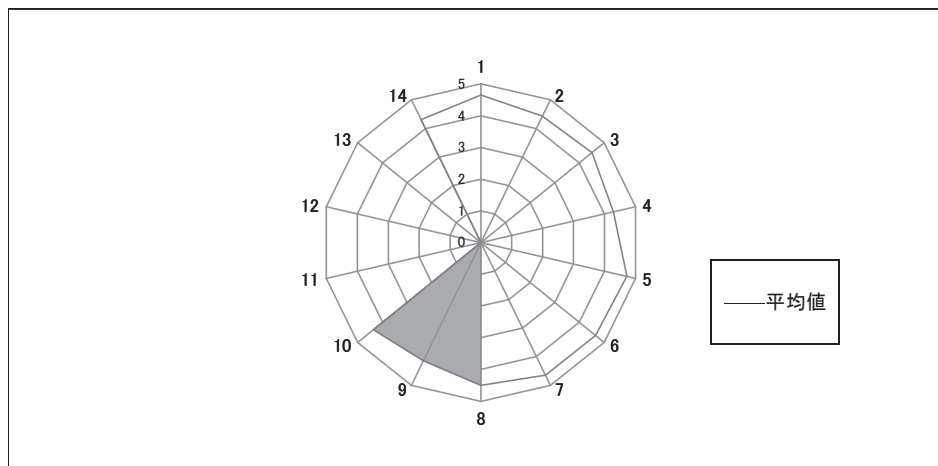
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 バイオメカニクス  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



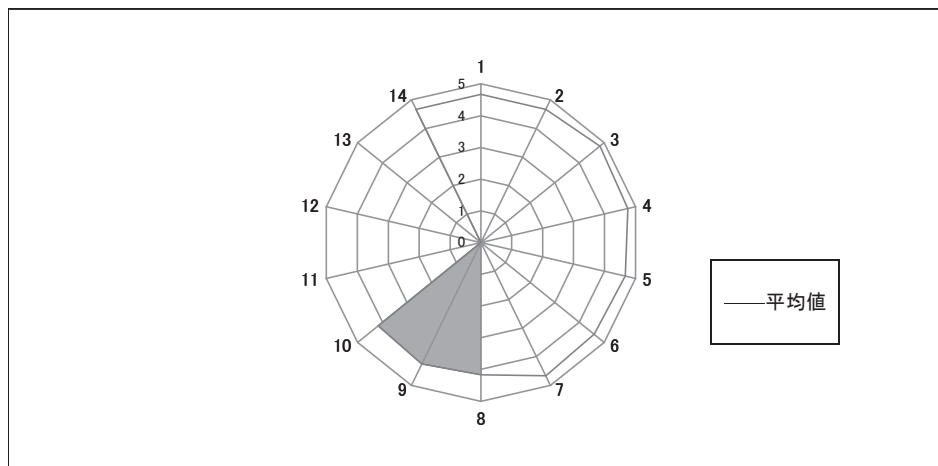
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 スポーツトレーニング論  
 評価実施日 平成24年7月17日  
 担当教員名 南 隆尚

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	4	3	0	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	3	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	4	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	0	0	0	0	4.7



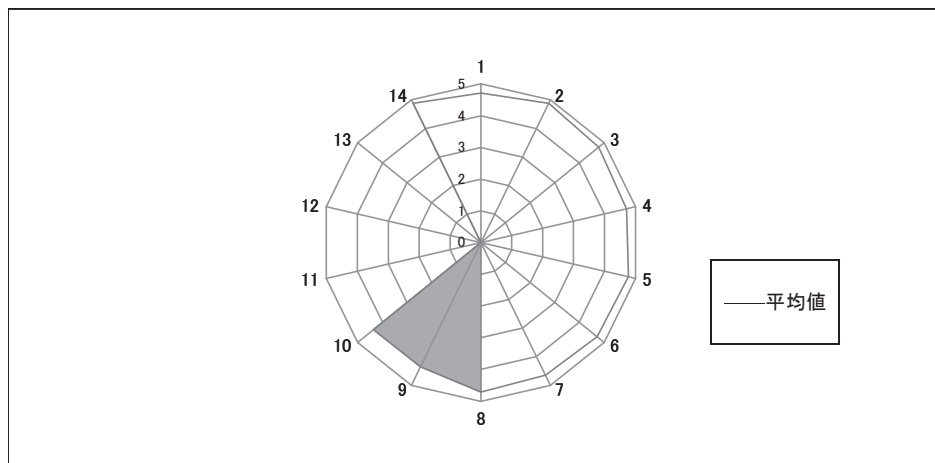
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 田中 弘之

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	5	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	2	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	4	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	3	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	4	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	3	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	4	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	1	2	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	4	2	1	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	6	1	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	2	0	0	0	1	4.9



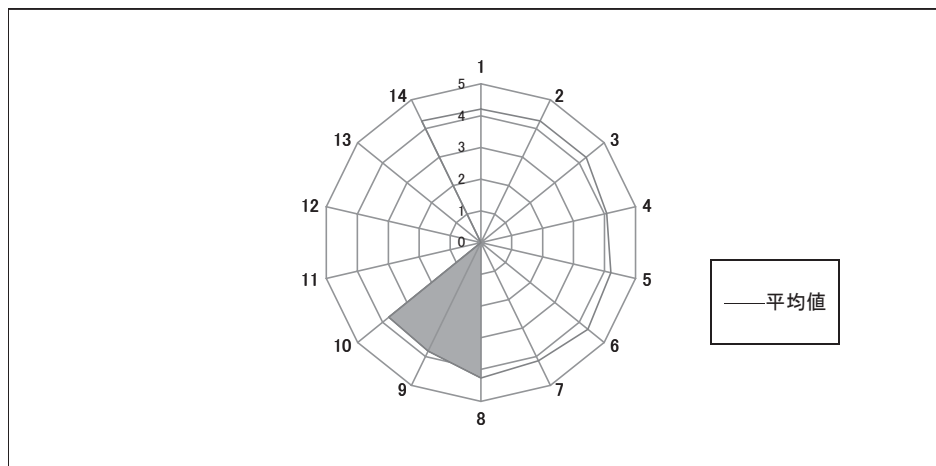
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衛生学・公衆衛生学Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月12日  
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	8	2	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	7	2	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	11	0	0	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	9	1	1	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	8	2	0	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	4	3	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	5	4	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	5	3	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	8	5	0	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	4	1	1	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	5	3	0	0	0	4.3



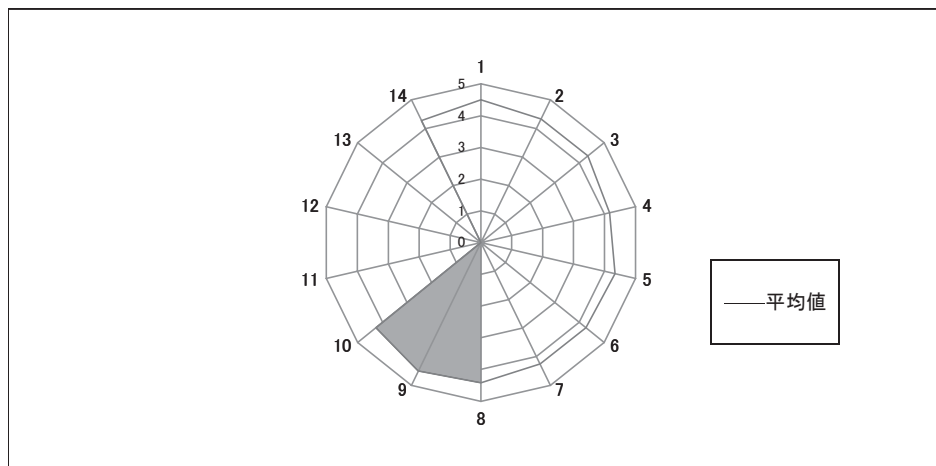
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校保健Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 吉本 佐雅子

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	3	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	1	1	0	0	4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	4	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	2	3	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	4	1	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	3	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	3	2	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	3	3	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	3	1	1	0	1	4.3



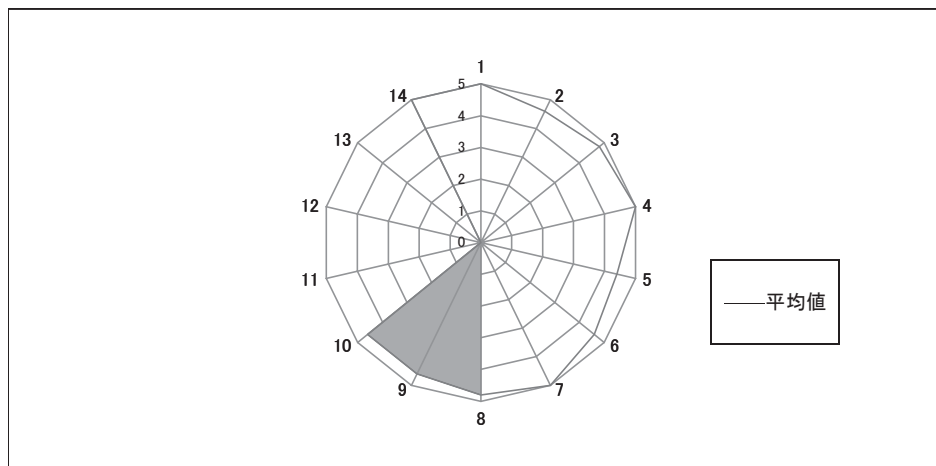
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 材料加工学 I  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 米延 仁志

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



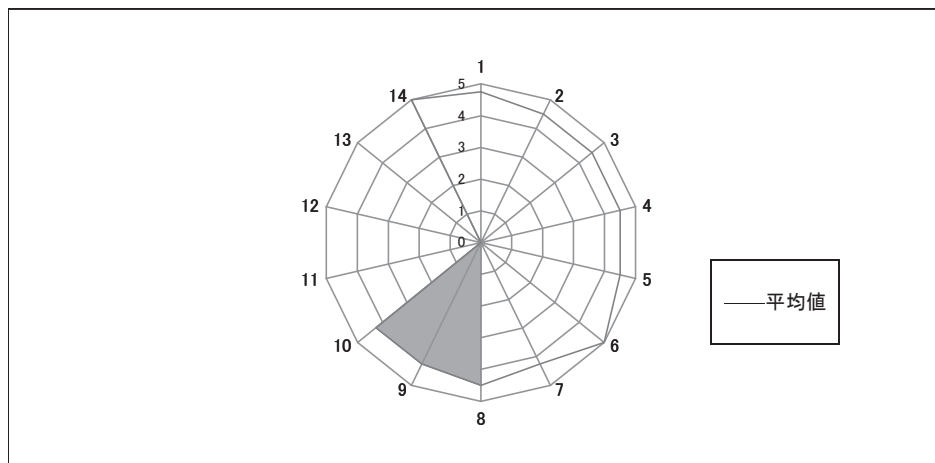
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 木材及び木質材料学  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



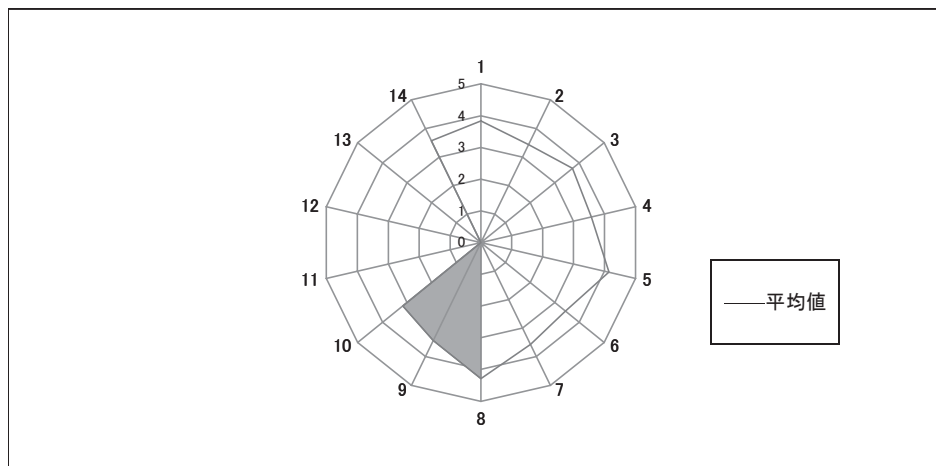
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物材料機械学  
 評価実施日 平成24年12月21日  
 担当教員名 横地 秀行

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	3	2	0	0	1	3.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	5	0	0	0	3.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	3	0	0	0	3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	4	0	0	0	3.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	4	1	0	0	0	4.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	3	1	0	0	3.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	3	2	1	0	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	3	1	0	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	5	0	0	1	3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	3	1	0	0	3.6



総合評価 **3.7**

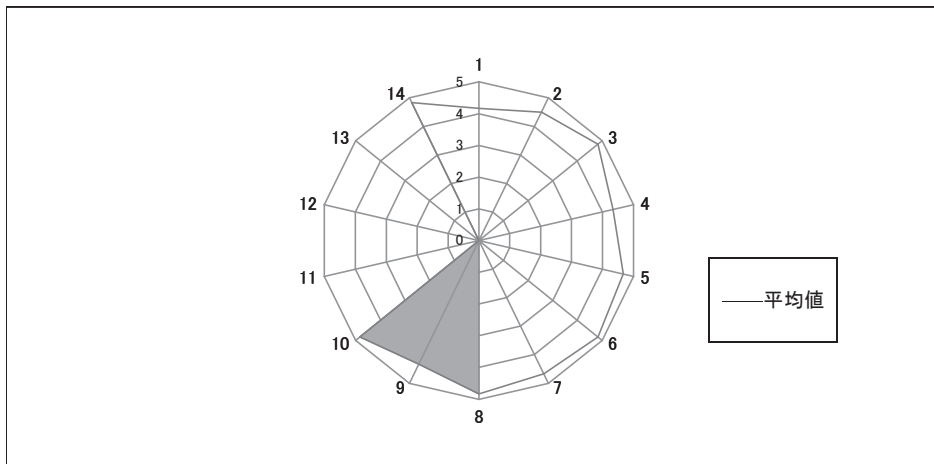
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 材料加工学Ⅱ  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



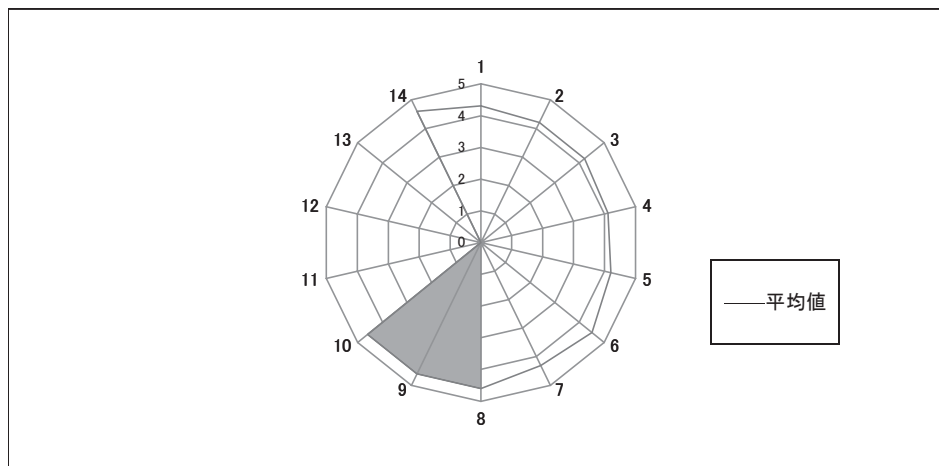
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業材料概論  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	1	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	5	0	1	0	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	1	1	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	1	0	0	0	4.6



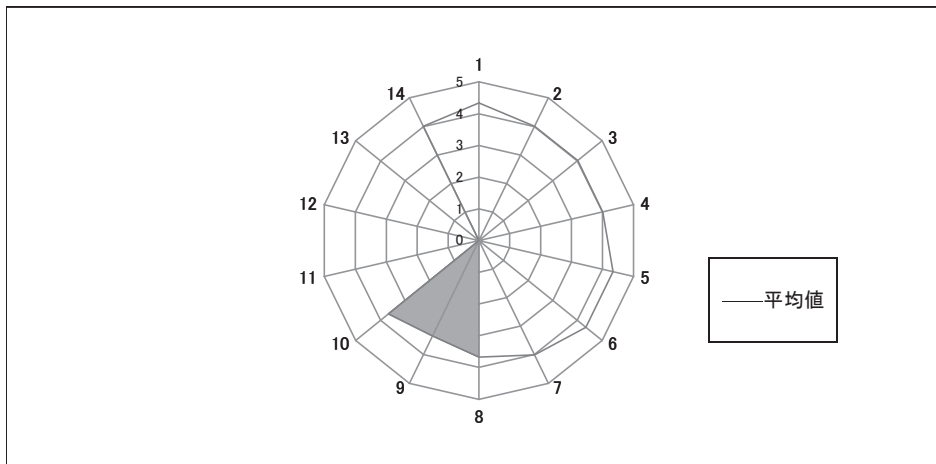
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械加工学  
 評価実施日 平成25年2月8日  
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	3	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	2	0	0	0	3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	1	0	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	3	0	0	0	0	4.0



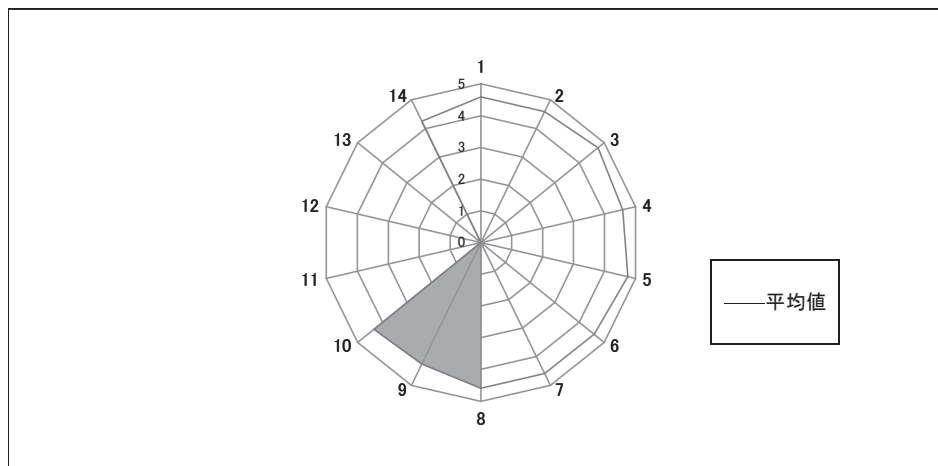
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月21日  
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	1	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	0	1	1	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	2	2	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	1	2	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	2	1	0	0	4.3



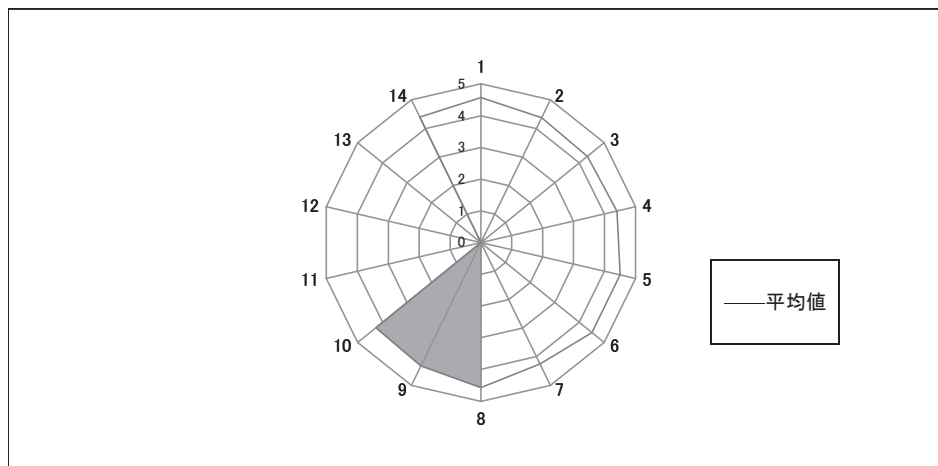
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械の力学 I  
 評価実施日 平成25年2月22日  
 担当教員名 宮下 晃一, 米延 仁志

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



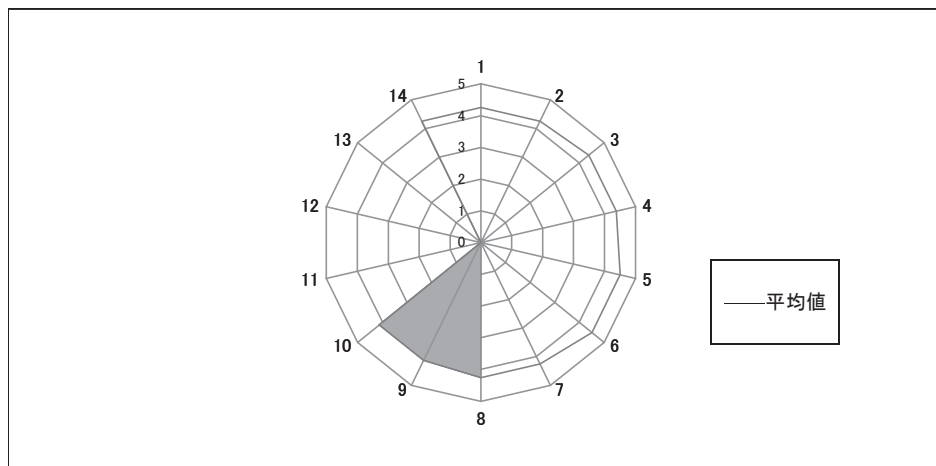
総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 エネルギー変換工学  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 畑中 伸夫

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	6	0	0	0	0	4.3
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	6	0	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	6	0	0	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	5	1	0	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	5	1	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	6	0	0	0	0	4.3



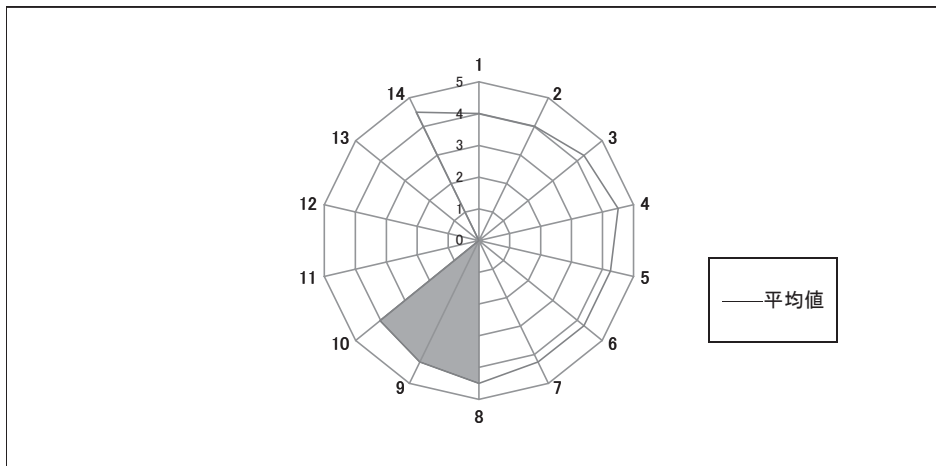
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 設計製図  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 畑中 伸夫

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



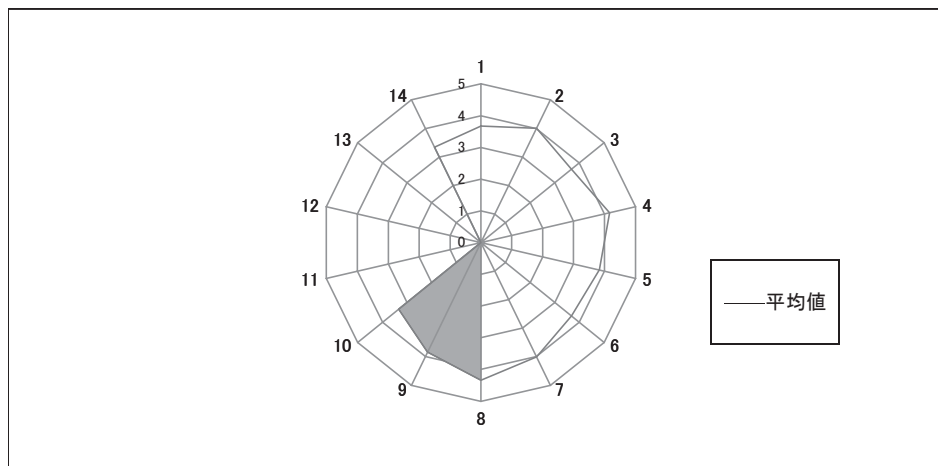
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 流体力学  
 評価実施日 平成25年1月31日  
 担当教員名 畑中 伸夫

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	4	2	0	0	0	3.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	4	1	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	4	2	0	0	0	3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	3	2	0	0	0	3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	3	1	1	0	0	3.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	2	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	4	0	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	5	1	0	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	4	0	0	0	3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	4	1	0	1	0	3.3



総合評価 **3.8**

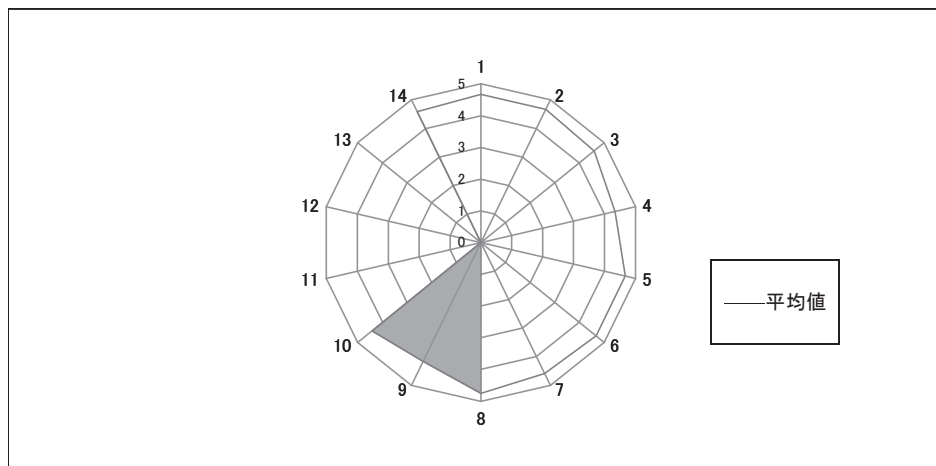
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 電気基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	2	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	4	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	2	1	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	4	0	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	3	1	0	0	0	4.6



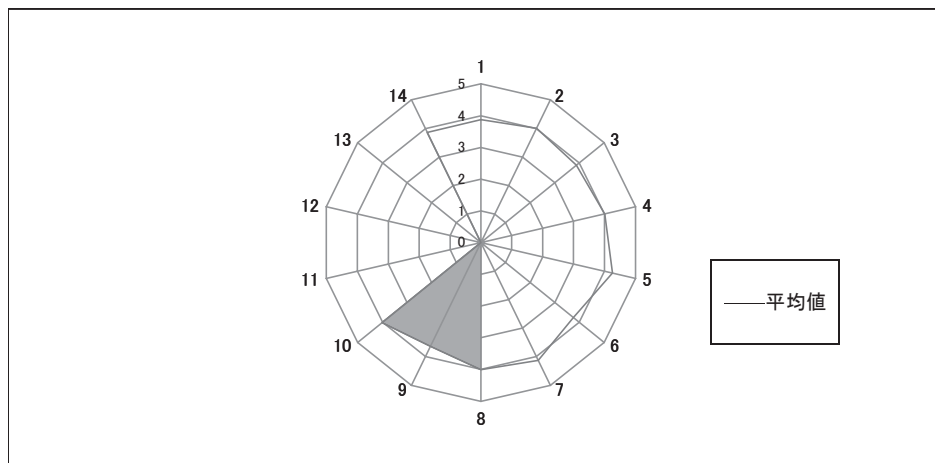
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電気工学  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	3	3	0	0	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	3	0	0	0	3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	2	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	6	0	0	0	0	4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	2	1	0	0	3.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	3	2	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	1	1	0	0	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	5	1	0	1	0	3.6
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	1	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	3	0	0	1	3.9



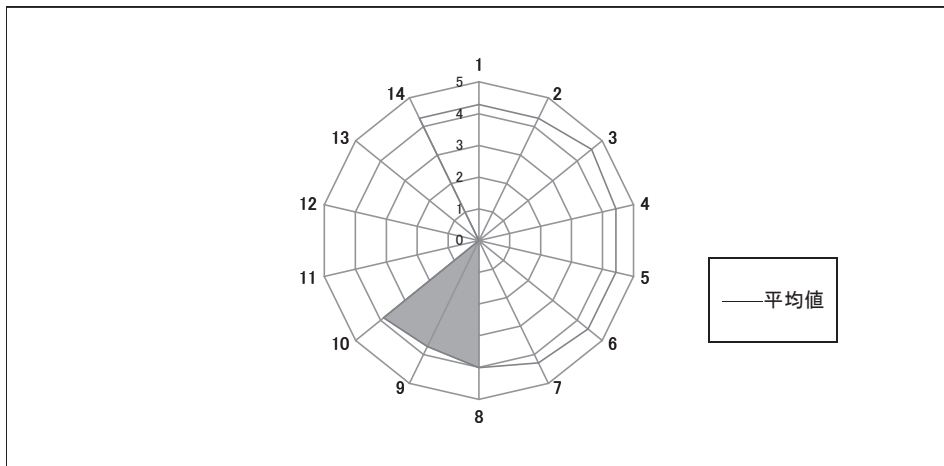
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電子工学  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



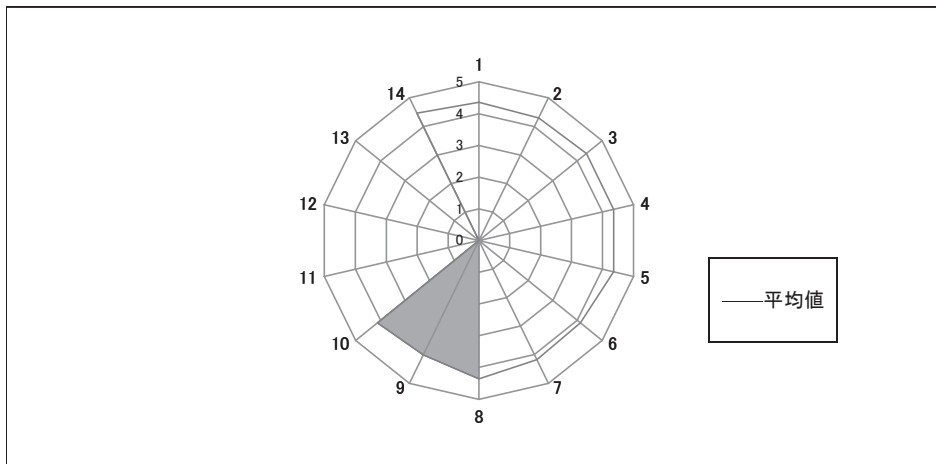
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報技術基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	5	3	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	6	3	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	7	2	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	5	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	7	2	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	4	4	1	0	0	4.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	5	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	5	3	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	6	2	1	1	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	7	4	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	5	2	0	0	0	4.5



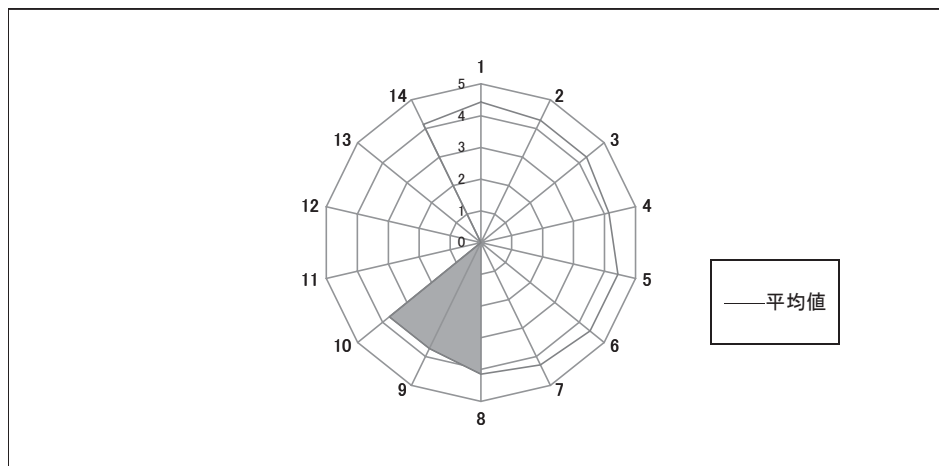
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報処理  
 評価実施日 平成24年7月23日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



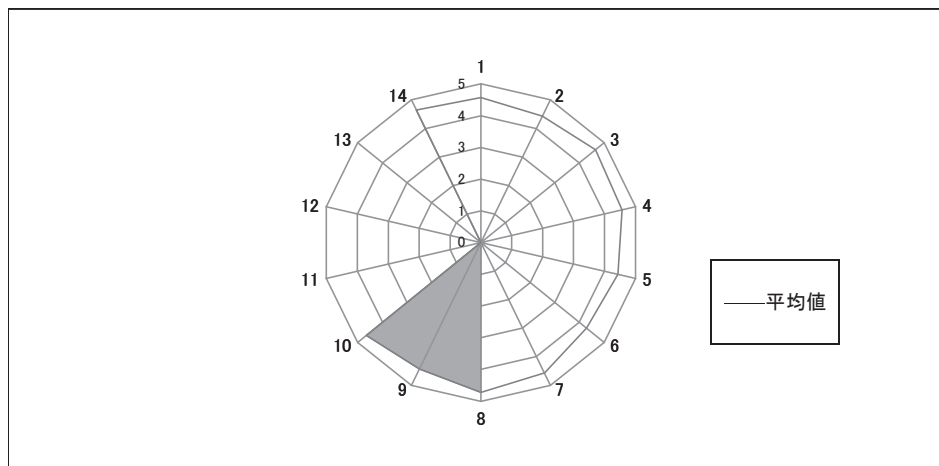
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 栽培(実習を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月18日  
 担当教員名 川口 公男

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	2	2	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	2	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	3	1	0	0	0	4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	2	1	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	2	1	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	2	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	2	3	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	3	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	3	1	0	0	0	4.6



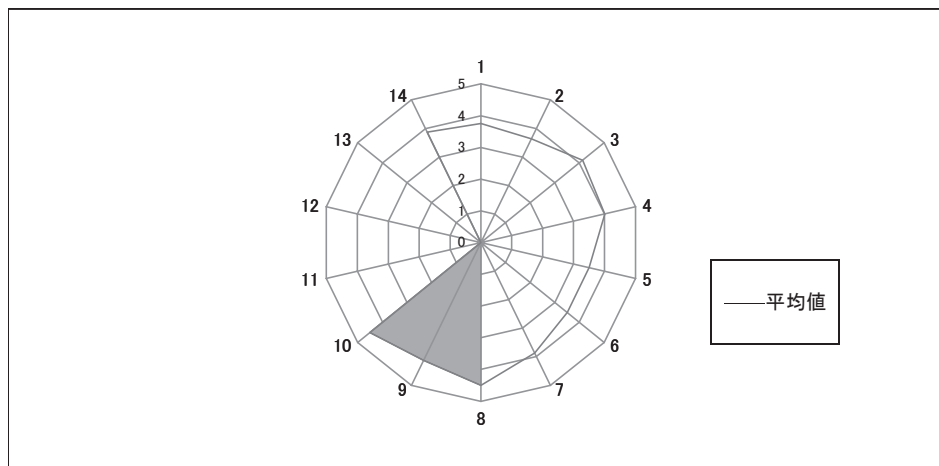
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 職業指導  
 評価実施日 平成24年8月30日  
 担当教員名 城 仁士

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.9



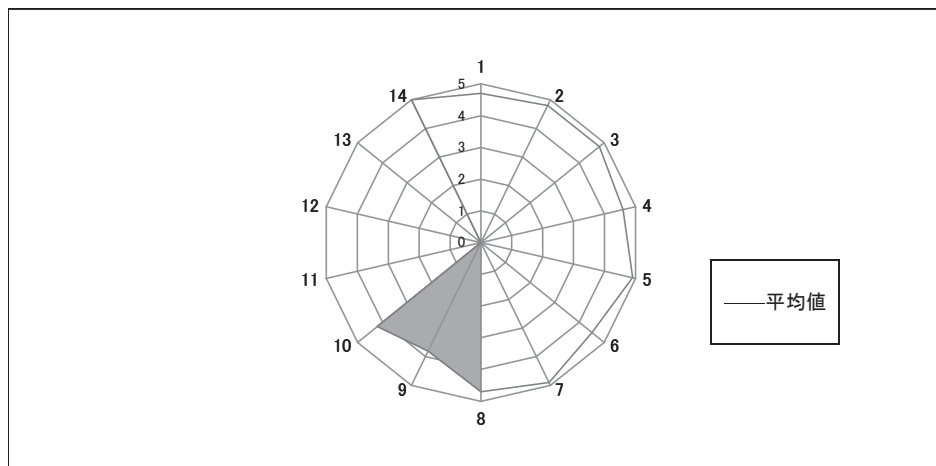
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報社会と情報倫理  
 評価実施日 平成24年7月11日  
 担当教員名 藤村 裕一

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



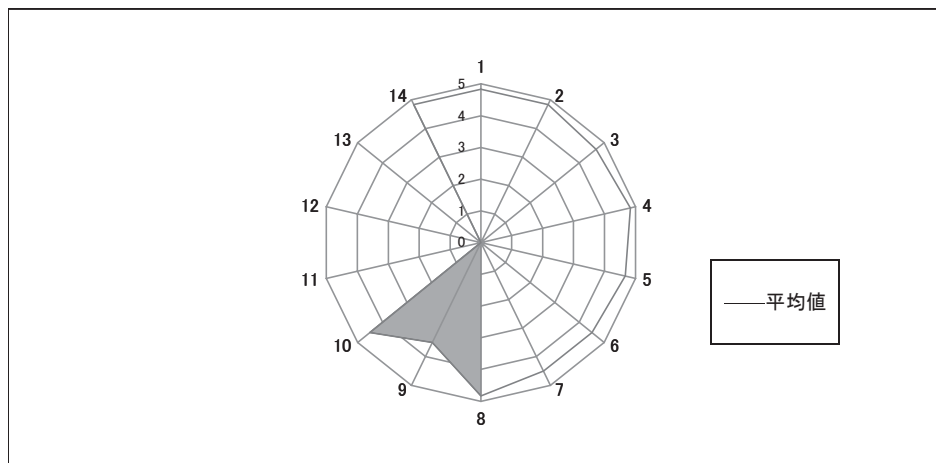
授業科目名 情報エレクトロニクスとコンピュータ

評価実施日 平成24年7月23日

担当教員名 宮本 賢治, 伊藤 陽介

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	0	1	0	0	4.5
	(7) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	3	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	2	2	1	0	0	3.5
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.8



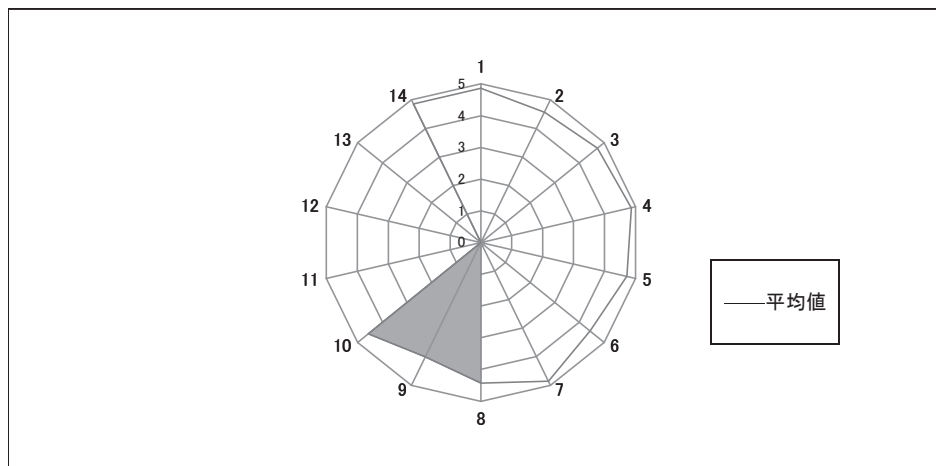
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 ソフトウェア演習(実習を含む。)  
 評価実施日 平成25年3月1日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	1	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	1	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	1	1	0	1	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	0	4.9



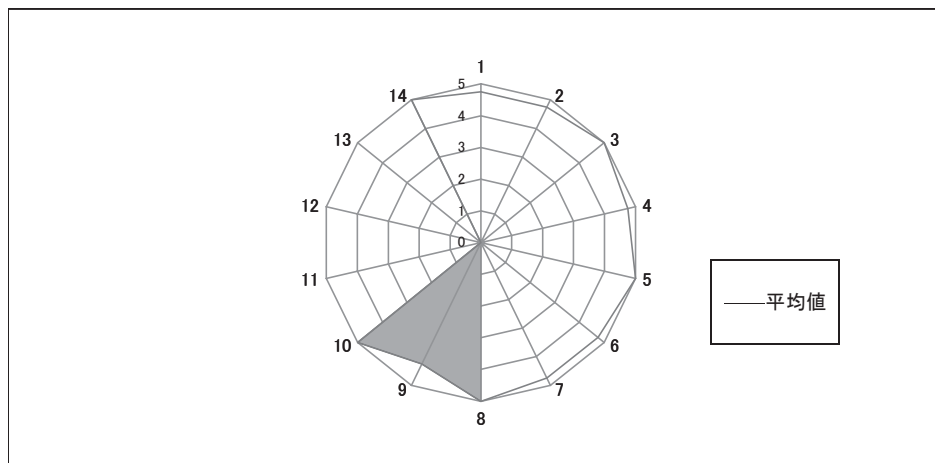
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 制御情報処理(実習を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



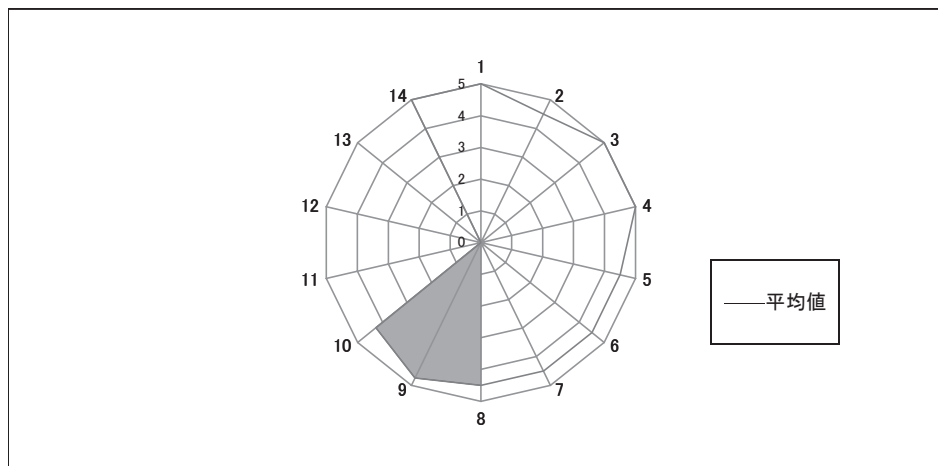
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報回路(実習を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月19日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



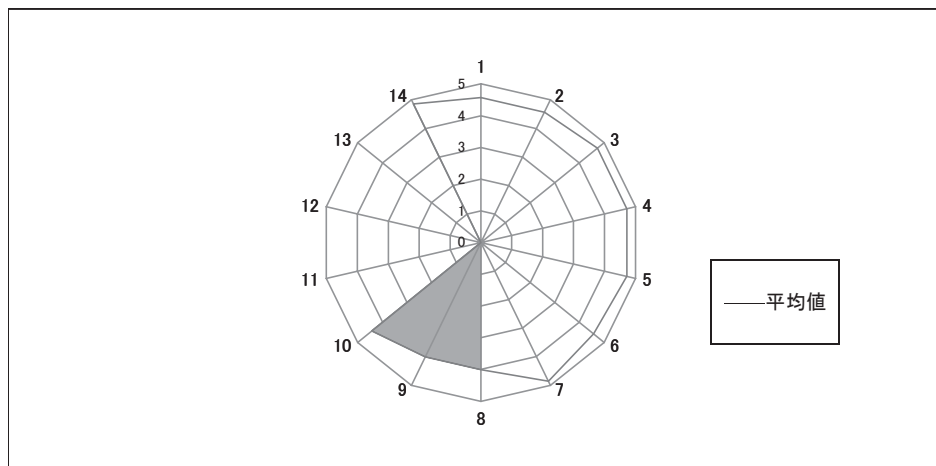
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報システム(実習を含む。)  
 評価実施日 平成25年3月1日  
 担当教員名 伊藤 陽介, 宮本 賢治

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



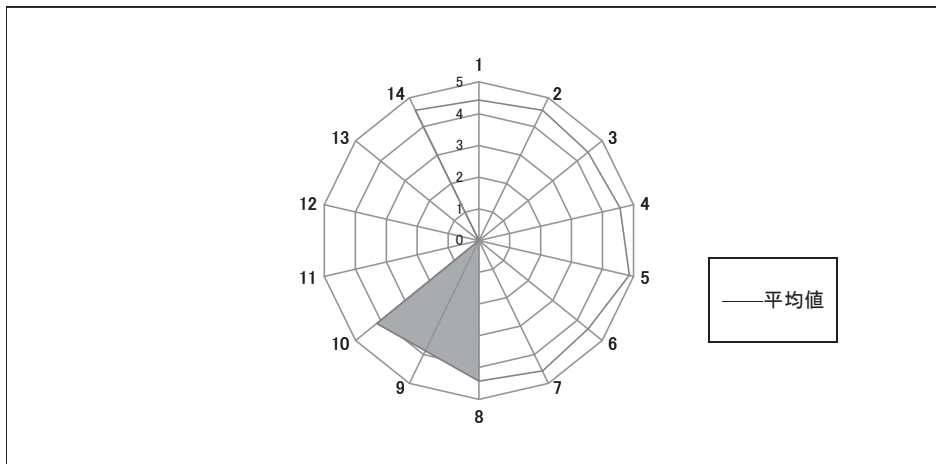
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 情報技術(実習を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月31日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



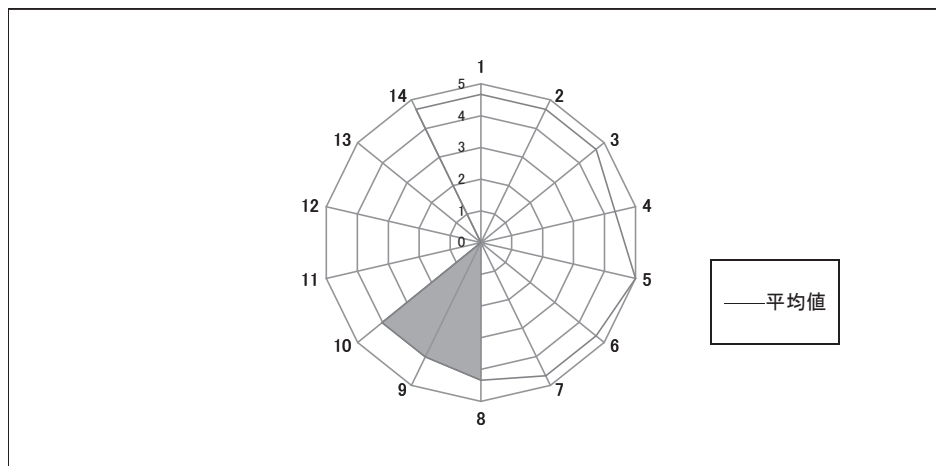
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報通信(実習を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月17日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	0	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	3	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



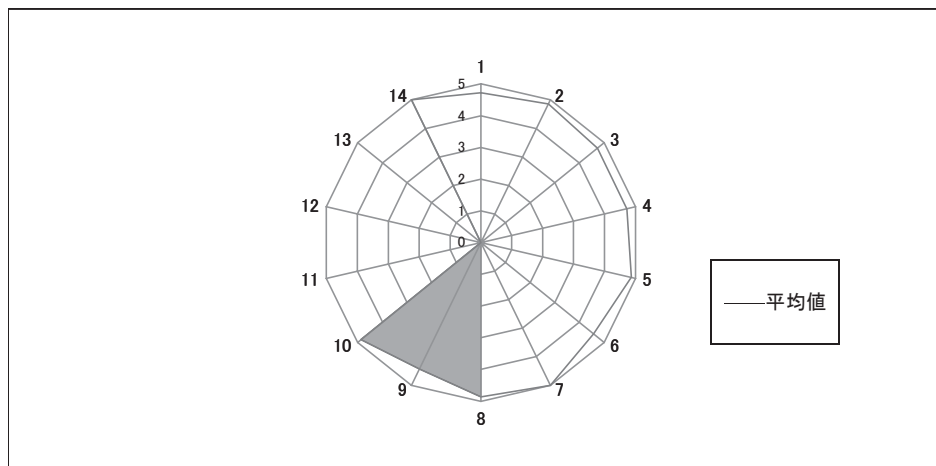
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報ネットワーク演習(実習を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.8**

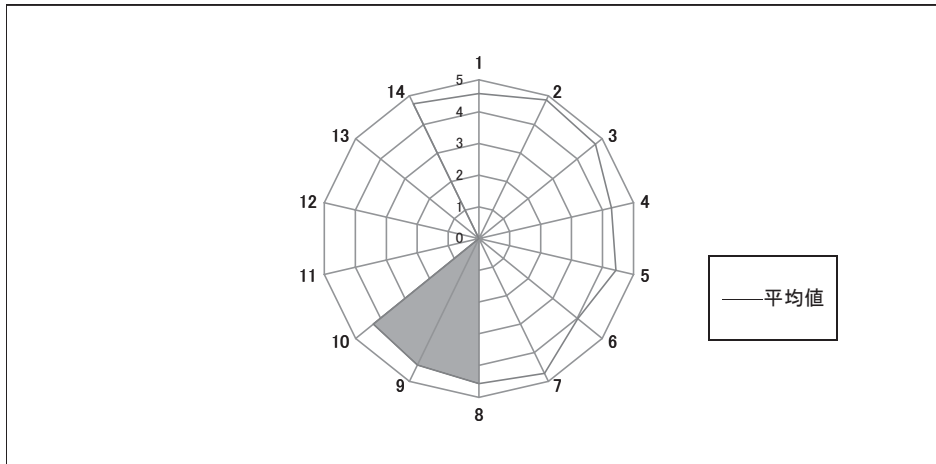
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 マルチメディアと教育技術(実習を含む。)  
 評価実施日 平成24年7月24日  
 担当教員名 林 秀彦

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

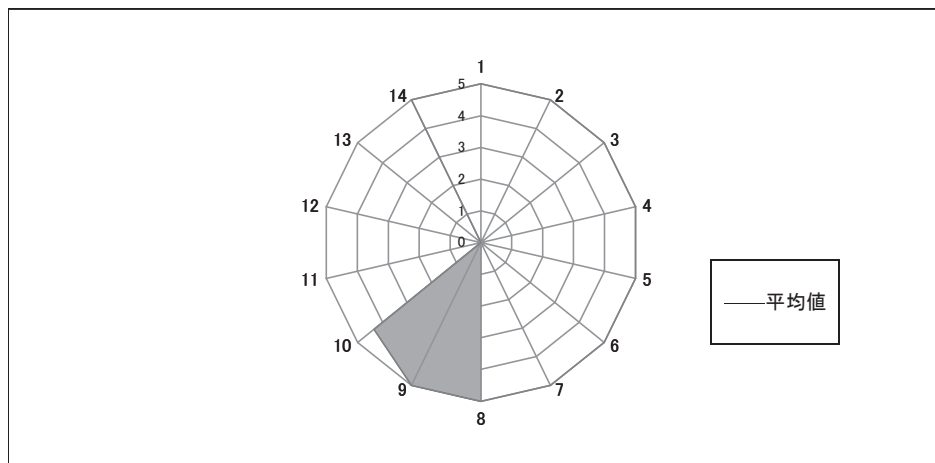
授業科目名 マルチメディアとシミュレーション(実習を含む。)

評価実施日 平成25年3月4日

担当教員名 菊地 章

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	1	5.0



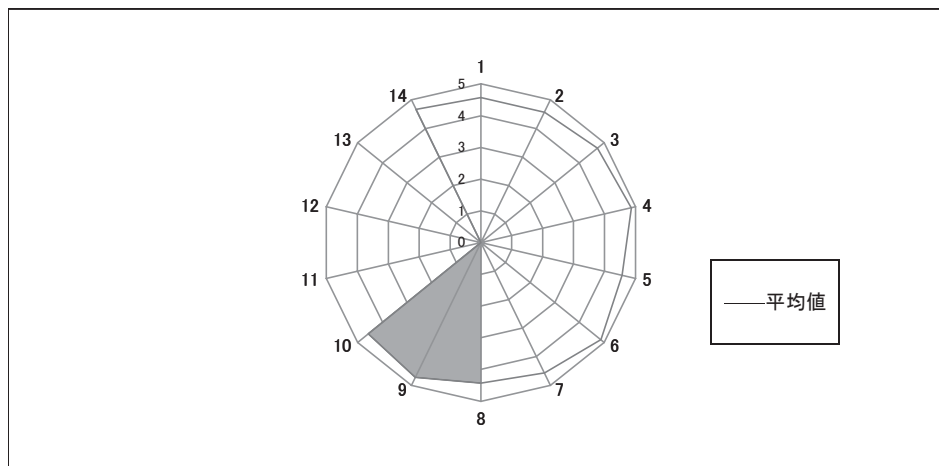
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報と職業  
 評価実施日 平成24年12月21日  
 担当教員名 豊永 昌彦

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



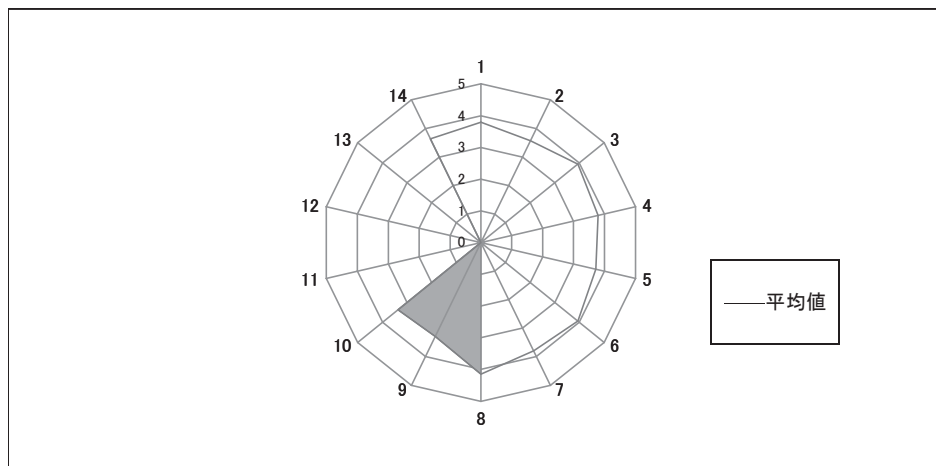
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭経営学概論  
 評価実施日 平成25年3月4日  
 担当教員名 黒川 衣代, 渡邊 廣二

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						3.8
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.6
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.6



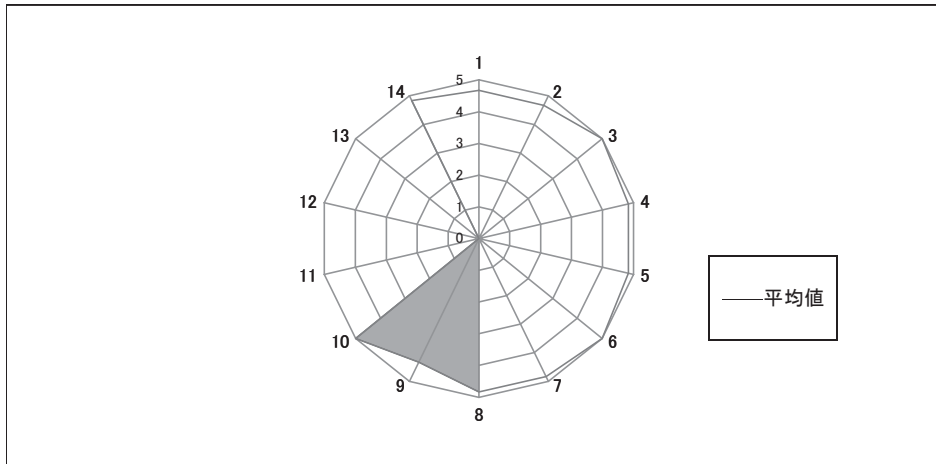
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 家族論  
 評価実施日 平成24年8月3日  
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.8
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	4	0	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.8



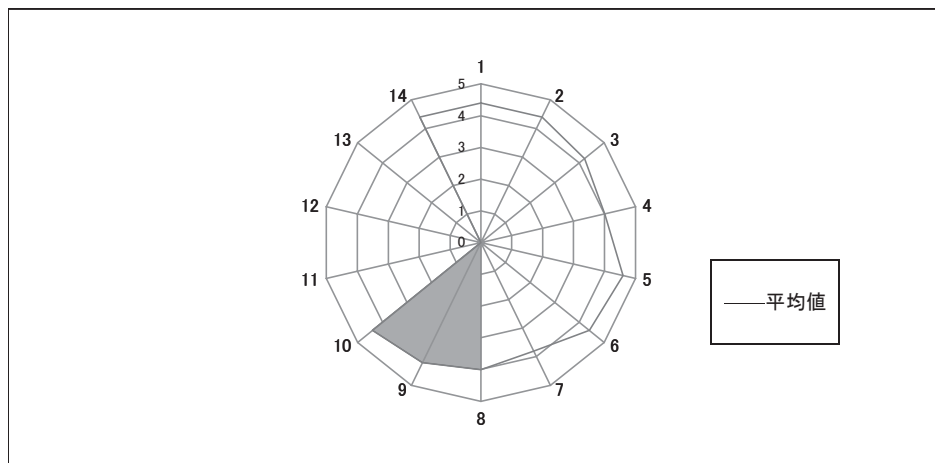
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭経営学演習  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 渡邊 廣二

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	3	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	2	0	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	3	0	0	0	0	4.4



総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

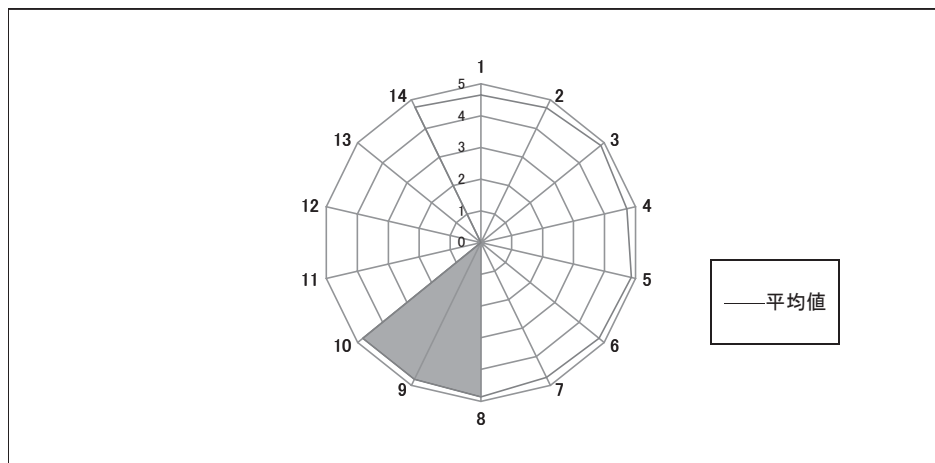
授業科目名 被服学概論(被服製作実習を含む。)

評価実施日 平成24年7月30日

担当教員名 福井 典代

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	3	1	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	0	1	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	0	1	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	1	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	0	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	0	1	0	0	0	4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	1	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	1	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	1	0	0	2	4.8



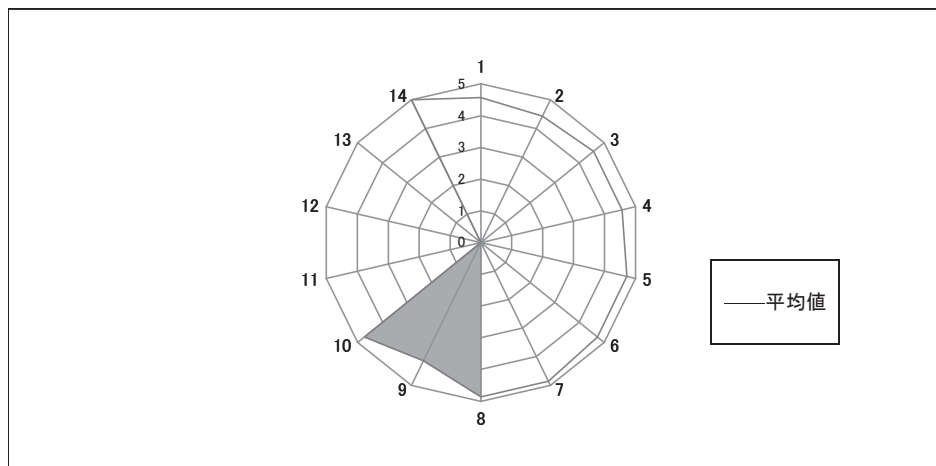
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衣生活学  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 福井 典代

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.7**

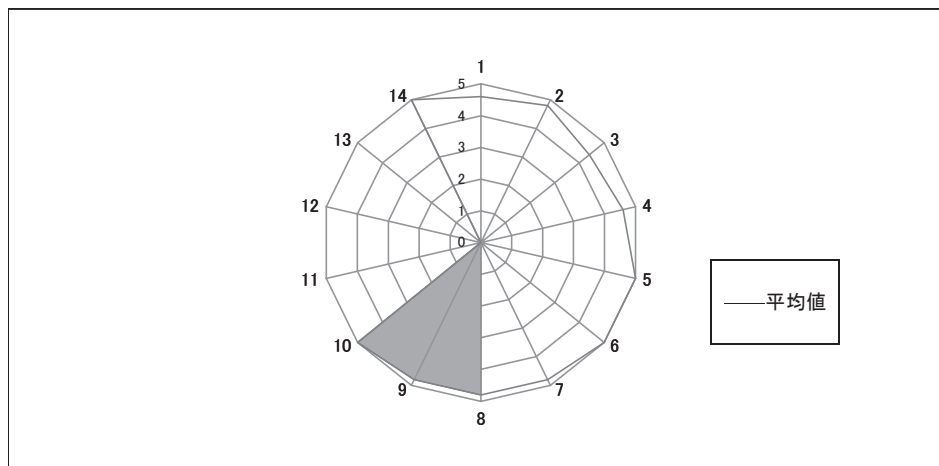
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 被服構成実習  
 評価実施日 平成24年6月7日  
 担当教員名 福井 典代

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



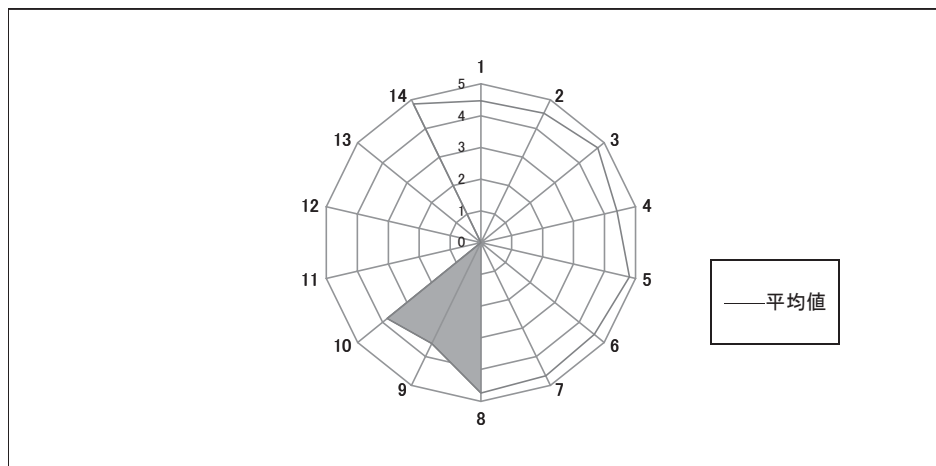
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 食物学概論  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 西川 和孝, 前田 英雄

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	5	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	2	1	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	1	1	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	2	2	0	0	0	4.6
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	3	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	2	1	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	6	8	0	0	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	5	5	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	0	1	0	0	1	4.9



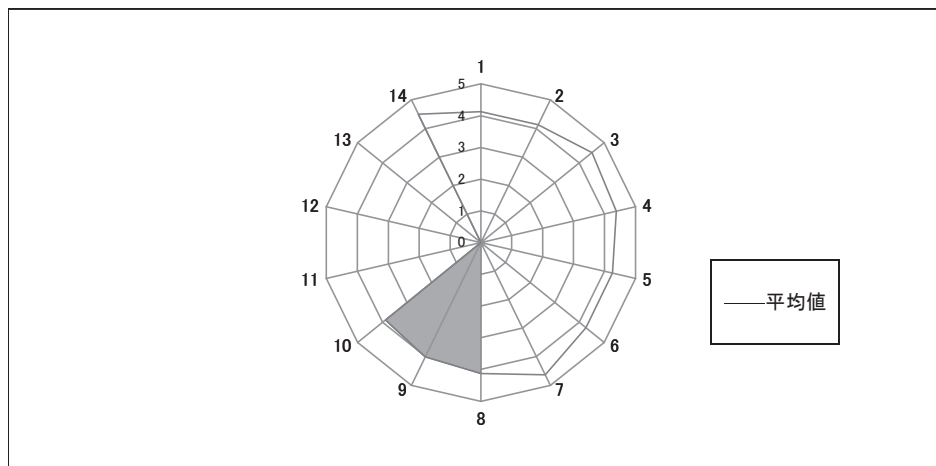
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 栄養学(小児栄養学を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月20日  
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.1
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



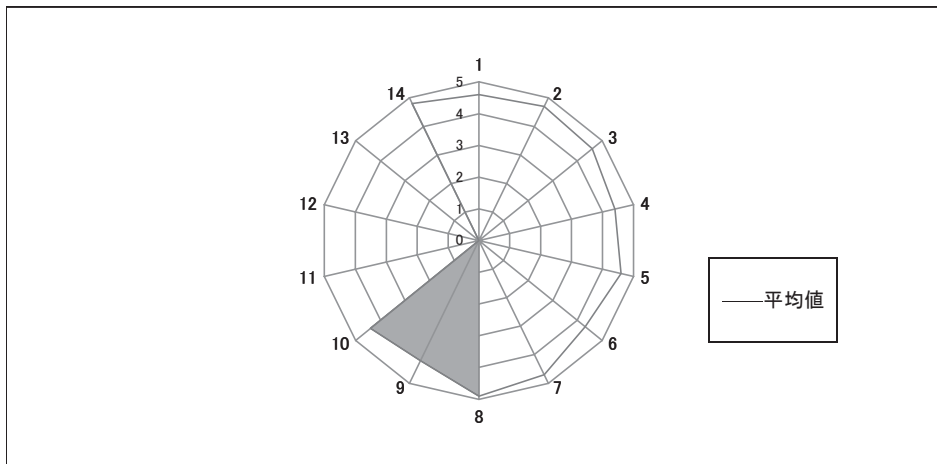
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 食品学  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 前田 英雄

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



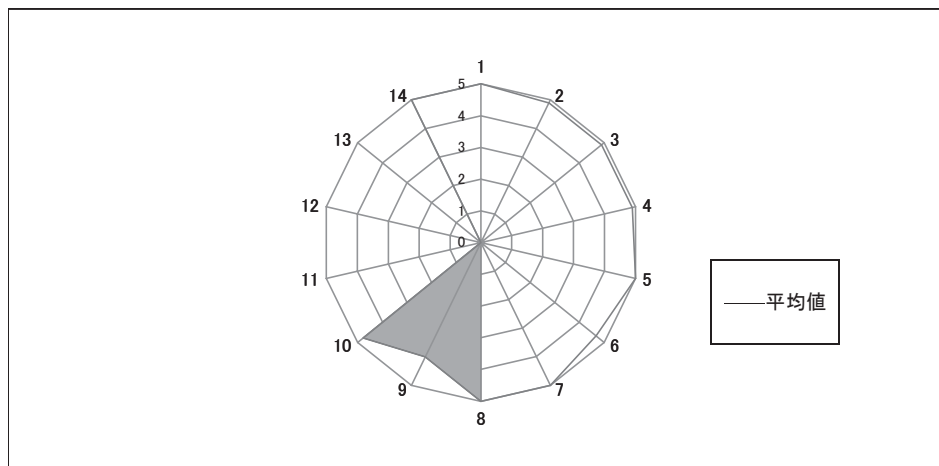
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 調理実習  
 評価実施日 平成24年6月4日  
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



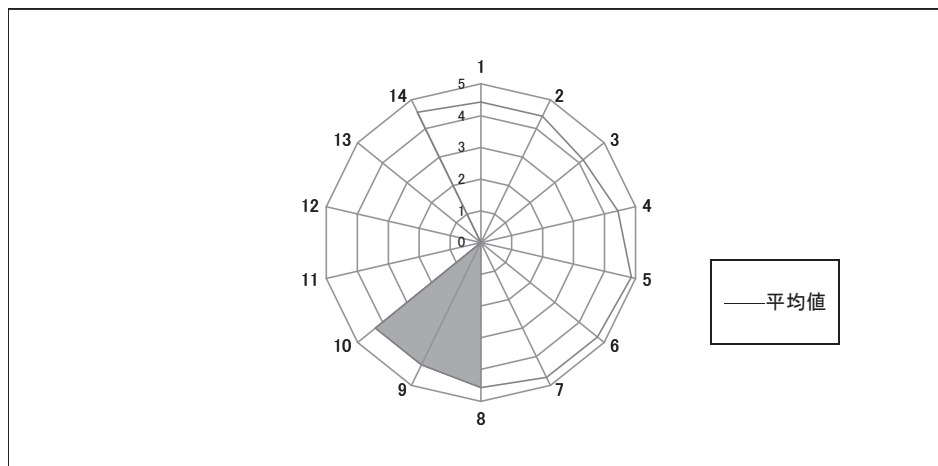
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 食物学実験  
 評価実施日 平成25年2月20日  
 担当教員名 西川 和孝, 前田 英雄

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



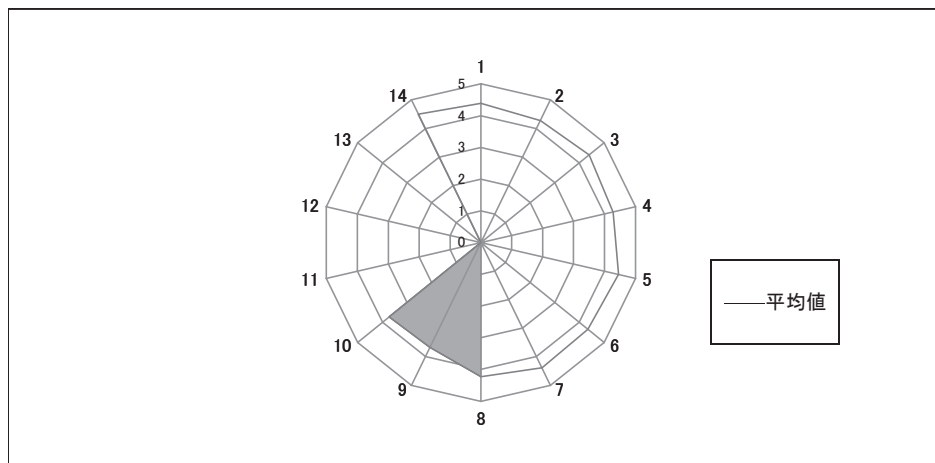
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住居学概論(製図を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	7	2	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	7	3	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	9	1	0	0	0	4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	9	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	8	1	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	8	2	0	0	0	4.3
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	9	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	5	3	1	0	0	4.2
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	8	8	0	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	7	8	0	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	5	2	0	0	0	4.5



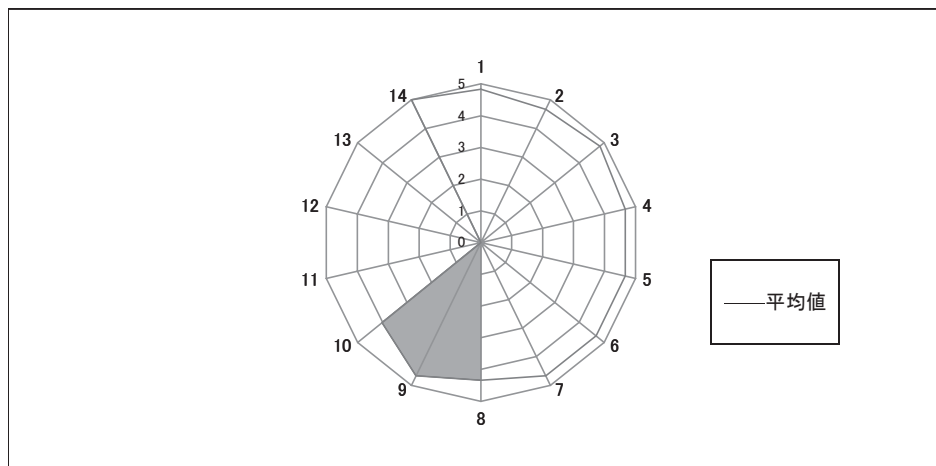
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住生活学  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.8**

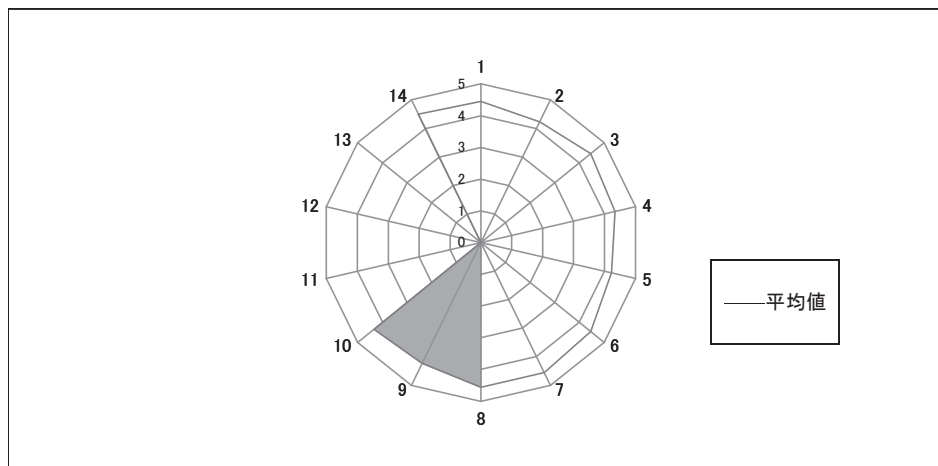
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 住居設計・製図  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



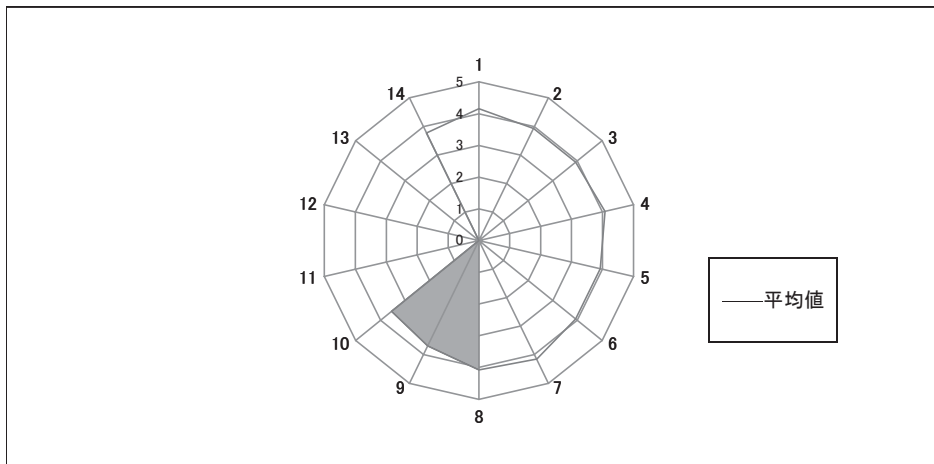
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育学(実習及び家庭看護を含む。)  
 評価実施日 平成25年2月19日  
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.8



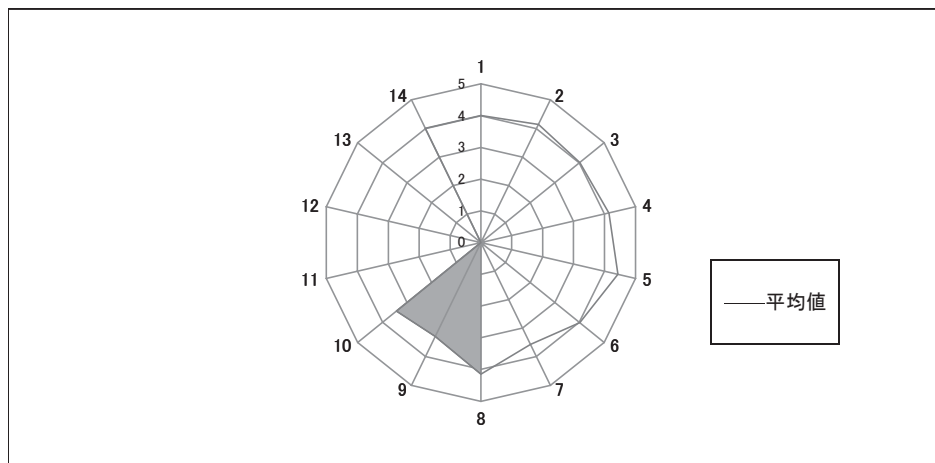
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭電気・機械及び情報処理  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 山本 耕司

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	3	2	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	4	1	0	0	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	2	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	1	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	4	0	0	0	4.4
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	5	1	0	0	4.0
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	4	0	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	4	1	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	2	5	0	0	3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	3	4	0	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	4	1	0	1	4.0



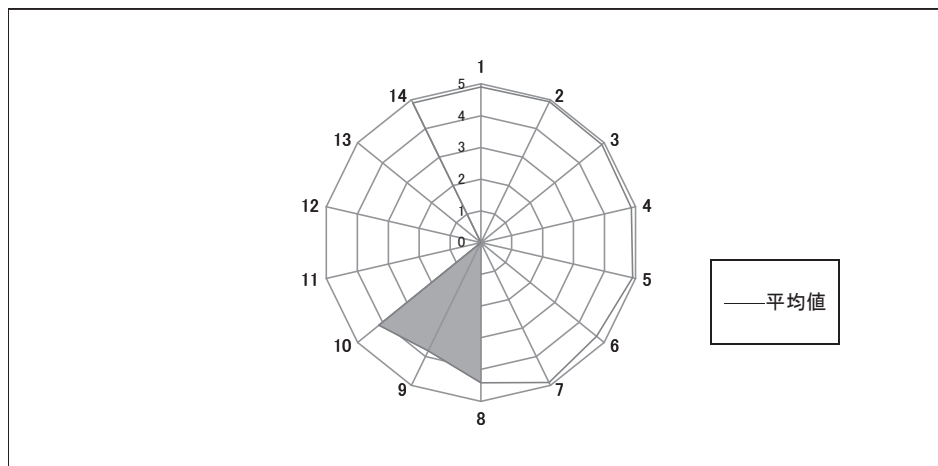
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 障害児教育概説 I  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 八幡 ゆかり

回答者数 29名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	27	1	1	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	28	0	1	0	0	0	4.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	27	1	1	0	0	0	4.9
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	26	2	1	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	27	1	1	0	0	0	4.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	5	2	0	0	0	4.7
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	27	1	1	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	6	4	1	0	0	4.4
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	4	9	3	1	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	6	5	3	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	25	1	1	0	0	2	4.9



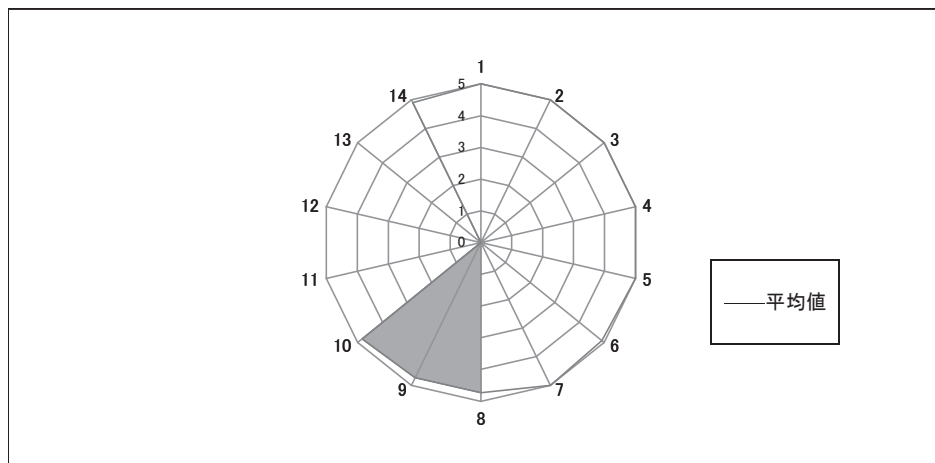
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 障害児教育概説Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	1	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	3	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	1	4.9



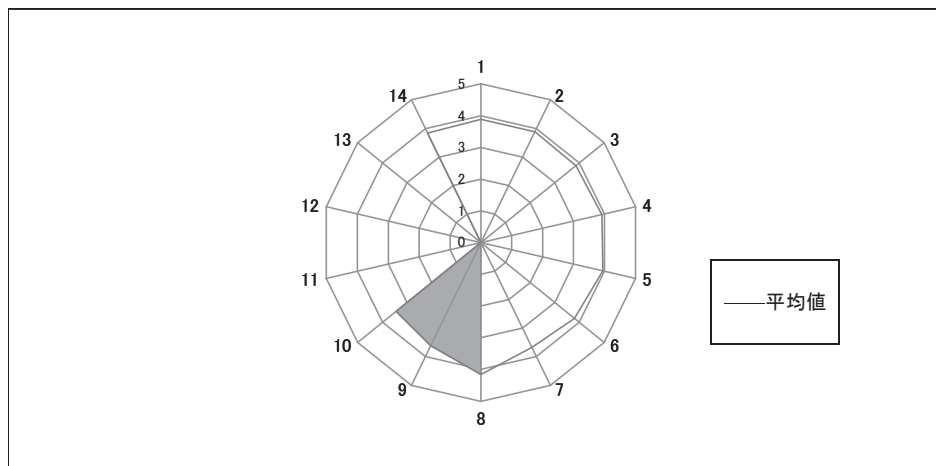
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の心理  
 評価実施日 平成25年2月14日  
 担当教員名 島田 恭仁

回答者数 33名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	13	9	2	0	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	12	11	1	0	0	3.9
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	16	11	0	0	0	3.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	10	10	2	0	0	3.9
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	15	10	0	0	0	3.9
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	12	11	2	0	0	3.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	10	14	2	0	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	14	7	0	0	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	12	14	2	0	0	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	7	15	3	1	1	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	12	11	1	0	1	3.8



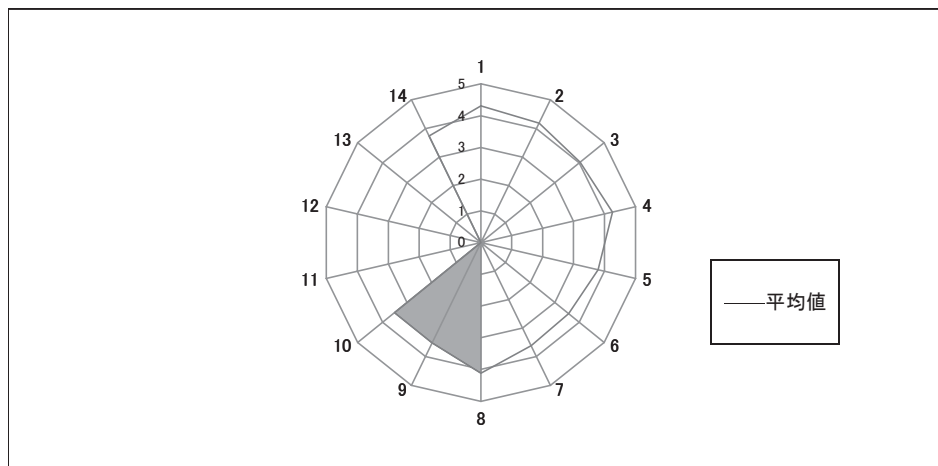
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の生理・病理  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 田中 淳一

回答者数 43名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	21	14	8	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	17	9	0	0	0	4.2
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	17	11	1	0	0	4.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	18	18	7	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	20	9	2	2	0	3.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	14	15	3	2	1	3.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	18	12	2	3	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	19	8	1	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	15	17	5	0	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	15	17	5	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	18	11	4	0	2	3.7



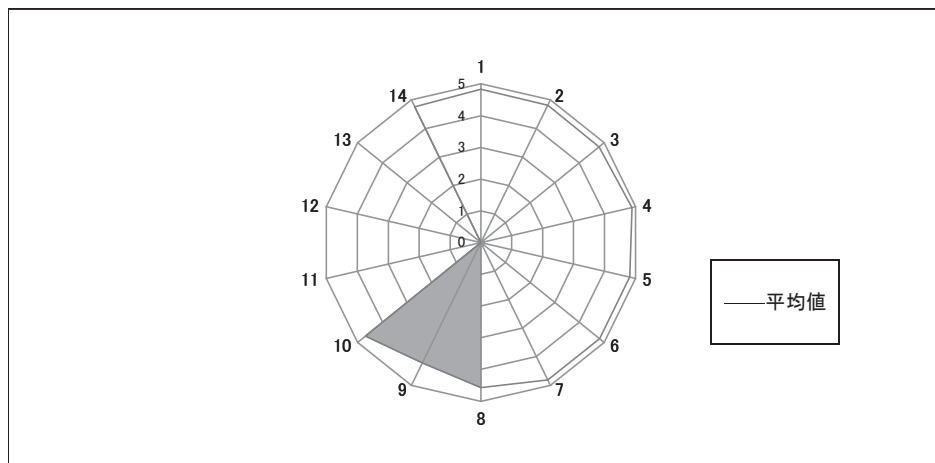
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害教育 I  
 評価実施日 平成25年2月8日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 42名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.8**

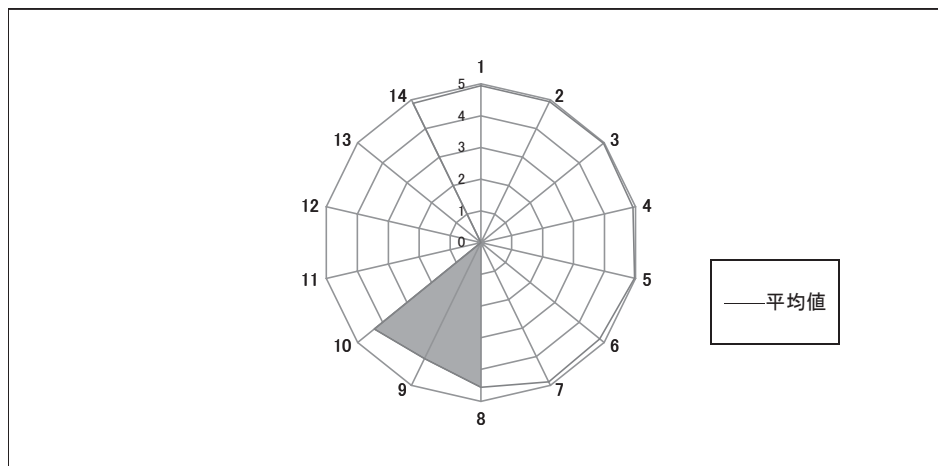
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 知的障害教育Ⅱ  
 評価実施日 平成25年2月7日  
 担当教員名 八幡 ゆかり

回答者数 34名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	32	2	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	2	0	0	0	0	4.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	33	1	0	0	0	0	5.0
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	31	3	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	33	1	0	0	0	0	5.0
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	29	4	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	30	4	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	22	10	1	1	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	17	6	1	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	17	12	4	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	28	4	0	0	0	2	4.9



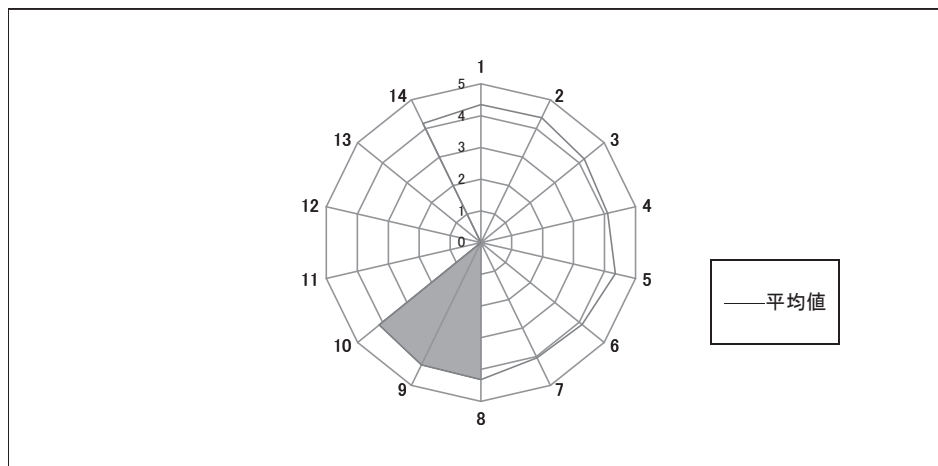
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 肢体不自由者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成25年2月8日  
 担当教員名 津田 芳見, 高原 光恵

回答者数 32名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.1
	(7)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



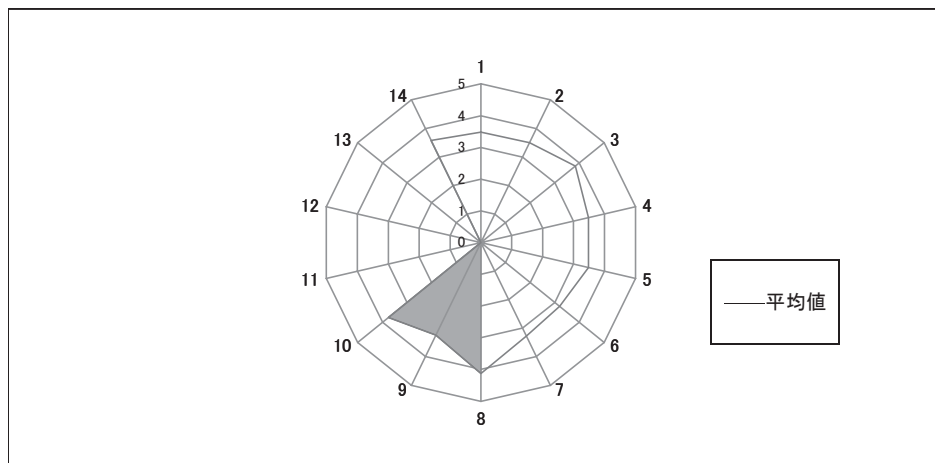
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 肢体不自由教育  
 評価実施日 平成24年12月25日  
 担当教員名 安好 博光

回答者数 40名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	14	14	1	4	0	3.5
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	13	15	3	2	0	3.5
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	16	12	1	1	0	3.8
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	8	21	1	2	0	3.5
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	10	17	3	2	0	3.5
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	9	14	9	2	0	3.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	13	13	6	3	0	3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	15	10	0	0	0	4.1
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	11	18	5	2	0	3.3
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	13	15	1	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	12	15	1	3	0	3.6



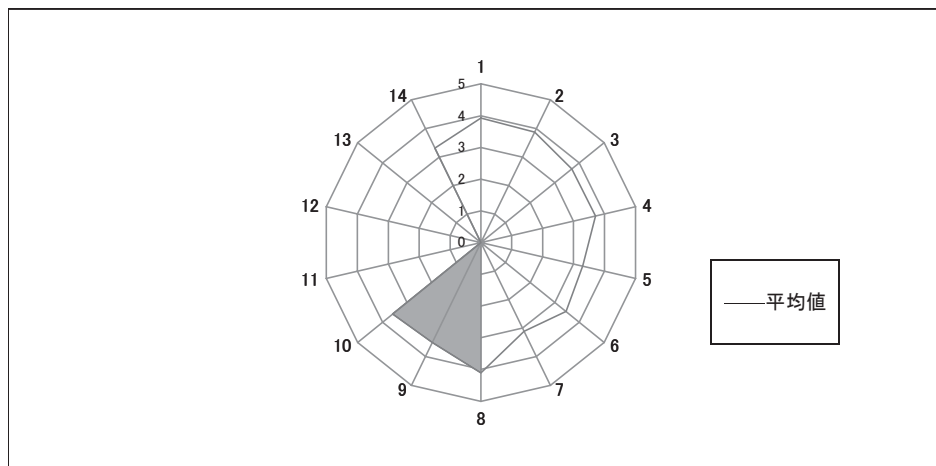
総合評価 **3.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 病弱者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 津田 芳見

回答者数 40名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	21	11	0	0	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	20	11	1	0	0	3.9
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	18	14	1	1	0	3.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	16	18	0	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	14	9	9	2	1	3.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	15	7	11	0	0	3.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	14	10	10	3	0	3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	22	4	2	0	0	4.1
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	17	11	7	0	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	18	13	3	1	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	19	6	9	2	1	3.3



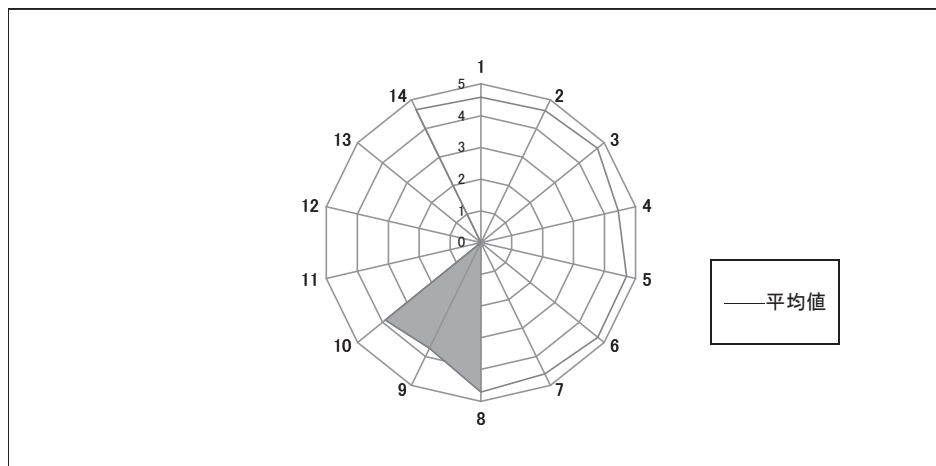
総合評価 **3.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 病弱教育  
 評価実施日 平成24年8月26日  
 担当教員名 武田 鉄郎

回答者数 27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



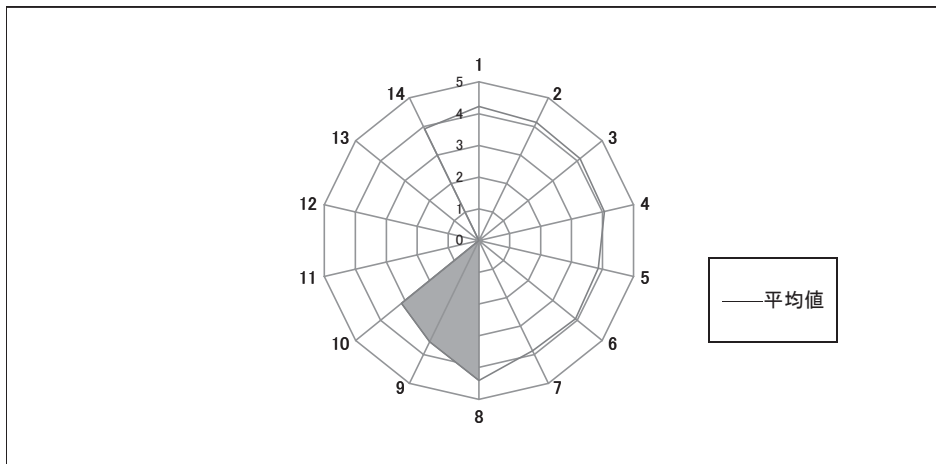
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等の特性  
 評価実施日 平成25年2月15日  
 担当教員名 島田 恭仁

回答者数 22名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	9	4	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	10	4	0	0	1	4.1
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	11	4	0	0	1	4.1
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	12	4	0	0	1	4.0
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	15	2	2	0	0	3.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	11	5	1	0	0	3.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	10	6	1	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	11	1	0	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	10	8	2	0	0	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	7	10	2	2	0	3.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	10	7	0	0	0	3.9



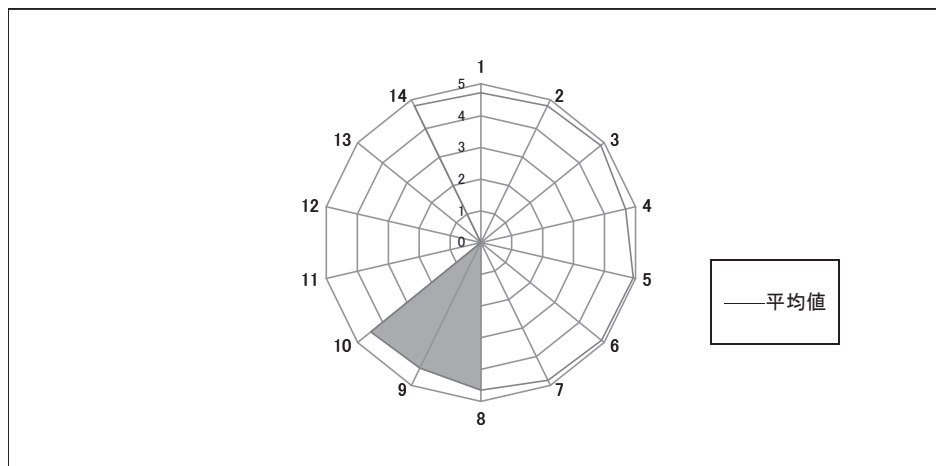
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等教育総論  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 井上 とも子

回答者数 28名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	21	6	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	6	0	0	0	0	4.8
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	24	4	0	0	0	0	4.9
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	21	5	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	26	2	0	0	0	0	4.9
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	25	3	0	0	0	0	4.9
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	23	5	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	10	0	0	0	0	4.6
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	14	12	1	1	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	10	1	1	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	4	1	0	0	0	4.8



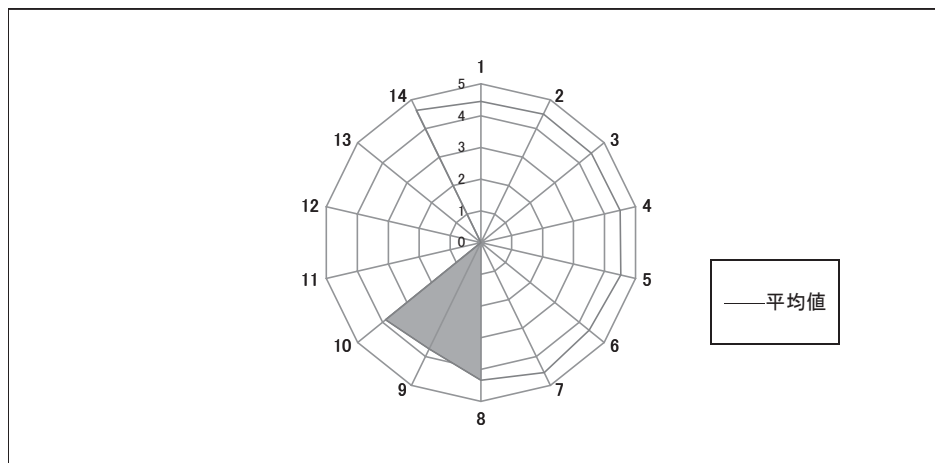
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 視覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成24年7月26日  
 担当教員名 高原 光恵

回答者数 36名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	17	18	1	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	16	1	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	18	17	1	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	20	14	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	9	4	0	0	1	4.5
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	20	11	4	1	0	0	4.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	22	12	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	18	3	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	14	10	4	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	14	8	2	1	1	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	13	0	0	0	0	4.6



総合評価 **4.5**

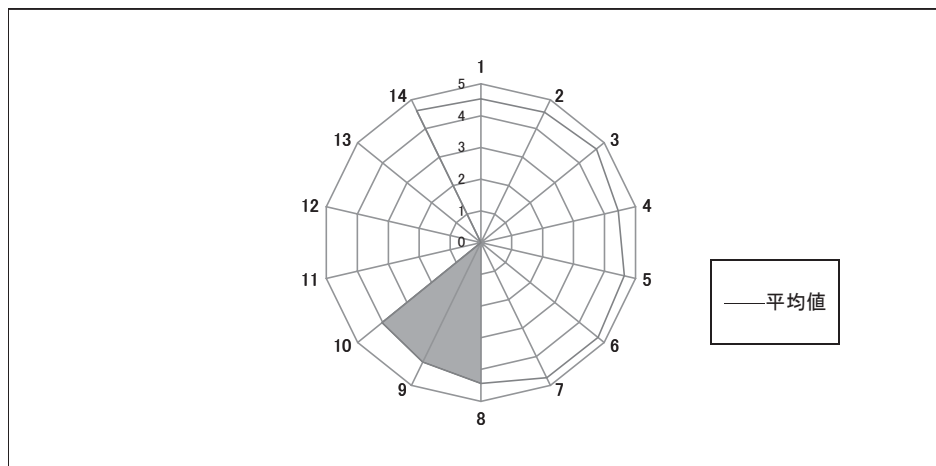
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 視覚障害者教育論  
 評価実施日 平成24年8月30日  
 担当教員名 牟田口 辰己

回答者数 44名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	27	13	4	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	27	15	2	0	0	0	4.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	32	10	2	0	0	0	4.7
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	24	15	5	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	31	10	3	0	0	0	4.6
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	34	9	1	0	0	0	4.8
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	35	6	3	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	26	13	3	2	0	0	4.4
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	21	14	6	2	1	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	17	16	7	2	2	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	28	12	2	0	0	2	4.6



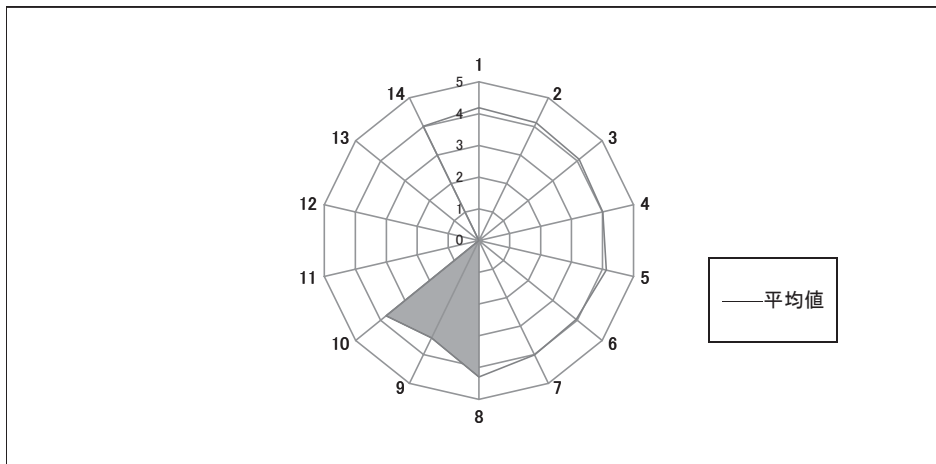
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 平成24年8月30日  
 担当教員名 宇高 二良

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	7	3	0	0	1	4.2
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	6	0	0	1	4.1
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	5	1	0	1	4.1
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	4	0	1	1	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	4	4	1	0	0	4.1
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	6	3	2	0	0	3.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	5	1	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	3	3	1	0	0	4.3
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	2	7	1	2	0	3.4
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	6	0	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	5	3	2	0	0	4.0



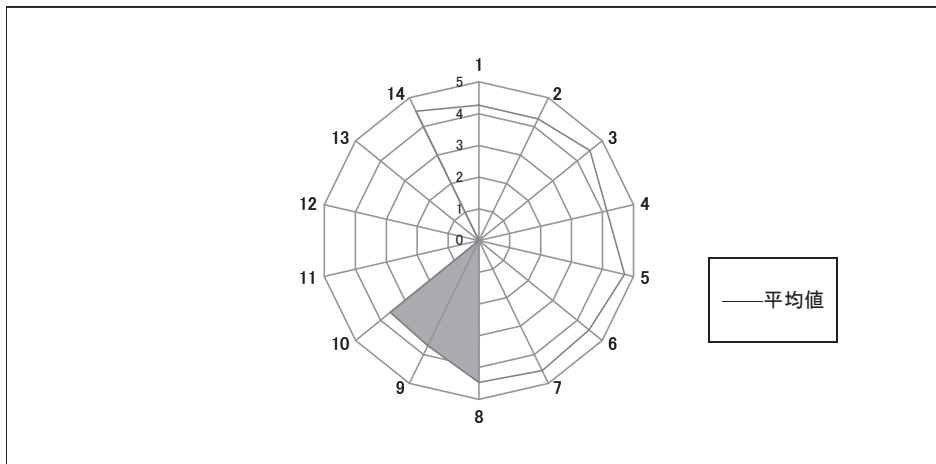
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者教育論  
 評価実施日 平成24年8月24日  
 担当教員名 立入 哉

回答者数 34名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	17	10	6	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	11	7	0	0	0	4.3
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	11	3	0	0	0	4.5
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	16	9	8	0	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	26	6	2	0	0	0	4.7
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	20	10	4	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	23	8	2	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	21	9	3	1	0	0	4.5
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	11	12	2	1	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	9	11	3	2	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	20	9	3	0	0	2	4.5



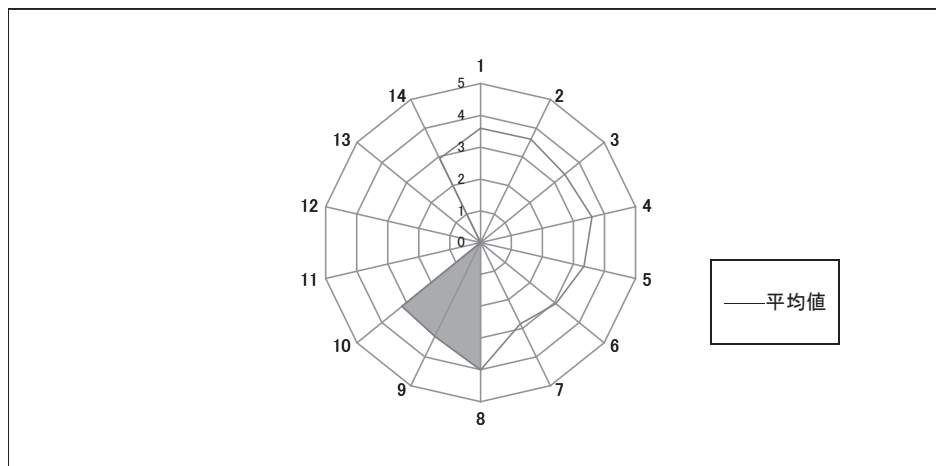
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校経営と学校図書館  
 評価実施日 平成24年7月27日  
 担当教員名 阿部 悦子

回答者数 39名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.6
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.6
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.4
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						3.6
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.3
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.1
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						2.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.0
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.3
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						2.9



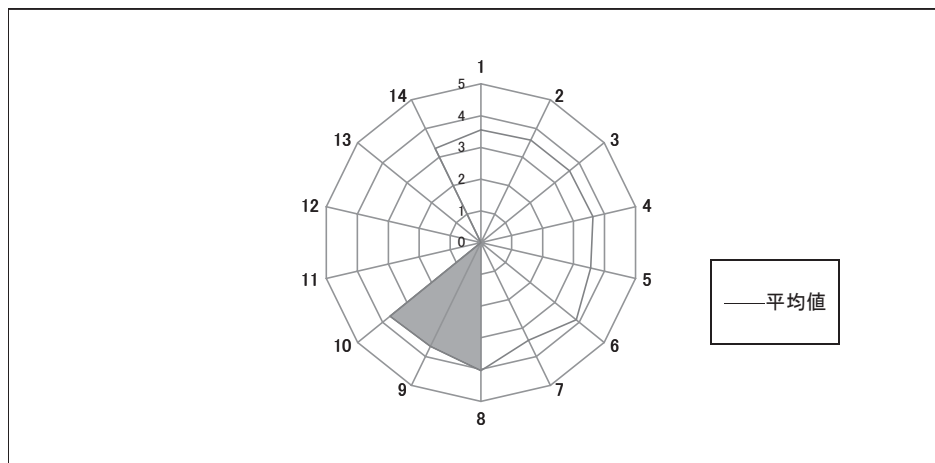
総合評価 **3.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校図書館メディアの構成  
 評価実施日 平成25年2月22日  
 担当教員名 阿部 悦子

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	7	9	3	2	0	3.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	8	8	3	2	0	3.6
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	7	10	2	2	0	3.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	6	10	2	2	0	3.6
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	7	8	5	1	0	3.6
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	8	8	3	0	0	3.9
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	7	7	7	1	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	9	9	0	0	1	4.0
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	7	14	1	0	1	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	8	10	3	0	1	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	6	9	6	1	2	3.3



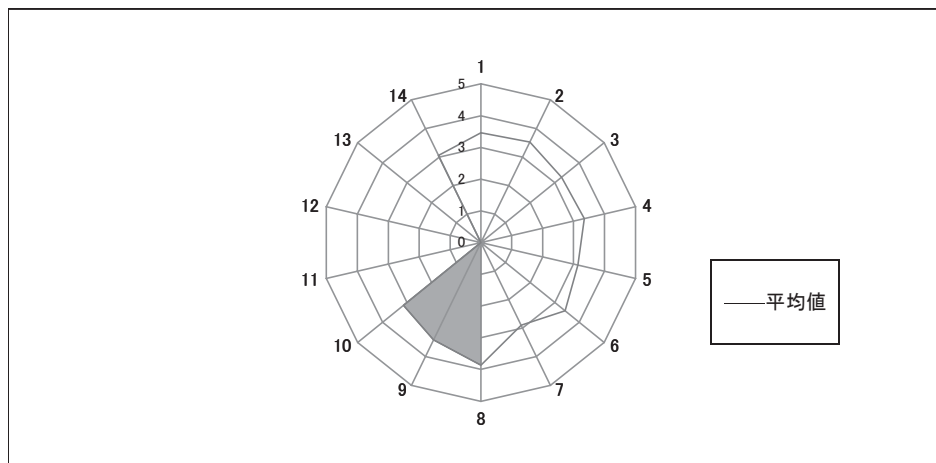
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学習指導と学校図書館  
 評価実施日 平成25年2月22日  
 担当教員名 阿部 悦子

回答者数 37名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	13	11	2	4	0	3.5
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	12	11	3	3	0	3.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	9	10	5	5	0	3.3
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	7	11	4	5	0	3.4
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	8	13	5	5	0	3.1
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	13	10	6	2	0	3.4
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	11	8	7	0	2.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	13	13	1	0	0	3.9
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	14	16	3	1	0	3.4
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	9	15	10	0	0	3.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	9	14	5	5	0	3.1



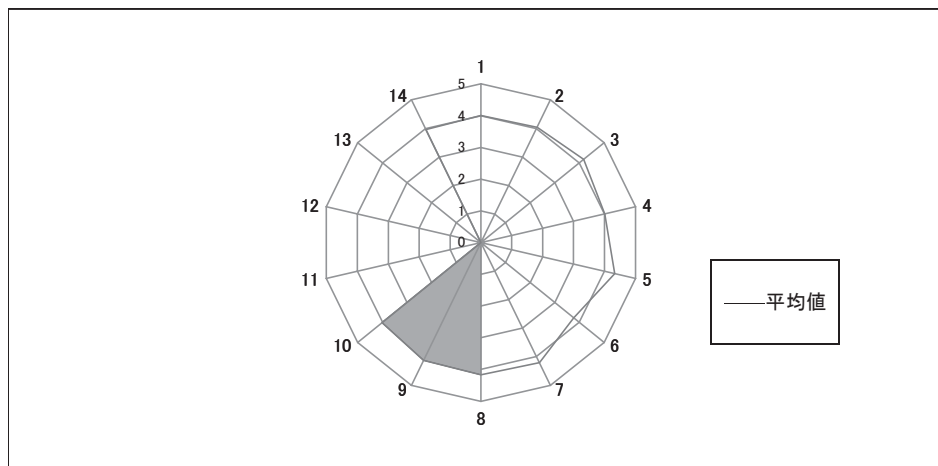
総合評価 **3.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報メディアの活用  
 評価実施日 平成24年7月30日  
 担当教員名 金西 計英

回答者数 25名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	11	4	2	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	9	6	1	0	0	4.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	8	5	1	0	0	4.2
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	9	5	2	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	9	4	0	0	0	4.3
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	7	10	0	1	0	3.8
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	7	5	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	13	2	0	1	0	4.2
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	7	6	1	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	11	5	0	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	10	6	0	1	0	4.0



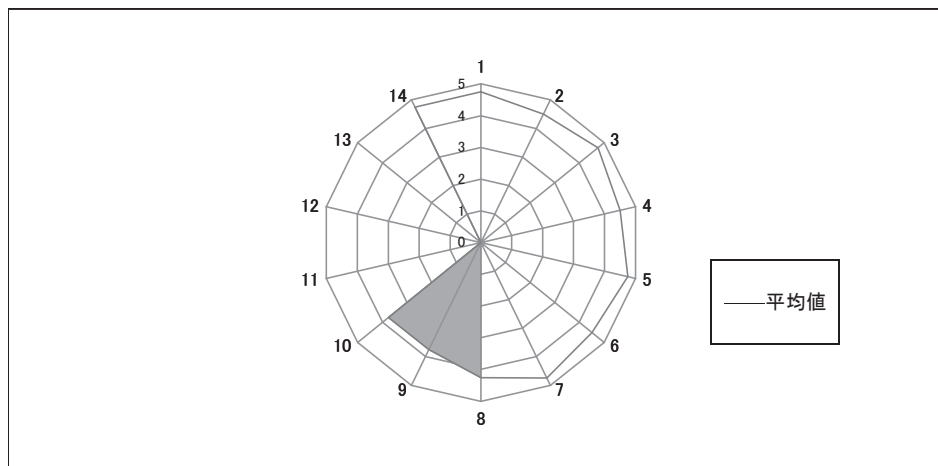
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 博物館特論  
 評価実施日 平成25年2月18日  
 担当教員名 長谷川 賢二

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(3)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(5)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(6)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(7)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(8)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(9)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	3	1	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



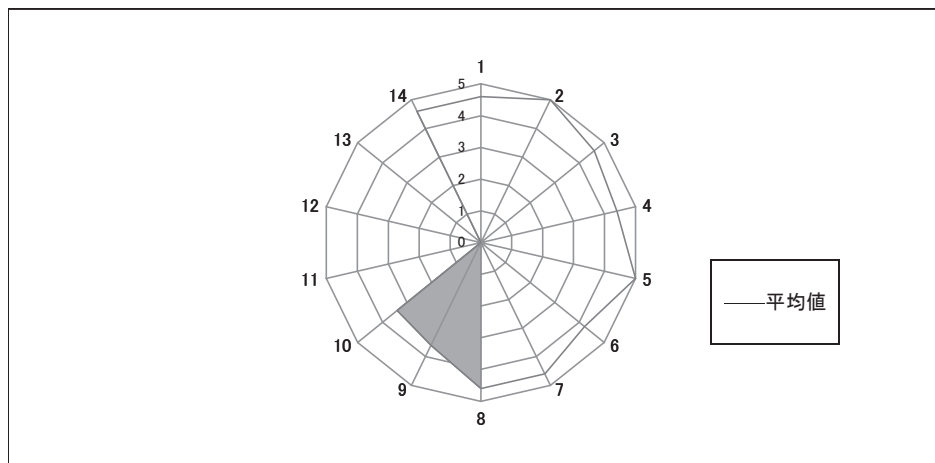
授業科目名 博物館資料論

評価実施日 平成25年2月8日

担当教員名 木原 克司, 大石 雅章, 小川 勝

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(5) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(6) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(7) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(8) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	3	2	0	0	0	3.6
	(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	3	0	0	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(14)へ)	(11) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(12) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(13) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(14) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	0	4.6



総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

## あとがき

本学における「学生による授業評価」の結果をふまえると、例年同じような傾向を読み取ることができる。すなわち、①学生はよく授業に出席し、概ねまじめな授業態度である。②本学教員の学生による授業評価は概ね高評価である。③学生の主体的な学習が不足している。平成 24 年度授業評価においても、この傾向は踏襲されていることが言えよう。

学生による授業評価は、本学カリキュラムと教授-学習過程の反省と改善のために行われている。したがって、授業評価における総合評価の平均値が高く維持されていたとしても、個々の教員の授業実践と本学全体のカリキュラムの構成を省察し、課題を見出し、具体的な改善をしていくことが重要である。一方、学生も個々の授業の目的と意義を把握し、能動的に授業に関わることによって責任ある授業評価をもたらすであろう。

最後に、平成 24 年度使用した授業評価アンケートの具体的な修正点を上げることとする。以下に示したように、いずれも学生の学習活動に関連した項目であり、すでに村田委員によって「教職共通科目に関する結果の概要と特徴」欄で指摘された項目である。

3の(8)「出席した」と「積極的に取り組んだ」を分ける。「積極的に取り組んだ」内容を具体的に書いてもらう。

3の(10)「教員に対する質問」と「学生同士の話し合い」を分け、その内容を具体的に書いてもらう。

いずれの項目も学生の学習活動の実態をさらに正確に捉えることが期待できる。特に、後者は質問のレベルによって授業の理解度を把握でき、学生同士の話し合いによって、学習集団の質が捉えられる。

平成 24 年度学校教育学部教務委員会  
学生による授業評価専門部会主査  
乾 信之

## 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会 委員名簿

(平成24年度)

委員長	西園芳信	副学長	
副委員長	皆川直凡	人間形成コース	准教授
委員	木下光二	教員養成特別コース	教授
〃	井村直子	幼年発達支援コース	講師
〃	井上とも子	特別支援教育専攻 (学生による授業評価専門部会委員)	准教授
〃	余郷裕次	言語系コース (国語)	教授
〃	杉浦裕子	言語系コース (英語)	准教授
〃	町田哲彦	社会系コース	准教授
〃	佐伯昭	自然系コース (数学)	准教授
〃	村田	自然系コース (理科) (学生による授業評価専門部会委員)	教授
〃	宮下晃一	生活・健康系コース (技・工・情)	教授
〃	黒川衣代	生活・健康系コース (家庭)	教授
〃	森内藤	芸術系コース (音楽)	准教授
〃	内乾	芸術系コース (美術)	准教授
〃		生活・健康系コース (保健体育) (学生による授業評価専門部会委員)	教授
〃	西村公孝	教職キャリア支援センター	所長
〃	湯口雅史	教職キャリア支援センター	准教授
〃	柳田一彦	教務課長	
〃	田村和	現代教育課題総合コース (学生による授業評価専門部会委員)	講師

## 平成24年度 学生による授業評価実施報告書

平成26年3月発行

編集 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会

発行 鳴門教育大学

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748

電話 088-687-6093

FAX 088-687-6107



国立大学法人  
**鳴門教育大学**

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748番地  
<http://www.naruto-u.ac.jp/>